

明治29年6月15日

## 三陸沿岸大海嘯被害調査記録

—山奈宗真—

卯花政孝<sup>\*</sup> 太田敬夫<sup>\*\*</sup> 解説

1. 山奈宗真「明治29年三陸大津浪調査報告」翻訳の経緯	57～59
2. 岩手懸沿岸大海嘯取調書（甲・乙・丙・丁）	60～197
3. 大海嘯各村別見取絵図	198～221
4. 三陸大海嘯岩手懸沿岸見聞誌一班（甲・乙・丙・丁）	222～290
5. 岩手懸沿岸大海嘯部落見取絵図（甲・乙・丙・丁）	291～379

上記資料4点は国立国会図書館所蔵の資料で、国図逐第13により翻刻  
許可を得ていることを付記する。

\* 東北大学 工学部土木工学科 文部技官

\*\* 財団法人 建設工学研究振興会

## 1. 山奈宗真「明治29年三陸大津波調査報告」翻刻の経緯

明治29年6月15日（旧暦5月5日）夕刻三陸地方をおそった津波は、死者2万有余の大災害をもたらしたもので、史上最悪のものの一つであった。災害直後の調査記録はそれほど多くはなく、そのうちでも山奈宗真的手になると言われるものは、その所在が長い間不明であった。

山奈宗真的調査についてふれられている文書で、現在入手し易いものに、昭和15年地震学会発行の「地震」第12巻第3号126-129頁にかかれた、武者金吉の地鰐居士雑筆がある。これには、山奈宗真的上半身の写真、帝国図書館に津浪調査結果を4種の写本として寄付したこと、鈴木吉十朗著山奈宗真伝による簡単な紹介、津浪記録の詳細さをうかがわせる一例などが記されている。

しかしながら、この4種の写本の所在は長い間確認されず、戦災で消失したのではないかとも想像されていたのであった。国会図書館にあるらしいと聞き込んで照会したところ、三陸大海嘯岩手県沿岸被害調査表があることが判明し、このコピー入手する事が出来た。明治29年7月10日調べとなっており、きわめて詳細な数表で、現代の被害調査よりももっと克明な区別、数字が記されていた。その一部を解析した結果は、東北大学津波防災実験所研究報告第4号にも報告してある。

この数表以外の存在は、その時点で国会図書館に問い合わせても判明しなかった。このことを力武常次先生に何かのついでお話したところ、日本大学「学叢」昭和61年第41号を送って下さった。菊池万雄氏の「私の本棚」と云う一文が掲載されており、同氏が山奈宗真的資料をコピーして金石市史編纂室に寄贈したと書いてある。これを頼りに金石の昆氏と連絡がつき、膨大な量のコピーを送って頂いた。

そのうち、国会図書館での所在も明確となり、数度職員や学生が上京して写真やコピーを取らせて貰い、翻刻の許可を得たのであった。

その後、NHK盛岡放送局の堀川伸一ディレクターに山奈文書の話をする機会があった。堀川氏が大変に尽力されて、山奈宗真的来歴についての手がかりを入手し送って下さった。これが、遠野市教育文化振興財団発行の「遠野の生んだ先覚者 山奈宗真」、全317頁の労作で、昭和61年3月に発行されている。詳細に事績、人柄が描かれているが、津波調査との関連で特筆しておくべきことは、次の3点であろう。

まず、山奈宗真には、測量の心得があった事である。1860年13才の頃、四戸数馬より開墾土木を、沢里謙吾より山林植立を学んでいる。そのほか、父捷之から検地方法を学んだとも言われる。明治8年（1875）28才の時、西閉伊郡内8カ村の測量を請け負い、25組の測量隊を組織して測量の指導にあたった。その後も、測量を行なっており、当時としては稀な技術者の一人であったと言えよう。資料中にも、28点の地図や絵図が含まれている。

第2に、明治29年の三陸大津波後の調査であるが、これは山奈宗真が建議して県が採用したものとなっている。巡回日誌によれば、

### 1. 七月廿五日 曇

被害地調査ノ使ヲ本県ニ建議セシニ、御採用ノ模様ニ付キ（仮令採用無キ時ハ、自分ニテ巡回ノ見込ナレドモ今日民者ニテハ被害繁忙町役場充分便利覚束ナキ為メ本県ニ謀ル）書造り差出シ。（以下略）。

となっている。この時、49才であった。炎天の下、44日間に亘り、徒步、馬、船で、気仙郡から九戸郡種市村まで、全長約300kmに及ぶ全集落を調査した。この調査を実施しようとした動機は、明治5年に戸籍編成のため沿岸地方に赴き、漁船の沈没や漁師の溺死事故を知り、その後海岸で溺死者がある度に日誌に記録するなど、関心が強かった事があげられる。また、津波による災害が、直接的には岩手県水産業の浮沈にかかわり、全県的には沿岸と中央部との連絡開発に及ぶ岩手県の産業経済振興にかかわる調査であるとの認識をもったからでもある。宗真その人は、牧場開設、遠野製糸場開設、農業試験場設立など、岩手県の産業振興に常日頃から心を碎き、努力を重ねた人であった。

第3に、宗真の孫にあたる松田ム子氏が、600点にも及ぶ山奈宗真資料を昭和51年遠野図書館に寄贈され、現在保存されている事である。この中で三陸津波関係のものを転記すれば、次の通りである。

年代	番号	体裁	資料名
明治29	338	綴	岩手県海岸巡回古文書拾集録 97枚
	373	綴	三陸海嘯被害地調査図
	374	綴	三陸海嘯各町村被害地図草稿
	375	綴	岩手県溺死集
	376	綴	岩手県沿岸大海嘯漁民人口被害表
	377	綴	岩手県大海嘯被害町村部落表
	378	綴	岩手県沿岸船舶漁具被害一覧表
	379	綴	同上
	380	綴	岩手県沿岸船舶漁具岩手県管内巡回時ノ見聞記
	381	綴	東閉伊郡津軽石村被害調
	382	綴	岩手県管内海嘯被害戸数及人口調表（海難遭難者救済方法調査会）

382-2	綴	岩手県沿岸海嘯被害及人口調 岩手県 明治29年7月 10日調 <sup>*)</sup>
383	綴	救恤金統計
384	綴	大海嘯恩賜金、義捐金、救恤金分配表
385	綴	見聞
386	綴	東閉伊郡重茂村被害調
387	印刷物	岩手県管内海嘯被害概数取調一覧表
388	野紙綴	三陸大海嘯岩手県沿岸罹災者救援義捐金配当高調
389	野紙	海嘯罹災者救附費支出調表
390	表	岩手県沿岸大海嘯 船具被害表
391	和紙	明治29年6月15日午後8時 三陸大海嘯 岩手 県沿岸 6郡37町村字190部落
391	印刷物	岩手県沿岸海嘯被害地略図白紙

以下の翻刻は、国会図書館の所蔵物、及び釜石市昆氏の好意による複写に基づいて行なわれた。  
 解説は、太田敬夫、卯花政孝両氏が行なった。ここに記して感謝の意を表する次第である。なお、  
 上記の表中、<sup>\*)</sup>印の文書は、山奈宗真が調査に出発する以前の日付であり、岩手県の別個の調査の  
 結果であると推測されている。

(文責 首藤伸夫)

## 2. 岩手懸沿岸大海嘯取調書（甲・乙・丙・丁）

方正書印

取調人

山東省立圖書館

濟寧縣

上海寫真攝影社

陸羽園仙都

泰山竹林寺

岱廟

泰山岱廟

海島

泰山  
岱廟



一、住家

- 海濱住屋ノ建築ノ方法  
○土基整造りハ根流灘シ石据ハ流易シ多ク葦葦キ屋根ニ利アリ  
○住家トナレハ根重キ故ニ二流テモ破散セサル為メ流亡者ハ之ニ乗リ  
○本宅トナレ屋ト離合ノ利害根ノ如キハ軒ク為メニ流易ク破レ易キ利無シ  
○海設ルニ利アルヘシ  
○別ニ無

一、漁民風俗

- 祭事婚葬家庭ノ状況  
○諸祭宗卜唱ヘ僧侶ヲ以テ海岸アテ絶一施我鬼ヲ祭ルナリ人  
○民ノ業及家庭ノ状況別ニ記事無  
○食物アルヲヤエント云蛇ヲ長モノト云產婦及死亡者ヲ忌ム忌人  
○衣服木綿七分ノコハ米少々ニ麦稗ヘ大根纏ヲ文セ常食トス凶年ハふき  
○衣服木綿七分ノコハ米少々ニ麦稗ヘ大根纏ヲ文セ常食トス凶年ハふき

四、四

- 漁民旧日七月衣食供給ノ時季  
○漁民旧日七月衣食供給ノ時季

六、六

- 漁民無年々北釜市及十二月正月

七、七

- 良習慣及不良習慣トノ種類

○漁事ハ内結婚其他吉凶アルトキハ部内ノ者ハ一日分漁獲物

贈与シテ補助ス受領セシ者ハ是レア百事ノ費用ニ充ハル

一、村制

- 漁業組合ノ状況及改善ノ概要  
○漁民ノ勞動及稼業行ハレスノ順序

三、三

- 旧漁場新漁場トノ位置状況

四、四

- 漁場粉塵伸展裁法タルト云

五、五

- 捕獲獲物記録スル事別ニ販賣ノ利害

六、六

- 政新ノ當時ノ方法及説法  
本村ニ記録スル事別ニ販賣ノ利害

一、凶行調査

- 凶年物凶年ノ備荒品及製造  
○凶年ノ備荒品ハメノコ陸産物ハ壹人付初五合麦壹升

二、二

- 凶江河旱魃ハ古書類有揚ケラレ記スル能ハス

三、三

- 凶年ノ旱魃政ノ救助方法

○凶年ニ教民遷主ヨリ大肝入役所ニ命ス粥等ヲ施シタル事在リ

- 四、○凶年ノ後及津浪后ノ流行病  
民需用品○後チヤウチフシ流行 津浪后 流行病アルヲ知ラス
- 一、○海岸山林原野ノ状況及將来ノ企望  
本村字上長部山山ニ一共有山一安部芳吉企ニテ山ヲ區画ス  
新改木トモ云
- 二、○竹セシム木用樹林ト區分ス部薄青年ニニ苗圃ヲ造ラシメ漸次植付
- 三、○造鹽植物地元産ニシテ岩谷堂  
麻ハ金沢金成地方ヨリ隠メ
- 四、○合松種類及年々消費量  
松コムツサツバ松鼠數二百頭
- 五、○木材運搬地便宜ノ場所  
木村ヲ運搬木トモ便易ノ場所
- 六、○漁民食供給ノ場所  
漁衣食具改良ノ方法スル為メナリ急ニ改良ハ行ハレス
- 七、○海灣未詳  
海灣ノ主産
- 八、○春奉漁捕魚類ノ種類及時期  
赤魚及時期  
鮋 蝦 鮎 秋 鰯 蛙 鱗 鰐 ハリコマリ
- 九、○沖合漁業ノ位置里程  
赤魚位置里程里程木ヤ  
鮋 海鷺 カセ 東海婦人  
七哩 蟹 二哩 三哩  
五哩 蟹 二哩 三哩  
七哩 蟹 二哩 三哩
- 十、○製塩所位置  
本村ハ古谷瀬ニアレトモ将来見込無
- 十一、○四季ノ季候  
四季自十月至二月迄降ル梅花 旧正月下旬 一月迄開ク
- 十二、○起風雨前旧日三月雨入梅ニ多シ
- 十三、○不漁前知  
不漁前知在ルトキハ雨降ルタ方ニ赤雲西ニアルトキハ風在り明方
- 十四、○大漁前知  
大漁前知在ルトキハ大漁トスルヘシ
- 十五、○潮未流ノ状況  
潮未流ノ状況
- 十六、○海灣ニ關スル事歴  
本村大庄屋吉田庄平方ニ古文書アルト云 長部港海鷺時々多ク
- 十七、○固有漁場ノ変遷  
固有漁場セシ事アリト云
- 十八、○津浪ノ歴史  
明治廿九年ヲ去ル七百年前(後鳥羽帝文治元年七月ノ大地震  
全国ニアリト云此時ランの津浪ニテ今泉町中大町ト云所  
流亡セシ事アリト云)

○今泉町ハ大昔氣仙郡玉山ト云金山ノ工夫小屋設ケタル后今ノ町ト成リ凡は是七百年昔ナリト云口碑ニ傳フ

古書寫

◎稻作ハ花中最中ノ比(頃)ニテかのめノ田ト三ツ壹ツ程

○古谷タケツ 漢ノ双六要旨  
○今泉高田沖通體水器程ノ相成候所水堀不申候

◎ 小友村 田畠 ■ 又以上ノ村方八半分余水入相成候

○大舟渡 赤崎両村 大痛二相成候

○上方近二千有之。法年八、伊豆下田卜申所。居家ノ十軒有之。場所

◎安政三年より六十二年(寛政六年ニ當ル)(寛政四年四月肥前国)

海清及 天草 人家 ■ ■ 没シテ 死亡スル者 五万余人 島岐ノ新出スル者

大地震二テ長部港大水揚ケ此度の様ノ居家等相痛候事  
三ヶ年後則實政六年豐州津波アリシャノ如シ前正月七日

◎右六拾二年以前地震ニモ跡先ニテ十日以上モ毎日地震アリト云

九

漁村挽回

一、油城

○歎公頃具頃は馬鹿ニ至ニナシハ實ハシニアリ

17

死亡無何レモ尋常木挽ト兼務ナリ

漁民將來ノ企望

1

○企望アトモニ一般二从無二告ム

○氣仙村 大旦那方 渔船漁具漁網等 漂没セシ 為メ 渔師共 大二 困却

是迄ノ且那五百円、漁師五百円、合セ千円ノア以テ、漁舟漁具綱繫造  
物ノ附書ハハ五主居民ニ分号セシモナリテ此海喰二付漁亡以素

1117

○別着無

## 陸地產業投資調查

家音少晚伴  
○馬丘賈

死

一、耕 地 被 畜

○耕 地 ハ 被 畜

○○充 分 作 毛 ヲ 失 ヘ タル 為 メ 津 浪 十 日 目 位 二 神 大 豆 ヲ 時 ダ リ 二  
○○充 分 充 発 育 せ ス 津 浪 后 日 二十 日 目 比 二 時 タル 大 豆 半 分 通 リ 発 育 セ リ  
○田 由 ハ 作 ハ 植 付 稲 田 第 二 二 枯 捨 振 セ リ 美 事 木 充 分 来 ラス ト 一  
○以 付 日 淺 キ 故 二 大 二 損 事 木 田 二 植 付 此 景 況 充 分 秋 実 木 上 ラ テ 署 知 ス ル  
能 技 术 付 付 事 木 田 二 植 付 此 景 況 充 分 秋 実 木 上 ラ テ 署 知 ス ル

商業調查

○物質相庭魚類販路

○貸借変動未詳金利現況二割ヨリ壹割五分  
今泉町實屋岩代屋利子二割五分

○隣郡本吉郡小原木村明治廿八年九月廿五日火災二テ  
四拾六戸焼失戸今回津浪二テ五拾六戸百九拾人  
一元可敷數戸八十戸ノ村ナリ一

陸前国氣仙郡高田町

●高田町ハ海岸ヨリニ捨町余陸ニアリ海濱ニ數丁ニ涉ル防風浪林  
一黒松赤松一在リ是レカ為メ今回海嘴ニハ耕地モ他村ヨリ被害無シ

漁村の新位置

一、新住家ヲ設クヘキ地及旧住家ノ利害

○記入ル事 無

## 二、海面ヨリ高低及沿岸の地形方位

三、津浪詳記地図ス記場所日月の反動松原内ニ押込ミ耕地ヲ損セシノミ

四、防護大西洋ヨリ直接受けニ素りタルハ  
ノシ及セシルノリタニ也。詳細な説明は別紙に於ける。

○本町松林ニハ、無氣氣仙村ノ地二數丁ノ松原アリ。之カ為メ被害少シ必事。

○高出田松原皆皆ア防風樹木林地被覆後付シテ松原ノ松雲ヘシ  
及ブミシ種植付時付シテ銀離ヲシテケ付シテ無シトモ直ニ枯レ  
年後付シテノ効果發セント云澤梨

- 五, ○魚付港場及港湾近傍山林原野ノ景況并林相ノ種目  
○高田町ノ海濱不足別ニ記スル事無シト雖モ高田松林魚付二
- 六, ○新道路大ニ開係アリ此松林ノ為メスル事無シト雖モ高田松林魚付二  
○第一道路ノ見込ミ及古道ノ便否等寄大ナリト云
- 七, ○漁村沿岸運搬ノ便否遠野水沢ニ通スル道路ヲ車道ニ開墾スルハ急務ナリ  
○本町内ニ別ニ見込ノ地無ト雖隣村氣仙村長部港ヲ開クニ便有リ
- 一, 家漁民風俗  
○祭事婚姻家庭ノ状況
- 二, ○漁民本町漁業不足故ニ不詳
- 三, ○食物米穀  
○衣服米穀ヲオシサマ（オシチヤマ）蛇長虫ト云
- 四, ○衣服木綿  
○衣服麻  
○衣服米穀供給ノ時季
- 五, ○漁民衣食物供給ノ時季
- 六, ○被服旧盆年々北海道及其他出稼ノ状況
- 七, ○良習慣ト不良習慣ト種類  
○氣仙川以テ定ム又タ此川ヲ抱ニ營業ヲ賣ル時ハ高田町  
ヨリ川修繕費ヲ去り残ヲ行政賣へ寄付（町村賣ト云）一賣高金
- 漁村制  
一, ○漁業組合ノ状況及改善策
- 二, ○漁民労動及稼業ノ順序
- 三, ○旧漁場ト新漁場トノ位置状況
- 四, ○漁場紛糾仲裁法
- 五, ○捕獲魚類沖合販賣ノ利害
- 六, ○藩政ノ當時ノ方法及税法
- 凶荒調查  
一, 荒年海産物凶年備荒品及製造
- 二, 凶年状况
- 三, 凶年ノ藩政ノ救助方法
- 四, 凶年ノ后及津浪ノ流行病  
○海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望但材木及薪炭木トモ云
- 漁民需用品  
一, ○竹林大麻蘆消費年額

三, ○ 造船種類及年々造船員數

四, ○ 木材ヲ需ル便宜ノ場所

五, ○ 將來漁具改良ノ方法

六, ○ 漁民衣食供給ノ場所

○

## 海灣

一, ○ 旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二, ○ 海灣ノ主産

三, ○ 海灣捕魚ノ種類及時期

四, ○ 沖合漁業ノ位置里程

五, ○ 製塩所位置

○

## 海事考

一, ○ 四季ノ季候

○ 高田町ハ雪十月下旬降ル正月迄大雪壹尺位是レ十ヶ年ニ壹度位

二, ○ 平年ニ寸位春雪多シ冬雪不足ビハノ花十月咲  
起風雨前知中暖ナラス冬寒カラス

寒六月熱シ

三, ○ 不漁前知

四, ○ 大漁前知

五, ○ 潮流ノ状況

六, ○ 海灣ニ關スル事歴

七, ○ 固有漁場ノ変遷ノ状況

八, ○ 津浪ノ歴史

○ 安政津浪ハ地震ニテ高田町水かめの水コボレタルノミト云

九, ○ 津浪ノ兆前兆

○ 本年六月十五日午后汐非常ニ減セシト云

## 漁村挽回

一, ○ 迅速ノ業ハ何業ナルヤ

二, ○ 造船職工有無

○

一, 民衆將來ノ企望

○ 管内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法

二, ○ 授產方法ニ付便利ノ見込有無

三, ○ 他ヨリ團体ア造り漁業ニ來ル者アルトキハ如何スルヤ

○

## 一、家畜ノ關係

## 二、耕地被害

一、商業調查  
 一、物價相場 魚類販路  
 ○魚類漁アルト誰製造物二賣入アリ生物ハ今二望人余リ無シ  
 商人ト米高價却スル魚類燃ノ風アリハ  
 二、之に人ト米安価即ち魚類也  
 ○金利動及金利買賣ニセントノ黃也  
 二十兩利買賣ノ景況割合 米 九錢ヨリ十錢五厘

● 陸前国氣仙郡米崎村  
○ 本村海嘯被害地字沼田岩ノ沢(脇)ノ沢堂ノ屋前  
○ 流亡戸數拾戸  
○ 滅溝納屋流亡人口拾壹戸五人  
○ 流亡財産馬  
○ 流亡地田堤防  
○ 流亡道路  
○ 流亡船

六樓  
四人

一漁村ノ新位置  
○新住家ヲ設キヘキ地及旧住家トノ利害  
及々也ニシテ現地免也ニ比ベシハキハ  
馬干鳥メ其少ノ立質

二、海面高低及沿岸ノ地形方位  
○被害地字三ヶ所別紙 地図二 詳記ス

○津別瀬リタル場ニ一所  
○北ヨリ宮城縣下善通寺崎ニ當リタル激浪反動シテ字沼田臨ノ沢

○防風林及防風林木ノ有無  
アレ田モ字野ト云所防風林木ノ有無  
アレ干溝二不便ノ為植付ヲヨリ植付トシセシ 有志者

○ 真者ルニ本村堂ノ前怀ハ二百年前ヨリ非常逆海某力成其後  
植付木ヲ失ヘアハ道路アサヘアレ是防及逆海某力成其後  
樹木ヲ失ヘアハ道路アサヘアレ是防及逆海某力成其後  
漁場アサヘアレ是防及逆海某力成其後  
漁場アサヘアレ是防及逆海某力成其後

- 六、  
○新道路之見込み古道ノ便否  
○海岸通りハ廣田村末崎村小友村へ高田町ヨリノ要路ナリ海面ヨリ  
六尺位の地移本村要路ノ中央故ニ海潮ノ為メ時々破損ハ多シテ大ニ破壊  
漁村困ルト云考ルニ僅々米崎村補助無之為メ修繕  
七、  
○漁村沿岸運搬ノ便否  
○六項ニ記スル所道路車道ニ改良ストキハ誠ニ便利ナリ海運ハ  
要セス
- 一、住家  
○海濱住屋○土木工事付ニ利居据ニ利アス  
二、  
○海濱住屋火災屋ト難合ノ利害居  
○別傳聞セシ事無
- 一、民風俗  
○祭事婚姻家庭ノ状況  
二、  
○漁民米崎村海濱不足故ニ別記スル事無
- 三、  
○食糧米物アマシト云產婦ヲ忌ム事重シ死忌ハ輕シ場合ニヨリ忌マス
- 四、  
○衣服米物麥稗大根
- 五、  
○漁民衣縫食麻
- 六、  
○被審春ハ月正月ヨリ二月迄社慶郡地方出稼ノ状況  
○良習慣ト地方へ鋪立アミヘ出稼クナリ
- 七、  
○從前ヨリ不良習慣ト種々アミヘ出稼クナリ  
○被審ケ月ヨリ見布探取ハ米崎小友高田三町申口關漁師惣代ヨリ  
○新漁業モ漁師前代役場へ届口關キノ日ヲ定メ捕獲ス  
○旧民習慣モ以前テテ旧慣法ヲ組入ラ希望セシニ組入ス故ニ  
○米崎村海濱ニテテ元ヨリ昆蟲布ノ産故ニ今回被審ニ付船ヲ失ヘ  
其品在リシテ探取スル能ハス故ニ船所自着モ探取シテ  
八月二日同販賣ニ付シテ高船ヲハス故ニ舟無キ者ニ附与スル申合ラナシ  
口關探取スル趣ナリ
- 一、制漁村  
○漁業組合状況及改善策  
二、  
○漁業別民ノ勞動及漁業アリテ充分行ハレス  
三、  
○旧漁場ト新漁場ノ位置ノ状況  
四、  
○漁場從前ノ漁立網場所ハ高田町ノ網近ク寄ル為困ルト云ノミ  
仲裁法
- 五、  
○捕獲魚類沖合販賣ノ利害  
○本村業ノ漁業故ニ別ニ記スル事無
- 六、  
○漁政當時ノ方法及稅法  
百文ヲ納ムカツコ舟壹艘  
大網ヘアミ等ヲ云販賣方百文ヨリ四文ヲ納ムナリ



一、漁民將來ノ企望  
一、管内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法  
二、授產方法ニ付便利見込有無  
三、他ヨリ團体ヲ造り漁業者末ル者アルトキハ如何スルヤ

○本村元ヨリ舟大工無故ニ他村ニテ死亡シテ無之故ニ因ルト云

一、漁業振興  
一、○迅速ナル業務  
二、造船工事無故ニ他村ニテ死亡シテ無之故ニ因ルト云

陸地產業被害調查

商業調查

一、物價相場魚類販路  
○目今ハニアリ國境在り相場定マラサルニ因ル奸商津浪ヲ  
二、貸借契約及金利算定  
○金利策動及現況無

漁村新位置

○本村字只出ハ、便利全戸數五十六戸ノ内、五十二戸流亡第一ノ被害地  
ニシテ見跡尋ね、便利ヲ就轉ノ上、民部ニ謀ルト雖モ或ハ戸  
不運也、見跡尋ね、引取杯ノ説ヨリ人民ニ任セタルニ三拾戸

二、海面ヨリ高低及沿岸ノ地形  
三、津波ノ来リタリ落場繪図ニ記ス  
○本村被害地字只出ハ南ニ海面字西番其他六ヶ所裏海故ニ  
詳細記スル事雖モ第一ノ被害地只出東方面ヨリ打込ミ走波地圖  
逆登リ階トル事海ニ薄水セシントジカカ如シ実ニ激浪ト云ヘシ  
詳細丁

- 補助出願セント設計中此堤防修繕セサルトキハ耕地三拾五六町
- 五、○魚荒無期ス堤防冲ニヨリノ景況并林相種目
- 六、○新本村場及海沿傍山林原野ノ景況并林相種目
- 七、○新多ク沖ニヨリノ景況并林相種目
- 八、○本村路ノ見込及古道ノ便否
- 九、○本村末崎村道路ハ米崎界ヨリ山根村表海岸只出ニ通シ是ヨリ廣田村
- 十、○本村沿岸運搬ノ便否
- 十一、○本村海沿運搬ハ新燃ノ如キハ宮城縣本吉郡小原木地方ヨリ需ム  
代價ハ廉ナリ
- 一住家
- 一、○海濱住屋ノ建造ノ方法
- 二、○家屋ノ造りハ二階建土臺付ハ皆不受三日市方面四十年以來  
五年小津波ハ打タルマ打釘打タサルニ少シ石据等流易シ數板ハ  
無ケレハ打タルマ打釘打タサルニ少シ如何トナレハ浪暴張スルトキ
- 三、○住家ト無ケレハ打タルマ打釘打タサルニハネ浪争事無キ為メナラシ
- 二、○別海濱住火災災及衛生ニヨリテモ離隔スルニ便アリ
- 三、○別海濱住屋建設之遣法ノ有無
- 一、民風俗
- 一、○祭事婚姻家庭ノ状況
- 二、○漁業不事婚姻家庭ノ場合ニハ市子ヲ頼ミ折爾漁民滅没等場合ニハ祭ト唱ヘ
- 三、○漁業大漁偶呂ヲ以テ神祭ル又海濱ヲ精メン為神官ヲ以祭ル
- 四、○漁業物等ニハ諸神社ニハ漁民打簡ヘ參詣ス
- 五、○衣服平素ハ米麦稗凶年麦稗大根メノコ其他種々
- 六、○衣服木綿供給ノ時季
- 七、○害虫盆七月旧年未十二月トノ二季ナリ
- 八、○害虫本村町村年々北海道及其他出稼ノ状況
- 九、○秋本村希ナリ無キト云カ如シ春杜麗郡四十人位
- 十、○良習慣ト不良習慣トノ種類
- 十一、○本村ハ家宅立替及屋根替等ニハ壹部落申合夫ニ助勢スル事
- 良習慣ナリ但人夫ノミ
- 一、漁村
- 一、○漁業組合ノ状況及改善ノ策
- 二、○漁業組合ノ効用未タ見ス改善ノ策考無
- 三、○旧漁場ト新漁場位置状況
- 四、○旧漁場ト新漁場へ立替立網ヨリ近年ハ沖ヘ百間或ハ五十間位去ル
- 昔年粉撲仲裁法
- 目今ハ民失策不埒ノ所業アルトキハ和尚ノ仲裁ヲ要スカリ
- 德無キカ人民良法ナレトモ目今ハナマクラ和尚多ク
- 進歩ノ為故ニ三百代言餌食多シ

- 五、  
○捕獲魚類冲合販賣ノ利害
- 六、  
○藩政當時ノ方法及税法  
○漁獲物販賣上代金百文ヨリ四文藩主ニ納亦タ漁師ニ製造ヲ免サス  
商人ニ買入製造セシメ此取締ハ御判官肝入司ナリ
- 凶荒調查  
一、  
○凶年ノ状況  
○凶年ノノコヒシキ
- 二、  
○凶年ノ状況  
○凶年天保四年二ハ漁業汎山ニ在リ農家ニモ相應ノ貯蓄在リ
- 三、  
○凶年荒真考ルニ  
○凶年ノ際藩政ノ救助方法
- 四、  
○凶年及津浪後ノ流行病リタル事モ有リ群聞知ラス  
○明天保凶年ノ后何レモ流行病無  
○明治十五年ニコレラニテ二名死亡
- 漁民需用品  
一、  
○海岸年林木原野ノ状況及将来ノ企望但木薪炭木ヲモ云
- 二、  
○竹大麻木等消費量額年々感シ年々杉樹多ク植付ル運び至リ
- 三、  
○造船船頭類及水沢一ノ関地方ヨリ需ム竹木等ハ地元ニテ足ル  
○合コ船頭等ハ舟船數百隻セテ百拾二艘壹ヶ年ニ
- 四、  
○木材ヲ需ハケ年位ナリ  
○本村字下新井田（松林）長潤（杉林）平畑（杉林）三ヶ所ノ官林
- 五、  
○將來便アリ  
○漁具改良の方法
- 六、  
○漁民衣食供給ノ場所  
○本郡高田町盤町
- 海湾  
一、  
○旧漁場ノ位置及変更ノ状況（況）
- 二、  
○海湾ノ主産
- 三、  
○海湾春赤魚鱈  
○海湾赤魚鱈及時期  
○沖合漁業ノ位置里程  
○冲合漁業夏季八月迄  
○沖合漁業秋季二月  
○冲合漁業冬季三十哩  
○五箇所位置  
○無無
- 海事  
一、  
○四季ノ氣候  
○雪旧十一月上旬ヨリ春ヒカンマテ降ル春雪多シ
- 二、  
○起風雨前知  
○コケララ雲出ルト雨トナル西海ニ音輕キ時ハ晴天

- 三、 ○大漁未全潮○不漁前詳知
- 四、 ○潮流全變況前詳知
- 五、 ○漁港二箇所全變況
- 六、 ○漁港二箇所全變況
- 七、 ○漁場ノ變遷ノ狀況
- 八、 ○津浪ノ歴史
- 九、 ○津浪ノ歴史  
○津波破壊セシ所ナリト云  
○未詳未ルヘキ前兆

- 漁村挽回
- 一、 ○迅還ナル漁業務  
○漁舟漁具製造ト納屋建築ニ急務ナリ港ニ駆多ク居レトモ能工ハス故ニ小漁舟製造第一ナリ迅還の運ヒテ主トシテ上國地方職工有無本職工出稼モ地方ニ還セサル舟形ニテハ便宜宜ヲ得ス向十日間ニシテ
- 二、 ○造船職工有無本村出稼モ職工帰ル故ニ是ニ製造セシムル見込み
- 三、 ○造船職工有無ハ本村ノ職工他ニ出稼ノモノ戻シ使用スルト雖逆間ニ合ハス是ニハ始ト困却セリト云
- 漁民將來企望
- 一、 ○管内沿岸一致漁業組合設ル方法
- 二、 ○授產方法二付便利見込有無  
○授產方法二付子ハ改良ト共ニ便利ヲ謀ルニ在リ故ニ水產改良方ヨリ三戸ノ漁民ヲ移住セシムルノ方法獎勵スルニ便アリ
- 三、 ○他ヨリ團体ヲ造り漁業者未ル者アルトキハ如何スルヤ

- 地產業被害調査
- 一、 ○家畜ノ關係
- 二、 ○耕地被害  
○字三日市ヨリ畠谷堤防破壊（凡五百間）是力為メ耕地  
三拾五町余作付スル能ハス
- 漁業調查
- 一、 ○津浪相應魚類販路  
○津浪後三周間に目撃鷹シテ漁民駆流網ニ出帆シタルニ不漁ニシテ  
暴未タル漁業者目下海底人ノ死体ヲ見ル故ニ漁スル能ハス商人入未ル  
故ニ漁族サル場合目今ニ至り死体アレハ魚類ニ相應相處
- 二、 ○貸借変動及金利質屋ノ情況  
○金利二割質屋無

陸前国氣仙郡廣田村

●本村被害地　宇大陽　後濱泊り　中沢濱　長根屋敷　集り及根崎堂ノ前

## 漁村ノ新位置

一、○新住家設立へキ地及旧住家ノ再利害  
当本村内被害ノ為め旧宅地ノ再利用ノ  
合意無ク新居住地更入少部落ハ

其他本村字集義内對付其事港泊り是ニ中泥漬酒貯存所ヲ合併併而並へ  
ノミ三ヶ所改造スルニ二内二變更セシム  
等ノ為ニ有志者改造スル将来ニ大ナル利益アリ

○亦内タ詳細中ニ二ノ卷ノ後ノ志老意ノ如ナヨ

三住戸セシト云今二大屋ト唱へ古屋敷ハ高キ地ニ須賀野ノノ誤在成一戸数

○廣田村全村寛永ノ比（頃）マテ察三十六戸 元禄ノ比ニ至リ 七十壹戸

三、○是レハ被害部落圖ニ詳記ス

東被は本村レハ東南南北落図ニ詳細記ス

四、防風林及防浪林其リ逆浪打込ミ詳細部落ニ記ス

○ 木植本村字堂ノ前六ツ浦田谷ノ大野長潤ノ如キ防風部落松防潮林立多ク  
元日付ノ急務ナリ堂ノ前長潤ノ如キ防風部落松防潮林立多ク  
ヒリニ全金ノ如キ防風部落松防潮林立多ク

五、魚類付属二種鱗造ノ鱗近傍所不今回ノ海潮陽ニ皆皆細部井根圖二相記入ス

○魚種付表及付表並用アル場合二八ハ村更點検ノ官私ノ種別ハス  
非常必用アル場合二八ハ村粗懸木枝切リヲ許可スル事

○アリ是レ海岸林付魚種カシ魚付林為メナリ  
ノイニ以素魚付林乱伐セシソメ魚類沖ニ去ル

○冲ノ漁業標本トシテ漁業スルニ一墨サカニ本村漁民ハ第壹番山小友村山

○ 魚群付根山モ是ニ次ク  
諸海山付木ノミナラス  
立木ノスル一闇スルトハ 海湾近キヲ  
立木ノスル一闇スルトハ 海湾近キヲ

○廣田村ノ見込ミ及古道ノ便否

七、漁村里道トナシ沿岸海濱道路ヲ通セシタルニ一大ニ便アリ

不便 車道 開通スル事 企望ス

出

## 一、海濱住屋ノ建造方法

○○今家屋ハ  
○○ニ海噴石指ハ多ク流亡シ  
○○ニ難<sup>シ</sup>サ<sup>シ</sup>タス<sup>シ</sup>クタヌ<sup>シ</sup>タルス<sup>シ</sup>ハ土臺造ハ倒レサ<sup>シ</sup>テモ流レサルハ多シ  
○○ニ階踏<sup>シ</sup>リ<sup>ク</sup>居レ<sup>シ</sup>生<sup>シ</sup>セモノ多ルハ<sup>シ</sup>助<sup>シ</sup>カリ<sup>シ</sup>

○○土蔵屋ノノ如キハ 物品集積在ルハ 残リタルヤノ如シ 但 壇所ニ寄ルヘシ  
○納屋ハ建設造粗ナル為メカ多ク流亡セリタルヤノ如シ

- 住家ト納屋ト隠合ノ利害  
○水火災共ニ離隔スルハ便ナリ且衛生上ヨリ見モ隔スル方
- 但地勢ニヨリ止ヲ得サルトキハ此限リニアラズ  
○字大野小松白フ家富ミ分家ヲ出シトモ本家ノ近傍二分地セサルニ  
利アリ近傍ナレハ平素ノ便ナリ天災事變ニ羅リタルトキ諸共ニ羅ル  
故ニ遠ク離難ノ地ニアルト一旗何レカ微アレハ互ニ助合トノ便ヲ

- 港得ル故ナリ  
○廣田村寛永十九年ノ検地ニハ家六拾三戸在ルノミ其内ニ今回ノ海嘯  
流亡セシ家ハニ戸ノミ如此事ハ昔モ海嘯ヲ恐レ地形高キ所ニ宅地  
ヲ設ケタルナラン遺法無ト雖是レ等遺法ナランカ

- 一、祭事婚烟家庭ノ状況  
○○○漁師家ヘ養蚕ヲ忌ムナリ如何トナレハ漁家養蚕漁セス  
○○○農業漁事ハ農民ノ婚姻忌ムナリ如何トナレハ漁家農民ハ漁業ニ關レサル為メ
- 二、漁舟等ヲ持ケ大抵ツミニテ海岸廻リ祭ルナリ  
○○○漁民ノ禁物神酒等ヲ持ケ大抵ツミニテ海岸廻リ祭ルナリ
- 三、食物大漁杯アソコト云蛇ヲ長虫ト云長カモノトモ云死生ノ忌ハ壹回同トス  
○○○平賀年ハ米麦種大根凶年ハメノ子其他種々海草等食ナリ
- 四、衣服味噌大豆ト塩トノミ糲八用ヘス  
○○○堅船木綿労動者半開ムツリ關引ヲ要ス  
○○○赤カタマリヲ入レ此赤カタマリ尋常ノ綿ヨリ塩水ニヒタシトモカワキ  
○早シ故ニ用ヘトキハ漁師ハ養蚕前立ツマコ三尺帶漬刺一尺五寸  
○二尺サカ等ノ漁具ニハ漁抄テノ衣食フル是ニ物テノ衣食フル  
○夏網足足ニテ器具類モノ屢みの海草ナリツマコ等ヲ要ス
- 五、漁食供給の時季  
○○○漁食供給の時季古着羅紗モノ類或ハ木綿チャン引木綿合羽ヲ用ヘ  
○○○漁食供給の時季古着羅紗モノ類或ハ木綿チャン引木綿合羽ヲ用ヘ
- 六、概要  
○○○漁食供給の時季古着羅紗モノ類或ハ木綿チャン引木綿合羽ヲ用ヘ  
○○○漁食供給の時季古着羅紗モノ類或ハ木綿チャン引木綿合羽ヲ用ヘ
- 七、良秋漁期立アミニテ買入ル  
○良秋漁期立アミニテ買入ル  
○從習慣ト不良習慣トノ種類  
○從習慣トセハ漁師ニ一舟主ハ沖漁舟造り部分ケ方法ヲ以テ貰与飯合  
○鑿舟トセハ漁師賣組十三人乗へ舟頭壹人親方壹人トモ壹人  
○カカイロ壹人脇船二人五丁船二人七丁船二人トモ壹人  
○漁船一一人ヲ堂与飯差食料ハ漁師ノ自費ニテ漁業シ捕獲物  
○賣却代金半拾八半ニ剝舟主五分半ヲ取り漁師等拾三人ニテ  
○舟主ハ定配当平均トス  
○舟十三分半ニ剝舟主五分半ヲ取り漁師等拾三人ニテ  
○舟主ハ定配当平均トス  
○近來ハ右方法破レ漁師ハ壊トナリ漁不漁ニ闕セス壹ケ年七八  
トナリサリヤ仙郡十二八九ハ漁夫使用スル故ニ船主ノ破産近年多シ  
方言スロミ履ト云是レハ舟子履ト云義ナリ



二、○凶年ノ状況

三、○凶年ノ廢藩政ノ救助方法

四、○凶年及漁獲后ノ漁行稱

○天明四年ノ凶年ノ後賣乱(ヲラント云)病氣流行人多ク死シ

○明治十四年コレラ流行病四十疋人余死亡

全十九年コレラ再ヒ流行二十三人余死亡

一、民需用品

海 岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但村木薪炭木ヲ云

○本村木材需用便利ノ地ハ本郡横田村関根官林ニ在リ

○薪炭木舟木管杉樹ナリ本郡横田村関根官林ニ在リ

二、○竹炭

木大麻製物消費量本郡町ニ賣入

○木大麻製物消費量一項二記スル如ク竹ハ本郡内産ヲ以テ足

○水木大麻製物消費量八分若柳壹分東京壹分其代價凡五千元ト云

三、○造糞類及年々造糞數

左ノ表ノ如シ

合	船名	員數	間數	代價	寿命	需用場所	年々新造員數
合	古松	四百五	自至二三間	自至二十五円	自至十八四年	近傍根付物	三十艘
サバ	舟	拾	自至四間	自至三十五円	自至十二年	中沖漁	自至二
流	舟	二拾	自至五間	自至四十五円	自至十二年	沖漁	三三艘
螺	舟	拾二	自至五間	自至五百三十円	自至八七年	沖漁	自至二
				自至五百三十円	自至八七年		三艘

四、○木村ヲ禦雷便宜ノ場所

○将來本郡小友村官林矢作村官林二便トス

五、○改良ノ精神改良ノ方法

○改良ノ精神改良ノ方法

六、○漁衣末タルト買價ノ貴キニ恐ル冲合ニ乘出シ波浪逆風ニ案全杯ヲ願ル者別説無シ

○漁衣末タルト買價ノ貴キニ恐ル冲合ニ乘出シ波浪逆風ニ案全杯ヲ願ル者別説無シ

海

一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況

○海未タ然セス多分變更アラン他日調査ノ上報スルナリ

二、○海

○海捕獲物種類及時期

○自一月月至二月蠣類三月若布東海婦人自四月至五月青魚鮪

○六月一月月至二月蠣類自七月日至八月亦や蠣蟹九月蠣蟹十月蠣鮪

四、○冲合漁業ノ位置

○蠣舟が夏ハ自六月至十二月赤魚サカ蟹海鼠一年中かきホヤ

五、○製塩

○目マシ山ハ較小村ハ五十石メタ蠣三十哩

○本村ノ位置

○本村無

一、事考

- 一、四季ノ季候  
○雪旧九月下旬至二月雨入梅ニ多シ風旧九月多シ
- 二、起風雨前知  
○○○○西北風戌亥ノ風○○○○古面白ク道芝ノ野草一○量夜晴天三月咲様三月中旬開花
- 三、漁民前知  
○不漁本村前知慶舟漁亡頃漁民四十八名死亡セント云
- 四、漁前知  
○大漁前知辰巳風多キ時ハ漁アルヘシ(堅絹蠣)秋戌亥風子丑風ニ漁在ル
- 五、潮流状況  
○春又ハ南ヨリ北ニ流ルトキハ漁多シ秋ハ北ヨリ南ニ流ルトキハ
- 六、固有漁場史履歴  
○津浪全固有漁場史履歴
- 七、津浪未詳状況
- 八、津浪全歴史
- 九、津浪ノ未ルヘキ前兆  
○地震永キトキハ津浪ノ前兆急ニ起ル地震ニハ津浪無

一、村換回

- 一、迅速ナル業務  
○賄業ハ佐渡地方ヨリ一二三戸ふか郷青森地方若ハ大分地方ヨリ三四戸
- 二、造製工工有無  
○多松工有無死亡殆ト困却

一、民將表ノ企圖

- 一、管内沿岸一致漁業組合設立方法  
○管内沿岸一致漁業組合設立方法ヲ以テ一大會社ノ設立ニ大ニ利アレトモ人物ニ乏敷
- 二、授権方法付便利見込有無  
○他○早クコボ本村ニ百五十艘ヲ要ス海中遊泳ノ魚類捕獲スルニアリ
- 三、漁業合規合規本村ニ百五十艘ヲ要ス海中遊泳ノ魚類捕獲スルニアリ
- 他○予拒ム能ハスト羅(沖漁)コハムニ宜敷限リハ拒ム方法ヲ設ルヨリ

一、地産業被害調査

- 一、耕地被害  
○田三拾貳町余被害

商業調查

### 一、物價相場魚類販路

○魚商モ津浪ノ當時ヨリ一時三十日間計り買入モ無ク  
酒スルモ人形食居故ニ買手無ト云カ如シ然ルニ近比(頃)

○金利質屋ノ景況

○本村海嘴地  
百六拾戸  
○流亡戸數  
○流亡納屋  
○流亡牛馬  
○流亡財產  
○死亡戸數  
○死亡人口  
○流亡耕田  
○流亡道路  
○流亡堤防  
○流亡船舶  
○門ノ瀬治  
○瀬治石  
○細浦  
○細浦石瀬  
○瀬治所  
○瀬治壹人  
○瀬治壹人

### 一、新住家

○本村元宅見込無字泊り字小細浦ノ三ヶ所ハ元宅地再ヒ住宅設置クヘキ  
波呂昌也無クハ元宅地再ヒ引揚ケリノ如キハ元山手ニ二ヶ所ニ新宅移築地ヲ説得シ小細浦  
波呂昌也無クハ元宅地再ヒ引揚ケリノ如キハ元山手ニ二ヶ所ニ新宅移築地ヲ説得シ小細浦  
波呂昌也無クハ元宅地再ヒ引揚ケリノ如キハ元山手ニ二ヶ所ニ新宅移築地ヲ説得シ小細浦

三、津浪ノ来リタル場所

四、防風林及防浪林其他堤防必要ノ有無

- 五、魚付場及海濱近傍山林原野ノ景況并相ノ種目  
 ○魚付場ノ森林ハ在来ヨリ本村ニ存シ居レトモ猶魚付ノ不便ヲ見ルヨリ本村長民ニ謀リ増殖ノ見込ミヲ以テ種付ノ設計中
- 六、新道路ノ見込古道ノ便否  
 ○新道路ハ高田町ヨリ小友ヲ経テ本村通り益町ニ至ル里道是ヘ  
 ○本村沿岸運搬ノ便否枝道ヲ設ルヲ以テ本村ノ便トス
- 七、本村本村沿岸運搬ノ便ヲ見ルトキハ沿岸運搬ノ便ヲ要スル事無
- 一、住家  
 一、海濱住屋ノ建造ノ方法  
 ○別二種別ニ無利害  
 二、本宅ト納屋ト離合ノ利害  
 ○別二種離合ノ法有無  
 三、海濱住屋建造ノ法有無  
 ○別二種無
- 一、漁民風俗  
 一、祭事婚姻家庭ノ状況  
 ○今海回海嘯ニ付三三周間目ノ比(一頃)ニ神官ヲ依頼  
 ○海婚姻ハア舟舟ニテ遙回其祭リヲナシト云  
 漁業者ヨリ縁組相ハハ便ナリ部落のノトト結婚ヲ好ム他部落シテモ海濱民ノ隣接レサル為メヲ好マス如何トナレハ  
 二、漁食糧農田村ニ全ス
- 三、○平年ハ米麥種大根凶年ハ布ノ粉ヒツキ其他種々
- 四、衣服木綿多シ麻近年多ク用ヘス
- 五、○旧民衣食供給ノ時季  
 ○被舊町村上旬旧十二月ノ二季ナリ
- 六、○被舊町村年々北海道及其他へ出稼ノ状況  
 ○夏秋季ハ社團部地方及北海道へ百人位  
 ○良習慣ト不良習慣トノ種類  
 ○秋冬季ハ石室宣古地方へ五十人位出稼(耕種)
- 一、漁村制  
 一、漁業組合ノ状況及改善ノ状況  
 ○漁業組合ノ状況及改善ノ状況
- 二、○旧漁民ノ勞動及稼業ノ順序  
 ○旧漁場未詳ト新漁場の位置ノ状況
- 三、○旧漁民解セサルニ苦ム
- 四、○漁未詳粉撲仲裁法
- 五、○捕獲魚類沖合販賣ノ利害  
 ○本村ノ當時人ノ為メ多シ此書ヲ除クニ苦シム
- 六、○本村記録ヲ失へ不詳
- 一、荒調査  
 一、海產物凶年ノ備荒品及製造  
 ○記録無

三、凶年ノ際政ノ救助方法

四、凶年及津浪后ノ流行病

○明治十五年コレラニテ 三名 十九年ニ無

漁民需用品

一、海岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但村木薪炭木ヲ云  
○炭灰新森キハ本郡日比ノ頃市村高田町盛町ニテ買入

二、竹木本村大麻森林充分ナラス

○大麻及麻纏物消費年額

三、造糞船ノハ麻纏類及年々造船員數年額

○合ツコ船一百艘サバ舟八八拾艘廿三艘廿艘螺旋二拾三艘

四、木村ヨリ三百百廿三艘春社年々造船スルナリ

五、將來漁船具改良ノ方法林

六、漁民衣食供給ノ場所好ムモノ無

○本郡高田町盛町官城縣鹽釜地方

海港

一、旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二、海湾主産無キ以て調査スル能ハス多分海底ニ変更アラントス

三、海湾主産魚類及時期

四、沖合漁業村位置里程

五、製塩場位置石濱二八昔塩置在リ三十年前ニ廃止小網浦ニ在四十年前睡止

海事考

一、四季ノ氣候

二、起風雨十月下旬ヨリ三月マテ降ル冬中三尺春雪四尺

三、不詳未詳前知

四、大漁前知

五、潮流全状況

六、海湾二閾スル事屢

七、固有全有漁場ノ変遷ノ状況

八、津浪全史

○本村字莫田ト云所アリニ明治廿九年ヲ去ル七百年前（文治元年七月地震尤山崩レテ川ヲ埋メカタフキテ陸ヲヒタセリトアリ此トキナラン津浪ニテ蟻打上ケタルヨリ名称シト云）

九、津浪ノ来ルヘキ前兆別無

一、漁村挽回  
一、漁業工事  
一、漁業民衆の企望  
一、漁業方法  
一、漁業方法  
三、他

一、陸地産業被害調査  
二、○耕作地被害  
○津波ノ為損害セラレタル耕地ニ一期ニモヨルヘケレトモ今回ハ  
尋常作付生立後故ニ蕃養大根ハ遭遇スル哉ノ如シ

一、商業調査  
一、物價相場魚(類)販路  
○堅蠅海中居レトモ舟無商人來り買シトスルモ捕獲ノ器具  
二、○無ニ告ム近比販路モ充分アリ  
一、資物交換ハ二割口高シ  
○資金利潤質屋質屋無

○新住家ヲ設ケヘキ地及旧住家トノ利害  
○本村ナヲ設ケヘキ地トノ利害  
○本村ナヲ設ケヘキ地トノ利害  
○アリト云此回の海囁ニ罹り發起者梅野久傳木下清助再興企  
○字下舟運ハ元素の位置ヨリ上前  
○アリ是レ夏屋前モ幾分カズ打上モ其家宅ヲ設ケントスル企テ  
○舟運泊リノ便ナラヌメント宅地ニ打上モ其家宅ヲ設ケントスル企  
○本村海沿ノ通路濱街道故ニ前モ述ルカ如ク道路左右或ハ片原町ト  
○海面ヨリ高大ニ及び船未タタル橋路定マラサルニ因知シ居ル  
○本村平均海面ヨリ四尺溝渠干涸ノ差三只位  
諸端ヨリ汐去ル事壹丈六七尺詳相ハ部溝渠図ニ記ス

- 三、 ○津浪ノ本木村ノ津浪ハタル場所
- 四、 ○防風林及ニ瀬リタル為メ内へ南ヨリ向赤崎村激甚打込ミ其反動
- 五、 ○堤防林及ニ瀬リタル為メ内へ弱ナリ赤崎村強キ事數倍ナリ
- 六、 ○魚付場及海濱近傍山林原野ノ景況并林相の種目ハ急ナリ是ヨリ浪防
- 七、 ○魚付場及海濱今名多ヨリ買入ハ明治廿六年ヨリ杉植立ニ着手セリ
- 八、 ○新道路ノ見込人ノ所ニ有二期ス將來ノ魚付林ニ定ム
- 九、 ○赤崎道海岸通リ修繕ハ専務ナリ
- 十、 ○本村港内氣船泊ニ運営ノ良港ナリ是商港追テ特別輸出港
- 十一、 ○或ハ軍港ニモ適當故ニ小運搬ノ便キ将来特別輸出港
- 十二、 ○便要スル場合アラント宗族親類セリ

- 一、 ○海濱住屋ノ建造の方法
- 二、 ○住家別離隔ト納屋ト離合ノ利害
- 三、 ○海濱住屋建造ノ便法有無有り
- 四、 ○別離法無古書ヨリ連絡セシ古家ハ高キ所ニ宅地在リ
- 五、 ○百八拾年以來海濱近ク低キ所居住センメタリ
- 一、 ○祭事婚姻
- 二、 ○祭事祭司ノ家産ノ状況
- 三、 ○結婚俗ト山手村落類民ノ死我鬼ヲ行ナリハ海濱ニ溺死等アレハ魚族ヘウココ祭り一
- 四、 ○漁民如何トナレハ海濱舟等ニ賛同サル為メ漁業ニ着手出来サル故ナリ
- 五、 ○儀事ト云事忌アンコト云蛇ト云事ヲ忌長モノト云
- 六、 ○食物産婦ヲ忌事七日ナリ
- 七、 ○衣服年々交セ凶年大恨ヒツキメノコ

- 一、 ○漁衣食糲麻
- 二、 ○漁民年旧盆七月供給ノ時季
- 三、 ○北晉海町村漁民年々北海道及其他出稼の状況
- 四、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 五、 ○壹ケ月中ニ死亡者アルトキハ壹戸五錢以上香奠ヲ遺シ
- 六、 ○葬儀ノ手伝ナリ葬儀ノ節ハ部落人加勢ニ行キタル者賄申合ナリ
- 七、 ○村内親族友人ニ結婚等アルトキハ一切財物申合ナリ
- 八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニアラス親族友人ニ限ル
- 九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 二十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 二十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 二十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 二十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 二十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 二十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 二十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 二十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 二十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 二十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 三十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 三十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 三十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 三十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 三十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 三十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 三十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 三十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 三十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 三十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 四十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 四十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 四十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 四十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 四十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 四十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 四十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 四十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 四十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 四十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 五十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 五十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 五十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 五十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 五十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 五十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 五十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 五十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 五十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 五十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 六十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 六十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 六十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 六十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 六十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 六十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 六十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 六十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 六十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 六十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 七十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 七十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 七十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 七十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 七十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 七十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 七十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 七十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 七十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 七十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 八十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 八十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 八十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 八十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 八十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 八十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 八十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 八十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 八十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 八十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 九十、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 九十一、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 九十二、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 九十三、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 九十四、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 九十五、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類
- 九十六、 ○壹ケ月ハ廿人位春ハ廿人位社鹿郡地方廿人位賄立アミベ出稼ク
- 九十七、 ○酒ヲ受取人ノモ香奠ノミシテ一切財物申合ナリ
- 九十八、 ○手伝スル風アリ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 九十九、 ○不良家造りノトキハ壹部落一ノ姓ニ助勢スル風在リ
- 一百、 ○良習慣ト不良好習慣トノ種類



- 二、海向ノ主差ノ年間経サレハ充分漁業ス能ハスト思フ
- 三、海湾捕蠣魚ノ種類及時期貝類堅
- 四、沖合漁業位置里程山無二百哩四拾哩六哩秋ニヨルト近クナルナリ
- 製塙所位置本村塙田本塙ニ壹ヶ所友別貳町歩余(取穂未詳)一  
費用田培用三千円ノ今回ノ海嘴ニテ破レ免租ヲ願目的再興スルトセハ
- 石垣用三千円ナラン故ニ容易ニ民力ノ及所ニアラスト云  
以テス官庫ニ納メ農漁兩民ニ賣ル残ル品ヲ商人ニ賣リ
- 一、海事考  
四季ノ氣候
- 二、起風雨前知十月下旬ヨリ一月中旬迄梅花三月開ク雨ハ旧五月多シ
- 三、不漁前知未詳
- 四、大浪前知
- 五、海全閑スル事歴
- 六、固有全有漁場ノ變遷ノ状況
- 七、津浪ノ歴史  
○凡明治廿九年ヲ去ル百年前茶屋前ヘ九尺津浪打上タル事  
有リト云ヘ實政四年九月頃ニ大海嘯アリ此トキ津浪ナランヤ一  
宗室真源回其當時見難ニ賣ヘタルド釜ヲ見タリ其品上輕ノ
- 八、津安模ノ津浪六尺只尺トス
- 九、地浪ノ来ルヘキ前兆山ニヒビカス「ダフ ノイ」来ルトキハ津浪アリ
- 一、村挽回  
迅速ナル業務
- 二、織工有無船早ク造ルニ在リ目下螺冲ニ見ルモ舟漁具無ク業能ハス
- 三、造船大工本村ハ死亡者無
- 一、民將來ノ企望  
管内沿岸一致漁業組合設ル方法
- 二、良法ナレトモ容易ニ行ヘ難シ  
授産方法ニ付便利の見込有無
- 三、良法ナレトモ容易ニ行ヘ難シ  
他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ
- 一、陸地產業被害調査  
家畜ノ關係
- 二、耕地被害  
被害地ハ津浪罹りタル分畠半作田ハ皆無

商業調查

## 一、物價相場魚類販路

○物價ハ二割口高シ漁アレハ販路多クアル

二、質借交(動)金利質屋景況

○六拾円二壱円壹ヶ年二付 金八拾円二壱円 壱月三付  
一打美銀票、百日二付壹円二角

— 勇氣 得意 」 百円二枚 壱円モノ !

●本村被書地字堂ヶ崎中赤崎ノ内宿

○ 流亡戸数 ○ 潟戸数外口外口ノ内 小清合足捨壹ヶ所

○○流亡牛馬  
○○死亡耕地人  
○○負傷船人口

○流亡財產      ○流亡道路 堤防

## 漁村ノ新位置 一、新住家ヲ

○本村字中赤崎ノ内宿及山口合足ノ

二、海面ヨリ高低及沿岸ノ地形方位  
三ヶ所共ニ少々引揚ケ宅地ヲ設ケル事ヲ漁民企望ス

○赤崎村八字堂ヶ崎ヨリ蛸ノ浦迄山西八海面東八山長崎ヨリ合足マ  
南海面西大洋ニ面シ北皆山ナリ

○字長濱の浦ハ小湾ニシテ漁舟ノ停舶ニ便ナルヤノ如シ海面高  
低等々ハ詳細ニ部落圖ニ記入ス

三、津浪ノ来タリタル場所  
○津浪ハ大舟渡湾東南ヨリ激浪打込ミ赤崎村内外の海濱ヲ破壊

○赤崎満潮干潮ノ差平均五尺

四、防風林及び防浪林其他堤防必要ノ有無  
○是本村田ノ堤防大二破壊此修繕ハ急ナリ如何トナレハ

塙田ノミニアラス 本田ニ大ニ関スル 次第ナリ

五、魚付場及海湾近傍山林原野景況及林相ノ種目  
○本村海岸魚付森林林從前ヨリ乱伐材魚付沖ニ寄リ方今植立シ

佐々木哲之助 奨励セント云

- 六、○新道路ノ見込及古道ノ便否  
○本村村内ノ海岸通り武貳千五百間余河川付里道三千間大破壊
- 七、○漁村沿岸運搬ノ便否アラズ目今取調補助出願中  
○本村海岸通り里道開墾修繕スルトキハ沿岸ニ運搬の便ヲ  
要スル事少シ
- 一、住家  
一、○海濱住屋ノ建造の方法  
二、○住家ト納屋ト離合ノ利害  
三、○海濱住屋建設隔スル方針  
○古家ハ皆高キ所住居ス住屋（宅地）世ノ開明ニ随へ便利ヲ謀リ  
海濱ニ近付タルヤノ如シト云
- 漁民風俗  
一、祭事婚姻家庭ノ状況  
○海濱ニテハ不漁等ノ場合ニハ村社の御供ヲ願へ種々供物ヲ備ヘ  
○御酒ヲ持ケ神官は是レヲ祭ル漁民供奉ス浦々祠り祭典ヲ行ヘ年々ナリ  
○漁年申告ハ不明每年申告祭日九月九日ニ行フ又タ龍神祭リ浦ニ舟ニ乘  
○巡遊祭スル事モニアリ山間ノ農業ヨリ傳テ堅ルトモ嬌養子何分海岸ヨリ實ハ  
○慣例ナリ如何トナレハ浦沖漁船ノ勿論舟ニ弱キ為メナリト  
○家へ飯食ヲ云て初乗ラジム進テ舟頭ニ置ルト是レハ在来漁民  
二、○漁民家庭ノ教育ナリ長男ヲハセヌ様ニナシ相続者の為メ  
三、○食産出大ニ忌七日間決而漁ニ出来ス死者ハ忌マス  
四、衣服被纏ニ米少シド大根權ニ交セ用ヘ凶年ニハめのこひじきう留る  
五、○漁民へ赤縄トハ山野ニ在ル草ノ皮ナリ  
五、○旧盆七月月日十日十一月廿五日其他村社祭典三月十六日  
六、○被九月九日ノ四季ニ買入ナリ  
七、○良氣習仙部全金五百人位年々賃ハ金石地方へ三十人崩網出稼スル  
○良習價ト不全部不良習價トノ種類  
○本村部民ハ農漁ニ闢セス村内ニ家造アルト勞ト酒食ニ  
○其改法令日行レリノ手傳ラハ持井當ヲ以テ手傳フヘシト獎勵達ニ  
○壹軒ノ數ヲ定メ持井當ハ壹百五拾坪屋根ハ金拾円殊ニ  
○人足ノ數ヲ定メ持井當ハ壹百五拾坪屋根ハ金拾円殊ニ  
○部落共壹百五十人有井當論セス十七年ニ第一回ト定ム  
○部落内荒蕪地ト唱ヘ則部落ノ基本財産トスル方法左ニ  
○不如意ノ者ハ不動產却ノ如基業ハ普通直段ヨリ壹割二割高價ニ買入  
○右～基本財產ニ組入  
○毎年荒蕪地買入レタ前話起立ハ一部落壯年者ノ労力トス  
○期後開會ヲ示シ後酒肴ヲ与ヘ宴會ヲ開キ后退散ス

- 男子十五年ニシテ前組合員ニ加盟四年ニシテ去ル后
- 三年ニ後見トナシ
- 右者頭ヲ四十ヶ年アテノ人ヲ以テナシ（主立トス）
- 走り用ヘサル者ハ組合ニテ二回忠告ス（夫レニテモ遊墮ニ）
- 赤崎大安政四年ハ危険名基本財産の所有權ヲ失ハセシム
- 赤崎大安政四年佐々木進太夫定メタル方法ナリ
- 財産其代金ヲ三町村ニテ添川ノ漁業ヲ共有財産トス漁業受負人ニ
- 海苔場ハ反別一三町村ニテ分配小学校基本金ニ加ヘ利倍スル方法ナリ
- 充学校實ニ充

#### 漁村

- 一、漁業組合ノ状況及改善ノ策
  - 組合運営ノ方法ヲ差カエ追加緊ア造り必要アル所差カエ
  - 常回海囲ニ關係ヲモ未タシタルヘシ
  - 組合ハ商人全機会ヲ主トス然ルニ小組合全等ハ
  - 漁モ行ハレス大專ニアリ
  - 漁民ノ勞動及漁業大專ニアリ
  - 漁工等ヲ營ム老男ハ農業の經濟ヲ喰ム
  - 旧漁場ト漁業保護宜敷ヲ得ルトキハ漁場ニ變更無
  - 渔粉團体仲裁法赤崎明治大舟渡村
  - 紛糾明治貳六年ヨリ廿八年マテ全断右行政裁判ニテ數百年ノ慣例
  - 捕獲魚類ト沖合賈利害多ク奉リ此事は宮城縣下唐桑辺ノ者
  - 渔業第一ノ宜敷カラサルハ所業ナリ此事は宮城縣下唐桑辺ノ者
  - 渔方法及税法當時ノ設ル必要ナリ
  - 促前ハ四ト役ト唱ベ舟大小ニヨリ觸付此定觸ハ村々の情況ニヨリ
- 二、漁業調査
  - 海產物凶年ノ備荒品及製造
  - メノコヒツキウコーテン草ニ似者有
  - ウコハ煮出シタル水ネンカンツカヘリキアリ故ニ之へそは粉
  - 其他の粉ヲ交セ粥トナシ食物トス
  - ヒツキハ水ニ入レ川ニ瀉シ氣去リ後種トナシ栗稗ニ入用ヘルナリ
  - 年ノ状況況
- 三、凶年ノ應政ノ救助方法
  - 郡食糧課主急シ後客附等トナシ課主ヨリ賀与ス所有主云々等ニ
  - 因凶年后ト物主はレシ母スルノ權力アリ
  - 因凶年后ハ赤脚病チヤウチフシ流行ス租食者ハハレ病ヲナシ
  - 明治十五年コレラ病ニテ百人計リ全十九年百廿九人死亡

#### 漁民需用品

- 一、海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望
  - 山林ノ状況ハ本郡越喜来村世田米村ニ行レアル村費ヲ
  - 以テ勤業トステ杉年々童村ニ付童万本冠植ハ方法在リト云
  - 佐々木哲之助曰

- 明治八年吉野杉ノ種買入仕出獎勵セシニ目今廿五万本程の應求アリトアラ雖逆モ應ス兼ル今日ナリ依テ佐々木哲之助老繁ニヨリ四年苗壹年三錢三ヶ年試ヲ以テ佛植付人の需ニヨリ苗主ハ植付へ居員數ニヨル一郡内無運販ニシテ仕送リ明治八年ヨリ今日迄行へ

○居ト云有山等ニ分部木ノ法ヲ以テ植ル后三十五年四十年ヲ

○新以入ニモ約定ヲ結方方法アリ

○新以入ニモ約定ヲ結方方法アリ

○竹目今千石目外ノ杉七百五石目自古年々輸出セシモノナリ

○麻大木麻糸物消費年額一千石目山岩谷堂水沢希二ハ鑑子港ヨリ購求スルナリ

○造船ケアケ年山の目綱及年々追舟百円麻二百貫又

○カカツコ船艤及年々追舟百円麻二百貫又

○木材ヘ堅赤木魚捕便携スル舟ナリ年々有合舟一分通りハ追舟スルナリ

○将来木材ヘ需ハル便携宜の場所市官林トス

○改良舟具改良ノ方法

○費本村点二付及ハスノ場所冲ニテ用スルト湾ニ魚秉ラスト云

○盛市衣巾着綱ヲ急ニテ用スルト地方トス

○盛市衣巾着綱ノ場所東京食物西園伊郡遠野江刺郡岩谷堂

東磐井郡大原石仙台

海  
灣

- 津浪二付テ 末タ 変更ヲ見ス

1

- 海苔 蟹 蟹 海藻 海鼠 鱿

四

- 貴田村二全久

五

- 本村 塩田 沙除堤防三百廿間一耕地堤防兼ル一藩政二八藩主手行へ破壊スルト郡内受負人夫一一定人夫ト云一ノ内ヲ以テ

- 一新以采地相改正未ヲ云一營業者持トナリヘニ二十人組ニテ行フ  
則廿人ニテ今回破壊堤防其他ノ修繕當然ナレトモ逆モ



海事考

四季氣候

- 五十五トノ寒暖二ナルト降ル新十一月中旬ヨリ二月上旬迄降ル  
八五五トノ寒暖二ナルト降ル新十一月中旬ヨリ二月上旬迄降ル

11

- 見 大風ノ兆ヘ佐々木哲之助曰「一月ノ下ニムラ雲出ルト直ニ稍（一寸ト云フカ如シ）ハサルハ大風ノ兆也」

- アニ舞ハ量成亥ノ翌ニアラフレタルトキハ廿四時内ニ必ス雨此如キ人マエモニ似タル舞ナリ
- 二、○不漁未申ニマカ舞(アカ謀リヤ)アラフルトキハ直ニ雨
- 三、○大漁前知大漁前知大漁ハ分明ナレトモ五十年三回鱈ノ大漁ハアルト云  
明治廿九年ヲ去ル四十八年前(嘉永貳年ナリ)一盛湾ニ鱈大漁  
泊干場七日間ニ二千石櫛出シタル事アリト云此如大漁末タ
- 四、○潮不順古ニテハ嘉永五年鱈大漁舟晝孟ニテ■■セント云一
- 五、○潮未詳況況況況況
- 六、○海灣ニ關スル事歷  
○海面ニ海岸ヨリ四百間以内ハ其村々所有漁場トス四百間以外ハ  
共同有ナリ氣仙海岸ノ沖舟等トスヘ佐共氣仙本哲之助曰一
- 赤魚ハ沖舟ナリ凡三千里崎ノ沖ニ鱈治ケ根ト云其根左ニ  
立石山ト云アル凡三千尺去ルトモ云根里村
- 鱈立石山ト云アル此山ニ鱈治登リ數年間考察視スリテ発見セシ  
根在リ初代鱈治カ根三月近ク子供ト小鱈治ノ根ト云アリ海岸ヨリ三百間走ル所ニ  
鱈在近傍ノ根丹以南ノ共進洋漁場ナリ此根岩近傍ハ南ハ
- 七、○固有漁場ノ變遷ノ状況  
八、○津浪ノ歴史
- 九、○津浪ノ來ルヘキ前兆  
○地震ユリヤカナル地震永キトキハ馬イナナク雖ナカス  
大ホユルノ地震ニハ津浪ノ前兆ト云
- 一、漁村換回  
一、迅速ナル業務  
○本村漁告取揚場ヲ以テ迅速ニ挽回トス小舟ヲ造ルト納屋立テルハ  
必ナリ
- 二、造船尤有無工有木村ト金ノ乏數ニ困却
- 一、民將來ノ企望  
一、管内沿岸一致漁業組合設立方法  
○管内沿岸一致企圖スルハ容易ナラズ是迄組合ノ方法ア益々獎勵保護  
二、授產方法二付便利見込有無
- 三、○他ヨリ團体ア造リ漁業ニ来ル者アルトキハ如何スルヤ  
○他人ニニ權力アサル機村元權限可ノ方法ヲ以テ組合規約シ  
條項ヲ加ヘタシ
- 一、地產業被譽調查  
一、家畜ノ關係  
二、○耕地被譽  
○津浪ノ為メ流亡セシ田畠ハ時節ニ植付而ク能ハサル事アレトモ  
本年ノ如キ場合ニハ田畠共赤ヒカ種ハ塙氣ノ地所ニ通スルト云事  
ヨリ瀬入田ニ植ルト云

商業調查

## 物價相場魚類販路

○ 目今 蜂 蝶 魚 漁アレハ 價廉ナルモ 販路 差支無之

11

○金利制規利子一二割三厘

陸前国氣仙郡綾里村

●本村海囁被害地八字 石濱 港 田濱 野々前 砂子濱

Guttmann

1

○ 潟戸数

### ○死亡人口

ケ所ナリ  
ニシテ

○流亡新屋  
○其事人日

漁村新位置

一、新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害

○本村被害地ノ内元居宅地変更セシ所ハ石濱港向濱ノ三ヶ所ナリ

○ 港(ハ) 本村(ヒムラ) 第二(ドニ)ノ 帽(ヒョウ) 機械(キケイ) 地(チ)ノ元(ハラカ) 町(チヨウ) 郡(クニ) ノ小(コトハ) 市(シ) 街(ケイ) ノ港(ハ) ナリ 土(ト) 地(チ) ハ 面(ミヤビ) ヨリ

二尺ノ地故ニ平素激浪ニモ時々浪打上家ヲヒタシ事アリ故ニ

西側山手二宅地ヲ移シ 將來永遠不朽 完全ノ地ニ居住セシメント  
ト行方不明

<sup>10</sup> 《中華人民共和國憲法》第 35 條：「中華人民共和國公民有維護國家統一和民族團結的義務。」

○字石濱 白濱西所モ元宅地居住ノ見込無キヨリ石濱捨置ヲ引機ケ  
正記ノ後、日寶ノ口手ハ毎半世山ニニ毎面ヨリ三省尺モ高キ所ニ

宅地ヲ設ク白濱ノ如キハ海  
多専也?已々々々

二行 母可乃ノ高氏及治羊ノ也移行立

○下村ノ第、東大年二面ノ村内坡等ノ海賊、南七二庄ノ三方皆

○本村ノ湾ハ東大洋ニ面シ木内被書ノ海港ノ南北二在リ三五  
海面十リ是カ為故ナリ其也郡者也詳細記入ス

三、単音濁音ノ面ナリ是方基場所ナレル時場所其他音諾片語絆語ノフ

○横里村東大洋直面、車良、東比呂ノ敷照二町込ミタルヤ如

○ 東大洋直面沙清港ノ東北三里濱野二 打运ミタ川ア奴シ  
洋細、木部等因ニ記ス

○本語音訓合圖二回計

○本邦諸里清流合ノ地詩リノ所汎良汎ニ従事ヤシニ音ニ而詩  
大泡ノ音ノ如ク聞シノミ坡良毛荒ク無クヲタヤカニテ十六日

明方夷リタレニ 大海蟲 號帆セシ 梅賣參音 実二聲キ 上陸セリ

- 四 湾内ニ居タル大砲ノ如ク圓キシヲ素氣ハ港ニ着セン 音ナラント  
 ○防風林及防浪林其他堤防必要之有無
- 五 魚付場及港近傍山林原野ノ養況  
 ○本村及海溝共山ニ杉年々協議ニヨリ種植付ハ必要ナリ 詳細部落図ニ記ス
- 六 新村内ノ人夫ア以植木ト云  
 ○新道路ノ見込及古道ノ便否ルト云
- 七 漁村沿岸運搬ノ便否  
 ○本村ハ小半島故山坂峻アリ故ニ運搬ハ舟ヲ以テ便利トス
- 八 住家  
 一 海濱住屋ノ建造ノ方法  
 二 ○住家別無  
 三 ○海難隔離ト納屋ト難合ノ利害  
 ○別無住屋建造ノ遺法ノ有無
- 九 民風俗  
 一 禁事婚姻家庭状況  
 ○禁事ハ大漁アルトキハ村社ニテ祭ル溺死者アルトキハ  
 ○臨時施設我鬼ヲ行事故アリ  
 ○本村亦赤魚大漁故本年六月ハ村社ニ於テ大漁祭り行ヘ  
 ○○赤魚五十年前大漁故四年六月十八日一ノ瀕死者供養ヲ行セリ  
 ○○神官者アルトキハ神官ニ托有志者ニテ祭ル亦タ年回モ全ス  
 ○○不漁官者アルトキハ諸祭ト唱へ海濱ノ精淨ヲ折ル  
 ○○神官トシテ漁業部民故ニ山手村ヨリ縁組ヲ  
 二 漁民忌ムニアラス田漁港ニ漁業一方ノ者モアレトモ僅々ナリ  
 ○算ト云事ヲエヒント云娘ヲヤエント云妃ヲ長虫ト云  
 ○生産死亡ヲ忌ム本吉辺昔ハ臺部ニ僅ノ家屋ヲ立產室トナシ  
 ○宮城県本吉郡本吉町出産ニハ必ス此所ニ行キ産室本縣南隅伊郡釜石町ニ  
 ○伊豆國大島郡在リハ尤有リ女月々血(月)經ニテ此產室ニ行キ  
 三 食物  
 一 梓耳染事有リ染事ニセシ有リ  
 ○斐神八分米貳分凶年ニハ大根トコロ蕨ヒコサ松皮浸  
 ヒツキノ葉(マルコ葉)若布細布ヒツキ穴布等ナリ
- 四 衣服  
 一 漁民木綿八分麻ハ纏ノ上着ナリ夏氣常衣トス
- 五 漁盆旧名季  
 一 漁盆旧名季七月上旬旧十二月末
- 六 塗被  
 ○本村漁民ハ春ハ遠島(仕鹿辺)辺廿人位秋南部地方(釜石辺)人位北海道ヘモ拾人位アリ遠島及釜石地方出稼の如ク家ニ歸ヘ

○大工木挽ニテ平素八拾人位 釜石地方遠島地方ヘ出稼在リ  
今回流亡如職工ヲ取調ニ大工廿三人木挽三十四人ハ他ニ出稼キ  
良賈慣ト不戻習慣ト種類  
○吉凶共ニ契約ア若者ハ互助合惡事ヲ除去スル方法ト  
貯金ノ如キモナリ月々年々貯蓄ノシ置クモノナリ

选材制

- 一 漁業組合ノ状況及改善ノ策 ○漁業組合ハ日没クシテ充分二等地ノ効見ル能ハス

二 民ノ勞働動員及復業之順序 ○夫人民ノ勞働動員及復業ノ為メ海二漁婦ハ農業ノ為メ山ニ勞働スルヲ以テ本村

三 商團ノ業ト工是ニ次ク商團々ナリ農漁兼七分工漁業一分旧漁場新漁場ノ位置ノ状況 ○昔立網海岸近ク寄リタルハ目今ハ沖ニ寄ル是レ

四 漁場獨占セモ近年ハ三拾頭位内本村ニテ十ヶ年前百五拾頭位 ○仮令引取ト云ヘル數十年の間想尤變遷アルモノナリト云

五 捕獲魚類販賣の利害 ○漁師本訴前仲裁法從前粉撲仲裁ハ成丈村内ニテ備メ及ハサルトキハ隣村長仲

六 薄役及方法 ○有力者ハ漁舟ヨリ舟底差出シハ漁船部品分方法ニテ漁師ヲ營む者ハ有力者ノ

七 漁業組合ノ運営 ○有効者ハ漁業組合ノ運営者ハ有効者ハ之カ為

八 漁業組合ノ運営 ○運営者ハ漁業組合ノ運営者ハ之カ為

九 漁業組合ノ運営 ○運営者ハ漁業組合ノ運営者ハ之カ為

十 漁業組合ノ運営 ○運営者ハ漁業組合ノ運営者ハ之カ為

凶荒調查



漁民需用品

- 一、海岸山林原野ノ状況及林業ノ企望但材木新鮮木ヲ云  
○本村多ク雜木故ニ村内協議ヲ以テ松杉ノ植立ヲ  
企望スル所ハ多ク雜木故ニ村内協議ヲ以テ松杉ノ植立ヲ

二、竹木大麻糸等物消費年額  
○大麻糸水沢岩谷堂及織子東京ヨリ買入又大麻一ノ間  
目大麻糸地方及高田町盛岡町ヨリ買入大麻一ノ間  
目大麻糸水沢岩谷堂及織子東京ヨリ買入又大麻一ノ間

三、○○○竹竹ハハマ本郡横田村産及地元元産ニテ足利  
市及高田町盛岡町ヨリ買入又米崎塙釜迎ヨリ買入  
○○○竹竹ハハマ本郡横田村産及地元元産ニテ足利  
市及高田町盛岡町ヨリ買入又米崎塙釜迎ヨリ買入  
○○○竹竹ハハマ本郡横田村産及地元元産ニテ足利  
市及高田町盛岡町ヨリ買入又米崎塙釜迎ヨリ買入

四、造出植樹及年々追加ノ員數  
凡貯木八百円ヨリ一千円其他諸費マテ一千円位

- 本村左ノ如シ  
○木村合カツコ舟百艘 サツバ舟三拾艘 壓舟二十艘 游舟廿艘
- 四、  
○木村郡日比市官林所將美漁舟漁具改良方策  
○木末タ漁民連マスト羅將來見込アルハ 第一改良舟ナリ
- 五、  
○衣服食糧供給ノ場所 逸民未高田町盛町 食物八舟米石巻塙釜ヨリ買入其場所本港ナリ酒造家アリ 薬油吳服小同物惣テノ商業在リ 東磐井郡大原石巻地方トス
- 六、  
一、海  
○旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
二、  
○海灣ノ主産  
三、  
○海灣捕鯨魚赤魚鰐字砂子漬ノ蛙  
四、  
○沖縄合浦漁業ノ位置里程無  
○本村船百六拾哩ヘ山無 ■■■ 時大同小異  
○時々村ノ主産立石沖ヲ見ル場所 旧藩時代外國船通行 旧藩ノ  
○漁舟ノ目次二ヶ所ニ唐船見番所在リヘ方今ノ望樓臺一  
○北ハ大小山々本郡五乘山水上山其他本村富士等ヲ以テス  
五、  
○製塙場位置  
○塙竈ハ石濱二ツ 野々前壹ツ白濱壹ツ皆清水塙
- 海事考  
一、四季ノ氣候  
○雪梅花旧九月下旬ヨリ一月迄降ル昔五尺位積リ目今一尺位  
二、  
○起風雨前知 旧二月咲ク  
三、  
○不漁前知  
○山野草木ノ葉ニ虫付タル等ヲ以テ立木沢山ナル所夏綠々トシアル色虫付着  
四、  
○大漁赤楊ノ葉食辰ト山色夏山ニアラス秋山ノ如シ然ルトキハ  
○潮流状況多ク未サルトキハ大漁アリ  
五、  
○潮南ニ流ルトキハ漁アリ北ニ流ルトキハ不漁ナリ  
六、  
○海湾二箇所事歴一百年前一寛政八年一之港ニ一家五六戸有リト云  
○治廿三年ヲ去ル百年前一寛政八年一之港ニ一家五六戸有リト云  
七、  
○固有未詳漁場ノ變遷ノ状況  
八、  
○津浪ノ歴史  
○天保六年六月ナランニ港人家ニ破損無  
○海岸ヨリ五百五拾間マテ浪走タリト云  
○安政三年七月二十日地震此津浪海面ヨリ拾尺打上走百五拾間  
○文久ノ津浪大潮ト唱へリ打上浪高十三尺二百間走り浪アリ大潮里村寛政六年換地此當時幕所未詳其前享保十二年  
御機地■■■ト云此當時幕所■■荷所■■テ在リト云  
（此文字書ラス無字ノ誤リナラン）

○文政四年八月十日ヨリ兩日々一二三日ニ一溝水坂本川根川  
供へ洪ニ水銀鐵里村大川堤防破壊（岩崎土手）（十五間三十面）  
津浪風の為メ海潮走込ミ鐵里字岩崎ハ潮水ノ如クナリ  
其津浪又タ修造云方無シ非常の大害ナリ家モ滅亡耕地ハ勿論ナリ  
九、津退詳不詳本村千田学治父の話

一、漁挽回迅速○漁業務  
二、造船工事有無○船工舟造リハ專務ナリ  
他府船工老人等人殞り皆死亡是二困知縣ニ出頭  
字野々崎ヨリ雇入企テ有リトキ木挽居日雇鐵二面ニ  
一日三拾鐵三四坪ノ板ヒクト云

漁民將來企望  
一、管内沿岸一致漁業組合設立方法  
二、授產方法二付便利見込有無ハレス  
他府縣別無ア造り漁業ニ未ル者アルトキ如何スルヤ  
良產地ヨリ熱達の者ヲ移住セシムルニ便アリ

陸地産業調査  
一、家畜ノ關係  
二、耕地被害

商業調査  
一、物價ノ相場魚類販路  
○物價三副前口高直魚類販路速ニアレトモ漁舟無キ為メ  
二、貸借動及金利質屋景況  
○金利一分通り當分利子見ル能ハス

44戸	漁亡戸	漁戸	整戸	整人口	負傷	死亡	男男女女	生存者	死家
264		15戸	2795				7312	3897	103
125	カツコ舟	サバ舟	15	整					
35			15	整					
全戸	漁亡戸	漁戸	整戸	整人口	負傷	死亡	男男女女	生存者	死家
45戸		6戸	248				741	74	絶家
28戸									
125	カツコ舟	サバ舟	15	整					
35			15	整					
全戸	漁亡戸	漁戸	整戸	整人口	負傷	死亡	男男女女	生存者	死家
45戸		6戸	248				741	74	絶家
28戸									
125	カツコ舟	サバ舟	15	整					
35			15	整					

● 本村被害地字浦瀬泊四ヶ所  
○ 濟亡戸數  
○ 濟亡屋敷  
○ 濟亡人口  
○ 濟亡馬  
○ 濟亡牛  
○ 濟亡財產  
○ 濟亡人馬  
○ 濟亡人財  
○ 濟亡人船  
一、漁村ノ新位置  
○ 本村家ヲ移転ヘキ地及旧生家トノ利害  
○ 東北ノ山手ニ新居住地ヲ設ル設計中其他部落多少海瀬ヨリ  
二、海引網高底及沿岸地形方位  
○ 本村面ヨリ高低及沿岸地形方位  
三、津波ノ来タリタル場所所湾内ノ三隅ニ在り既ヨリ津浪打込ミ  
四、防風林堤防林他堤防必要ノ無有故ニ被害多シ  
○ 風林堤防林他堤防必要油り浦瀬防風林ノ植付等ハ目下ノ急務ナリ元浦瀬  
五、魚付場及海邊近傍山林原野ノ景況并ニ林相ノ種目  
○ 魚付森林從前ヨリ伐採せシカ令回津浪成  
六、新道路材ノ見込及古道便否  
○ 新道路ヲ造ルニ便否アリ（本村一半島故ニ里道ア車道ニ南北ニ造ル）  
七、本村沿岸運搬ルニ便否得トモ南北ニ遠隔故ニ沿岸舟ヲ要ス  
○ 本村ハ陸路開通ノ便ヲ得トモ南北ニ遠隔故ニ尤便ナリ  
八、住家  
一、海濱住屋ノ建造ノ方法  
○ 住家ト別無  
二、住屋構造ノ利害  
○ 海濱住屋ト構造合ノ利害  
三、別ニ遠法無シトモ雖モ本村旧家ノ宅地ハ皆高キ所ニ在リ  
九、民風俗  
一、祭事婚烟家庭ノ状況  
○ 不禮事無  
二、漁業者ノ度量者溺死者アレハ僧侶ニ托シ漁祭リヲ行フ  
三、食糧衣服  
○ 食糧衣服米糲年穀里村ニ全ヌ  
四、衣服  
○ 衣服洋服  
五、漁業  
○ 漁業衣服供給ノ時季  
六、出稼  
○ 出稼年々北漁道及其他出稼ノ時季  
○ 出稼年々北漁道及其他出稼ノ時季  
○ 出稼年々北漁道及其他出稼ノ時季

七、良習慣ト不良習慣トノ種類  
○家宅立替屋根ノ葺替等ニ部民一同 加勢ス 如キモアリ  
月々々々留錢ヲナシ置クモノナリ

漁村制

一〇漁民ノ労働及獲業ノ順序

二〇旧本村ハ農漁兼業故ニ夫ハ海ニ漁シ婦ハ田野ニ耕ス

三〇本村場所新漁場の位置ノ状況無

四〇漁場紛糾争ヨリ漁場変更無

五〇從前前ハ和尙ニ禪ミ仲裁ヲ得タル事多クアリ方今ハ行ハレス

六〇漁業スルト合三百代言額食ニナル

七〇本村ノ漁業ハ舟主ノ利害改ルニニモ主ハ漁民雇入使役スル故ニ沖賣盛ナリ之ヲ改ム改ル舟主ハ憲義ヲ守リ漁民ニ一部分ケ法三ノ方法及税法

八〇漁業ノ當同一時手續實ノ方法及税法

凶荒調查

二、○凶年ノ状況  
三、○凶年天保ノ凶年ニハ人多ク 路傍ニ號ル  
四、○凶年ノ際藩政ノ救助方法  
四、○凶年村凶年ニ藩主ヨリ救助米ヲ下付 賴元食（各村ニアリ）開キ 救助  
四、○凶年及内有力者藩命ニヨリ粥ヲ施シ  
四、○凶年津浪後ノ流行病

漁民需用品

一、海岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但村木齋換木ヲモ云  
○前條魚付場ノ煙草ニ記スル如ク本村用材不足故ニ植立ニ從事

二、竹村内協議ニヨリ二十錢三十錢徵収ス年々植ル

○綱ハ水沢岩谷堂麻東京糸物ハ本村ノ產ニ足ル

三、造植種本村及年々小友米崎壇釜地方ヨリ求ム消費高詳ナラス

四、木カノツバサハ船頭數舟年々八分ノ一宛新舟ヲ造ル

○木本郡日比市官林ヲ以テ便利トス

五、將來本民漁具改良ノ方法酒セス

○漁食供給ノ場所酒金

六、本部町及東京所酒金

典故

#### 四、沖合漁業の位置里程

五、○蝶舟百五哩 赤魚 サカ 二十哩

○本村ニ五ヶ所皆流亡内浦濱二ヶ所甫續壹ヶ所  
再興二ヶ所外八當分見合

卷之三

## 一、四季ノ氣候

○雪 旧十月ヨリニ一月迄 降ル 雪 壺 尺位 梅花 坡岸 咲ク

○起風雨前知實質端ノ砂ヤフラカニナリタルトキハ風ノ雨降ル海ノ街ト唱ヘ  
浪雨天中ニモアルトキハルトク見ヘルトキハルト云二三日中ニモアルト云

未二絵図二示シ



此圖ハ浪道ヲ記ス

### 三、不漁前知

〇不詳

○大漁前知  
○梅草山二生有久ルトヰハ 大漁ナリ

○○ツ々花多ク咲クトキハ其年蟹漁アリト云  
○○カタチムリ多キ年又全ス

五、○瀬流状況  
○春南二 瀬流ルトキ 游アリ

○本村ハ河川沢川不足風水ニ乏數為メ力キ水強ク為ニ  
于其時ノ御事御用御使出

七、固有漁場ノ變遷ノ状況

○未詳

## 八、津浪ノ歴史

九、津娘來「午前兆

○全譜

卷之二

一、迅速增加儿童营养

○カツコ舟ヲ 造舟ト 漁具製スルハ 緊

<sup>1</sup> 二、造舟職工有無

○遣舟大工 欠乏 遂々 僧三引 尾

### 漁民將來ノ企望

## 一、管内沿岸一致漁業組合ヲ設

一、○未夕考無  
二、受產方法二付更利見込有無

三、他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ

○漁業二 製造二 適当ノ産地ヨリ 二三戸宛 良漁師  
移住ヲ需メ度モノナリ

## 陸地產業被害調查

○馬百三頭牛二十壹頭死亡

○田拾九町五反步余 畑 七町九反步余 宅 六町貳反步余 潤地

商業調查

一、物價相場魚類販路  
○津浪后二十日目

一、貨借變動及金利實屋景況，支差無物價騰貴八方。

○金 壱割ヨリ壹割五分 質屋 無

●本村被害地字橋本川原

○ 流亡戸数 ○ 潰戸数

○ 潘納屋  
○ 死亡人  
○ 氣子群

○流亡牛馬  
○流亡財產  
○流亡耕地田畝  
○流亡道路堤防

○流亡納屋

○負傷人口

## 漁村の新位置

○本村被書地ハ二ヶ所内壹ヶ所ハ被書 非常二付逆元居宅ニ永住ノ

○本村字橋本川原海面ヨリ三尺 宅地 四五尺ナル所 今回 海嘴二テ

三、津浪ノ来タリタル場所  
○東ヨリ眞西吉濱湾二打込

四、防風林及防浪林其他堤防必要ノ有無  
○日本本邦海岸在来るノ堤防二百間余破壊其他土地陥落ノ為メ更ニ

○防風林ノ如キ尤必要ヲ認ム 安政間 有志者 浪防森林ヲ植付タルニ

五、魚付場及海灣近傍山林原野景況并林相ノ種目は將來必要方法ヲ設ケ

○藩政ノ比海岸近傍惣テ森林伐採ヲ禁ス 旧藩主御手行ヘ  
清水製塙所(塙竈)の薪料ニモ一切海岸樹木伐採セス 一新以来

乱伐ヨリ魚族沖ニ寄ル

- 六, ○新道路ノ見込及古道ノ便否
- 七, ○漁村沿岸運搬ノ便否  
○本村海運ノ便欠ク能ハス
- 一, 家  
二, ○住別無屋ノ建造の方法
- 三, ○住家ト納屋ト離合ノ利害
- 四, ○旧家ハ皆高キ地ニ建アリ 今回津浪ニテ流レタル家ハ  
凡一二百年以來の家宅ナリ
- 漁民風俗  
一, ○祭事婚姻家庭ノ状況
- 二, ○托大池ニ祭ル不漁二ハ浦々祭ル渴死アレハ諸祭等神官ニ  
三, ○漁民養子ハ陸山手ヨリ船舟ニ毎差時食物ヲ煮ニ乗舟セシム
- 四, ○食○衣服被髮麥米凶年
- 五, ○漁衣木綿食九分麻壹分
- 六, ○被舊町村七月月日年時季  
○春奉南南東社鹿郡年々北漁道及其他出稼ノ状況
- 七, ○良北北海道へ良拾人位拾人位秋北釜石宮古へ拾人位  
○家賃借ト不良習慣トノ種類器物五姓宛へ人夫加勢ス屋根普査  
然五拾以内ハ百ヒ口宛人夫ヲ得加勢ス年数軒アルトキハ因ル尋常家作屋■■■■■■■
- 漁村製  
一, ○漁業組合ノ状況及改善ノ策
- 二, ○漁業組合ノ規則適スト雖モ海囁ニ付追加必要ヲ見ル
- 三, ○旧漁民ハ勞動及復業順序ノ順序
- 四, ○漁場在来漁場自然沖二審ル  
○從前ハ仲裁法故二八寺セシメ七日間和尙ヘ申試ヲ願種類組合七日間
- 五, ○捕獲魚類沖合販賣ノ利害
- 六, ○藩政當時ノ方法及税法
- 一, 荒調査  
○海產物凶年ノ備荒品及製造
- 布ノ粉ヒツキ陸ハ壹人ニ付夏成麦壹升秋成田稻  
谷畑穀粟壹升外村備荒倉二貯蓄ス

二、凶○未詳ノ状況

三、凶○未詳ノ際瀬政ノ救助法

四、○安政三年及津浪后の流行病  
○安政三年津浪后赤痢病流行

#### 漁民需用品

一、海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望但村木薪炭木ヲ云

二、○竹木大麻糸等部落ニ共有杉植立ヲ年々協議ア以テ植立ル方法ヲ設フ

三、○造船網ハ大麻糸等年額消費量年々協議ア以テ植立ル方法ヲ設フ

四、○造船員數年々造船命八分八トス

五、○木材需用ル六船命八年流舟命八年螺舟八年

六、○漁改良舟漁具未タニ達マス

○本郡日比官林所内本郡日比官市郷道官林  
遠野町不足ヲ見ル場合ニハ盛町高田町ニ滿ムト雖モ容易ニハ無

#### 海灣

一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二、○海灣主産

三、○海灣捕魚赤魚螺鰐鮭

四、○冲合漁位置及時期  
春 螺 鰐 夏 螺 鰐 秋 螺 鰐 冬 貝類 鮭

五、○製塙場位置  
○三ヶ所在リ二ヶ所再興本村六分

#### 海事考

一、四季ノ氣候

二、○起風雨前知

三、○不漁前知

四、○大漁全前知

五、○潮流全前知

六、○海灣二閘スル事歴

七、○固有海港ノ變遷ノ状況

八、○津浪ノ歴史

○安政三年七月廿三日津浪十尺計リ打上多ク河川ニ押入

#### 漁村

一、迅速回

○カツコ舟造ルニアリ



住家

一、 海濱住屋遭難ノ方法  
二、 ○今回の津浪ニテハ家屋小ナル方死亡者無大家屋ニ死亡怪我多シ  
三、 ○住家ト柄屋ト離合ノ利害  
四、 ○海濱本宅ト卜屋遭難ハ勿論（一百行五十歸）水火災ヨリ衛生上ニ至ル迄便ナリ  
五、 ○日日家住ハ屋遭難ノ法有無

漁民風俗

一、祭事婚嫁家庭ノ状況

- 大漁ニハ字本郷ノ大杉神社ニテ祭典ヲ行ヘ小村落ニハ
- 不漁死ニハ神官ニ托湾内ニ於テ舟ニテ海濱ヲ巡リ祈ル
- 山手の村落ヨリリモ皆養子實受爾事ヲ好マス嫁ハ何レヨリモ真ナリ
- 是本村レ以テ本村木俗之本村戸長奉職セシ比私生ノ子ハ拾五人在リ
- 本村人字本郷ノ学校教員知ルニ足ル妻本村女風俗ヲ改良セント
- 婦人へ章人ニ付十錢ヨリ貰錢迄ニ他ニ出釋スルトキハ支度料ニ充ツシメ
- 或ハ子共教育料ニ充ツ其義舉ヲ以テ大ニ本村女風俗改良セリ

二、漁業農作物

- 出產ヲ忌シシム死無シ春分始アルトキハ近傍農家ノ宅ヲ借セシメ

11

○粟稗麦米布ノ粉大根

1

1

○ 〔旧盆〕七月年未十二月 豊後國大野郡大野村  
立清及衣食共給ノ特許

12

○本村家業の為メメ出稼ト云者余無如テ他ヨリ雇入ルナリ

1

○本村村長  
○本ニ在リの故ニ此規約サカ漁ヲナシ漁場ヲ争ヘ基數ハ漁師ノ多ク行  
取日ニ此規約セ七十余箇條ヲ編綱リ正ハツシマ禮賀等テ花十一月一月ヒニコ  
ヘ湯集メアトシ漁民ニ右尾崎正明販賣漁師等テテ花十一月一月ヒニコ  
事葉山ヲ開キ三月右尾崎正明販賣漁師等ヘ參詣セシム一漁民年齋ヲ以テス  
用金小額ヲ網小規約専用金以下下金募集ス是レ沙合費トス  
之又小額ヲ網小規約専用金以下下金募集ス是レ沙合費トス  
之又小額ヲ網小規約専用金以下下金募集ス是レ沙合費トス

漁村記

○漁業組合による状況及改善の策

- 一、漁民ノ勞動及漁業の順序  
 ○漁業ハ七分農業三分男子 海ニ漁シ女子陸ニ耕シ山薪炭ヲ
- 運ヒ家事ハ男女ノ権利ニアリ
- 二、○日陸上販賣場ノ位置及状況  
 ○漁場ト新漁場ノ位置及状況
- 三、○日漁場ト販賣場ノ位置及状況  
 ○漁場ト新漁場ノ位置及状況
- 四、○漁場自然変更又ス沖漁場ニハ變ルコト無大浪津浪の為メ
- 五、○捕獲魚類沖合販賣の利害
- 六、○本村二ハ沖合販賣却スル事無シ
- 藩政ノ當時の方法及税法皆全ス
- 氣仙郡一般皆全スト雖モ大舟渡赤崎岡村ハ税高キナリ
- 凶、荒調査  
 一、○凶年明状況及將來ノ企望但材木薪炭木ヲ云
- 布ノ粉ヒツキ
- 二、○凶年ノ際藩政ノ救助方法
- 三、○凶年明凶年ハ本村戸數大ニ減セント云又タ天保ニモ少々減却ス
- 四、○未詳
- 凶年及津浪後ノ流行病
- 一、民需用品  
 一、○海岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但材木薪炭木ヲ云
- 本村ハ山林ニハ富ミ木材輸入ヲナシ尤唐丹村杉ハ昔吉野杉
- 二、○竹種選種セシモナルヨリ良村ナリ云（中村氏曰く）
- 綱大麻葉物消費量年額元方今東京ニ需ム元一ノ蘭水沢
- 糸織レトモ元方今橋木要ス此價格綱麻ニテ壹年二ノ蘭水沢
- 糸織ハ本郡米崎日比市両村ヨリ需ム絲織塩釜ヨリ買入トス
- 三、○本村ハ夏糸織所秋糸織所五ヶ所アリ壹ヶ所糸織三百拾円位トス
- 造船類及年々買入数
- △字大石カッコヘ舟ヘ大波ヘ十二ヘ鑿舟ヘ大波ヘ壹ヶ所糸織九ヘ小波ヘ四
- 四、○木材ヲ需ル便宜の場所
- 五、○本郡五葉山将來漁舟漁具改良方法
- 六、○漁衣食供給ノ場所
- 宮城塩釜石の巻南伊達石
- 海灣  
 一、○旧漁場ノ位置及変更の状況
- 二、○海湾ノ主産
- 三、○海湾捕魚ノ種類及時期
- 四、○沖合漁業ノ位置里程
- 五、○製塩所位置
- 本村二ヶ所壹ヶ所ハ明治十九年廃止壹ヶ所（荒川）
- 今回漁亡再興ノ見込



雨潤  
山茶  
海國圖志  
之序  
序  
海國圖志  
卷之二  
海國圖志



● 本村被害地八百三十戸○流亡戸數一百三十五戸○死亡人口馬百頭○流亡耕田畝数三十  
○本村被害地八百三十戸○流亡戸數一百三十五戸○死亡人口馬百頭○流亡耕田畝数三十  
字佐須白瀬平田壇石松原釜石六ヶ所○流亡人數三千七百六十五人○流亡船艤三百七十二艘  
○流亡戸數二十六戸○流亡人數五百八十二人○流亡船艤三百七十二艘

一、村の新位置

○住家ヲ設キ地及旧住家トノ利害  
○本町字佐須須モ元モ地ハ土地ヲ陥落セラン再興ノ見込無キヨリ

○釜石海岸アル百間計引上ケ地盤ルトキハ便ナルヘシ  
○釜石町ハ海岸六尺築市區小路ヲ更正ス將來の小津浪(ヨタ)ニ

二、地形

○本村の海面ヨリ高低及沿岸の地形方位  
○字佐尾崎ヨリ九尺釜石町ノ如キハ六尺地形方位ハ東大洋  
○字佐須ヨリ西ヲ經テ馬田崎マテ山南面ニ在り大洋東南ニ面シ白濱平田爐石松原  
○津浪面北ニアリ釜石町港面南ニアリ

三、港場

○釜石港の津浪打込ミハ本港ノ南尾崎ト兩石湾■釜崎ト西港  
○人口多シテ土地位ハ一殷ニ比スルトキハ中位ナリ  
○字佐須ノ如キ白濱裏ノ方向大洋ニ面シタル為メ土地ヲ

四 防風林及防浪林其他堤防必要有無

- 釜石町尾崎神社ヨリ須賀迄元防風林(一松樹)アリ又元年川辺マテ
- 凡三三百間計リニモアリ慶応ノ供水(一四年カ三年カ)■■■元年ナランテ
- 大二ニ流亡セハリ其后再植セサル為メ今回ノ海囁ニモ害多シ
- 津浪鉛山堤防ハ政府鑑定官行中ニ焼キタル堤防故ニ今回
- 宗真親書無シスルニ二字佐須平田爐石松原須賀二防風林之植立ハ急急務ナリ雖而潮止堤防モ金石町白瀬ニハ必要ナリ
- 魚付場所及海濱近傍山林原野の景況并ニ林相種目
- 付場所及海濱近傍山林原野の景況並ニ林相種目
- 伐採業者付林ノ所有者モ云々官有私有山ト雖モ官の許可無ク實買証ヲアリナリ私有トモ云々杉松其他樹木ヲ植立ヲ云ハ

- 一、住家  
 一、○海濱住屋ノ建設の方法  
 二、○住家ト納屋ト離合の利害  
 三、○本宅モ大利益アリ  
 ○別無
- 一、民風俗  
 一、○祭事婚烟家庭ノ状況  
 二、○○祭事ハ大漁ニハ臨時村社ニ行フ事アリ溺死者アレハ  
 三、○○家婦烟ハハ山手ノ農家モ燐へ無地且燐山屢失多キ為メ  
 四、○○家庭ノ状況本町漁民商民農民關係ノ地主漁船漁獲物ヲ  
 五、○漁業調定ノ状況記スル能ハス漁民ハ夫婦ニ漁船漁獲物ヲ  
 六、○本町ニハ從前ヨリ一新の初メマテハ沢村ニ産室アリ漁民ノ妻  
 七、○食糧分担期ニ至ルト此一小家屋ニテ出産セシム
- 一、衣服  
 一、○衣服米粟布粉糞年ハ草根木皮
- 一、木製  
 一、○漁業組合ノ状況及改善ノ策  
 二、○漁種民ノ勞働及移業の順序方法アリ既ニ三四年前ヨリ  
 三、○旧漁場本町に於て新漁場位置ノ状況
- 一、漁村制  
 一、○漁業組合方法効力未タ充分ナラス地方沖漁師及小漁師の者  
 二、○漁業組合協議セシメ組合方法アリ既ニ三四年前ヨリ  
 三、○漁業トスルヲハ從事漁ハ農業ニ從事漁アレハ漁獲物  
 四、○漁場本町に於て新漁場位置ノ状況
- 一、漁業  
 一、○捕獲魚類漁民等威脅ヲ犯シタルトキハ商人ハ之ヲ仲裁ス  
 二、○藩政當時ノ方法及税法  
 三、○藩政當時ノ方法及税法  
 四、○本町に於て新設販賣ノ利害  
 五、○本町に於て新設販賣ノ利害  
 六、○本町に於て新設販賣ノ利害  
 七、○本町に於て新設販賣ノ利害
- 一、凶荒調査  
 一、○凶荒產物凶年ノ備荒品及製造  
 二、○凶荒状況  
 三、○凶荒天保ノ凶歳ニ陞ノ農家ヨリ海岸漁民ハ飢ヘス海岸云  
 四、○凶荒明瞭凶歳ニハマカセト云小者モ漁獲スルハ故ニ凌易ト云  
 五、○未詳

四、○凶年及津浪后ノ流行病  
○凶年及津浪ノ流行病 未詳 明治十五年コレヲニテ四百人死亡  
全十九年百人余の死亡

- 漁民需用品  
一、○本町ハ用材薪炭木欠乏用材及薪炭権立獎勵ハ急務ナリ  
二、○竹木大麻薬物消費年額木炭大麻繩ハ水沢岩谷堂地方買入  
三、○造船等ハ西開伊郡内及宮城地方ヨリ需ム  
四、○木村手船ム半平壹ケ年二十艘内外製造スルナリ船員員数ハ未詳  
五、○未氣仙郡唐丹村官林ニアリ  
六、○改良船具改良官林ニアリ

- 海湾  
一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
二、○海湾未詳  
三、○海湾ノ主産  
四、○春捕魚類及時期赤魚目拔鰯其他海草類  
五、○秋捕魚類及時期赤魚目拔海鼠  
六、○製塙所位置  
七、○塙金ハ佐須ニ壹ヶ所平田ニニヶ所八ツ木壹ヶ所佐須平田  
位置管スル事無八ツ木ハ薪ノ欠乏ノ為メ時々場所変ル

- 海事考  
一、四季ノ氣候  
二、○不漁未詳  
三、○起シケヲ去ル天氣定ル  
四、○大漁前知  
五、○潮流状況  
六、○海事二回スル事歴  
七、○明治二十九年ヲ去ル二百年前元禄十年ハ二百年相當マテ  
只越川ニ天皇長屋屋場所所中町ハ皆海面ナリ追々嘗て埋立市街トナシ  
八、○沢村天基所於サジ辺元禄前ヨリ蘇ナリト云  
九、○私死セリ故ニ辰巳之助死ノ為河川供當時砂渡リノ辰之助  
溺死セリ故ニ辰巳之助死ノ為河川供當時砂渡リノ辰之助  
十、○金石町明治十六年四月大火ニ五百戸焼失全廿四年九月  
廿八年五月六百戸焼失

- 七、○固有漁場の変遷の状況
- 八、○津浪の歴史
- 九、○津浪の比喩
- 一、○津浪失へ長屋流亡十尺打上浪三三拾五尺此時漁船津浪ノ為メ
- 二、○ト云事アリ云是レヲ救助セニ關帆セシ漁民アリ大ニ戒メラリタリ
- 三、○未詳

- 一、○津浪回
- 二、○迅還ナル業務
- 三、○六丁立漁舟へ駆舟體六丁立故ニ及冲漁舟造船解綱製造ハ急務ナリ
- 四、○職工工有無殆ト困ル
- 五、○民情來ノ企望
- 六、○管内沿岸一教漁業組合ヲ設立方法
- 七、○考無方法ニ付便利見込有無
- 八、○他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ来ル者アルトキハ如何スルヤ
- 九、○漁業產地ヨリ模範漁の者適宜移轉セシムルニ便アリ

- 一、○地産業被害調査
- 二、○耕種被害
- 三、○物價相場魚類販路
- 四、○駆逐多ク沖ニ遊泳漁獲スル舟具無魚類販路ハ東京秋田ベ
- 五、○資本變動及金利實屋景況
- 六、○金利五分利實屋同断尤田中瀬山流通金券の為メニモ
- 七、○釜石地方金利高シ方今廃セシト云

地名	全戸	流亡戸数	漁戸数	生存人口	死亡人口	男	女
爐石	95戸	729戸	28戸	786人	2970人	11128	1325人
平田	149戸	104戸	3戸	646人	657人	4369	635人





○竹木大麻薬物消費年額  
○造船種類及年々造船の員數十壹ヶ年百三拾艘  
○天冲漁船及年々平均十分ノ一ヲ新造船スル  
○小網漁船命運年十五ヶ年二十代後半  
○タラ舟三四間櫓未滴へ小天當一命運年十三四代後半  
○木用材ハ宜所在地に於ける所  
○漁民改良の方法好マス

是 蟻住居村

○箱崎ハ打上浪三間余今回海嘴ト打上浪二差無安政ニハ流亡  
○家屋ヲ浸セシマテナリ室ノ瀬ハ安政ニ九尺打上ト云軒  
○室瀬二テ弘化四年六月十八日霖雨ニテ山津浪の為メ家壊  
○流亡セシ事アリト云  
○天明二年寅七月海嘴の為メ大仮借人民不残流亡其后民家無シ  
○江戸逆浪溢り溺死者數十人トアル此トキナラン降ル  
九、○津浪のノ白瀬二安政津浪海岸宅板簡潮浪打上タルノミ家人ニ流亡無  
九、○未詳未ルヘキ前兆

漁村挽回  
一、○迅速ナル業務  
二、○小船ヲ造ルニアリ  
○船工有無  
大工モ家作大工久乏他ヨリ雇入ル見込ミ

漁民將來企望  
一、○管内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法  
二、○良法ト云ナカラモ人物乏敷故六敷ナリ  
三、○授産方法ニ付便利見込有無  
○他ヨリ團体ヲ造リ漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ  
○改良產地ヨリ各業ニ付良漁民移住尤善ナリ

一、地產業被調査  
二、○耕地被害

商葉調查  
一、○物價相場魚類販路  
○鰯價スルトキハ販路中居雖舟具無漁獲スル能ハス  
二、○貨物三割以上騰貴一米ニ在ルトキハ販路大ニ外拾貰酒廿武錢一  
○金利二割ヨリ二割五步



- 一、漁業  
 一、○大須賀ノ当船 ■■左エ門ノ姓屋 安政三年津浪書無ト云此造リハジン脛實ノ當船  
 二、○住本家ト拘屋ト離合ノ利害所ヨルベシテ今大津浪ニハ滅亡セリ  
 三、○海濱住宅ト屋敷ノ有無利百景ニアリ
- 昔ノ民皆高キ地ニ在リ（且那屋敷ト云）現ニ吉里々々芳賀屋敷  
 ○跡ヲ見テ皆知ルヘシ詳細絵図ニ記ス  
 ○昔芳賀ノ家ハ津羅石ヨリ新城臺ニ移リ居住シ后慶長ノ大海上ニ近傍ノ者共新城臺ニ通カレ命得タルモノアリト云又タ芳賀刑部ノ家来北田某の居タル所ニ北田ト名稱今ニアリ
- 二、民風俗  
 一、○祭事婚烟家庭ノ状況  
 ○漁業不漁ナルトキハ神子山伏ニ祈拂フ頬ム指示スル所の方位ニ  
 ○舟舟ヲ走ヒ漁業ニ着手今ハ神官ニ托シナリ  
 ○港湾ニ見付次第アルトキハ湾内漁止メト唱へ漁業ヲ休メ死体搜索ニ  
 ○從事漁業ハ精淨ヲ禁第絶我鬼僧侶ニ隠ミ行クナリ后神官ニテ潜罪ト唱ヘ  
 二、○婚姻嫁娘ハ農漁業務故縁組ニ無  
 ○家庭状況ハ女子ハ男子ノ漁獲物ヲ所理實印製造女子耕地ヲ耕シ  
 ○漁民百事家ヲ守ル小兒十才以上ノ男ハ漁業ヲ見習セ海中ニ遊泳セシム  
 ○産婦アルトキハ共同忌漁業ヲ休ム死亡者アルトキハ忌マス  
 三、○食糧衣服米木綿糸麦穀布ノ粉
- 四、四  
 五、○漁民衣食供給ノ時季  
 六、○被舊町村七月旧九月ヨリ十二月マテノ内漁業盛ノ期節ヲ以テ供給ス  
 ○北海南道漁民年々北海道及其他出稼ノ状況  
 七、○良習慣ト不良習慣トノ種類  
 ○本職下氣仙郡瀬ノ捕介探瀬ノ如ギハ區域定マリ南伊豆至ルマテサハ八入仙台瀬ノ方法ヲ以テ施フ一新以来今日ニ  
 ○漁業方タ免ス区域ヲ定ルニ目的地元ニテ設置スル以テ区域定メ企望者再應募スル以テ間シ但ニ記ス  
 ○南宗眞上陸スル解セスルニアリト云企望者再應募スル以テ間シ但ニ記ス  
 ○△大船方法入合様一南部領ニ存スルヲ以テ利益ト云  
 ○△大船宮古釣糸等高浜漁區城在リ△山田区城無△茂崎山區城アリ  
 ○沖漁師一小糸ケサハ高浜漁區城在リ△山田老区城在リモソ云一置キ沖合漁業ニ付争論或ハ漁業區城争論等ハ年行事取扱キハ漁民一同不平ヲ云モニアラスト云  
 良習慣アリ年行有  
 一、漁村制  
 一、○漁業組合の状況及改善ノ策  
 ○漁業組合は迄の則ハ高尚ニシテ民度ニ適セス目今干涉放任主義行ハレ難シ區域方法改正參照ス  
 二、○前民更正ヲ企望スルに正アリ放任主義ニシテ民度ニ適セス目今干涉  
 三、○漁業の順序  
 一、○前民風俗一事一項家庭ノ状況ノ部ニ記ス  
 二、○未詳



- 一二 海湾ノ主産  
 三 ○ 捕魚類及時期  
 四 ○ 沖縄島内里程  
 五 ○ 本町所位山内五十哩  
 ○ 本町所位山内五十哩

海事考  
 一、四季ノ氣候  
 二 ○ 雪十一月未ヨリ正月ニ月迄

三 ○ 起風雨前後音アルトキハ風吹ク雨降ル

四 ○ 大漁前後  
 五 ○ 潮流ノ状況

六 ○ 海舟未詳圖スル事歴  
 七 ○ 官本町ニハ森林ニ從前所有者無シ山守ナリ愚木抜切モ冥加金ヲ  
 ○ 桑吉所ニ差出伐木セシモノナリ  
 ○ 全生々タテ安政ニ越船事在り明治廿九年ヲ去ル一七八八年前ナリ  
 ○ 大油船アリシト云釜石町向川原ニサジト云蓋ノ下ニアリ是レハ五寸八寸計

八 ○ 津浪ノ歴史  
 九 ○ 安政三年ノ津浪大槌町字八日町近ノ床マテ浪打上タルト云  
 ○ 明徳實二テ家三戸納一屋一四棟浪亡セシナリ  
 ○ 令回海囁ハ此島ニ打上ラスト云且弁天島堂宇一切害無  
 ○ 居モ痛アスニシ六七只煙火松柏レタルノミ  
 ○ 赤浪安政三年ノ津浪ハ通路宅地ニ浪打上ラス帳キ(水路)押入  
 ○ 長十六年十月廿八日大槌震三回ノ内此■■■大槌村横沢  
 ○ 詳細ハ本文写明紙ニアリ(○八百人ハ百人ナルヤ)  
 ○ 寛政五年正月七日津浪ニテ翌八日大槌代官所ヨリ下役見分  
 ○ 未詳

漁村  
 一、迅速回  
 二 ○ 舟釣早ク造ルニアリ又タ塙蟹ヲ改良スルニアリ  
 ○ 造舟工有無  
 ○ 死亡故他ヨリ屢入ルヨリ方法無

一、漁民將來ノ企望

二、○容易ニ致漁業組合方法

三、○授産方法付便利思へる方法

○他ヨリ漁業組合設立有無

○改良者ヲ各地ヨリ漁業ニ未ルモノアルトキ如何スルヤ

○改良者ヲ各地ヨリ三戸宛霑メ永住セシムルニアリ

二、地産業被審調査

一、○家畜關係

二、○耕地被審

三、漁業調査

一、○物價相場

二、○貸借動態及金利質屋ノ景況

○金利壹割ヨリ式割五歩 質屋ニ軒

山東省濟寧

一號  
山東省濟寧  
加

大清國仁宗嘉慶丙午年  
歲次癸卯仲夏  
海歸人  
丁巳年九月  
海歸人  
丁巳年九月  
海歸人





- 一、住家  
○海濱住屋の建造の方法

二、○住家別ニ考無  
○家ト納屋離合ノ利害

三、○離隔スルニ便アリ  
○旧家ハ皆高キ所居ル

一、漁民風俗  
○祭事婚烟家庭ノ状況

二、○不漁等ノ時ハ人民漁師  
○御海漁祭回巡祭爾或村社ニテ神官ニ托シ御舟ニ乘

三、○大漁祭リハ年々荒魂神社ニテ六月生日海陸祭典ヲ行フ

四、○アルトキハ漁保ヲ以テ絶我鬼ヲ行フ

五、○漁民死アリハト云海ノ明神トモ云懷ヲエヒシト云蛇ヲ長虫ト云

六、○既産婦ヲ思ム七日間死亡稍思ム海中ニテ人の死体ヲ見付ルト云

七、○食料參リ大ニ祭ル事アリ之レハ忌ムモノニ非ラス

八、○衣服米穀二分種粟五分布ノ粉三分ト合セ販トナシ

九、○衣木へ綿九分麻壹分

十、○旧盆供給ノ時季

十一、○漁業ノ景況ニヨリ村社祭り等ニ供給ス

十二、○被事ハ町村七月及旧十二月正月ヨリ四月迄出發五月ヨリ十一月迄戻ル

十三、○良春奉ハ北海道百人位正月ヨリ四月迄出發五月ヨリ十一月迄戻ル

十四、○陸山ノ樹木等ヲ見テ界トス

十五、○前ハ海灣區域アリ栗流舟或ハ溺死者等アルトモ區域内ニ百事見取行付タルニ方今区域無キ为メ溺死者等アルトキハ困難御見ルアリ甚敷ハ他村流風アリ

十六、○漁業組合ノ状況及改善ノ策

十七、○漁民即ハ方今適セシ地方情況ニヨリ取捨折衷ニアリ

十八、○本村ノ勞働及稼業の順序

十九、○大浦ノ舟越漁七分漁三分御菜トス田ノ漬漁九分農壹分

二十、○大浦ノ如キハ漁五分農五分小石島農八分漁壹分塩壹分

廿一、○旧代金等始末ハ夫ノ預所ト女ニハ旭町如ク權利無

廿二、○漁場ト漁場ノ位置置況ニテ十二ヶ所一在リ

廿三、○漁場方今漁五ヶ所の多キニ至ル尤多ク位地ノ変更アリ

廿四、○捕獲魚類沖合販賣ノ利害

廿五、○本村ハ舟主ト漁師ト申合セ部分法ヲ配分ス其方法タルヤ舟ニ

廿六、○沖合漁夫十五人乗リ漁獲スルトキハ十八ニ副(主人ニ三分)漁夫十五分壹

廿七、○漁夫十三人乗ルトキハ十六ニ副(主人ニ三分)漁夫十三分壹

廿八、○沖合二販賣無

廿九、○此方法故ニ沖合二販賣無

三十、○昔政ハ當時ノ方法及税法故ニ

卅一、○沖合壹丁二付何程ト税定メタリ一与板舟沖漁舟拾ニ二丁船五大力

卅二、○沖合八丁船五大力漁四丁船小天當ニ二丁船(渡リ舟トハ仙台船)

卅三、○以テ徵收スル舟云一右體税百年前廢止其后漁舟ヨリ物品税ヲ

卅四、○廿二丁船サ油八丁船壹面四丁船(仙台船)金ハ荷物十分一ニ二丁船串舟小漁舟(御舟ト云一鮑)小舟出船

卅五、○廿二丁船(仙台船)金ハ

- 海草類無税小漁舟海草採取免除（小漁舟二八 小頭アリ争行事アリ）
- 布取旧六月廿六日ヲ以テ採取期ニ着手ハ例ナリム
- 布海蘿松藻海苔壹期拾録トス方今採取期無ト雖モ  
ふのりニ區域分年期日定メ採取期ヲ定ム
- 凶一、荒調査
- 凶二、○凶年別ノ状況
- 凶三、○凶年無年ノ際遷政の救助方法
- 凶四、○凶年及津浪后流行病  
○凶年津浪后ノ流行病不詳明治十五年コレラ一人死亡十九年無
- 一、民需用品
- 一、○海岸山林原野ノ状況及将来の企望但村木薪炭木ヲモ云
- 二、○竹木日本村木ハ木材薪炭材ニ乏數且薪炭の如キハ鐵笠村ヨリ買入
- 三、○造竹本村水澤地ヨリ麻糸消費量額  
○○造竹本村水澤地ノ種類及年々造竹船ノ員数上ハ本吉郡ナリ八戸ニ非ラス
- 四、○木村へ船丁命十ヶ年ニヨリ船所船大小アリ名稱前記ス
- 五、○鬼壁官林便用松半崎官林（杉）ヲ以テ便利トス多々良官林ノ檜木
- 六、○官民漁舟改良ノ方法  
○漁衣食供給場所不足ト驅レサル為メ進マス
- 食物大穂町山田町衣履全断
- 海一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況
- 二、○海灣主産貝類及時期アルヘシ舟無キ為メ調査届カス
- 三、○海螺牡蠣蚌類海鹿赤魚サカ鮋海鼠皿貝（ホタテ）東海婦人
- 四、○海捕魚ノ種類及時期  
○冲合漁業ノ位置里程
- 五、○製煙所三日先サカ舟二日往復の所  
○小谷鳥ニアリ再興ト云
- 海事一、四季ノ氣候
- 二、○起風雨前知
- 三、○不速未詳
- 四、○大潮前知
- 五、○潮流ナメクツラ多キ年ハ螺旋多ク在ト云  
○未詳

十六

- 船越村ハ昔海面ノ内年歴未詳ト雖モ海藏寺ハ嘉吉三年  
〔明治廿四年モ去ル四百五十六年前ナリ〕建立ト云河同年何海嘯ヤ

○不詳右寺ハ津浪ノ為メ一回渡亡今三回ノ建立ト云  
〔今二右寺跡アリ〕今回津浪ニ門及鐘堂其他流亡本堂モ

○疊建具造亡社ノミ残リタリ近傍樹林アル為メ残リタルヤ如シ

○船越村吉田億右エ門所蔵ニ黒島赤船事件書類アリ今回津浪ニテ

○謫居亡セシトキヤヘ吉田賢彦ノ話一是レハ多分山田浦外國船

○濱ノ源リト云ガシヒユキトモ云一是レハ「眞氣ろ」ヲ云夏季

○入梅ノ比山田湾ニ朝日昇ル比見ヘル此地の名所ナリト云大阿綱ノ岩谷

○大浦ノ秀全元文年中大浦ニ秉り住居セシ僧侶ナリト云大阿綱ノ岩谷

○ニ居人タル人今ニ遺物アリ此地の名所ナリト云大阿綱ノ岩谷

○戸昔二重二層懸造ト云所アリ方今宝室明和安永天明比マテハ三百戸モ

○一火災ノ為ト云業敷便ナル故ニ自然災厄アリ此地ハ昔大浦

○説二ハ移轉セシヤ未詳口碑ニ記す■★文字不明何年何災普二罹り

○大浦數アリタル場所ナリ方今ハ二重二層懸造ト云所アリ此地ハ昔大浦

○大浦ニ移轉セシヤ未詳方今火災ノ為ト云業敷便ナル故ニ自然災厄アリ此地ハ昔大浦

○右京字系宅地跡等ニ石明礬器代余リ古キニモアラストリト云所アリ

○舟越町大浦ニ越ル坂ニアリ是レヲ記字坂ト云所アリ

○舟今漁家家の故ナリ

○舟越村全家中大浦宿懸造ハ古ク開ケタル所ナリト云  
〔大綱山トモ云〕白鹿此山ニ居漁舟目標トセシヨリ一鹿老山トモ云

٤٦

- 津浪へ此鳥馬ハルシニシニシニリナリ一  
ユルキ事廿九年春年月十四日ノ日ヨリ 舟船浦 腹引タル須賀端ノ砂地  
喜嘉右エ門亡魂ト云テ人悲力如ク鳴鳥ノ音小谷鳥ニアルト云  
集裏喜嘉右エ門亡魂ト云テ人悲力如ク鳴鳥ノ音小谷鳥ニアルト云  
○津浪へ此鳥馬ハルシニシニシニリナリ一  
ユルキ事廿九年春年月十四日ノ日ヨリ 舟船浦 腹引タル須賀端ノ砂地  
喜嘉右エ門亡魂ト云テ人悲力如ク鳴鳥ノ音小谷鳥ニアルト云  
○字小谷鳥ハリ天保四年前ア戸敷殆ア三四四十戸在ア天保四年  
○漬十二三戸 漬レ或ハ北海道移住セシ者モアリ又タム安政ノ津浪二  
少  
○小谷鳥方今僅ニ九戸ノミニ安政津浪引揚ケタル事宅地ヲ設ケタルト云  
○津浪へ此鳥馬ハルシニシニシニリナリ一  
ユルキ事廿九年春年月十四日ノ日ヨリ 舟船浦 腹引タル須賀端ノ砂地  
喜嘉右エ門亡魂ト云テ人悲力如ク鳴鳥ノ音小谷鳥ニアルト云  
○字小谷鳥ハリ天保四年前ア戸敷殆ア三四四十戸在ア天保四年  
○昔ハ青葉山ニ津浪無事ト云ヘタル事モアリト云何ノ定規ナルヤ了解セス  
○舟船村青葉山ニ津浪無事ト云ヘタル事モアリト云何ノ定規ナルヤ了解セス  
○二十三町通當ナララン  
○津浪ニテ明治八年ノ比旧四月宅地低キ所ニ打上ケタル小津浪アリ  
○當時ノ津浪及「アト」コア經テルヨリ名称シ山中ノ谷ナリ一右ノ云  
○右ハ山崎勘六ノ祖母明治十三年ニ病死當時九十六才祖母遺言ニ  
正月七日田ノ百四十戸前年正月五正月七日ナラシノ津浪百四十戸  
所越シ直徑二十丁モアル田ノ津浪東ニ當ル地名ヘアトコロハ  
所越シ直徑二十丁モアル田ノ津浪東ニ當ル地名ヘアトコロハ  
○當時ノ津浪及「アト」コア經テルヨリ名称シ山中ノ谷ナリ一右ノ云  
○三十戸ノ津浪亡セシ為メ大屋キナリト云  
○ナカケシニ潮某安政三年七月二十三日津浪ニ家三倍戸人口廿廿人亡  
○田ノ津浪ハ北安政三年七月二十三日津浪ニハ海面ヨリ打上拾七尺宅内  
○三十九戸ノ津浪亡セシ為メ大屋キナリト云

九

- 明治廿九年六月十四日ノヨリ  
ユルキ事春雪ノ如シ足止メ無  
年ヲサシト深クサシ込ム

故ニ妙寄ナリト思ヘシ如此

漁村挽回

一、迅速十日業務  
二、預算公呈

二、○小漁船早クルニ在り  
○造船職工有無他ヨリ雇入協議中  
○舟大工不足

一、管内沿岸一致漁業組合ヲ設クル方法

二、三、  
○他ヨリヨリ團体体ヲ差し引ケ漁業業者移入者アルトキハ如何スルヤ  
○他良法ナリ再懇考へシ  
○良法ノ付便利見込有無

## 陸地產業被害調查

## 二、○ 耕地坡害

商業調查

○漁業アレハ販路因ラス物價三割騰貴米壹升拾壹錢

一、○○○○金借 变動 及 金利質屋

陸前国東閉伊郡織笠村

○本流亡戸数地  
●本村被害後演ヨリ本多マテ  
七拾戸 ○潰戸八戸

漁村之新位置

一、新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害  
○本村ハ市街並ニ改正ノ企望アリト  
羅モ 被害 小ナル故ニ

二、海改正ハ至難ナリ

○本村ハ海面ヨリ四尺ヨリ六尺マテ  
○地形方位ハ本村東南山船越村北山田町ノ間ニアル  
一小漬ナリ南東二山田湾ノ隅ノ海濱ナリ

○打込ミミタル二番目山田港二ヶ所島アリ激浪は三二防カレタル為メ本ノ  
津波ノ末リタル場所

四、防風林及防浪林其他堤防必要の有無

五、魚付場及海湾近傍山林原野ノ景況并林相種目

六、  
○新○遠小酒清故ニ本村ニ記述スル事無  
○日路ノ見込ミ及古道ノ便否無  
○日路ノ見込ミ及古道ノ便否無  
○日路ノ見込ミ及古道ノ便否無

- 七、漁村沿岸運搬ノ便否 ○沿岸ノ運搬ハ陸路改正及船越村運河ニ煽制ニ大ニ海運の便ヲ得ル
- 一、住家  
 一、海濱住屋建造の方法 ○本村材去リル事ニテ木太ク土臺付ニシテ屋根瓦石ヲ揚ケタル造リナリ此家屋モ東側へ隣家のト舟ト桟付ニシテ瓦石ヲ揚ケタル造リナリ今回ノ津浪
- 二、○住家ト構築離合ノ利害是至難ノ一無事ト云ヘシ
- 三、○住家ト構築離隔スルニ便アリ宅地セマキ為メ止ムヲ得ス合併造ル者ナリ
- 四、○住屋建造ノ遺法ノ有無
- 一、民風  
 一、○祭事婚姻家庭ノ状況 ○不漁事ハ大漁ニハ村社等ニテ盛ニ祭典ヲ行フ
- 二、○漁溺死者アルトキハ僧侶ニ願ミ絶我鬼ヲ行フ
- 三、○食事物五日間カ忌ム死亡者アルトキハ三日間カ
- 四、○衣服米穀八分供給の時季
- 五、○漁民衣食八分
- 六、○漁生活旧年未十二月旧四月八日村社祭り
- 七、○良習慣ト道へ不良五六十八人春種日正月■■■旧六月歸ル又十月歸ルモ有リ
- 昆布刈日六月廿六日年々採期トス是レヲ犯シ者ハ採取物ヲ
- 取織笠手漁部落費用二光年々採期トス是レヲ犯シ者ハ採取物ヲ
- 規約ナリ手漁部落二互ニ互ニ助力スルハ一般の手傳
- 振り手ナリ山手ニテ漁食番ミ喰噉動カサル風アリ夫ヲ助力スルナリ
- 漁民手ニテ一月定期定め村内一同刈初ム
- ★以下文字不明
- 一、村制  
 一、漁業組合ノ状況及改善ノ策
- 二、○規約ナリ漁民ニ遭セス海嘯後状況モアレハ大ニ取捨更正企ス
- 本村勞動及稼業の順序
- 本村小漁男女民モ互ノ便民モ業ハ同一ニ勞動スル■■■漁獲物
- 本村皆長屋居住ノ凡五拾戸今回手當ニテ土地ヲ貸与人
- 三、○旧家ヲ造設セシメタキモノナリ
- 四、○漁場粉塵仲裁法何レニモ四十年前ヨリ漁獲物不足
- 五、○漁場粉塵仲裁法アルトキハ年行事多ク取締ク
- 本村魚類冲合販賣ノ利害
- 六、○譲政ノ當時ノ方法及説法
- 岩根母引アミ壹ヶ年三円(武円)歸アミ用ル事免ス

- 小吉証文 大綱の事 五十人以上ノ漁夫ア用ル ■ ■ 治西ト壹斗五合入  
油八荷織笠村 星平兵工 中井屋仁太郎 大沢村 佐々木清次郎 三人ノ合ミ
- 一、荒調査
- 二、○海產物年ノ漁品及製造
- 三、○考年無ノ状況
- 四、○未年ノ際藩政ノ救助方法
- 全般及津浪后ノ流行病

- 一、民需用品
- 海岸山林 原野の状況及将来の企望 但木薪板木ヲモ云
- 二、○本村二村ハ薪炭ノ欠乏タ見ス 村木ハ欠乏
- 三、○竹材故ニ大麻薬物消費量ヲ以テ 共有山ニ植ル事トス
- 四、○船水澤岩谷堂麻ハ 東京ニ需ム 薬物 気仙郡遠野地方ヨリ需ム
- 五、○解船松ノ漁種類及時期 木村五体力へ小漁舟ヲ云ノ員數
- 六、○木村ヲ需ル便官の場所コト云ニ命九年
- 七、○本村字根濱及馬塙官林ヲ以テ便トス（樹種栗雜木）
- 八、○改良漁具未タ着手セス
- 山田町 大塙町 宮古町

- 一、旧漁場ノ位置及変更ノ状況
- 二、○海灣主産動植物アルヤノ如シ
- 三、○海鼠蠣蝦貝 海苔 赤貝 蛙
- 四、○冲春漁業ノ位置赤魚蝶貝及時期
- 五、○壩舟百哩夏秋二十哩冬三十哩
- 本村無

- 一、海事考
- 一、○四季ノ氣候
- 雪十二月ヨリ一月マテ 竜尺或ハ春稀ニ三尺位降ル
- 二、○起風雨前詳前知
- 三、○不釣元前知
- 四、○大漁全前知
- 五、○瀬浸全ノ状況
- 六、○海灣ニ附スル事歴
- 東延元年六月十八日 織笠川 供木二付 織笠ヨリ家二軒
- 明治十八年九月十八日 早ヨリ大雨トナリ 此村 織笠村 菊地 ■ 產  
松源 ■ ■ 二テ 爪行亡
- 下人 ■ ■ ■ ハ耕地ヲ ■ ■ スル ■ ■ フ追放シ畠ニ

七、○纖行キタル所供木ニテ死亡セリ此トキ沼崎文藏家山崩レ家潰レ  
八、○固有漁場川ニハ所供木ニテ死亡セリ此トキ沼崎文藏家山崩レ家潰レ  
九、○津浪ノ歴史二寄ル  
八、○安政三年七月廿三日津浪小川市五郎宅土臺浪打付タルノミ打上浪  
○八尺五寸走浪四丁此備荒食ヨリ三十石出土シ煮出シセリ  
九、○沼崎市平年間津浪アリ不詳官藏日記ニアルト云三十五年前(文久二年)  
津浪西へ八十三才ニ百三才ニテ脅死於多つ候メナラヌ前ニ津浪アリ  
九、○津浪ノ未ルヘキ前兆考無  
九、○津浪ノ未ルヘキ前兆考無

一、漁村将来ノ企望  
一、○迅速ナル業務  
一、○船漁舟造船アリ又舟材木乏敷為メ困難官ニテ早ク漁舟  
一、○造船器供給ノ便ヲ与ヘラルニアリ  
一、○家大工船大工乏敷ニ因ル他ヨリ雇入ルハ急務ナリ  
一、漁民将来ノ企望  
一、○逆内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法  
一、○授産モ行ハレ難シ付便利見込ミ有無  
三、○考無國体ヲ造り漁業ニ未ルモノアルトキハ如何スルヤ  
○考無

一、地産業被害調査  
一、○家畜關係  
一、○耕地被害

一、商業調査  
一、○物價相場魚類  
一、○漁舟漁具無キ苦ム賜多ク海中ニ遊泳居レトモ漁舟  
一、○貯蓄運動及金利實屋ノ景況  
一、○金利式分ヨリ式分五厘



- 五, ○漁民衣食物供給ノ時季
- 六, ○被舊北海町へ村へ漁民年々北海道及其他(出)稼ノ状況
- 七, 良賀懃ノ種類村五百人位  
 ○良賀懃ノ種々アレトモ方今破レタリ昔日那ト唱へ漁民納戸  
 ○自然の習慣失ヘタリシト云近世の進歩ニ随ヘ漁師独立の風ニ化シ種々の  
 ○今存スル習慣ハ粉刈布ノ粉刈鮑捕獲ノ期日ヲ守ル位モノノミ

- 漁村制
- 一, ○漁業組合ノ状況及改善ノ策
- 二, ○漁業組合未タク充分ニ組織セスト雖モ目今必要ヲ見ルト云
- 三, ○財務事務ハ農業者所ノ民營事業の順序ナリ漁獲ハ女子之ヲ販賣
- 四, ○旧漁場ト新漁場トノ位置状況
- 五, ○漁場粉砕機仲間敷法  
 ○漁場仲裁ハ沖漁師小漁師ト一分シ年行事撰挙ス
- 六, ○捕獲魚類所分權ヲ与百事年行事ニテ司ル壹ヶ年毎ニ権限ナリ
- 未詳當時方法及税法

- 凶年調査
- 一, ○凶年海産物凶年ノ備蓄品及製造
- 二, ○凶年天保ノ状況
- 三, ○凶年ノ保険年ハ多ク死亡
- 四, ○凶年未詳明治十五年及津浪後の流行病  
 ○コレラ病流行二人死亡

- 漁民需品
- 一, ○海岸山林原野ノ状況及将来企望但木薪炭木ヲモ云
- 二, ○竹木近年大麻多ク在ルムノ為久乏新故木ハ敢テ久乏無シ毫忽人植立
- 三, ○造糞糞水汎及年告谷堂麻遠野塙釜
- 四, ○木材年沖舟丹三四四拾噸ノ員數八ヶ年小漁舟百五六台機命八ナ年
- 五, ○將來宮古黒森官林
- 六, ○本町漁具改良ノ方法  
 ○衣服本町及宮古食物ハ仙台塙釜

- 海湾
- 一, ○旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
 ○船無キ為メ調査スル能ハス



塙先ハ ■ ■ 加 ■ ■ 口迄外海辺別而構無之田  
小本ニテ写

○慶長十九年十月廿八日是ハツ時大津浪ゆり黒田宮古■■の外騒動  
小本助■■工御朱印御證文并御用帳取為り■■後の波山ニ迎登候  
同人死七ツ時下鄭ノ比大方水引申候海辺通りハ一軒モ無御渡ニ上られ  
相本助■■工見分ニ廻り見届候而今日路途ニ迷へ申候ニ付申在の波山ニ上られ  
九、津浪ノ未ルヘキ前兆未詳

一、漁村換回  
二、○小漁舟造ルニアリ

○未詳

一、民管将来ノ企望  
二、○授産方法二付便利見込有無  
三、○他ヨリ國体ヲ造り漁業ニ来ル者アルトキハ如何スルヤ

一、地産業被被害調査  
二、○家畜ノ關係

一、商業調査  
二、○物價相場魚類販路  
一、○資借變動及金利實屋ノ景況  
○金利壹割五分ヨリ貳割五分迄

● 陸 中 田 国 東 門 伊 郡 大 沢 村	● 本村被被害地 本村海岸 看ヶ所	○ 游 亡 戸 数 百九拾六戸	○ 游 亡 戸 数 百九拾戸	○ 游 亡 人口 四百拾五人	○ 游 亡 人口 五百人	○ 游 亡 納屋 百八十八人
○ 游 亡 財産	○ 游 亡 牛 馬	○ 游 亡 戸 数 百九拾戸	○ 游 亡 人口 四百拾五人	○ 游 亡 地 田 堤 防	○ 游 亡 船 舶	○ 游 亡 人口 五百人
一、村の新位置	一、新家ヲ設ケヘキ地及旧住家トノ利害 ○ 本村字長前及山谷沢ニ移シ旧住宅ヲ納屋地トナシ左右道宅モ 不少少海成故ニ容易ニ汐止メ堤防修繕モ充分及ハサル為メ終末モ 市街ノ地ニ居セシムル企セシモ一ノ村民云々アリ旧宅地ヲ	二、海面ヨリ高低及沿岸地形方位 ○ 海面高低ハ三尺三尺海岸ヲ去ル二十間ニシテ五尺地形方位ハ山田湾乃	三、津波在リ南ニ海面シ東北西ニ山アリ一直線ノ海濱ナリ	四、防風林及防浪林其他堤防必要の有無 ○ 本村海岸沙止堤防石垣等ヲ以テ築造スルニ便アリ防風林ノ必用実 ニ急務ナリ平素のヨタ（小津浪ノ事）ノ為メニモ破壊易シ堤防ト森林ヲ 本村字門間安政ニ津浪前マテ六尺七尺程リ松樹アリ安政以未 魚付場及海溝近傍木等ノ為メ方今少シ有之カ為メ害サケタル事不少	五、魚付場に於く松原野ノ景況并林相ノ種目 ○ 新道路開通スル車道ニ連絡付薄クナリタリ	六、新道路開通スル車道ニ連絡付薄クナリタリ
六、前項道路開通スル車道ニ連絡付薄クナリタリ	七、前項道路開通スル車道ニ連絡付薄クナリタリ	七、住家 一、海濱住屋の建造方法 ○ 小柱葺ノ屋根磯礫シ難キ以テ港中ニテ右屋ニ乗り命ヲ得タル者 多クアリ又タ土臺付ノ家ハ動力カヌ	八、多クアリ又タ土臺付ノ家ハ動力カヌ	九、○ 住屋隔離ト密接アリノ為合ノ利害 ○ 海濱住屋建造ノ違法 ○ 考無	十、○ 不漁ニハ村社ノ神体ヲ船乘御セシメ（神官ニ托ス）漁民供奉 浦々祭り巡幸スノ事 ○ 大漁ニハ村社ニテ年々舟乗り祭ル事盛ナリ ○ 漁民死アルトキハ僧侶ニ託シ絶我鬼海濱ニテ行フ之清祓リト云 ○ 食物供物笠村ニ全ス	十一、○ 米穀種麦稗粟布ノ粉大根多ク三石板一米麦稗ト交セタルヲ云 ○ 衣服綿紗布ノ粉交セタルヲモアリ
十一、○ 游 亡 戸 数 百九拾六戸	十二、○ 游 亡 人口 四百拾五人	十三、○ 游 亡 納屋 百八十八人	十四、○ 游 亡 船 舶	十五、○ 游 亡 人口 五百人	十六、○ 游 亡 人口 五百人	十七、○ 游 亡 納屋 百八十八人

- 五、漁民衣食物供給ノ時季
- 六、○漁民年々北海道及其他三十人位出稼ノ状況
- 七、○記入事項無
- 一、漁村
- 二、○漁業組合ノ状況及改善ノ策
- 三、○漁民ノ労働及稼業ノ順序方今漁民漁セサル所アリ更正ヲ企望ス
- 四、○字好島弘化ノ比大沢村佐々木庄左エ門秋納立網ノ場所ナリ見良込ヨリ安政の比ヨリ岡様取調リトモ本村遭難ナリ方今再立の
- 五、○漁獲漁粉仲販法魚類冲合販賣ノ利害
- 六、○未詳當時ノ方法及取法
- 一、荒調査
- 二、○凶年ノ備荒品及製造
- 三、○凶年未詳ノ状況
- 四、○凶年全ノ際藩政ノ救助方法
- 五、○未詳及津漁後の流行病
- 一、民需用品
- 二、○本村山林原野ノ状況及将来ノ企望田村木薪故木アモ云
- 三、○竹木大株薦物津漁年額
- 四、○木材造船百七艘木石米山官ヨリ七拾六本代金八拾武円四錢八厘（杉）
- 五、○津漁船具改良方法
- 六、○官古町山田町所
- 一、旧漁場ノ位置及変更ノ状況
- 二、○漁業主產小タテ（年々產セス六七年同一回トス）鮭鱈サカ赤魚

三、○沖合山田町ニ全ス種類及時期  
四、○沖合山田町ニ全位置里程  
五、○製塙所位置興廢  
　　○大須賀昔塙竈アリ方今廢止官山ニ薪炭拂下易キモノナレハ良場所アリ

#### 海事考

一、四季ノ氣候  
二、○起風前知

三、○不漁前知

四、○大漁前知

五、○潮流全ノ状況

六、○海湾ニ四スル事歴

　　○本村舟永三年ノ比家船九戸アリト云内の沢川代ニ通スル所  
　　○魚竹の下戸七戸多川ニモ一月七日坂落五戸字長瀬ニモ盛ニアリト云  
　　○社内荒勝利タルニヨリ翌八日神官漁民共湯立ヲ奉納ス

七、○固有漁場ノ変遷ノ状況

八、○津浪未詳の歴史

九、○津浪の末ルベキ前兆  
　　○未詳

#### 漁村

一、○迅速ナル業務  
二、○無参考

三、○造松職工有無  
　　○欠乏ニ因ル

#### 漁民將來の企望

一、○管内沿岸一致漁業組合設ル方法

二、○授産方法ニ付便利見込有無

三、○他ヨリ團体ア造り漁業ニ来ル者アルトキ如何スルヤ  
　　○考無

#### 地産業被被害調査

一、○家畜ノ關係

二、○耕地被害

#### 商業調査

一、○物質相場魚類販路  
　　○鶏卵アリ漁獲セハ販路運ニ有リ漁舟具無キニ苦ム

二、○貸借交動及金利實屋ノ景況  
　　○買屋無金利二割ヨリ二割五分

- 陸中東日本郡伊賀村重茂村  
 ●本村被寄地ハ字川城石濱千鶴姫吉里乙宿館演退切部荒卷蝶  
 ○流亡戸数百六十戸○死亡人口七百六十四戸○流亡耕地田畠八戸ノ内人納屋所  
 ○流亡牛馬四拾壹頭○流亡耕地田畠八戸ノ内人納屋所  
 ○流亡財産○流亡道路堤防○流亡船隻
- 一、漁村ノ新位置  
 ○新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害  
 ○本村字里ハ今回漁業二土地アマテ、陥落セラレ再ヒ見込無キ  
 ○引揚ケ未タ設シメシ協議セシニ漁民好マサル風アリ在来ノ地ヨリリ
- 二、海面ヨリ高低及沿岸ノ地形方位  
 ○本村被寄地ヲ設シメテ西山手ニ新宅地ヲ設ル定住吉ハ再ヒ住居スル見込無シ
- 三、津浦近本村東洋突出セル一半島ナリ被寄地ハ南川代ヨリ東洋崎  
 ○本村前ニ述ル如ク南東北海岸第一東大洋ニ突出ノ半島  
 ○本村打込ミタルヤノ如シ里乙部ノニケ所本村第一人民驅逐ノ地  
 土石妙トマテ陥落セラレ又タ姉吉如キ小瀬ナレトモ海底ヨリ打上タル
- 四、防風林及防浪林其他堤防必要ノ有無  
 ○本村在来の防風林林ハ見ヘスト雖モ荒瀬故ニ何レノ部落モ將來ニ必  
 要ナルヘシ専尤乙部里ノニケ所ハ急二種付の急務ナリニ堤防モ無シ  
 ○今回津波ノ為メに止ム天然ノ海岸大ニ破壊セラレ此ニケ所堤防築造
- 五、魚付場及海浜近傍山林原野井林相應目  
 ○本村海岸ハ天然ノ樹木(雜木松杉椿)少々アリ繁忙一部ニハ近年  
 亂伐モ大ニ乱伐故ニ魚付ニ變事無シト云
- 六、新道路セシミ及古道ノ便否  
 ○本村乙部里ヨリ白瀬ニ通スル道路開鑿第一トス津壁石街道  
 第二トス他本村沿岸各部亦ニ通スル里道開鑿ニ便アリ村内
- 七、漁村沿岸運搬ノ便否テ修繕セシモ充分ノ道路ニ整ハス(年々五百円位)  
 ○里道修繕の後ハ海運要セス
- 一、住家  
 ○住家ト構屋ト難合ノ利害  
 ○住家ト構屋ト難合ノ利害
- 三、海岸本村住屋建造ノ方法  
 ○本村住屋建造ノ道法云者在リ此家昔津波の時近傍月山ヘ  
 ノカレテ命得タリト云且祖先遺訓ニテ本宅ヨリリ月山ニ通路三ヶ年  
 二、一度宛必入ス刈歸置クヘシト云今以テ施行セシモ今回ノ如キ激烈  
 ナル津浪僻ルノ時ア無シ津太郎ハ杉ノ枝ニ打上ケラレ命ヲ得タリト云
- 一、民風俗  
 ○祭事婚烟家庭ノ状況  
 ○溺死者アルハ僧侶ヲ以テ清祭リヲ行フ
- 二、漁民ノ禁物  
 ○产婦男七日女八日忌ム縫ヲマシト云狐ヲ尾長ト云

三	四	○食 物 米 穀 粟 麥
五	五	○衣 服 水 木 綿 布
六	六	○漁 民 食 物 供 給 ノ 時 季 被 舊 盆 七 月 年 末 十二 月
七	七	○良 賈 價 不 良 ヘ 四 拾 人 位 行 ク ○農 民 ハ 都 落 耕 地 二 木 村 運 搬 等 ニ 加 勢 ス ○田 老 ヨ リ 重 茂 マ テ 布 刈 昔 ハ 入 合 場 所 期 日 申 合 テ 刈 取 リ タ ル 習 慣 ア リ
一	一	漁 村 制 ○漁 必 一 業 組 合 ノ 状 況 及 改 善 の 策 可 否 井 セ ス
二	二	○漁 民 勞 動 及 務 業 の 順 序 漁 民 ハ 未 タ ク 可 否 井 セ ス
三	三	○旧 農 漁 業 新 漁 場 ノ 位 置 の 状 況 本 村 ト 秋 立 漁 場 ミ ハ ヨ リ 三 百 間 モ 沖 ニ 寄 リ 一 貳 百 間 位 モ ア リ
四	四	○漁 場 粉 糲 慢 法 仲 裁 法 ○捕 獲 魚 師 中 ニ 立 漁 場 シ 置 キ 年 行 司 和 解 セ シ ム
五	五	○書 本 村 ニ 無 合 販 賣 ノ 利 害 法
六	六	○書 政 ノ 暫 時 方 法 及 稅 法 失 ヘ 未 詳
一	凶	荒 調 査 ○凶 年 ノ 備 荒 品 及 製 造
二	二	凶 年 ノ 状 況 ○凶 年 ノ 記 ス ル モ 無
三	三	凶 年 ノ 際 護 政 ノ 救 助 法
四	四	凶 年 ノ 全 断 交 通 ○前 ニ 失 ヘ 未 詳
一	漁	民 需 用 品 ○海 岸 本 村 原 野 ノ 状 況 及 將 來 ノ 企 望 但 材 木 薪 炭 木 ヲ モ 云
二	二	六 大 本 村 次 郎 ト 云 者 重 茂 眞 八 郎 ノ 私 山 テ 本 村 字 ヨ ナ 長 闊 ヲ ホ レ ハ 木 植 付 ア リ シ ヲ 當 方 今 伐 尽 シ 無 シ 又 タ 十六 年 前 ニ 去 ル
三	三	○竹 木 本 村 協 議 會 ヲ 以 テ 買 入 植 付 シ タ リ ハ 株 子 地 方 岩 谷 堂 ヨ リ 業 ハ 仙 台 壇 釜 石 巻 高 木
四	四	○造 船 ノ 酒 類 及 年 々 漁 船 員 數 遠 野 地 方 始 繩 ヲ 用 ヘ
五	五	○繩 船 ハ 大 株 子 地 方 岩 谷 堂 ヨ リ 業 ハ 仙 台 壇 釜 石 巻 高 木 本 村 字 川 原 崎 ヲ 以 テ 便 利 ト ス ○株 子 地 方 岩 谷 堂 ヨ リ 業 ハ 仙 台 壇 釜 石 巻 高 木 本 村 字 川 原 崎 ヲ 以 テ 便 利 ト ス 余 リ 好 マ ス
六	六	○宮 古 町 民 食 供 給 所 山 田 町 食 物 供 給 ノ 時 季 被 舊 盆 七 月 年 末 十二 月

- 一、海  
 一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況
- 二、○不詳舟無キ為メ調査スル能バス
- 三、○鰐嘴鱈赤魚流シ■■屬昆布テン草海苔  
 捕魚ノ主産種類人かきカセ塩
- 四、○沖春秋漁業ノ位置里程里冬雪サカホヤ海鼠
- 五、○製塩所位置興堺  
 ○本村海濱ハ塩水分四捨六石ノ海水ヲ四石食塩ヲ得ルト云  
 親沢ト黒沢の寄り集リタル所ナリ
- 一、事考  
 一、四季ノ氣候  
 ○四季旧十一月ヨリ旧一二月迄雪降ル積ル事五六寸
- 二、○起春雪多シ三尺位權ル事アリ
- 三、○不詳前知雲赤キトキハ風雨アリ
- 四、○大漁前知冲東強キトキハ魚寄ルト云辰巳風シケル丑寅風ニハ實無漁アルト云
- 五、○津潮未詳前知沖東風ノ状況
- 六、○海濱二閏スル事歴  
 ○本村川代石濱の間ニ寺地ト云アリ此所昔寺アリ海岸三十丁計り
- 某ノ瀬ナリ寺地地形見テ海濱の石皆ハタルカタ玉ノ如シ石濱神社在リ
- 明治七八年ノ比ヨリ大荒浪ノ瀬ニテ大ナル鷦卵形石ナリハ平均の鮭漁在リ年大ニ減セリ里川ノ鮭ハ六十年前マテ盛ニ漁アリ小本川鮭ト全品質ト云
- 七、○固有漁場ノ変遷ノ状況
- 八、○津浪ノ歴史  
 ○安政ノ津浪ハ元宅地ヨリ三十間計リ下へ浪打上タルト云乙部里ニテ未ルヘキ前兆
- 九、○津浪ノ歴史  
 ○未詳前兆
- 一、漁村  
 一、○迅速ナル業務
- 二、○小漁舟漁具供給速ニ造ルト製塩所再興ニアリ
- 多ク職工死亡無之ニ因ル他ヨリ雇入ノ見込ミ
- 一、民情  
 一、管内沿岸一致漁業組合設立方法
- 二、○其筋の換動ニヨリテハ出乗ルモノトス
- 三、○本村漁業ノ外ニ海草■■製造ニ有リ寒天伊勢
- 他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ未ル者アルトキハ如何スル哉
- 他ヨリ如此事アラハ漁民規約ヲ以テ拒ムト云

## 陸地產業被害調査 —、家畜ノ関係

## 二、耕地坡度

一、商業調查  
二、○物價相場魚類販路  
三、○物價變動及金利實屋ノ景況  
四、○貸借割合及金利實屋ノ景況

- 六、  
 ○新道路ノ見込み及古道の便否  
 ○本村赤前ヨリ重茂村字里ニ通スルノ里道本村ヨリ白瀬通り  
 平坦の道路及本村字根井沢ヲ越花輪ヲ経テ伊川道路
- 七、  
 ○漁村沿岸運搬ノ便否  
 ○海運便ヲ多ク要スル事不足ナリ
- 一、住家  
 一、○海濱住屋ノ建造の方法  
 二、○住家ト無利害  
 三、○海縫隔スルニ大ニ利アリ  
 ○別ニ無
- 二、漁民風俗  
 一、○祭事婚烟家庭ノ状況  
 二、○溺死等アルトキハ僧侶ヲ以テ諸祭ヲ行フ  
 三、○漁民ノ養物ケ崎町ニ全ス  
 四、○食物粟ヘニ石板ノミ食多シ米壹分種九分文セ坂ト  
 五、○衣服木綿  
 六、○漁民衣食物供給ノ時季  
 七、○被書旧盆七月旧年未十二月  
 ○年々北海道へ出稼武百名余近年北道進行キノ多キ訊ハ本村津輕石川  
 他ニ公實セシ故ニ村内漁民變セサルヨリ多シ  
 良習慣ト不良習慣トノ種類  
 ○別ニ無
- 三、漁村制  
 一、○漁業組合ノ状況及改善ノ策  
 二、○漁民本村ノ勞動及漁業ノ順序  
 三、○旧例漁場ト新漁場ト位置状況  
 四、○本村粉糰仲裁法  
 五、○捕獲魚地冲合販賣ノ利害  
 六、○本村粉糰仲裁法の無ニ因却セリ  
 ○本村粉糰冲合漁師不足故無シ  
 ○本村及海産ハ書類ヲ以テ記スル能ハス
- 四、凶年調査  
 一、○凶年海產物凶年ノ備荒品及製造  
 二、○凶年ノ状況  
 三、○凶年天保ノ状況  
 ○藩政ノ書類政ノ救助方法  
 ○引継キ無ヨリ記スル能ハス

四、凶年及津浪后ノ流行病  
○凶年津浪后流行病未詳  
明治廿二年二時疫流行二十二人死亡

一、民需用品  
○海岸用林木原野等村ノ状況及将来ノ企望但材木新伐木トモ云  
二、竹製木桶麻袋等年額消費量年々漸減九戸地元ニテ足ル  
三、造木桶及船艤類及年々漸減ノ員數五六櫻宛新ニ造船ス  
四、木材小舟船便宜ノ場所所々多々有リ  
五、米山官林便トスヘ多少増葉アリ  
六、漁食供給ノ場所宮古町

海、湾  
一、旧漁場ノ位置及変更の状況  
○海湾本村内海故ニ変更無ト云

二、主産  
○海湾捕獲魚種類及時期  
三、鰐、鮎、鰐等ノ種類及時期  
四、冲合漁業ノ位置里程  
○冲合漁業ケ崎町ト全ス  
五、未詳  
○釣塙所位置興衰未詳

海、事考  
一、四季ノ氣候  
○雪冬至ヨリ春田二月下旬迄二尺降リ積ル  
二、起風梅花冬至前知  
○未詳前知

三、不漁未詳前知  
○大漁かもめ多ク海面見ヘルトキ漁大漁ト云  
四、大漁未詳前知  
○瀬流かもめ多ク海面見ヘルトキ漁大漁ト云  
五、瀬流未詳前知  
○港湾二箇所事歴

六、固有漁場變遷ノ状況  
○津浪川口ハ昔ヨリ山手ニ資ルト云  
七、津浪川口ハ昔ヨリ山手ニ資ルト云  
八、津浪ノ河口ハ昔ヨリ山手ニ資ルト云  
九、津浪本村歴史  
○津浪本村未抜川今海岸ヨリ貳丁余ノ陸ニアリ昔ハ海面ト云  
○本村ノ高瀬ルヘ前兆生ベうなき多ク春ヨリ  
捕獲スト云ニテ海岸の白砂ニ海苔生ベ  
安政ノ津浪ニモ如此ト云

海、村境回  
一、迅速ナル業務  
○小舟漁船ヲ造リ漁民ニ貰スルニアリ  
二、造舟工有無ノミ舟大工不足故ニ困却

一、民管内一致漁業組合設立方法  
二、○別考無二付便利見込ノ有無  
三、○全方法二付便利見込ノ有無  
四、○全方法二付便利見込ノ有無

## 陸地產業被害調査 一、家畜ノ関係

一、耕地面被害  
○今回ノ津浪ニテ 摘毛セシ 耕地 一二三回 薙キタルニ生育セス  
(大豆葉)

一、業調査  
相買物販路  
相應價無シ困漁アハ販路アリ  
二、○○○賜盛海見少價相應舟ニ無シ困漁アハ販路アリ  
三、○○○物價及金利動三副腰貴ノ景況

一、村ノ新位置  
○本村白瀬ハ在来ノ位置ヨリ上昇セ宅地ヲ設ルト云高瀬の如キハ

○海面居モヲアカルト云  
ハリ高低及沿岸ノ地勢方位  
一尺又十尺余マテ

シテ海灣西二宮古瀬河口八  
三ノ子山付近高瀬河神林飛鳥  
川中島付近大日山本村瀬賀八  
中央二面

○北浪方未アル場所飛地の林港ナリ南方ニノ津野石林■滋江ニア

四、防風林及防浪林其他堤防必要ノ有無

○ 次第に宝塁設置の年を失へ年を置き、當時はタナモ浪速防歟止ノ津波回響海風雲雨ノトキ付損少シ

- 五、○魚付場及海湾近傍山林原（一野）  
六、○新道路ノ見込ミ及古道ノ便否  
○本村高瀬ヨリハ八木沢迄在来ノ里道在り 其他金瀬ヨリ八木沢ヲ  
経瀬街道テ瀬崎ニ至ル里道（從前ノ本道ナリ）此二道路開墾修繕ト  
七、○本村沿岸運搬ノ便否  
○本村沿岸運搬ハ欠ク能ハス 如何トナレハ向東白瀬大田瀬の  
二部飛地ニ在リハ故ニ小運搬ハ欠ク事ヲ能ハス

- 一、住家  
○海濱住屋ノ建造之方法  
○自家屋ノ造りハ屋根及樋木（材木）ノ軽木ヲハ流易シ大材木ヲ用ヘ  
二、○住家本家ト納屋ト難合ノ利害  
○海濱住屋ハ多ク本家ト納屋難隔セシ方合併造り多ク無シ  
○本村無

- 一、民風俗  
○民不漁家庭ノ状況  
○漁婦繁殖ニハ神官ニ托シ祭ルナリ  
二、○食糧物産アルモ死亡者アルモ何レモ忌ム七日間ナリ  
三、○衣服米糧布ノ粉（一二石三石食）

- 四、○衣服木綿綿麻  
五、○漁旧民衣食供給ノ時季  
○被害町五月正月出稼三百人位  
六、○良習價ト不良習價トノ種類  
○家屋達築屋根替等ニハ人夫助合スマク働き酒食ヲ  
呑食へ助合実意ニ在リ不良習慣アリ

- 一、漁村制  
○漁業組合ノ状況及改善ノ策  
二、○漁民本村ノ勞未タ充分相織ナラス  
三、○旧漁場新漁場トノ順序  
四、○漁民粉撲仲裁法  
○被本村魚類沖合販賣ノ利ヲ調査セス舟無キ為メ  
五、○漁村内重立モノ之レヲ調査  
○被本村魚類沖合販賣ノ利地方故ニ宮古城ヶ崎地方ニ於テ  
六、○書類無キニヨリ記セス

- 一、年調査  
○海產物凶年ノ備荒品及製造  
二、○凶年ノ状況  
○凶年の藩政ノ救助方法  
○全

- 北村福太郎ノ家ニ石垣アテ慶長ノ津浪打上タリト云
- 九、  
○凡海岸ヨリ二百五六拾間ノ所ニ在リ  
津浪ノ末ルヘキ前兆  
○轟ハ安政三年七月廿三日津浪ニモ明治十一年旧三月十七日ノ  
「ヨタ」轟三十日位前ヨリ海低アラフレルト云
- 一、漁村挽回  
○迅速ナ業務  
二、  
○遣船舟早ク造ルニアリ  
○職工アレトモ間ニ合ス
- 一、民管内企望  
○有志見込アルト雖容易ニ行ワレカタシ
- 二、  
○授産方法ニ付便利見込有無
- 三、  
○他ヨリ團体ヲ造リ漁業ニ来ル者アルトキハ如何スルヤ  
○他ヨリ來ルヲ拒ム能ハスル故ニ縣廳ハ夫ニ異動アリテ改良地ヨリ  
是マ目的漁民各業ニ付移住ノ策需ルニ便アリ  
○本モ越中地方ヨリ沖漁ヲ行フ者多ク在リ(一石ナキ釣)  
議論ト云実ニ事實ノ如シ他ヨリ來ルモ拒ム能ハスヤリソクナエ  
早ク前述の如ク移住策急ナリ
- 一、地産業被害調査  
○家畜關係
- 二、  
○耕地被害
- 一、農業調查  
○物價相  
○○漁業アリ代相宜數販路大ニアリ
- 二、  
○貨物價格五割口高シ  
○金利交動及金利實屋ノ情況  
○金利實屋五分實屋無

- 四、凶年及津浪后ノ流行病  
○安政三年七月二十三日 津浪后ニ チヤウチフシ流行
- 一、民需用品  
○海岸山林原（野）ノ状況及将来ノ企望田村木薪炭木トモ云
- 二、竹木大材木薦物消費費年額  
○船渠ハ大肆物消費費年額近比精氣係アリト云
- 三、造船の種類及年々造船ノ員數  
○船渠トヨリ舟内ニ造船スル小舟一五大力四間五間命十年傳馬船三間命七八八年命新ニ拾樓位の造船ス
- 四、木材露木便宜ノ場所  
○木山口官林飛鳥官林越田官林トス
- 五、將來漁船具改良ノ方法  
○漁民調査レサル為メ別方法の考無
- 六、漁衣食供給ノ場所  
○本郡官古町
- 海灣  
一、旧漁場の位置及変更の状況  
○海灣淺深隆凹物岩石変動等詮議中ナレトモ
- 二、海未タ充分調查セス舟無キ為メ
- 三、海灣ノ主産物  
○海灣捕魚の種類及時期
- 四、沖合漁業ノ位置里程  
○春奉賜物貝類夏更屬秋蛙屬冬海鼠屬サカ二十哩
- 五、製塩所位置興廢  
○一新所位置興廢以来高瀬ヘ本縣の奖励ニヨリ改良製塩所設立セシモ  
新炭ノ欠乏ニヨリ廢棄セリ
- 海事考  
一、四季の氣候  
○雪十月下旬ヨリ四月下旬迄降ル一尺位積ル梅花四月中旬咲
- 二、不〇漁未詳前知
- 三、全漁前知
- 四、大漁前知
- 五、潮流ノ状況
- 六、海灣ニ岡スル事歴  
○本村小林福太郎ノ祖先ハ譲禪ノ松原ヲ植シト云又タ譲禪ヲ  
市街ニ造りラント當時設計セシモ其事異サス方今村溝モ
- 七、○凡町並樹八十年位ナリニ代の金次郎植付シナラン三十以来四五回海成
- 八、○固有漁場ノ變遷状況  
○津浪ノ歴史中島ノ古書ニヨリト慶長十六年十月廿八日津浪アリ津輕石ニテ  
百五十人死亡トアリ
- 本村字白瀬中村松太郎慶長十九年ノ津浪アリシトモ古書ニ在リ  
今回津浪ニテ失ヘタリ



漁村制

○組合ハ必要ナレトモ種々事情アリ行ハレズ

○本町ハ岩手縣岸中第一驅除ノ港ナリ故ニ商民多シ字葉原  
漁業今百廿戸内農漁五分多ク漁業兼務男女

○方今發見ノ漁場ハ多ク昔漁場ナリ魚付森林山林ノ幽森木の最況ニ  
ヨリ變ル事アリハヤシ近比發見ハ旨ノ漁場魚付森林伐採ノ為メ

#### 四、漁場紛擾仲裁法

五、捕獲魚類沖合販賣ノ利害  
六、○藩政本町ニ無常時ノ方法及租税  
七、○官金買金ヲシテ桂川及惣子  
八、○桂川及惣子ヲ免ス

凶荒調查

○布粉東海婦人ヒツキ細布穴布鼠ヘス漁民ハ困ラスト云

○天明年間 天保年間 凶年二モ多ク 山手百姓鑑

四、○未詳  
凶年及津浪后ノ流行病

漁民需用品

一、海岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但材木薪炭木ヲ云

○竹木本町ハ、  
○水沢次第麻葉用材費賃料伊川ヨリ賃貸モ近村ヨリ隔ム野テ欠乏見  
○東京物販銀閣主ヨリ需ム本吉辺ヨリ買入麻ハ水沢地方

△薬物代 純銀八二千八百円 此代五万二千五百實勿  
△銀兩代 純銀一千円 千實勿

○漁舟一百七拾艘 内沖漁舟五十 小漁舟二百廿

四〇木村今年々廿九ノ津浪ノ新二造船ス  
木材需ル便宣ノ九十七艘流亡

○山口千徳閉伊川ノ各地方ヨリ  
将来漁船漁具改良ノ方法  
○生来舟ニ足ル種々の機械 改良船具 不適ト云

## 六、漁民衣食供給ノ場所

每 帖

1

○ 機構底ノモニタ変更アルヘシトモ機出未次第検査ヲナシヘシ

三、○ 海湾ノ捕魚種類及時期

四、○春赤魚サカ、○秋鱗鰭赤魚サカ、○夏燻鮑屬地マンボウ  
○沖合漁業の位置里程、○壁帆船百十哩ヨリ百五十哩サカ赤魚三十五哩内外

### 五、製塙所位置與廢 ○無

一、事考  
四季ノ氣候

三、不漁前知

## 五、○全潮流ノ状况

○宮古ハ正憲年中マテハ黒田村 西田村ニケナリ藩主眞天院殿

○今ノ町ヲ副官古ト名称セシト云

○臺永五年子年ハ官古ニテ漁業非常ニアリ小山田川マテ行キ漁獲長セシト云年半ヲ立ルモ漁ニテ海面里り竿網レズト云小舟

○サツ四間ノ船ニスタルモ漁ニテ臺至ニテ代金貳朱ニ賣却セシ

○ナリト云又タ火燭焰船製造イワシヘ臺至ニテ代金貳朱ニ賣却セシ

○木材買入薪トナシ前代未嘗有大漁ト云ヘシ

○文久三年戌年マカセ大漁非常ナリ是モ未嘗有漁故ニ柏二

○○明治七年正月大漁ト云ヘ

○安政六年正月大漁ト云ヘ

○安政七年正月大漁ト云ヘ

八、○未詳  
○津浪ノ歴史

九 津浪ノ来ルヘキ前兆  
○春早ク海草類發生ス 鰯多ク 海中ニ見タルハ前兆ナラン  
其■種々アレトモ記スル事能ハス

一、漁村挽回  
○本町被暴弱ナル業務  
二、漁獲船回収  
○本町工無有ノ事由に因リ

一、漁業機械ノ企望  
○管内沿岸一一致漁業組合設立方法  
二、漁業官内一致出米ルナル大ニ賛成者アリ 容易の困難整ヘキト思ハレス  
三、方法ニ付便利用見込有無

三、○考無  
○他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ來ル者アルトキ如何スルヤ  
○改良產地ヨリ各業ニ付移民ヲ需ル便アリ

## 一、家畜ノ關係

## 二、○耕地被害

一、商業調査  
一、物價相場魚類販路  
○品種販路速ナリ 代賣 相應ナリ 物價 一割五分 腾貴

一、貸借變動及金利賀（屋）景況

○實屋二軒割二分五厘  
○金利貸与八十円三付二分ノ利足ナリ

# 陸中国東閉伊郡鐵ヶ崎町

- 本村被寄ハ 壱町内ノ小湾内 三方二  
少事アリ 尤大歎ケ崎 第一トス
- 漢亡戸数 四十三戸
- 漢納戸数 百三十七戸
- 漢亡人口 二百五十戸  
百廿五人
- 漢亡耕地面積 田 烟
- 漢亡船舶頭数 六十九
- 漢亡財産馬牛
- 漢亡道路堤防
- 漢亡人頭数

漁村ノ新位置

一、新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害

## 一、海面ヨリ高低及沿岸の地形方位

○ 海面ヨリ大坂ヶ崎南ニ海面シアル東ニツツ漬ヨリ檜濱ノ山アリ北  
○ 地形方面ハ宮古七尺八寸位ノモ敷地ナリ大坂ヶ崎西四五尺位ナリ  
○ 海面シアル東ニツツ漬ヨリ檜濱ノ山アリ北

111

烈丑ナノ方々打込ミ吉ケニ二打込ミ激烈反動ハ歎ケ崎

四

○本町 大坂ヶ崎ノ海濱ニ 堤防 必要ナリ

亂伐ノ為ミニ皆魚族沖ニ寄ル魚付森林者落葉樹ヨリ常綠木ヲ  
以テ適トス魚付森林ハ海岸ノミニアラス高山の木ヲ伐採ニモ大ニ  
漁業ニ害アリ

- 六、新道路の見込み及古道ノ便否  
○田老街道 開墾二便アリ
- 七、○本町陸路ノ便ニ寄ルトキハ 海運ハ要セス
- 一、住家  
一、海濱住屋ノ建築の方法  
○土臺造りハ離合ノ利害云
- 二、○住家ト构屋ト離合ノ利害  
三、○本宅構屋ハ離合スルニ便アリ
- 四、○別ニ無
- 一、民風俗  
一、祭事婚姻家庭ノ状況  
○不遡及シハ神官僧侶ニ托シ 滅却セラシ 又補ニ神異ア舟ニ乘  
御御強死者ア浦々ヲ祭ル事モアリ
- 二、○強死者ハ神官祭ル事モアリ  
○成大ハ神官祭ル事モアリ
- 三、○食死人火葬火ハ七日間忌ム 蟻アエヒスト云 蛇ア長虫ト云
- 四、妻栗稗布ノ粉
- 五、衣服木綿
- 六、漁民衣食物供給ノ時季  
○宮古月々北市日(二九ノ日) 織ケ崎月々三回ノ市日
- 七、被害者年々北海道及其他出稼ノ状況  
○良賃借ト不良賃借トノ種類  
○近村漁船航行衛知レサルトキハ 漁民互ニ漁業ヲ休ミ 捜索スルノ義務
- 八、○古来の風ナリ  
○沖漁ハ舟主ハ舟ヲ造漁師ニ貢与漁師ハ食料貢差諸具自弁  
○漁獲物懸高ニ配分舟主ニ船頭二八分ヲ取ル其他ハ屯人分  
○古来之漁船航行衛知レサルトキハ舟主ニ船頭二八分五厘舟頭及  
本村舟主貴重■■■斯履漁夫等ノ事ニ■■■無
- 一、漁村制  
一、漁業組合の状況及改善ノ策  
○漁業組合規則必従ナリト雖モ漁師不了解ヨリ 充分ノ運ヒ至ラスト云
- 二、○本町漁民事業故ニ夫ハ漁り女ハ市ニ魚類販賣家事ハ女ニ任セル
- 三、○風ナリ夜ハ糸垂リ(アミ糸製造の事) 餌差ヲ倍エル等ノ業モアリ
- 四、○旧漁女子ハ夜ハ糸垂リ(アミ糸製造の事) 餌差ヲ倍エル等ノ業モアリ
- 五、○漁セス年行司兼テ鑑定シテ置ク漁業上事故 其他百事年行司ノ仲裁
- 六、○漁業組合ノ利害  
○本村漁業組合販賣ノ利害
- 七、○官古代官所ニ支配海濱ニテ小古羅多シ 岩根掛引ハ無シ 地引の  
箇所ハ限り津輕石川官古川區域内ニ在リ





○ヨタ后 地震ノトキハ 海水 大豆玉ノ如ク アワ(淡)立タリ

漁 村 捕回

一、○魚業アル業務

二、○造船職工有無海ニ多シ 傷馬舟 早ク造舟スルニアリ

三、○欠乏故 其筋ニ出願セント云

漁 民将来の企望

一、○管内沿岸一致漁業組合設方法

二、○授出方法得ル限りハ此大組合ヲ組織セン事 意望ナリ

三、○他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ来ル者

○改良地ヨリ良民移住セシハアルトキハ如何スルヤ

陸 地産業被審査

一、○家畜ノ關係

二、○耕地被害

商 業調査

一、○物價相庭漁類販路

○蝦蟹残り舟ニテ捕漁セシニ 直段モ貴ク販路モ遠カナリ 物價一二割

二、○貸借交動及金利質屋の情況

○全 戸 賃高シ二軒 利子二分五厘金利 武分

六百七十七戸 四十三戸 二百戸 五十二戸 三千八百 百三十二人 男六十六人  
死亡十八人 女六十六人

○漁走而八十間打上漁五十尺

○鐵ケ崎下町上町打上漁十六ト十二戸市中ハ石垣ノ為メ小路山手ヘ  
四五尺ヨリ壹尺迄

● 陸 中 国 東 関 伊 那 岡 嶋 村	○ 漢亡戸數 大沢字 日出島中沢女遊部	○ 漢亡戸數 大沢字 日出島中沢女遊部
● 本村被寄地	三十三戸	○ 漢亡戸數 大沢字 日出島中沢女遊部
○ 漢亡牛馬	拾八桿	○ 漢死亡人口
○ 漢亡財產	○ 漢死亡耕地	九人戸五ヶ所ナリ
○ 漢亡人頭	田百廿	○ 漢死亡耕防
○ 漢亡道路	人戸五十一	○ 漢死亡船舶
○ 漢亡堤防	十五人桿	
一、漁村之新位置		
○ 新住家ヲ設クベキ地及旧住家トノ利害		
○ 本村見込ミテ大沢字女遊部のニヶ所ハ元宅地ヨリ引上ケ 新居宅ヲ設ル		
二、海面面ヨリ高低及沿岸地形方位		
○ 海面面ヨリ五尺六尺宅地地拾尺五十尺迄高キ所ニアリ沿岸ノ地形方位者海岸荒瀬ハ岩盤險阻ナリ東大洋ニ海面大沢		
三、津浪ノ未港場所		
○ 本村津浪ノ津浪者東大洋ヨリ激浪打込ミタルヤノ如シ詳細者		
四、防風林及防浪林其他堤防必要ノ有無		
○ 防風林ニアリ津浪前マテ栗クルミ等ノ樹木アリ道路ヨリ海面見ヘザル		
五、魚付場及海灣近傍山林原野ノ景況并相ノ種目		
○ 字日出島ハ島ノ名ヲ以テ称セリ百間巾廿間余一小島アリモレハ島ノ名古木多クアリ一新前マテ魚付森林故ニ伐木以來魚族寄リタルカス民有地ニ夏網ノ如キハ不漁皆無ト云カ如シ		
六、新種付苗生實業無令ニ困難ヲ極メト云		
○ 沿路ノ貝込ミ及古道ノ便否今ニ付方法ケアリ島岩石故ニ容易居ルト云		
七、○ 沿岸開墾ノ迅速ナルヲ以テ便トス		
○ 本村荒瀬故ニ陸路ニ寄り海路ヲ要ス		
一、住家		
一、海濱住屋ノ造法		
○ 住家ト構造ニ釘打タサルニ利アリ		
二、○ 本屋ト本宅ニ離合利害		
三、○ 海濱住屋造法ノ遺法有無		
一、民風俗		
一、祭事婚烟家庭ノ状況		
○ 本村山手百姓ト漁民縁組ア忌事アレトモ本村無キカ如シ		
二、○ 重克シテ漁民少キ為メ小兒八九才ヨリ燭釣連レ舟ヲ習ス		
三、○ 食物婦アルトキハ七日忌ム死亡ノ忌ハ三日位余リ忌事無		
四、○ 粉ハ豆飯栗粟ニ布粉ハ米ハ節句式日ニ用ヘ		
○ 有謂ノ者ハ老人ニ布粉交セスニ米ニ種位ノ飯ヲ用ヘルハ益ナリ		
五、○ 衣服		
○ 木綿ヲ用ヘ方今婦女子雪中ノ葉ニ麻布ヲ製ス實リ木綿アラム		
從前ノジアト麻無シ木綿ヲ用ル昔ヨリ用ヘタル袖無半テンム		
今ハ用ヘズ		

卷之三



凶荒調本

- 一、海產物凶年ノ備荒品及製造

二、○凶年ノ粉狀況

三、○凶年ノ本村天保ノ凶年ニ大ニ困リ嘗ニ一戸廃家ト云  
及詳記未年ノ藩政ノ救助方法

四、○凶年ノ津浪後ノ流行病

漁民需用品

- 一、海岸用材山林原野ノ状況及森林資源ノ企望但材木新規営木ヲ云  
二、○木大欠乏故ニ資源各自杉植立ヲナシ薪炭充分ナリ  
三、○造艇船操縦者及年々漁獲ノ員數ム其他網宮古ヨリ需  
四、○木村命短シ百三十船六六年荒濱故ニ時々陸揚アスル故ニ  
五、○木村命短シ百三十船六六年荒濱故ニ時々陸揚アスル故ニ  
六、○木村命短シ百三十船六六年荒濱故ニ時々陸揚アスル故ニ

六、漁民衣食供給場所  
○宮古町 瀬ヶ崎町

海灣  
一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二、○海灣主産魚類 蝦松藻石花菜 東海婦人赤魚等

三、○沖合漁業ノ位置里程

四、○製塩所位置興味  
○無

海事  
一、四季ノ氣候  
○雪新月ヨリ一月迄降ル寒中雪不足ノ法且暖氣ナリ

二、○起風雨前知  
三月比マテ降事在リ梅ハ旧三月咲ク

四、○大漁全前知

五、○潮流ノ状況

六、○海湾ニ關スル事歴  
○今回海団ノ當時大洋ノ海上ニリン立カ々火ノ如ク見ヘタリト云

七、○固又タ野田地方出張ノ巡査ヘ注進者ハヤマニリン立ツタル事アリト云

八、○津浪未詳ノ歴史

九、○津浪ノ東ルヘキ前兆

漁村後回  
一、○迅速ナル業務

二、○本小漁舟早ク造ルニアリ本村廿艘大既ニ出来セリ  
○見合会ハ本村長見込ヲ以テ無用の費用減スル為メ坂小屋ヲ造ル事

三、○舟工造りト云協議既ニ七八戸本造リ家宅建立アリ

漁民將來ノ企望  
一、○管内一一致漁業組合設クル方法

二、○大ニ貴成ナレトモ沿岸人民解セカラシ  
○授産方法ニ付便利見込ミ有無

三、○他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ来ル者アルトキハ如何スルヤ

陸地產業被害調査  
一、○畜頭ノ關係  
○馬畜頭牛十二頭死亡放牧牛馬ニ畜無

## 二、耕地被害

- 耕作ハ被害者ハ家族死亡等ニテ逃モ手入行届カス故ニ村長ノ  
参考案ニテ説明ノ上各部被害者模様者へ合同手作耕作  
ヲナシテ無害者五戸三戸ト被害者残家族無害者の家ヲ借用前記ノ如ク  
配當スル義務法設ケタリ秋取種ノトキハ反別作毛ニヨリ

商業調查

○船在ル限り 賜漁ニ着手 大ニ漁アリ 相庭貴ク 販路遠ナリ

1

- 質屋 無 金利 一割

- 重茂村根物總宮古歌ヶ崎入合湾歌ヶ崎ヨリ三十名入合  
申込ミニ■■承知セス(灣歌ヶ崎ノ地内ナリ)九名大免ト云  
モ九名ニテ入合ノ効無キヨリ末タ云々中

本村坡寄他字田老小頃亟持小成四ヶ所



漁村之新位置

- 一、新住家ヲ設ケキ地及旧住家トノ利害  
○本村大字田老乙部區域無キ市街海面ヨリ平均ノ地故ニ年々  
「シケ」(ヨリ)ニモ災害受ル事少不多今回ノ海嘯ノ為モ端モ  
海潮ナリ加ルニ田老川モ地二平均霧雨ニモ  
事多シ故ニ再ヒ元宅地家屋建築ノ見込無シ字館ケ森ヨリ立花マ子  
ノ地ヲ山崩シ平坦ナラシメ新敷地ノ見込アレトモ工事費不尐ル  
ニ移轉如何哉ト有志者考慮中此工事費凡五万円ト云其  
戸数三戸移シ見込ミ戸百五拾坪平均宅坪其坪數五千坪  
戸数三百戸移シ見込ミ戸百五拾坪平均宅坪其坪數五千坪  
五万円ハ内要システム四万五千円故ニ宗族視察スルニ

1

- 海面ヨリ高低清端三尺計り今回津浪臨落セラレ海成モ地モ  
○ 大洋面シ海深セラレ海面平均トナリ地形方位ハ田老ヨリ小成マテ東  
○ 滨港面セル一中央ニ明神鼻第一突起セリ明神鼻ノリ南方濱東ニテ  
○ 港運ノ便ヲ計カル所アリ平素港底根岩多クリ波濤ノリ小濱二テ  
○ 田老元地ヨリ如キ岸壁アテ丁立ノ所を三十間位アテ退々海成  
○ 故此河床ノ如キ岸壁田老字川床高キ事モ地一尺位ナリ

- 三、津浪 ○田老ノ津浪口ハ東面ニ西面津浪ハ東南ヨリ打込ミ其反動  
四、防風林及防浪林其他堤防必要有無  
○田老ヨリ南山根ニ防風林ノ松樹數十本在リ（四五尺通り）海面ヨリ  
二十尺モ高キ砂利堤防アリ今回ノ津浪ニ立木モ堤防モ破壊セラレ  
五、魚付風林植付尤急務ナリ將來田老川床下六七百間ノ堤防ヘ沙止ト  
○本村ノ小港ノ東面ニ當リ高戸島在リ明治廿九年ヲ去ル四五十年前  
火災ノ為メ燒（火）木ヲ燒キタル事ヲ云タリヨリ魚付クナリ  
六、新道路ノ見込及古道ノ便否  
○田老ヨリ羽畠通り山口ニ至ル里道及樺内通り崎山ニ至ル  
七、池沿岸運搬ノ便否  
○池沿岸運搬ノ便否元ヨリ要セス
- 一、住家  
○海濱住屋ノ建築方法  
○旧藩士工学家著三平ノ發明トテ海岸ノ家屋納屋之建築ハ  
土臺下ニジン脚（打込）土臺換ミジン脚の間ニ石ヲ据ヘトナシ  
二、○住家トスルトキ渡亡シカタシト云  
○住屋建築方法圖カス本村津浪ニハ往古ヨリ館ナ森ニ  
過カレヘシ云事當時ヨリ傳記ナリ
- 一、漁民風俗  
○不事婚姻家庭ノ状況  
○漁民男子七八歳ニハ釣魚連レ行鰯釣リニヌタ十二三歳ニハ  
漁婦年少者アルトキハ格明娘ハスエヒシト云蛇ヲ太脂（フトユヒ）ト云娘ヲ母ノ神ト云  
二、○衣服紳物食料布ノ粉糲一日五回ノ食事ナリ
- 三、○衣服紳物食料木綿三分麻七分  
○本村衣食物供給時季  
○又本村官古町ニテハ日一アル故ニ是ニテ衣食圖（速）
- 四、被服  
○良習北洋道出洋百人位亦近傍ニ夏百人秋二百人位出洋  
○良習價ト不良習慣トノ種類  
○順序正敷乙シ入津端スルナリ又戻リ（請帆）ニハ寄島ノ前ニ着クヲ以テ  
古田老シト正敷乙シ入津端スルナリ又戻リ（請帆）ニハ寄島ノ前ニ着クヲ以テ  
冲漁キ赤魚アレトモ流亡故ニ無シ部高ニアルト云從来ノ良風ナリ  
又カサカサアレトモ流亡故ニ無シ部高ニアルト云從来ノ良風ナリ  
冲ヘ着ク順序ニテモ定ム（夜分火揚ケテ定ム）

一、漁業組合ノ状況及改善策  
○組合全體必要本村小本村漁業組合成立居此規約中  
　　鮑類ノ如キハ繁殖季節解消獲獲セシムル事企望ス

二、漁業ノ勞働及種類の順序  
○農漁兼務農三三分漁女ハ漁獲物調製ト賣却ヲナシ

三、金銭貸取漁男ハ漁業ニ從事スルナリ  
○旧明治場所新設場所ノ位置ノ状況アリ

四、民粉漫仲間法  
○明治十九年比新規発見ノ箇所ハ昔ノ場所ナリ

五、漁獲物の利害  
○本村魚類沖合販賣無近海ニテ宮古辺ノ者ト賣買アリ

六、漁業當時の方法及稅法  
○是レヲ防禦困却セリト云  
○舟主ハ漁船ニ漁具運民賞付漁師ハ食費賄差ヲ出シ  
○漁獲物ヲ相庭ア立トテ主人ニ納メ舟頭ハ人分引取平均ニ  
○漁業當時集会ニテ主ト舟主ト云相庭立ルニ舟主船頭本村

七、競争調査  
一、海産物  
○布ノ粉からも頭海苔(四月海ヨリ採り干し置キ生ニテ)  
○凶年未詳  
○凶年ノ状況  
○凶年ノ際藩政ノ救助方法  
○凶年及津浪后ノ流行病  
○全年

八、民需用品  
一、海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望但材木薪炭木トモ云  
○竹木本村材木乏數新伐沢山方今杉一箇人能ク植立居  
○蘿麻水汎氣仙地方本言地方(蘿麻)一  
○蘿麻水汎氣仙地方本言地方(蘿麻)一  
○造帆ノ種類及年々造船ノ員數  
○懲罰ノ種類及年々造船ノ員數  
○木材五百株需五十四命五十年力傳馬  
○木材千株需一百三十二命三十年  
○木材千株需一百三十一便アリ

九、漁業改良之方法  
○改良在良舟具不適ト云舟船ハ浦々波浪ノ都合ニヨリ地方  
○本郡宮古町市日二子瀬(鐵ヶ崎町)

## 一、漁港

- 一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
二、○○海○今ニ調査セス（舟無キ為メ）場所ニ寄リテ変更アルハ必定ナリ  
三、○○鮑鰐等ノ主産地  
四、○春播種魚ノ種類及時期  
五、○沖合漁業ノ位置里程  
○製塙所位置  
六、○本村水汎及壩待ニアリ皆破壊再興ノ見込ト云

## 二、事考

- 一、○四季ノ氣候  
二、○○梅ノ花旧十月ヨリ三月マテ降ル積ル事壹尺五寸  
三、○不〇日月雨前知立アレハ雨天ナリ  
四、○大漁未詳前知  
五、○潮流ノモメ多来ルトキ漁アリ  
六、○沖冷ナルトキト霧等アルトキハ陸（海岸）螺ハ寄ルト云  
七、○記スル事一無一  
八、○津浪ノ歴史  
九、○八明治廿九年旧三月ヨタ川隨ニ百八十間浪押込ミ  
九、○津浪口ノ舟打上ケラレタリト云  
九、○未詳前光

## 三、漁村

- 一、○迅速回  
二、○小舟ナル業務  
三、○久之工有無キ他ニモ無キ殆ト困ル

## 四、漁民

- 一、○管内一致漁業組合取扱方法  
二、○授産方法ニ付便利見込有無  
三、○他ヨリ團体造り漁業ニ來ルモノアルトキハ如何スルヤ  
○未ルトキ拒ム

## 五、陸地

- 家畜園圃調査

○人民死亡多キ為メ 耕地作毛■■■■■不少津浪ノ實無キ所モ  
■■■ナリ

商業調查

一、物價相場魚類販路  
○鰯海中多沙舟無キ苦ム 物價三割高シ

#### 二、賃借變動及金利質屋ノ景況

小田	家	三百三十五戸	死亡	人口	千	地宮
港老	家	五戸	全	口	八百	元古
播持	家	恰戸	死亡	人口	八十人	ノの着

漁村の新位

○ 本村家ヲ設立ハ既に既往本村家ノ利害  
一、 民向大学ハ小本町ハ海老名ト同水害  
忍ヒストテ中野二移轉ヲ新本川ト名ニ置キ  
及ヒテ他位高地故ニ設ケントルニ

○ 海面ヨリ高低及沿岸ノ地移方位  
海面ノ西二七尺位地移  
海岸ハ 風東ニ 面シタル大洋洋ナリ  
海岸ノ西ニ在リ 海岸ヨリ凡五丁山風ノ薩ニニ本川町  
六月ニ山北の藤ニ 海岸ト云カ如シ向西ニ當リ小本町  
四十方八メートルト云カ如シ向中野村在リ本町ニ  
水メトトテ舟ヲ以テ向中野通ヘタリ本町ニ大坂疋

三、津波評議会開催ノ件  
○津波評議會開催リタル場所所  
ニ直銀二打込ミ小本町へ南斜メニ打込ミタ少

- 五、○魚附場後山官及海港近傍山林原野ノ状況并林相種目  
○必用甲場所ナ在秉ノ魚付場へ凡木立木本千本位の所今回海曠二付
- 六、○魚付用本程佛下下猪植付メ大林区■シ  
○新前條佛下ケ漁業の為メ害アルヘシヲ充分ラサル事在リ
- 七、○新道路の見込ミ及古道ノ便否  
○舟中ヨリ岩泉ヲ經テヘ駿道一盛岡ニ至ル道路田老ヨリ北ヘ酒街及  
舟着ケ場無キ為メ風波烈敷道ヲ闢クトキヘ廿五六年丁ハ小本湾ニ  
舟前ヘハ舟着ケ前ヘハ舟着ケ運搬ノ便得取モノト云宗宣考ル宮古ヨリ故  
舟北ナ北方海岸ハ■■多ク荒漬海底岩石多シ東大洋ニ面シタル海濱ナリ南ヨリ
- 八、○荷物等ハ運搬ノ便否  
○荷物等ハ運搬ノ為メ海運ハ必要ナリト雖漁船繫留ノ場所ニ乏敷  
故ニ止ア得ス陸送スルナリ

- 一、住家海濱住屋の建造の方法  
二、○住家ト納屋ト離合ノ利害  
三、○本村住屋建造成ノ違法有無  
○本村字中野二大杉(二十二人廻り)ニ昔津浪筋学桶(ヲボナ)ハ  
掛記念ノトキハ余り古キニモハ木製中興竹籠ニテ製スタル品内  
掛置クト云一李桶掛枝ハ根ヨリ九合メニ掛置ク  
是レハ後世ノ人ニ津浪ノ事ヲ忘却セサル為メナリ

- 一、民風祭事婚姻家庭ノ状況  
○不漁舟二ハ浦寄ト唱ヘ僧侶ヲ以テ祈ル  
○漁死舟ニハ漁物ヲ神ニ捧ケ祭ル
- 二、○漁民ノ産婦アレハ清禁ト唱ヘ僧侶ニ托シ祭ル  
○初産婦男生ルト三日女ハ生ルト七日忌ム漁師ハ他寄宿  
忌マズ猿エヒシト云蛇ヲマ虫ト云
- 三、○食物死亡ハハマツシト云
- 四、○衣服漁業神布ノ粉(米)五分神(糸)五分一食事宜數定マラズ耕作  
○昔ハ麻勝ルナレトモ方今ハ木綿ナリ(花色)
- 五、○漁衣食物供給ノ時季被舊百姓正月商人他ヨリ入漁業盛ナルトキ百事買入ル  
○北海町村漁民年々北海道へ三十人位出稼比ハ八戸泊リ邊ニ
- 六、○良習慣習等アルトキハ親族友人一日ノ漁物ヲ助合ス家作工事  
一部落一同加勢ヲナシ

- 一、漁村漁業組合ノ状況及改善ノ策  
○組合規則設ルト雖モ実行セス

- 一、漁民ノ勞動及稼業の順序  
 ○漁農兼務男子漁ニ女子陸ニ耕シ夜ハ麻糸ヲ製シ冬布ヲ織ル
- 二、○旧漁場ト新漁場トノ位置ノ状況
- 三、○旧漁場粉塵仲裁法  
 ○村内重立者ハ仲裁ヲナシ或ハ其吟味ニテ何分紛議無キヲ務ム
- 四、○捕獲又タ魚類沖合販賣ノ利害  
 ○本村魚類沖合ニテ官古之者へ賣却スルニ便利アリ
- 五、○本村販賣等ハ川税無シ一本村陸送不便ニヨリ沖賣ニ益アリ云
- 六、○從前ハ小本川ハ蛙三百五十本上納是ハ川税ナリ蛙  
 海ノ税ハ干鰐干シエ上物ニテ小本村其他免ス他等ノ員数未詳
- 四、凶荒調査  
 一、○凶年ノ備荒品及製造  
 二、○凶年不詳の状況
- 三、○凶年ノ緊要政ノ救助方法
- 四、○凶年及津浪後の流行病
- 五、○海産物
- 一、○海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望  
 ○竹木大麻漁獲量及年額
- 二、○竹木大麻漁獲量及年々造船員數
- 三、○造金地元ニテ調度スタ岩泉以外地方ヨリ買入  
 ○小船及漁船三百五艘命ハケ年五体力与板ハ（沖漁船）五艘
- 四、○木材小便宣ノ場所  
 ○木馬二十艘三拾艘位造船ス
- 五、○本村漁具改良の方法
- 六、○本村ノ海鮮二種セス
- 七、○食糧供給の場所  
 ○食物ハ宮古仙台久慈（器得）盛岡衣服ハ宮古盛岡
- 八、○舟船ノ位置及交更ノ状況  
 ○舟船ノ主産
- 九、○海灣捕赤魚ノ種類及時期  
 ○春養魚サカカ夏昆蟲秋蠅蛙
- 十、○漁業の位置里程  
 ○流漁業の位置里程
- 十一、○塙場位置興廃在リ再築スルト云
- 十二、○四季ノ氣候  
 ○雪旧十月ヨリ三月マテ降ル多クハ正月前后梅花旧二月咲  
 土用后ニ暑アリ一百十日雨多キ方

- 一二、○起風未詳前知
- 三、○不漁全前知
- 四、○大漁全前知
- 五、○潮流ノ状況  
○潮流ノ関係ニヨリ 蛙漁 今日ニアリ 翌日 海中ニ蛙多ク居ルモ
- 六、○海釣レサル事アリ
- 七、○固有明治廿五年ノ比蛙 大漁アリ
- 八、○津浪未詳前史
- 九、○津浪全ノ未ルベキ前兆  
○茂師漁師海中漁業中（六月十五日夜）沙大ニ引故  
津浪アル報知セリト云

- 一、村境回  
一、迅速ナル業務
- 二、○小漁舟及網ミ早ク製造シムルニアリ 案置早織造ニアリ  
○舟大工無殆ト死亡

- 漁民将来ノ企望  
一、管内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法
- 本村川口荒濱改漁船露留ノ不便ニ付 萩前ヲ場所トナシ
- 二、○授産方法ニ付便利見込有無
- 別考無他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ来ルモノアルトキハ如何スルヤ
- 他ヨリ漁民移住好マス

- 陸地產業被害調査  
一、家畜ノ關係
- 二、○耕地被害  
○田畠當年毛ノ上荒トモ明年ヨリ決而荒地無ト云

- 商業調査  
一、物價相場魚類販路
- 漁獲アレハ相場高キ方販路宜敷方諸品ハ三列隕貴ス
- 二、○貸借交渉及金利實屋景況  
○金壹割

○○○○重	○全戸數	小成	★地名不詳	★地名不詳
○死人人口	七百數	廿七廿人	六十六戸	六十六戸
○流亡牛馬人	二十四人	四十八人	九十九人	三十四戸
	牛女男	八十七人	八十二人	三十一人
	牛女男	八七十四人	八九九人	八八八人
	牛女男	八七十四人	九十九人	一百戸

一、  
○新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害  
○本村坂音者地ハ絶壁ナル海濱故ニ新位置ヲ設ルノ地モ海岸近傍ニ

二、  
○海面ヨリ高低及沿岸ノ地高キ所ニ引上ケ家宅ヲ設ルト云  
○海面ヨリ高低諸端四尺ヨリ八尺部落図ニ詳記ス地形方位ハ  
東大洋二面シ字羅賀ヨリ阿久洞ノ間ニランカ崎アリ本村海濱ハ

三、  
○津岩山巖絕壁ノ荒瀬ナリ

○本村ノ未ル場所タリ津東大洋北ニランカ崎アリ（丑寅ニ營リ）辰巳ヨリ

四、  
○防風林及防浪林其外堤防必要の有無  
○海岸絶壁本條ヲ設クル程ノ地無シト雖モ平井賀ノ海濱ニ

五、  
○魚防風林必要ノ地ナリト宗真根セリ

六、  
○新羅賀辺一新以来私有地の為メ乱伐セシヨリ楠アミ不漁ト云  
○新道路見込及古道路ノ便否

七、  
○漁村在来の里道ノ便否

○本村沿岸運搬ノ便否

一、住家海濱住屋ノ建造ノ方法  
 二、○別考無  
 三、○住家卜納屋卜縫合ノ利害  
 四、○海濱住屋建造ノ道法

一、民風祭事嫁姻家姓ノ状況

二、漁民櫛物○漁產蠣ヲ忌（方言ヲヒヤト云）漁民他ノ家宿泊ス七日間賭ラズ

三、食物死亡者アレハ二日間忌ム廟建納ニテ忌事無

四、衣服米神粟妻若布

五、漁木綿衣麻布○漁民舊衣供給ノ時季

六、被舊衣者益々月年年未十二月

七、良民北漁道不及其他出稼無

○記習慣ト不民習慣トノ種類

- 漁村制  
 一、漁業組合ハノ状況及改善ノ策  
 二、漁業組合ハノ勞動及從業の順序モ差支無  
 三、旧漁場ト新漁場トノ位置ノ状況  
 四、漁場粉塵仲裁法  
 五、漁獲魚類沖合販賣ノ利害  
 六、漁政ノ當時ノ方法及税法  
 ○税金無ト云不審
- 凶荒調査  
 一、海產物凶年ノ備荒品及製造  
 二、凶年ノ状況  
 三、凶年ノ防護政ノ救助方法  
 四、凶年及津浪后流行病  
 ○全
- 漁民需用品  
 一、海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望但木薪炭トモ云  
 二、○竹木大材薪炭木ニモ欠乏無  
 三、○麻アミ宮古地方ヨリ糸織(蛸アミ織)塙釜地方ヨリ需  
 ○冲船ノ種類及年々造船ノ員数  
 四、○木材四頭取革廿五體アミニ用ルハ船數三百四十八艘壹ヶ年  
 五、○木材ヲ捨て完五體ヘキアミニ用ルハ船數五百十二艘傳馬舟五十艘  
 六、○本村大字字額改良ノ方法  
 ○漁具改良ノ方法  
 ○盛岡市及宮古町所
- 海湾  
 一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
 二、○海湾主産大波ノ如シ貝物小骨類漁當分欠乏見ルベシ  
 三、○海湾本村ニノ種類及時期  
 四、○沖合本村漁業ノ位置里程  
 五、○製塙場ノ位置興廢  
 ○鳥越塙平ハイベ塙平井貢二塙阿久洞二塙  
 ○壹ケ所マクサニテ廃止再興スルト云  
 ○改良汐塙壹工役ルト云壹ケニテ百五十円ト云
- 海事考  
 一、四季ノ氣候  
 ○雪一月ヨリ三月マテ降ル梅花五月咲

- 一、二、三、四、五、六、七、八、九、
- 漁業者全般の潮流・風浪・天候等の状況
- 漁場の歴史
- 漁業者未満の前兆
- 一、漁業者回数と漁獲量の関係
- 二、漁業者未満の前兆
- 漁業者不足の原因
- 漁業者不足の対策
- 一、漁業者全般の金銭問題
- 二、漁業者全般の資本調達方法
- 三、漁業者全般の資本調達方法
- 一、地産業被害調査
- 二、耕地面積調査
- 耕地の被害
- 耕地の被害
- 一、漁業物販路調査
- 二、漁業物販路調査
- 漁業物販路調査
- 漁業物販路調査

一、新住家ヲ設クハキ地及旧住家トノ利害  
○本村字普代及木田各部八元宅地再七居住力見込無キヨリ

○海面ヨリ高さ及沿岸地形方位  
本村字番代及太田名部ハ元宅地再ヒ居住の見込無キヨリ

三、津浪山手二月場所和洋斗三  
○東北ノ大浴場津浦頭  
東三日リ 遊興烈ナル  
逆浪 打込ミ 本村海濱

四、防風林地セシノ如シ  
○防風林地及防波堤林地ノ堤防必要有無  
元宅地及太田名部ノ海濱ハ防風林植付必要ナリ尤太田名部  
元宅地及故二部ノ海濱ハ防風林植付必要ナリ尤太田名部  
耕地地ニ交換容易ニナラス樹木ヲ植付漸次

五、魚付場及海湾近傍山林原野ノ景況并林相ノ種目  
○海岸當口故ニ公頃多フアノ其他雜木

六 新道 路の見込及古道ノ便否  
○ 岩泉街道へ沼森一通り 清街道ノ車道ニ 隔壁ニ便アリ

○本村ハ多ク荒濱海底ニ岩石多く在リ大洋ニ面シ入江及港湾無ト雖モ太田名都港ニハ二千石位ノ舟入津スル故ニ此港ヲ以テ更モ港也。

## 一、海濱住屋建造ノ方法

二、○考無  
の離隔スレニ更アリ  
住家ト柄屋ト離合の利害

三、海濱住屋建造ノ違法の有無

### 一、漁民風俗 祭事 婚姻家庭ノ状况

○漁民ノ禁物 ○壁錦ヲ忌ム 織錦ヲマシト云

### 三、食物

○民木用  
漁獵民衣食供給四分  
五、六季分  
麻六分

# 漁村制 漁業組合ノ状況及改善ノ策

一二、○漁民ノ為動及稼業ノ順序

一三、○旧漁場六分派四分 男子ハ漁女子耕シ夜間ハ

三四、○旧漁場ト新漁場の位置ノ状況

四五、○漁民紛糾仲裁法

五六、○捕獲村魚類沖合販賣ノ利害所理スルナリ

六七、○未改當時の方法及税法

○詳説

凶一、荒調査

凶二、○凶年未詳布粉物凶年ノ備荒品及製造

凶三、○凶年未詳未詳状況

凶四、○凶年全ノ隣藩政ノ救助方法

○全般及津浪后流行病

○漁民需用品

一、○海岸山林原野の状況及将来の企望但木薪炭共モ云

二、○竹木村新炭欠乏故本村ハ輸送方法ヲ行へ居ルノミ

三、○造船船大抵運物消費量年額

○東京輪縄ハ盛岡ニ開ム

四、○木村ヲ需ル便宜ノ場所

五、○将來漁舟ノ改良方法

六、○漁具改良本村の如キ荒濱ニハ遭セス

○本民衣食供給の場所所産スル故ニ盛岡市へ賣出シ全地ニテ衣食ヲ需ム

海一、舊

一、○旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二、○海底ノ搜索末タ着手セス根付物欠乏見ル哉の如シ

三、○海面漁網等

四、○春漁鮭鮎昆布食塙

五、○秋鮭昆布秋鮎冬鮭サカ海鼠カセ

五、○製塙場位位置興廢

○字黒崎太田名部壹晉代ニ壹力崎ニ壹

○白井二壹澤二壹塙内二壹八ヶ所再興トス

○壹ケ年壹壹ヨリ九十九石取種ト云

海事考

一、○四季ノ氣候

二、○起雨十一月ヨリ四月迄降ル梅花五月初咲

三、○不漁未詳前知

○全

四、大潮流前知  
 五、○潮流全ノ状況  
 六、○港湾二両スル事歴  
 七、津浪ノノ歴史  
 八、津浪ノ未ルヘキ前兆  
 九、○津浪ノ未ルヘキ前兆

一、漁村換回  
 二、○小漁舟ノ業務  
 三、造舟職工ヲ造ルアリ  
 ○職工乏數ニ困ル

一、民情未ノ企望  
 二、○管内一致漁業組合ヲ設ル方法  
 三、○授産方法ナレトモ沿岸ノ大家ハ好マサルヤノ如シ  
 三、○他ヨリ民一一致組合見込有無大至  
 三、○本村ニハ未ル者アルトキ如何スルヤ  
 ○本村ニハ未ルモノ無ト思フアリ

一、地産業被調査  
 二、○耕地被管  
 三、人民死者多キ割合二八耕作荒少シ

一、漁業調查  
 二、○物價相場  
 三、○諸物價ハ買賣相應  
 二、○賃借變動及金利買屋景況  
 ○買屋無利差分五厘

遺亡戸数  
 死亡人口

太田名部  
 四十戸  
 二百五人

三十五  
 三十八  
 三十二戸代  
 九十六人

墓  
 五十  
 六戸内  
 十一人

謝山寧寧加  
少學學習  
大海海國圖  
華南國海之都  
小城小村  
水水水水水水水  
海海海海海海海

牧養業  
漁業

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、

○新住家ヲ設クヘキ地及旧住家トノ利害  
○海面ヨリ元モ地変更スル所無シ  
○海面ヨリ高低及沿岸の地形方位ハ本村ノ海濱  
○荒漬海岸内ノ姿アリ北ニハ三崎東大洋ニ面又タ  
字野田海岸上砂石海面ヨリ三拾尺計リ則沙止め  
堤防ナリ所ニ納屋多クアリ今回没セリ  
○津浪ハ未リ打込ミタルヤノ如シ  
○本村林其他堤防必要ノ有無  
○魚木付場及防浪林等變更無字下安家前田野田三海岸ニハ必要ナリ  
○道本村及從事ノ防風林無字下安家前田野田三海岸ニハ必要ナリ  
○道本村及古道ノ便否  
○久慈川運送スルヲ企望ス  
○海沿岸運搬ノ便否

一、住家  
二、○住家未詳○本宅ト納屋トノ離合ノ利害  
三、○海濱住屋建造ノ遣法ノ有無

一、漁民風俗  
○産事婚姻家庭ノ状況

二、漁民ノ禁物  
○産婦八三日間漁業ヲ禁ス死亡ハ敢テ機ス當類ノ(牛馬)  
死亡等ハ忌ムナリ禁スルモノハ猿ルヲマシト云蛇ヲヘヒト云

三、食糧  
○米穀エヒシト云

四、衣服  
○木綿紬五分  
○漁衣五分

五、飲食  
○旧民正月時分  
○舊盆七日正月本村毎月五ノ日三四市日ヲ以テ供給ス

六、被服  
○被服被付各月其出稼ノ状況

七、居住  
○北辰玉川辺三倍人位其他各地ヨリ六七倍人位  
○習慣付トトハ種類人位

一、漁村制  
漁業組合ノ状況及改善ノ策  
○漁業組合 必要ト云末タ充分行ハレズ

- 一、漁業ノ勞動及稼業の順序  
○野田地方ハ漁業兼営玉川辺漁ト製塩ノ業ナリ故ニ
- 二、旧男子漁業ニ女子ハ陸上耕作ハ漁具製造手傳ヲナシ
- 三、舊漁場ト新漁場トノ位置ノ状況
- 四、○未詳漁場粉撲仲載法
- 五、○捕獲魚類沖合販賣ノ利害
- 六、○未詳當時ノ方法及既法
- 凶荒調査  
一、海產物凶年ノ備荒品及製造
- 二、○凶年ノ状況
- 三、○凶年不詳の際遷改ノ救助方法
- 四、○凶年未詳
- 五、○凶年及津浪后ノ流行病  
○凶年及津浪后ノ流行病未詳明治十五年ニコレラニ四十三人死亡  
當時流行致數家ハ焼却飛防セシニ全十九年ニコレラ壹人死亡
- 渔民需用品  
一、○海岸山林原野ノ状況及將來ノ企望但材木薪炭木トモ云
- 二、○竹木材大麻糸等及年額多ク植立者アリ杉栗白楊等ナリ
- 三、○造船ノハ木製物消費量及年々造船ノ員数  
○竹木材少馬鹿及サバ内船八丁立ノ舟三四丁立ヨリ六丁立アテ廿艘
- 四、○木製玉川舟上ノ臺官林所
- 五、○將改良強船強具改良ノ方法
- 六、○久慈町ニ露ム玉川辺ハ盛岡ニ塩ヲ積出交易スルナリ
- 海灣  
一、旧漁場ノ位置及変更ノ状況  
○未タマツア調査セス多分変更アラン
- 二、○海灣ノ主産魚類及時期  
○春鱈鰯鮭タナコ昆布鰐食鹽
- 三、○沖合漁業位置里程  
○赤魚位置三十哩  
○製塩位置與鹽田所  
○塩所金澤四ヶ所土内壹ヶ所玉川三ヶ所大湊二六ヶ所計内金澤三ヶ所大須賀壹ヶ所玉川二ヶ所合食塩ヲ所再立ト云玉川辺塩壹箇ヨリ壹ヶ所年ニ二百四十石之得ルト云
- 四、四季ノ氣候  
○雪旧十二月ヨリ旧三月アテ降ル梅花旧三月下旬咲  
○雨不足残暑強キ方

### 一、思考

○四季ノ氣候  
○雪旧十二月ヨリ旧三月アテ降ル梅花旧三月下旬咲  
○雨不足残暑強キ方



漁村ノ新位置

- 一、新住家ヲ設ケヘキ地及旧住家トノ利害  
二、○海面ヨリ高低及沿岸ノ地形方一位  
○海面ヨリ高低及沿岸地形方一位  
三、津浪東大洋洋空出ス  
四、○防風林及防浪林等之堤防必要ノ有無  
○防風林及防浪林等之堤防必要ノ有無  
五、魚付海岸及海湾近傍山林原野ノ景況種目要セス  
○海岸ノ樹木等之雜木アリ一別ニ魚付林荒レタルニアラス  
六、○新道路ノ見込ミ及古道ノ便否  
○野田ヨリ本村久喜至ル  
七、○海運ノ便否  
○海運ノ便程ノ事無

住家

- 一、海濱別荘の建築方法  
二、○住本納屋と離合ノ利害  
三、○海濱別荘の建築方法ノ有無便アリ

漁民風俗

七、民習慣ト不民習慣トノ種類

○未詳

一、村制

○漁業組合ノ状況及改善ノ策

二、漁業民勞動及漁業規則更正ニアリ

三、漁業民勞動及漁業規則更正ニアリ

四、漁業立場付大二返ジ返大ク沖ニ寄ル

五、漁業立場付大二返ジ返大ク沖ニ寄ル

六、漁業立場付大二返ジ返大ク沖ニ寄ル

凶、荒賄臺

一、海産物凶年ノ備荒品及製造

二、凶年ノ状況若布細布ヒツキ東海婦人

三、凶天保ニ多人民死亡致數ハ路傍ニ軋ベ織ル

四、凶未詳年ノ廢政ノ救助方法

五、未詳津浪後の流行病

○未詳

漁民需用品

一、海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望材木薪炭ヲ云

二、竹木木炭薪炭木私山無キ為土ニ困知セリ故官山母下ヲ要スルナリ

三、○麻糸及水沢織織久慈町ニ霜ム

四、○木村ヲ船七拾艘内沖漁五艘之レハ字久喜ノ所有ノミ記ス

五、○近傍二無魚具改良ノ方法

六、○漁民漁舟漁具改良ノ方法

○漁民衣食供給ノ場所

○久慈町ニ霜ム

海、湾

一、旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二、海湾ノ主産

三、○海湾底岩石運動ニヨリ變更アルベシ

四、○冲合漁業ノ位置里程夏蠣秋蠣冬蠣赤魚廿哩

五、○製鹽場所百廿哩

○字小袖鹽ヶ所アリ再興

海、事考

一、四季ノ氣候

二、○雪旧九月下旬ヨリ三月迄降ル

○未詳

三 不 避 全 ○ 大 漁 ○ 全 流 潮 ○ 二 間 クル  
四 前 知 前 知

五 潮 全 ○ 流 全 ○ 二 間 クル  
六 海 二 間 クル ○ 正化(嘉)ニ年八月十三日大風田畠荒損ス ■ ■ 食  
七 ○ 固 其人多ク死亡セリト云  
八 津未詳歴史  
○ 正化(嘉)元年地震アリ八月二十三日野田海ト久慈ノ海ト  
○ 津波震懸ヘタリト云  
○ 安政三年七月二十三日地震津浪野田久慈ノ耕地ニ逆浪  
九 津波来ミ入之死亡  
○ 未詳ルベキ前兆

一、漁村挽回  
一、迅速ナル漁業  
二、○然小漁舟ト漁獲再興ニアリ  
○職工ノ有無

一、民情未ノ企望  
○管内沿岸一致漁業組合設ル方法  
二、○此方法二付行ハレカタシル  
○他ヨリ改良ニアルトキハ如何スルヤ  
三、○東ル者アルマジ

一、地產業被害調査  
一、○畜ノ閑係  
○地被害

一、業調查  
○物價相定魚類販路  
二、○賃借動及金利實屋ノ景況  
○金利二割

○久喜滅亡家屋人口  
家三拾六戸滅亡 人口百廿八人滅亡

● 陸 中 田 国 南 九 月 郡 長 内 村	○ 本 村 被 害 地 ハ 大 ヒ ナ 長 内 濱	三ヶ 所
○ ○ ○ 游 戸 數	四 戶 ○ 游 戸 數	○ ○ 流 亡 納 屋
○ ○ ○ 游 納 戸 數	十五 棟 ○ 死 亡 人 口	○ ○ 負 傷 人 口
○ ○ ○ 游 亡 牛 馬	○ ○ 游 亡 耕 地 田 畑	○ ○ ○ 流 亡 通 路 堤 防
○ ○ ○ 游 亡 財 產	○ ○ 游 亡 人 口	○ ○ ○ 流 亡 人 口
一、漁 村 ノ 新 位 置	○ 新 断 本 村 家 ヲ 設 ク ヘ キ 地 及 旧 住 家 ト ノ 利 善	合 標 三 人
二、○ 海 面 ヨ リ 高 低 及 沿 地 方 ノ 地 形 方 位	○ 港 面 ヨ ノ 高 低 部 諸 國 二 記 史 地 形 久 慎 滯 南 ニ ア リ 一 小 濱 ナ リ	
三、○ 津 波 位 置 ハ 南 南 山 北 地 面 ア リ	○ 久 慎 滯 卵 辰 ノ 方 面 東 ヨ リ 流 向 久 慎 港 夏 井 村 海 濱 ベ 打 込 ミ	
四、○ 防 其 反 動 本 村 ノ 海 游 ヲ 壊 セ シ モ ノ ナ ラ ヌ	○ 防 風 林 及 防 潟 林 ハ 長 内 濱 二 植 立 ハ 必 用 ナ リ	
五、○ 本 村 渔 渔 本 野 ノ 景 况 並 木 相 ノ 通 類	○ 防 風 林 及 防 潟 林 ハ 長 内 濱 二 植 立 ハ 必 用 ナ リ	
六、○ 新 断 本 村 渔 渔 本 野 ノ 景 况 並 木 相 ノ 通 類	○ 新 断 本 村 渔 渔 本 野 ノ 景 况 並 木 相 ノ 通 類	
七、○ 渔 沿 岸 連 撤 ノ 便 否 ハ 別 二 不 便 ヲ 見 ス	○ 渔 沿 岸 連 撤 ノ 便 否 ハ 別 二 不 便 ヲ 見 ス	
八、○ 渔 沿 岸 連 撤 ノ 便 否 ハ 別 二 不 便 ヲ 見 ス	○ 渔 沿 岸 連 撤 ノ 便 否 ハ 別 二 不 便 ヲ 見 ス	
一、住 家	一、海 游 住 屋 建 造 ノ 方 法	
二、○ 住 家 ヲ 构 屋 下 離 合 ノ 利 善	二、○ 住 家 ヲ 构 屋 下 離 合 ノ 利 善	
三、○ 海 游 住 屋 建 造 ノ 違 法 ノ 有 無	三、○ 海 游 住 屋 建 造 ノ 違 法 ノ 有 無	
一、漁 民 風 俗	一、○ 漁 家 事 業 烟 家 庭 ノ 狀 況	
二、○ 漁 男 女 烟 家 庭 ノ 狀 況	二、○ 漁 男 女 烟 家 庭 ノ 狀 況	
三、○ 漁 男 女 烟 家 庭 ノ 狀 況	三、○ 漁 男 女 烟 家 庭 ノ 狀 況	
四、○ 衣 服 米 紡 織 妻 婦	四、○ 衣 服 米 紡 織 妻 婦	
五、○ 渔 金 食 物 供 給 時 季	五、○ 渔 金 食 物 供 給 時 季	
六、○ 本 町 七 月 供 給 時 季	六、○ 本 町 七 月 供 給 時 季	
七、○ 本 町 七 月 供 給 時 季	七、○ 本 町 七 月 供 給 時 季	
一、漁 村 制	一、漁 業 相 合 ノ 状 況 及 改 善 漆	
二、○ 本 村 故 未 夕 行 事 能 ハ	二、○ 本 村 故 未 夕 行 事 能 ハ	

- 一、漁民ノ勞動及稼業の順序  
○漁民農業兼業の順序
- 二、○漁場ト布機織ヲ以テ漁業トス  
三、○漁場ト新漁場トノ位置状況  
四、○漁村内重立者取扱へ協議ノ上事情トス  
五、○獲本魚類沖合販賣ノ利害  
六、○未改ノ當時ノ方法及稅法  
詳
- 一、荒調査  
二、○○年未詳状況  
三、○凶年ノ際政ノ救助方法  
四、○凶年全及津浪后ノ流行病  
○全年
- 一、民需用品  
○海岸山林原野ノ産物  
二、○竹木植木大立者近来多し木欠乏無之モ沢山樹木アルニアラス故  
三、○造糞糞類及年々造糞數  
四、○木材タラ調査セス所  
五、○將來井戸村谷便ナリ  
六、○久慈町戸ノ場所  
○渔民別好食ムモノ無
- 一、旧漁場の位置及変更ノ状況  
○海港底調查舟無キ為メ今ニ見合居根付物不足ヲ見ルベシト云  
二、○海湾主產  
三、○海湾春捕魚昆布及ふのり鰐蛙蠣赤魚サカ  
四、○沖合漁期  
五、○製塩場百拾哩  
○製塩場位置興秀  
○不漁未詳前知  
○大漁前知  
○全
- 一、事考  
一、○四季ノ氣候  
二、○起雪日十月月中旬三月迄降ル桜四月花咲  
三、○不漁未詳前知  
四、○大漁前知

五、潮流狀況  
六、○全海灣二閘スル事歴  
七、○全固有漁場ノ變遷ノ狀況  
八、津浪ノ歴史  
九、○全津浪未ルベキ前兆

一、村換回  
一、○迅速ナル業務  
二、○小漁船早ク造り与ルアリ  
○欠乏工有無  
雇入員無

漁民將來ノ企望  
一、○管内沿岸一致漁業組合設ル方法  
二、○容易ニ行レカタシ  
授產方法二付便利見込有無  
三、○他ヨリ團体ヲ造リ漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ  
○考無

陸地產業被害調査  
一、○家畜ノ關係  
二、○耕地被害

商業調查  
一、○物價相庭魚類販路  
二、○賃借變動及五金利質屋ノ景況  
○壹割五分ヨリ二割

一、住家  
二、○海濱住屋ノ建造の方法  
三、○住家ト納屋ト離隔スル利害  
四、○本宅海濱住屋ハ離隔法ノ有無大ニ便アリ

一、民風俗  
○○祭事嫁娶家庭ノ状況  
○○漁不漁漁ニハ昔山伏方今神官ニ托祈拂ヲスルナリ  
○○為漁民ハ多ク好アス酒ハ漬ト綠組ヲ好ム是力  
○○為漁業アリ從弟妹父兄妻子者ヲ好ム是力  
○○漁業常小学校卒業後多ク漁業ニ從事セシメ十二三才ニハ  
二、  
○○漁民驕釣沖漁船ニ乘セ幼年ヨリ淮虻ニ從事セシム  
三、  
○○食産物ノ禁物ヤエント云竇周ヲ忌ム死亡者ハ忌燃ラハズ  
四、  
○○衣服米穀種麦  
五、  
○○漁旧民木綿八分供給麻二分  
○○盆衣食物供給ノ時季  
年未年十二月

- 六, 被告北漁業年々北海道出稼ノ状況
- 七, ○良賃借ト不良賃借トノ種類  
○人家造りニハ村民「エヘコ」  
人夫五人助合ス甲家ハ三回普請ヲナシ乙家一臺回請入詰  
札壹弐ヲ云一右ノ■■■人夫三回助合ヲ受ケタル者ハ普請入詰
- 漁村制
- 一, ○漁業組合ノ状況及改善策
- 二, ○漁民ノ勞動及營業ノ順序フトキハ極必要ナリ
- 三, ○漁民農業兼業男子海ニ漁り女子陸ニ耕シ故ハ大麻ヲ製シ
- 四, ○日妻布ヲル漁獲物賣却ス金錢取締ヲ趣主人用スルトキハ
- 五, ○捕獲魚類沖合販賣ノ利害口論ハ若者頭ニ任セ所理ス
- 六, ○未政當時ノ方法及稅法
- 凶年調査
- 一, ○凶年メノコロノ備荒品及製造
- 二, ○凶年ノ状況
- 三, ○凶年ノ際善政ノ救助方法
- 四, ○凶年ハ及津浪后ノ流行病
- 全般
- 漁民需用品
- 一, ○海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望材木薪炭木トモ云
- 二, ○竹木大木薪炭木欠乏ニアラス
- 三, ○從前ハ前條葉物消費量年額壹丸ヘ拾把ハ八戸地方方今東京薦越ハ久慈地方ニ需ム
- 四, ○造船未タ調査無縫接及年々造船ノ員數ヨリ七八錢迄
- 五, ○木村大字鳥谷官体ヨリ求ム
- 六, ○漁民改良具改良處具好マス
- 久慈町八戸町所
- 海湾
- 一, ○旧漁場ノ位置及変更ノ状況
- 二, ○海浜主産調査セス昆布ノ如キ皆無ナラン
- 三, ○海浜捕鯛鮭鰐鰐鮭赤魚サカ
- 四, ○冲合漁業ノ位置里程
- 漁船百哩ヨリ二十哩赤魚サカ三十哩

- 五、製塙場位置興燒  
○無
- 一、海事考  
一、四季ノ氣候  
二、起○起未風雨旧十月ヨリ三月迄降ル　梅花　四月咲  
二、不○不詳前知  
三、大○大漁全前知  
四、潮流全前知  
五、大○大漁全前知  
六、○海灣全開スル事歴  
七、○津浪未有漁港ト久慈港ヨリ夏井村夏井川上海岸ヨリ二十哩ノ所ニ  
八、○津浪全開スル事歴史  
九、○津浪ノ末ルヘキ前兆
- 一、漁村換回  
一、迅運ナル業務  
二、○舟造ルト漁具製造スルニアリ  
二、○欠船工有無モ無キニ苦ム
- 一、民將來ノ企望  
一、○管内沿岸一一致漁業組合ヲ設ル方法  
二、○授良法ナリノ獎勵ニヨリ方法  
三、○他物産方法ニ付便利見込有無リ連ニ組織ナルベシ  
三、○改良園地ヲ造良民十全セシメ得意ヲ求ルニアリ  
○改良產地ヨリ良漁師移住ヲ需ムハ如何スルヤ
- 一、陸地產業被害調査  
一、○家畜ノ關係  
二、○耕地被害
- 一、商業調査  
一、○物價相場魚類販路  
一、○繫漁アリ販路速ナリ米壹升拾壹錢五厘ヨリ拾三錢迄  
○金利壹割五分ヨリ貳割

五  
六

一、<sup>一</sup>漁村之新位置  
○新住家ヲ設ヶキ地及旧住家トノ利害

二、<sup>二</sup>海面ヨリ移轉スル所無  
○本村海岸ヨリ高低及沿岸ノ地形方位

三、<sup>三</sup>津浪ノ未ル場所  
○津浪ヨリ面シ極小ナル海濱ナリ且久慈港連絡ノ一海濱ナリ

四、<sup>四</sup>東久慈濱ノ辰巳ヨリ打込ミタルヤノ如シ  
○防風林及防風林其他堤防必要ノ有無

五、<sup>五</sup>防風林付近古屋敷ヨリ久慈港へ連続防風林植付及夏井川  
○堤防修築ハ急務ナリ

六、<sup>六</sup>魚付付場及海灣近傍山林原野ノ景況并林相種目  
○本村海濱ノ見込ミ及古道ノ便否

七、<sup>七</sup>漁村別路二ノ見込無  
○小漁港故ニ別記スル事無シ久慈港ヲ以テ百事便トス

一、漁民風俗  
祭事婚嫁家産ノ状況  
二、漁業官署ノ祭事  
成文化漁業ノ祭事  
三、漁業生産物ノ祭事  
アルトキハ七日間忌ムノミ  
四、衣服米糧三分神七分上等食物麦粟ヲ用ヘ  
五、漁木綿麻  
六、被服旧民衣食物供給ノ時季  
七、年々町村七月及正月北海道及其他出稼ノ状況  
八、良賃借ト不良賃借ノ種類

一、漁業組合の運営と漁業の現状  
二、漁業の問題と対策

三，〇旧漁場ト新漁場ノ位置ノ状況

四，〇漁獲量ノ増減仲裁法

五，〇捕獲魚類沖合販賣ノ利害

六，〇未政ノ當時ノ方法及税法  
○未詳

一凶荒調査

二，〇凶年メノ物凶年ノ備荒品及製造  
状況

三，〇凶年ノ際藩政ノ救助方法

四，〇凶年全及津浪后ノ流行病  
○全年

漁 民需用品  
一，〇海岸山林原野ノ状況及将来ノ企望材木薪炭木トモ云

二，〇竹木材水新炭ハラズ消費年額

三，〇造船未船ノ種類及年々造船員數

四，〇木材需ル便宜ノ場所

五，〇將來森林田苗改良ノ方法

六，〇漁民衣食供給場所  
○久慈郡八戸町

海 湾

一，〇旧漁場ノ位置及変更ノ状況

二，〇海湾未詳主産

三，〇海湾捕獲魚ノ種類及時期

四，〇沖合漁業ノ位置里程

五，〇久慈二全ス製塙場位置興廢  
○半崎塙流亡改良塙ニ改築スルト云

海 事考

一，〇四季ノ氣候

二，〇起雪日十月中旬ヨリ三月下旬迄隆ル梅四月上旬咲フ  
○雨前知

三，〇不漁未詳前知

四，〇大漁全前知

五，〇潮流ノ状況

六，〇海湾二閘スル事歴  
○全

- 七、○固有漁場ノ交遷ノ状況

八、○津浪全歴史

九、○津浪ノ末ルベキ前兆

一、○迅速ナル業務

二、○造船廠工有無アリ  
○職工乏キニ因ル他ヨリ雇入員無

一、民將來ノ企望

二、○管内沿岸一致漁業組合ヲ設ル方法

三、○授產方法ニ付便利見込有無

一、○他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ末ル者アルトキハ如何スルヤ  
○他ヨリ來ル者アルトキハ拒ム

一、地產業被害調査

二、○馬畜ノ關係  
○耕地被害者二頭死亡

商業調查

一、○物價相場魚類販路

二、○津浪五分賃貸  
○金利交動及金利實屋ノ景況

一、<sup>漁村新位置</sup>○新住家ヲ設ケ  
二、<sup>海面移居</sup>○海面ヨリ高低及沿岸ノ地形方法  
三、<sup>津波警報場所</sup>○津波警報場所ハ本村海岸ハ丑寅ノ大洋ニ一平面ナリ  
四、<sup>風浪暴風</sup>○津波暴風其ノ打込ミタルヤ如シ  
五、<sup>堤防</sup>○堤防要所無  
六、<sup>魚付</sup>○魚付付場所及海邊近傍山林原野ノ景況并木相ノ種目  
七、<sup>新道路</sup>○新道路ノ見込及古道ノ便否  
八、<sup>漁村運営</sup>○漁村運営ノ便否  
九、<sup>航運</sup>○航運故ニ海運便スル所無且海運ハ要セス

一、住家 海濱別荘ノ建造ノ方法

二、○住家納屋ト離合ノ利害

三、○海濱隔スルニ大ニ有便アリ  
○別荘無建造ノ遺法ノ有無

一、漁民風俗  
○祭事暨家庭ノ状況

二、○不漁漁節ハ神官ニ托シ 浦景リナシ  
○女ノ夜業ハ衣服及麻糸ヲ製シ冬ノ業ハ汐蓬モ手傳ナシル

三、○漁民ノ禁物  
○食産蠶七日間忌ム 依ラヤエント云蛇長虫ト云狐ラ尾長ト云

四、○衣服米五分稗五分上トス米壹分稗九分中トス其他種々糧テ食ス

五、○木綿縫古手口

六、○被者益々時季  
○舊北海道町村漁民年々北海道及其他出稼ノ状況

七、○本村慣習ト不良本村年々百五十人位一字麦生ノミニテ四十人位  
○本村慣習落託ノノ種類普請諸家屋建築屋根替及吉凶共ニ  
妻妾五姓叶每ニ送ル人夫助合スルナリ

一、漁村制漁業組合の状況及改善ノ策



○薪三人切此木四五拾■結丸キ之レヲ五日間伐ルト云  
（■■■位ニ伐モ有）

集解

- 一、四季ノ氣候  
二、○雪旧十月下旬ヨリ一月中旬迄降ル梅花旧三月中旬桃一同ニ咲  
三、○起風雨前知未詳  
四、○不漁全前知  
五、○潮流ノ状況  
六、○海湾ニ觸スル事歷  
七、○今回海嘯ニ付海底の石壹圓半四方位大石海濱ヨリ陸上  
八、○固甘間余の所打上タリ有漁場變遷ノ状況  
九、○安政三年七月廿三日地震津浪■■■のカベ少々落浪壹丈余打上  
十、○昔ノ津浪妻生細越ト云所津浪越ヘタルト云海面ヨリ百尺打上  
十一、○以上ノ所ナリ今回津浪ハ七拾尺計リ打上タリ未詳  
十二、○津浪ノキ前光

漁村挽回

- 一、迅速ナル業務  
二、○塩窯改良建築第一アリ  
○職工ノ有無  
○職工ノ有無

漁民將來ノ企望

- 一、管内沿岸漁業組合ア設ル方法  
二、○容易ニ一行レカタシ有無  
三、○塩法ニ付便利見込有無  
四、○他ヨリ團体改良ニアリ漁業ニ表ル者アルトキ如何スルヤ

陸地產業被害調查

- 一、家畜ノ閑  
二、○耕地坡害  
○

商業調查

- 一、物價相場魚類販路  
二、漁業アレハ販賣  
三、資本變動アリ貿易  
四、金利變動アリ貿易  
五、景況アリ 物價二割口賸費

● 陸中国北九戸郡中野村  
○ 本村被害地ハ字有家原子内小内所三ヶ所  
○ 流亡戸二十七戸○ 漢戸二十八戸○ 戸内六戸所  
○ 漱納戸二十八戸○ 漱戸六十六戸○ 流亡人六戸所  
○ 流亡人口六十六戸○ 流亡死人六戸所  
○ 流亡財産一戸○ 流亡人口六戸所  
○ 流亡道路堤防一戸○ 流亡船舶一戸所  
一、村ノ新位置  
○ 新住家ヲ設ケキ地及日住家トノ利害  
○ 本村移設スル者各自点々居モヲ移シ者アレトモ別ニ  
二、海面ヨリ高水及沿岸ノ地形方位  
○ 本村字原子ノ如キハ竟石ノ鑿留ニ三尺或ハ十尺以上海濱モアリ沿岸  
三、津浪置  
○ 防風林堤防必要ノ有無  
四、防風林堤防必要ノ有無  
五、魚付付場所内海濱二丈又半ノ大洋ニ一方向ノ海濱ナリ  
六、新道新以未至伐木ノ為メ欠乏是レ為メ魚族冲ニ寄ルト云  
七、海岸運搬ノ便否  
○ 荒濱故ニ海運ノ便無  
一、住家  
○ 海濱住屋ノ建造ノ方法  
二、住家ト離合ノ利害  
○ 海濱住造ノ造法ノ有無  
三、別ニ無  
一、民風俗  
○ 祭事煙家庭ノ状況  
二、衣服種市村ニ全ス  
三、食物種市村ニ全ス  
四、衣服木綿  
○ 民衣供給ノ時季  
五、漁食  
○ 旧日七月一十八日  
六、被害民日々北海道及其他出稼の状況  
○ 民習慣ト不良習慣トノ種類行ク  
七、本村ハ毎布採收ニハ壹戸ヨリ五人出ルモ壹人出ルモ取穫  
見布合同戸數ニ配當スル習慣アリ  
一、漁村制  
○ 渔業組合ノ状況及改善ノ策  
○ 渔業組合ハ漁民労働及保険ノ順序組織スル見込ト云  
冬ハ布漁機ヲ夫ハ海上ニ漁シ女ハ陸耕シ垣籠ノ手傳ナシ

- 三、○旧漁場ト新漁場トノ位置ノ状況

四、○漁民粉撲仲裁法

五、○藩政内重立者劉ク  
○旧戸頭領ノ方法及税法

六、○藩主御手行ヘト唱ヘ 謂主之ヲ行フ 漁民ノ  
密賣ハ禁物ヲ 購買上ケ製造スルナリ 品物宜數者ニハ賞与ヲ賜ル  
嚴重ニ禁スルナリ

一、凶荒調査  
二、○凶年ノ産物凶年ノ備荒品及製造

三、○凶年詳記  
四、○凶年ノ際藩政ノ救助方法  
五、○凶年及津浪后ノ流行病  
六、○全般用具

一、○林原野ノ状況及将来ノ企望但材木薪炭木ヲ云  
二、○竹木大木薪炭余り品タルニ非スト雖モ需用ニ足方森林保護ハ宜敷方

三、○本々木沢地方逃難者ニ前錢子ヨリ需ム木綿網東京  
四、○本村逃難者百拾六棟ノ内百治二棟滅亡セリ  
五、○本村船数百拾六艘ノ内船主名部屋  
六、○本部船主名部屋及八戸町久慈町

一、○漁場ノ位置及変更ノ状況  
二、○昆蟲主産  
三、○昆蟲種類及時期  
四、○沖合種植市村ニ位置ス  
五、○製塩場市村ニ位置ス  
六、○朝ヨリ汐水汲ミ十二時マテニアリヨリ火ヲ入ニナメ  
煮タクル薪五拾束此塙三斗入拾三俵位ナリ

一、事考  
二、○四季ノ氣候  
三、○起未風雨市村ニ全ス

- 三、不漁全大○潮流前知
- 四、○潮流全大漁前知
- 五、○海全潮流狀況
- 六、○海湾全開況  
本村ハ開況事歴  
多夜分ニハ八戸事歴  
未有漁場方令モ共同事業者協待盛固領故ニ八戸藩ニテ切手用ヘタル故ニ
- 七、○固有多シ漁場ノ詳方令モ行レカタシ事實込ム是の為メ用ヘタル富家二
- 八、○津浪全ノ歴史
- 九、○津浪未有漁場ノ變遷ノ狀況
- 一、漁村換回
- 二、○漁船漁具早ク造ルニ在リ ■■ニ廿艘新造船ス  
足舟工有無故雇度人無
- 一、民耕未ノ企望
- 二、○管内沿岸一致漁業組合設ル方法
- 三、○授産方法二付便利見込有無  
他ヨリ團体ヲ造り漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ
- 一、地產業被害調査
- 二、○耕地被害
- 一、業調查
- 二、○物價相場魚類販路  
種八錢ヨリ一錢迄 ■■壹枚一十二錢 ■■栗  
金利賃借變動及金利賃屋ノ景況  
金利無 二割五分 賃利口頭貴賤漁獲物アレハ販路遼ナリ

一、新住家の新位置  
○本村海岸流亡家宅各自移轉スル者アルヤノ如シ居宅ヲ

○ 海面ヨリ高低及沿岸地形ノ詳記ス  
砂濱ニシテ多ク還浅方位土丘寅ノ大洋ニ面一面向ナリ

○本村 海濱大洋 一方面へ 卯辰ヨリ 激浪打込みタルヤノ 如シ

○ 防風林等を有する海岸は、防風林の設置により、風浪による侵食が緩和され、海岸の侵食が抑制される。しかし、海岸の侵食が緩和されると、他の海岸では侵食が進む場合がある。

五、魚付電車場中へ往々近張り及ばず、山人ノノリ為メニモ、山原ノ景况大ニ相便アリ。」

○本村海岸宿戸ノ第四地割第五地割ノ地方ニ魚付森林ヲ植付ルハ目下ノ急務ナリ

○新道路ノ見込ミ及古道ノ便否  
大濱街道ノ為メ海城三四百間  
在リ此道路ハ

七、山手二交換改築スルニ

○荒濱故二海運ノ便無  
一、住家  
○住家別築屋ノ建造ノ方法  
二、○住家卜納屋卜隣合ノ利害  
三、○本宅卜隣スルハ大二便アリ

○男子ハ經舟ニモ乘セ 飼差蔭キ等習シム

○漁民禁物猿ヤエント云蛇ヲ長虫ト云鱗ヲエヒシト云猿  
猿豆トン云蜘蛛ヲノ番ト云

○ 沖中ニ第三回「サイン」ハタルトキハ「サイ」「ケニヘ」  
○ 婦人ノ月経ニモ忌ム 猪師ヲ忌ム 獣医ヲモ忌ム

三、食物ライ病モ忌ム死亡等ハ忌嫌ハス

四、衣服米糧種多分種，三食又川多沙

五、漁民衣食供給ノ時季

六、○旧日盆七月未年十二月 村社系 旧五月十五日  
被被害者町村漁民年々北海道出稼ノ状況

七、○北海道へ本村ヨリセシ七百人へ八百人ニ至ヘ壹戸三人位一出稼二張  
良習慣ト不良習慣トノ種類ル故ニ如此多人數出稼モ差支無

○家屋建築等ニハ親族友人材木等恵与ス一部落毎ニ米壹戸  
建築外ニ葉栗ニ外ニ便人夫婦中助合スルナリ元の規約ナリ家屋

○建築等ニハ大ニ便アリ現行法等モ常テキハ根付魚獲物ハ病家ニ配當ナシ与ヘ又

漁村制

- 一、○漁業組合の状況及改善ノ策  
二、○漁業未組織セストは非必要ナリ  
三、○地主元女ハ賣削キ女ハ駄送スルナリ  
四、○旧漁場子ハ賣新糸ヲモム布ヲ製シ冬氣中ノ葉ナリ  
五、○捕獲民粉仲裁法桂建築ミノ位置如何哉  
六、○藩政當時ノ方法及税法  
七、○船壹箇ニ付金貳又ヨリ四又迄御札金ト唱ヘ納ム  
八、○蒲原税務課の脚本ヨリ三百文迄へ三間舟ナリ一束油魚昆布鮑等ナリ

凶年

- 一、○海物産年ノ觸壳品及製造

二、○凶未年ノコ状況若布

三、○凶年ノ國際譲政ノ救助方法

四、○凶年市凶年ニハ ■高壹社ニ付五姓八合苑分与ス  
中市民民ニ粥ヲ施ス皆譲主令全ス

○凶年明及津浪后流行病  
○明安政三年凶年ノ赤稱稱行アリト云  
十九九年七月廿三日津浪后ハチウフシ流行  
コレラ■■■死亡

漁民需用品

- 一、○海岸山林原野ノ状況及備蓄木ノ企望  
二、○竹木大木麻糸等消費年額又は貯蓄額  
三、○造飯舟ハ水路地方ヨリ八戸製ハ六箇四箇ノアミナリ  
四、○木舟故ニ種類及年々船員數ハ十三ヶ年二十ヶ年十ヶ年本村荒瀬  
五、○木舟青森縣内小百六拾艘入港為モ船命永シ他ハ皆十ヶ年位ナリ  
五、○漁具池田名良改部良方法  
五、○漁具釣具自製イカカ釣道具ハ宮古前瀬ヨリ霧ム

六、漁民衣食供給ノ場所

○八戸町

海

一、日漁場ノ位置及変更ノ状況

○海底地盤運動セスト難二三百貫タリ大石陸上打揚ガ海中モ

二、

○海却ヘ脚根付物欠乏ヲ見ルハ嘗然ナラシト云

三、

○海潮期魚油カセ若布天草堅

四、

○冲合底泥冲百四十尋宮古ヨリ二十里後レ大槌山田ヨリ三周間モ

五、

○製塩場位トテ二周間後レ大槌山田ヨリ三周間モ

六、

○字字平内三四年

○字字玉川戸三三四

海事考

一、四季ノ氣候

○雪冬至ヨリ翌旧三月初旬迄降ル一積少事四尺平年二尺

二、

○起梅花在旧四月中旬咲其方角ヨリ来ル  
○其風雨前知ハ朝日南北或ハ北ニコヒテサビトモ云リタルトキハ

○春秋向ヨリ立トキハ雨風其方角ヨリ来ル

三、

○不漁前知二月二根岩ニ海苔多ク着ク年ハ夏雨多クアル

四、

○大漁立トキハ晴天纏アリ又ユルカ(鹿海)

五、

○瀬ノ状況立廻ルトキハ大漁アルナリ

六、

○春ハ南二流ルトキハ晴天纏キハ之年北二流ス

七、

○本村三字八木ハ凶ノ凶年前マテ六戸家アリ本年海嘴前マテ

○天明ヨリ三戸ノ家ナリ为メ二十七戸減差リ六戸残ル内ニ戸ハ

八、

○梅沢共ノ米沢平七高屋敷藤兵工石橋三之丞八木惣三郎

九、

○固有漁場スヘ戸譜

十、

○安政三年七月二十三日ノ津浪ハ本年ノ津浪ノ五分一ト云

ト云不詳ナリト雖當村ハ塙納屋三棟人口三四人死亡ト云

九

津浪ノ未ルヘキ前兆  
 ○本村字八木十文字要助老人（七十七才）話ニ四十七年前大地震の  
 慶ノ前兆其當時旧正月廿三日夜月左ノ如ク欠タリ  
 ト云故要助老人左ノ月ヲ見テ本年夏天災アルナラント話タリ  
 ト云

尋常

二十三夜  
ノ月

明治廿九年旧正月

廿三日ノ夜ノ月四十七

年前全月全夜月ト全ス■如此

### 漁村挽回

一、迅速ナル業務

○舟舟ヲ造り塗素等ヲ早ク造ルニアリ

二、造船廠工有無八戸地方ヨリ雇入員モ村規約ニテ未ラス話シ困却

### 漁民将来ノ企望

一、官内沿岸一致漁業組合設立方法

○此方法ヲ行レルトキハナル公益人物無キ滿メ容易ナラン

二、授与改良ニ付便利見込有無

三、他ヨリ團体ヲ漁業ニ未ル者アルトキハ如何スルヤ

○未ルモノ無ト云考フト云

### 陸地產業被害調査

一、家畜ノ關係

二、耕地被害

### 商業調査

一、物價相處魚類販路

○米壹外拾貳錢■■壹外■■三四錢■壹外三錢ヨリ四錢マテ

二、貨物運動アレハ販路速ナリ

○賃金利賃屋ノ情況

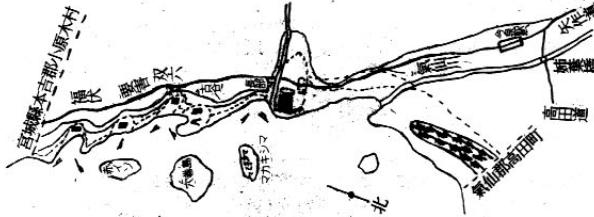
○賃屋無金利壹円二付壹ヶ月廿五錢廿錢拾五錢マテトス

3. 大海嘯各村別見取絵図

1914年九月十六日

上海浦东农村别见新家  
印

- 陸前国氣仙郡氣仙村戸数百三十戸人口千十七人  
○ 本村海東岸ハ高内陸に見面シ被事地字福伏要害双六占古谷町部ニトスル長部港全所新元  
○ 宅地ニ二戸トヒヤ木屋地盤の見込ミ少シ海岸ヨリ遠ク河引揚ケニ二日市第一四十坪位盛立新  
○ 亂本村伐セシタメ魚付森林ハ本村戸宮城縣本吉郡小原木村の界界森林アリ一新以美私有山ニ度シ  
○ 本村伐セシタメ魚付高田町界ニ遠ク河沖ニサリ口□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□  
○ 本村道連ノ利便り鱒漁ニモ便利アリ実ニニ非常ニ効素平洋森魚ノ附林ヲ兼る此森林ノ  
長部港ニ連繩ノ利便り鱒漁ニモ當時アリ其困縛有益不少防風波浪森及魚付森林ノ模範ト云ヘシ  
アリセシヨリ通航嘴ニモ當時アリ非常ニ便テ之矢作村ヲ經テ一の街へ通スラ道路開鑿スルニ便



- 遊清の落葉ハ十葉造り量  
葉ニモリトノ木本村海潮  
ノノ曾浦美賀アハ云而可  
ルモナリトニ來者有之  
木本村舟造ニタルモ南  
生其船の外等モ防  
クヨホ本家ノ屋敷ハ隣接ス  
ルシ二丁便アリ
  - 木村村置ノシテ連岸  
民ハ部内ニモ有百アル  
時ニ一ノ分遺物ヲ贈  
ヘ贈物ニ貢受タル者ハ是  
ヲ百番ニ用元ルナリ  
此即慢ハサルヲ事務  
トスシ

- 本村ノ漁獲物多ト雖主産ハ鱈鮭鰯赤魚漁場里程十二里  
 ○ 多本村漁獲物多ト雖主産ハ鱈鮭鰯赤魚漁場里程十二里  
 ○ 本村の如氣仙沼宮殿改良製造所モ字古谷瀬ニアレトモ將未二見込無シ  
 ○ 大本村ト云所皆流亡セシト云今泉郡高田町ニテ海嘯アリ本村今泉ノ内  
 安政三年七月廿三日大震度々アリル古文書金山ノ工夫小屋ノ設ケタル所后ニ町  
 拝込ミハ馬屋屋及雪崩等マテ數十軒計津浪時ヨリナリ出シ九  
 右谷外人花馬共一円構無御座候  
 古谷外人花馬共一円構無御座候  
 今泉郡高田町ニテ海嘯度々アリル古文書金山ノ工夫小屋ノ設ケタル所后ニ町  
 何方モ死人半舟渡赤崎村大震度々アリル古文書金山ノ工夫小屋ノ設ケタル所后ニ町  
 右之通路ノモ死人半舟渡赤崎村大震度々アリル古文書金山ノ工夫小屋ノ設ケタル所后ニ町  
 地居家等大体津浪サ一上房ハ伊豆下房田ト申所居家千軒有之場所ハ大地震津浪レ  
 一寸程低キ事ニ相見得申候此度ノ機知居家等相済申候事ニ相見得ヘ候其時ノ津浪ヨリ此度ハ水五  
 大震度ニテ長部港大水揚ケアリテ安政三年七月廿三日八月一日地  
 ○ 每日有之候打上浪四拾尺走リ一拾圓ヨリ四百圓

海嘯被害者數及人口調査 明治廿九年七月十日

被害前		戸数		家屋		浸水戸数		被災前		死		傷		被災後	
戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	死亡	男	女	男	女	戸数	損失額
三七	二七	三八	二七	三八	二七	三八	二七	三八	一〇	一	〇	一	一	一五	一〇〇
一七	一七	一八	一七	一八	一七	一九	一七	一八	一七	一九	一三	一六	一七	一五	一五
一七	一七	一八	一七	一八	一七	一九	一七	一九	一九	一九	一三	一六	一七	一五	一五

被害者數及現存調査 明治廿九年七月十日

被害前		戸数		日本形船		西洋形船		全損上		現存		日本形船		西洋形船	
戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	損上	現存	戸数	戸数	戸数	戸数	
一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一〇〇	九九	九七	九七	九七	九七	
一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一〇〇	一	一	一	一	一	
一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一八六	一〇〇	一	一	一	一	一	

被害者數及現存調査 明治廿九年七月十日

被害前		戸数		日本形船		西洋形船		全損上		現存		日本形船		西洋形船	
戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	流失	戸数	損上	現存	戸数	戸数	戸数	戸数	
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一〇〇	一	一	一	一	一	
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一〇〇	一	一	一	一	一	
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一〇〇	一	一	一	一	一	

- 陸前国氣仙郡高田町 戸数 残四戸 人口百十一人

○ 本町ハ海岸ヨリニ二拾町余所ニ在リ本町内ノ耕地ハ數丁ニ渡防風林ノ為め被雷少シ津波ハ

○ 松原ニ支ラレ磯村米崎村字沼田ヨリノ反動遊水地ハミ矣松原ノ効大ナリ此松樹ヲ植付タル

○ 角森ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア孫ア

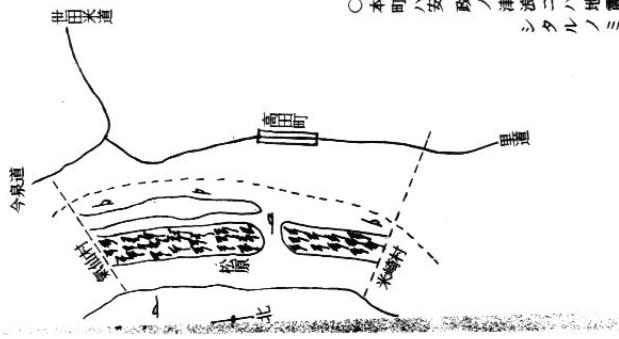
○ ノ為め林ノニ便屬済旁多クアリ之ヲ以魚付森林トス木本町ノ海濱極セマキ僅々海濱ナレトモ此松原

○ 道路ノ不便ヨリリ海嘯の當時困却セリ故ニ第一氣仙沼街道及矢作村通リ一ノ闕工通スル里道

○ 世田米田通リ此川町習慣ハ遠野ハ水害澤ヘ通スル事無アリ便アリハ矢作村通リ

○ 本町トスルニ二種アキハ高田町氣仙村同様アキハ高田町氣仙村同様アキハ高田町氣仙村同様アキハ

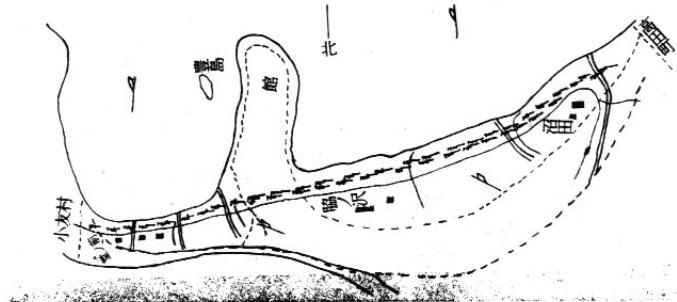
○本町ハ安政ノ津浪ニハ地震ニテ水かめの水コ水シタルノミ海岸近キ震家の土蔵



- 本町打上選 手力浪
  - 本町打上品 手力高
  - 本町松屋喜兵衛 戸友賀屋喜兵衛
  - 整齊頭數四員内 壱
  - 整齊頭數三員内 壱
  - 整齊頭數二員内 壱
  - 整齊頭數一員内 壱
  - 其他整齊頭數 壱
  - 本町松屋喜兵衛
  - 本町打上選 手力浪
  - 本町打上品 手力高
  - 本町松屋喜兵衛 戸友賀屋喜兵衛
  - 整齊頭數四員内 壱
  - 整齊頭數三員内 壱
  - 整齊頭數二員内 壱
  - 整齊頭數一員内 壱
  - 其他整齊頭數 壱

陸前国氣仙郡米崎村

- 本村被被害地字沼田岩ノアリシニ二年延等ニ干場等ノ苦情アリテ所ナムトモ近年ニ至リ種付ハ急事アリスルモノモ
  - 本方ニ二百年延無キ延等ノ島マテテカニ延トモ久前ニテ海運ニ成又タハ十数年前マテ風林アリシ字堂の前失ヘハ
  - 本方ニ延無キ延等ノ島マテテカニ延トモ久前ニテ海運ニ成又タハ十数年前マテ風林アリシ字堂の前失ヘハ
  - 本タナコハニ延無キ延等ノ島マテテカニ延トモ久前ニテ海運ニ成又タハ十数年前マテ風林アリシ字堂の前失ヘハ



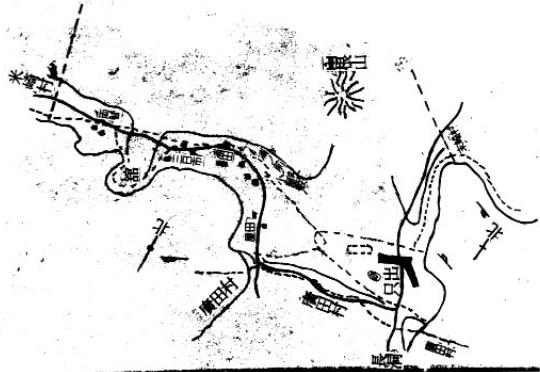
海嘯被害戸數及人口調表 明治廿九年七月十日

警 戶 數	戶 數	戶 數	家 屋	浸水 戶數	被 害 人 口	死 亡	重 傷	輕 傷	家 屋 外 淹 數	
						洗 失	金 漬	半 漬	淹 失	金 漬
四 六	一 〇	四 四	七 七	一 〇	四 四	七 七	一 八	一 八	二 五	五 五
						一 〇	一 五	一 一	三 三	一 一
						女	男	男	女	女

被字公船及現行調表 明治廿九年七月十日

被事種類表  
明治十九年七月十日

陸前国氣仙郡小友村



- 本村道路ハ米崎界ヨリ山根付表海岸只出ニ通ジ是ヨリ廣田末崎ニ至ル道路
- 本村裏清字三日市方面四修築スル便アリ

○本村漁船漁具改良ノ意末タ進マス漁網ハ本縣下水沢一ノ岡地方ヨリ需ム衣食供給ノ場所本郡高田町盤町トス良久海嘯歴史四十年以來小津漁五回程アリト云トモ其詳細記スル能ハノ所ナリハ十二年足リ百三十尺ヨリ五百尺余ノ今回海嘯ノ激浪打撃セリ五百六十間表漢字只出真漢ノ面ヨリ高キ事五百尺余ノ今回海嘯ノ激浪打撃セリ表漢字只出真漢ノ面ハ凡堺里廿町計リ

海嘯被害戸數及人口調査 明治廿九年七月十日

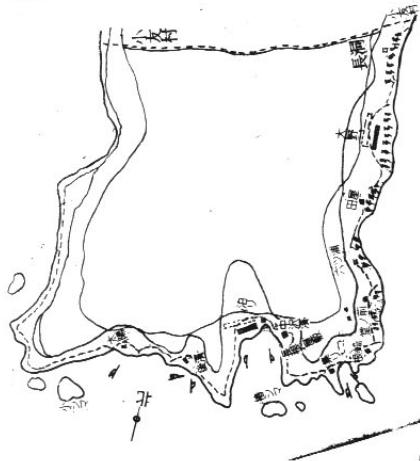
被事船舶及現存調查 明治廿九年七月十日

總 管 數 量	日本 漁 舟	西 洋 漁 船	全 損 價 格	現 存 漁 船 數	日本 漁 船	西 洋 漁 船
一 〇	流 失 漁 船	小 型 帆 船	一 〇 六 〇	七 一	漁 舟	風 帆 船
三 〇	流 失 漁 船	風 帆 船	〇 〇 〇	六 七	小 型 帆 船	蒸 氣 船
九 一	流 失 漁 船	蒸 氣 船		二 一	風 帆 船	蒸 氣 船

被官相觸處事項別員數調表 明治廿九年七月十日

陸前国氣仙郡廣田村

○本村被災地字大陽後濱泊り中沢漬長屋敷集り恨崎堂ノ前田屋六ツ浦大野長洞ノ十二ヶ所  
中住田住宅地跡ニ再興見込ミ無キ場所泊リ大野三ヶ所元宅地ヲ引揚ケ新宅地ヲ設ルノ見  
跡付セラレ堂ノ前田等ハ土壘落セラレタル所モアリ堂ノ前長洞の如キハ元防風林及堤防大ニ破  
壊非常ニ急務ナリ更ニ防風林植付ヘキ場所大野及堂ノ前長洞田屋六ツ浦等尤危急事  
務ナセラレ再興ニ急務ナリ



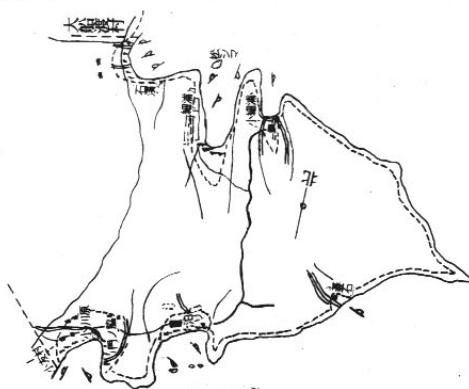
海嘯被害戸數及人口調査表 明治廿九年七月十日

管轄 戶數		戶數		家屋		浸水面數		被淹面		人口		死		亡		重傷		輕傷		傷		家屋外		
三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	
五	四	三	二	一	三	六	五	四	三	二	一	三	六	五	四	三	二	一	三	六	五	四	三	
九	八	七	六	五	四	三	二	一	三	六	五	四	三	二	一	三	六	五	四	三	二	一	三	
一	三	五	七	九	十一	十三	十五	十七	十九	二十	二十一	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五

被事船舶及現行調査 明治廿九年七月十日

被掌漁網漁具種類別員數調查 明治廿九年七月十日

○ 本村被著地ハ字小川原門ノ脇泊り甚石小細浦細浦石濱七ヶ所中泊細浦ノ如キハ人間密ニシテ幅縫尤細浦ハ氣松ノ出入停舶モ便利海濱ナリ泊り細浦三ヶ所元宅地ニ家開密屋再興ノ見込又利レモ少々引上新宅地ヲ設立設計中防風林ノ植付ニ急務ハ小川原門ノ脇泊り細浦石濱五ヶ所ナリ細浦の如キハ將來氣風支障泊便利故二開港ノ便利ノ良港也



- 本村通ヨリ木村道  
○ 本村通シ盛小友町ノ便否ハ高田町
- 本村設ル泊リ細浦ニ至ル里道ヘ本村二
- 脚本村赤海以西モ主便路松原松原
- 脚本村漁舟具鮎ササギ等ハ其數種
- 網ノ如キハ具改良ハ漁民頭領
- ヨリ盛町宮城縣下塙本郡水深地方
- 木村打上ムヨリ六十尺アテ走リ百間ヨリ

海關稅口數及人口調查 明治廿九年七月十日

被害者 戶數	戶數		家屋 棟數		浸水 戶數		被害前 人口		死 亡		重 傷		輕 傷		家屋外 淹水積量 棟數	
	流失	全濱	流失	全濱	半濱	床上	床下	七	二	男	女	男	女	男	女	
二九	一六〇	一一三	一五七	一三	四	七	二	一七〇	四〇六	一三	二三	一五	三三	一三	二三	三〇九
三〇	一八〇	一二三	一三	一三	四	七	二	一七〇	四〇六	一三	二三	一五	三三	一三	二三	三〇九

被事處及現行調表 明治廿九年七月十日

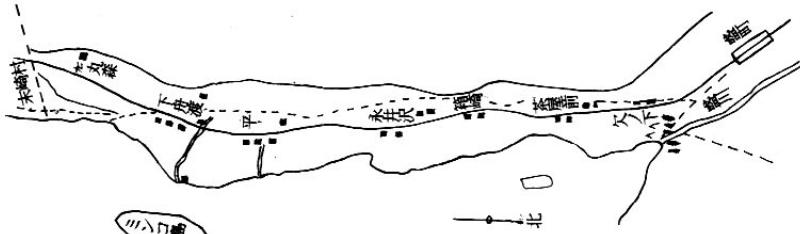
被官滿額為真有難以具數表 明治廿九年七月一日

陸前国氣仙郡大舟渡村

○ 本村面海著地ハニモモ下舟渡平井沢ケ崎茶屋前欠下六ヶ所ニシテ南より北一直線西ハ山東ノアリモ其他モ付如キハ少く引揚ケモ宅地ヲ更スルトキハ在来宅地ヲ變更スル如キ場所モ無シトナリ

○本村赤崎村通スル海岸沿ニ修繕車道二改築二便アリ廿六年  
○本村有地ニ属シタル為伐木ノ大正十九年大西平太郎等其筋連譲シ買入全  
ヨリ杉植立ニ着手セリ木ノ是大ナル事アリ明治治通十九年大西平太郎等其筋連譲シ買入全廿六年

○ハ本村海濱民親族友人ニニ結婚等アルトキハ一  
セシム為メ向ニニ行ハ居主産ハハシ鑿盤ア  
セシム可也。丁度本村欠乏見上良漁翁哉シヨ  
三十本村ハ漁網及衣食食給ハニエミアミ  
ハスルナリ。方根岩皆畜生動植物也。水澤  
ハ方食ハ



海陸被害者口數及人口調査表 明治廿九年七月十日

被害者		戸数		家屋		浸水戸数		被害者		家屋	
戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数	戸数
一八九	一八九	六五	六五	流失	全滅	半滅	流失	全滅	半滅	床上	床下
三〇八	三〇八	五七	五七	流失	破壊	流失	破壊	流失	破壊	四三三	一
五五	五五	三三	三三	船	帆	帆	帆	帆	帆	四四	一
五〇	五〇	一七	一七	漁舟	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	六六	二
五〇	五〇	一七	一七	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	一二	二三
五〇	五〇	一七	一七	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	一六	一六
五〇	五〇	一七	一七	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	帆船	一五四	一五四

海陸被害者口數及人口調査表 明治廿九年七月十日

被害者		日本形船		西洋形船		全損		被災者		被害者	
戸数	戸数	漁舟	帆船	帆船	帆船	船	船	戸数	戸数	男	女
一八〇	一八〇	八	八	八	八	一	一	一八〇	一八〇	四四	一
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	六六	二
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	一二	二三
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	一六	一六
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	一五四	一五四

海陸被害者口數及人口調査表 明治廿九年七月十日

被害者		日本形船		西洋形船		帆船		帆船		日本形船		西洋形船	
戸数	戸数	漁舟	帆船	帆船	帆船	船	船	船	船	船	船	船	船
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七
一七〇	一七〇	七	七	七	七	一	一	一七〇	一七〇	七	七	七	七

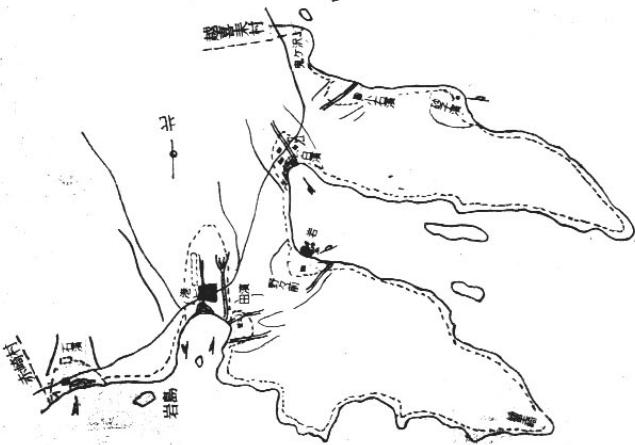
陸上防護圖 気候地図

- 本村内所の内中赤崎ノ字堂ヶ崎中赤崎ノ内宿山口永清木上蛸浦下蛸浦長崎外口小瀬合足ノ拾巻
- 本郡大舟渡界ヨリ里モ企望中他沙三ケ所在来無ク三ヶ所共ニ少々引揚ケ宅地ヲテ記入ス防風林の如キ本
- 本村港岸魚付森ノ從前非常亂伏セシ為メ魚族沖ニ寄り方今權立注意セリ
- 調査中はレヲ早ク修繕セサルトキ本村不利益大ナルモノナリ其筋保助ヲ



- 本村家屋建築設置ノ高さヨリ別ニ無在住ノノリ本ハセ
- シ多近宅ヲ高さノ如鼠鱧の主産地ニ生アリ本ハセ
- ム郡伊市金谷ム高田ハ衣服本服方水沢其ヨリ岩ハ、
- 岩谷野市江原屋ニ生アリ本ハセ

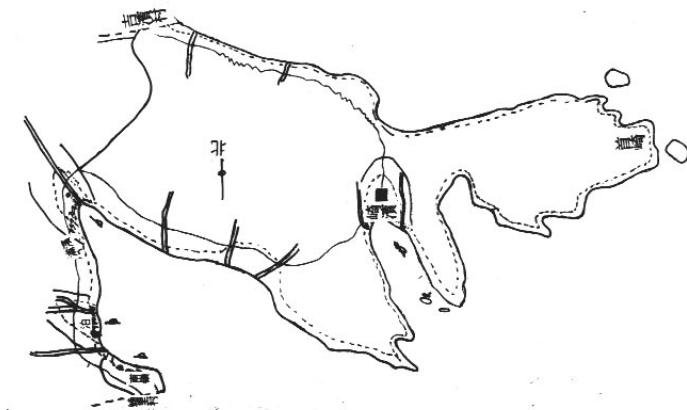
陸前国氣仙郡棟里村



○ 本  
村 東  
洋  
面  
如  
シ  
改  
七  
被  
二  
十  
懲  
シ  
改  
七  
被  
百  
七  
戸  
小  
村  
東  
洋  
面  
大  
洋  
面  
シ  
シ  
懲  
懲  
磨  
所  
部  
五  
十  
戸  
数  
三  
百  
合  
中  
流  
海  
人  
千  
六  
リ  
面  
別  
表  
別  
表  
の  
如  
屋  
の  
家  
屋  
亡  
漁  
人  
の  
如  
屋

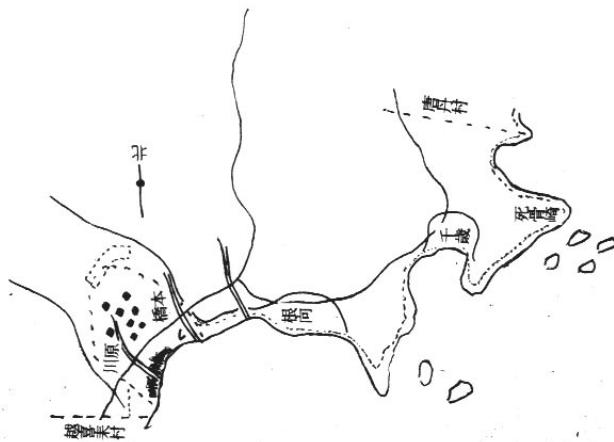
陸前国氣仙郡棟喜来村

本村東大洋面



陸前国氣仙郡古濱村

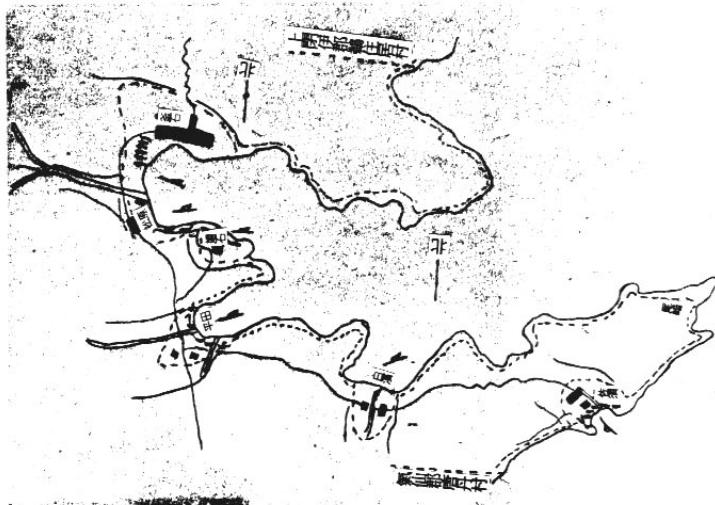
前戸 八十七戸 流三十五演一



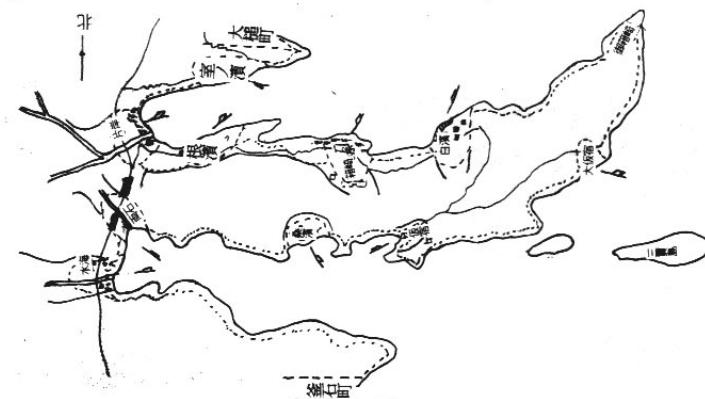
陸前国氣仙郡唐丹村



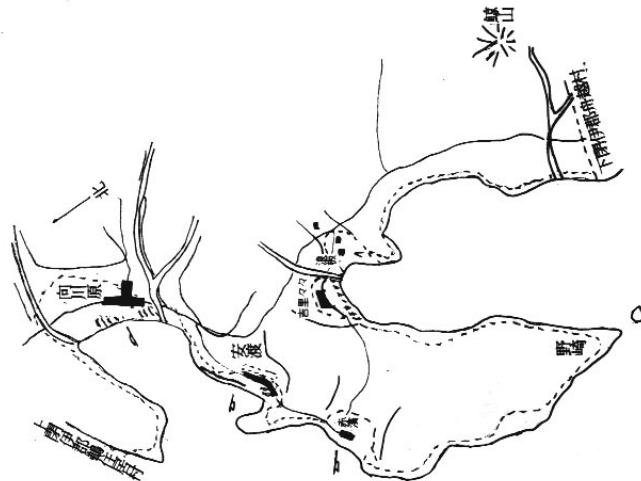
中國上閉伊都金石町



中國上閉伊都居住村



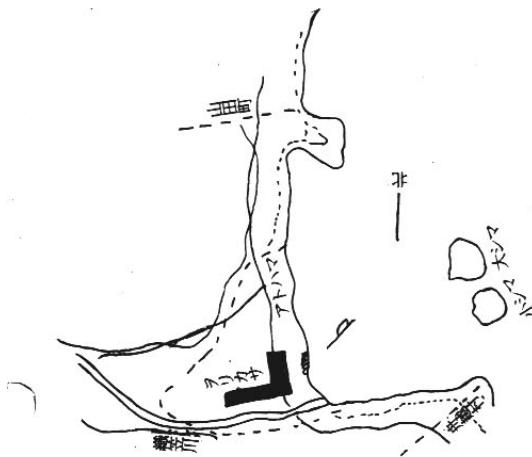
陸中国上閉伊郡大根町



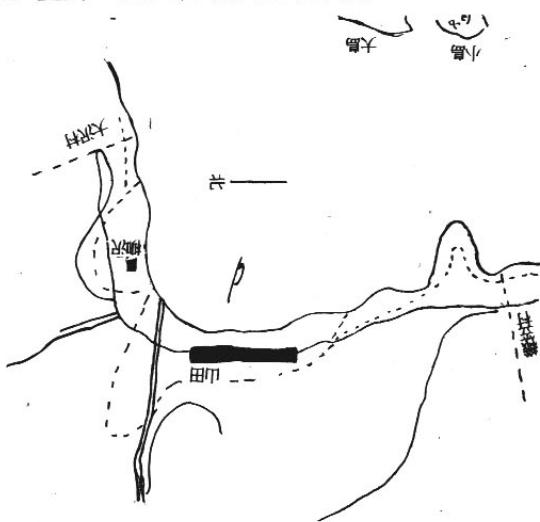
陸中国下閉伊郡船越村



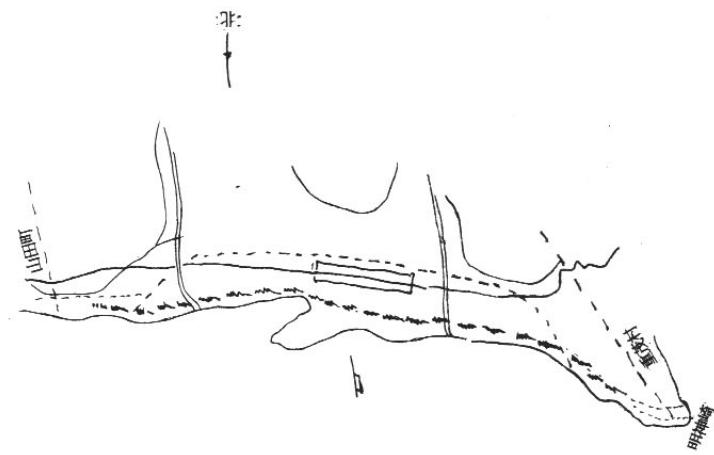
陸中国下開伊那櫛立村



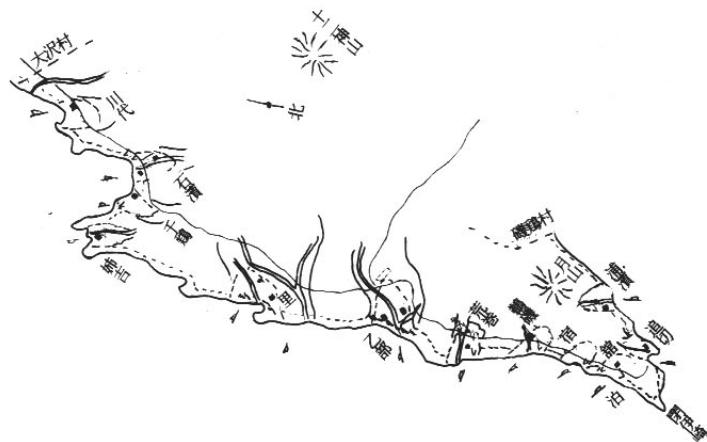
陸中国下開伊那山田町



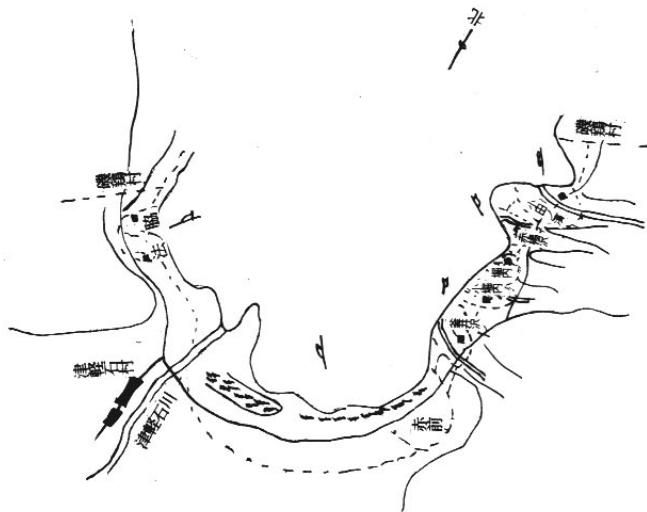
陸中国下閉伊郡大汎村



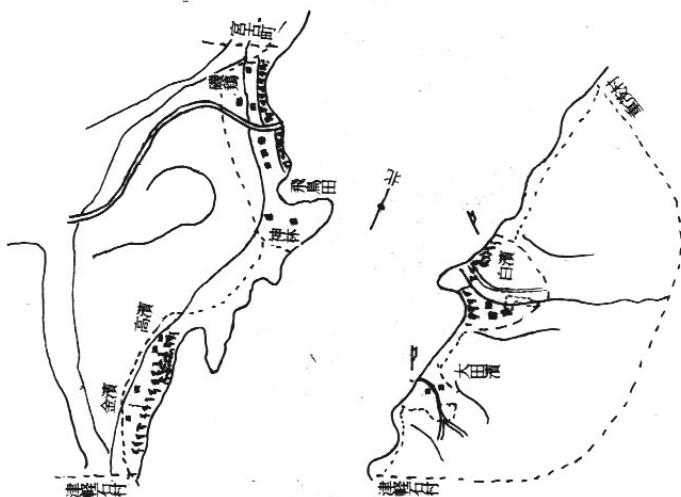
陸中国下閉伊郡重茂村



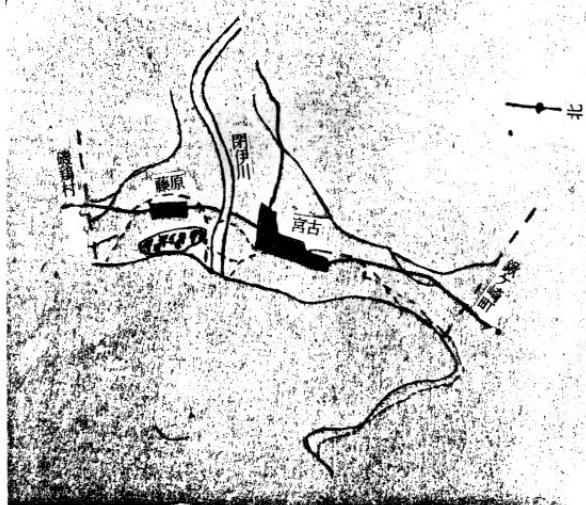
陸中国下閉伊郡津輕石村



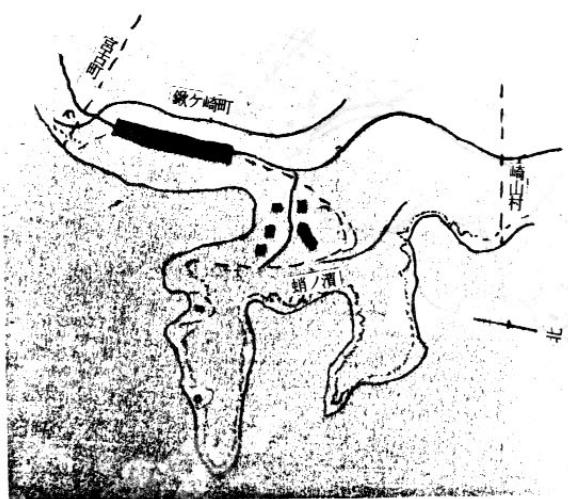
陸中国下閉伊郡磯賀村



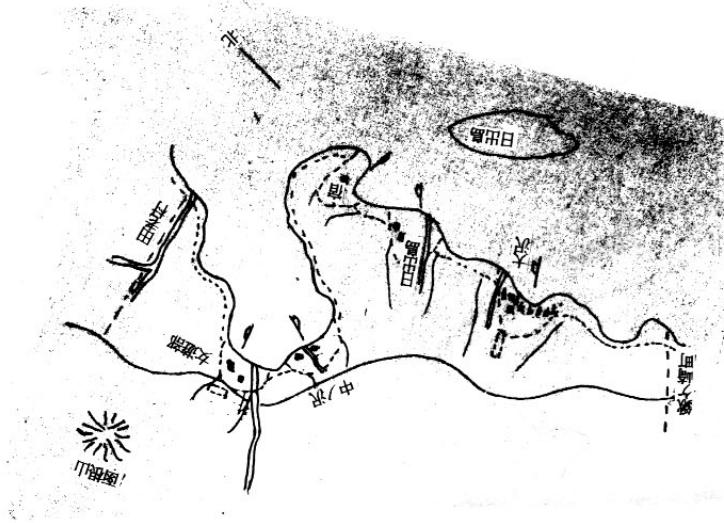
陸中国下閉伊郡宮古町



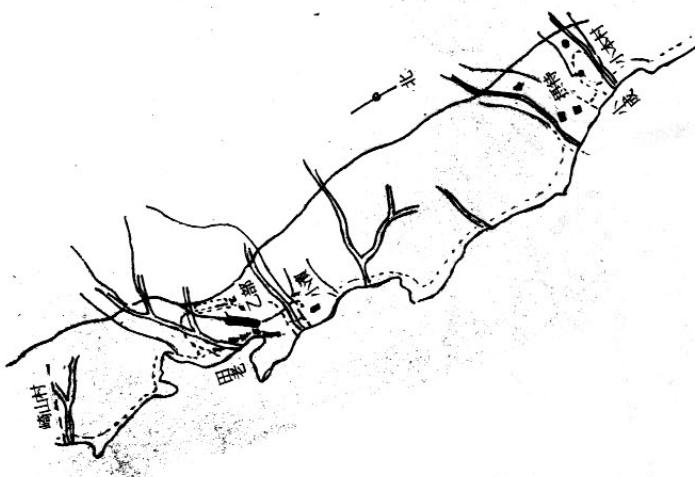
陸中国下閉伊郡鐵ヶ崎町



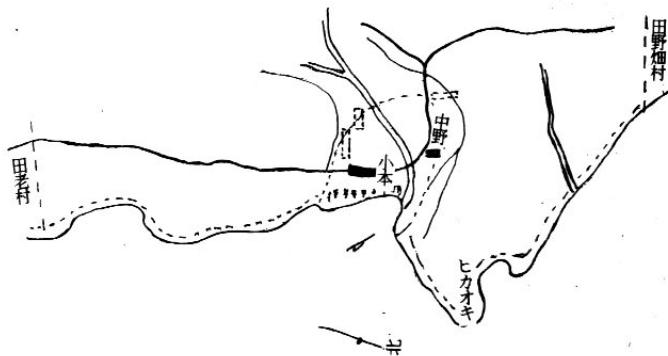
陸中国下閉伊郡崎山村



陸中国下閉伊郡田老村



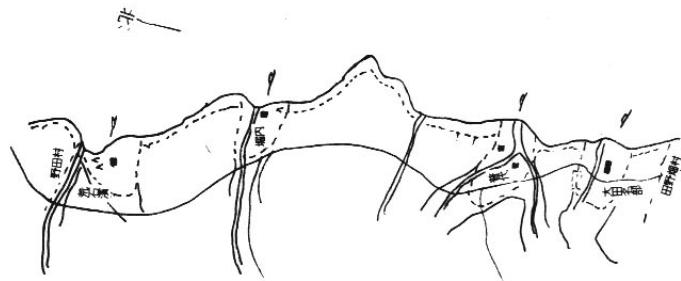
陸中國下閉伊郡小本村



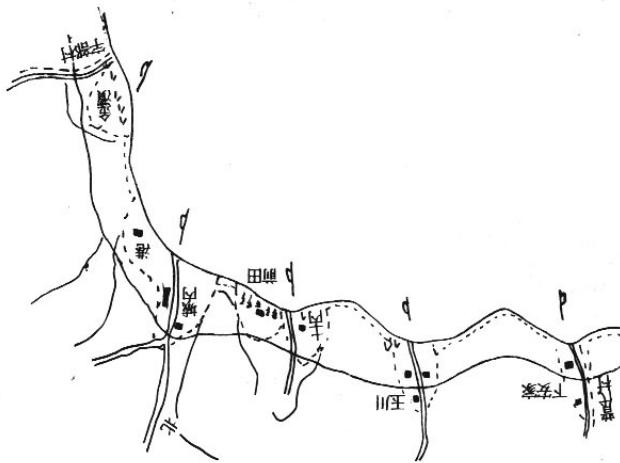
陸中國下閉伊郡田野畠村



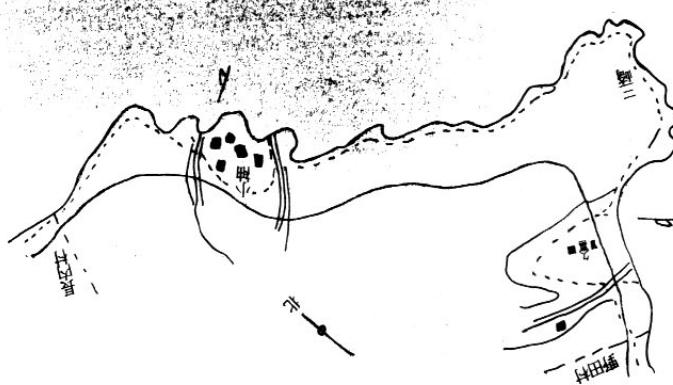
陸中国下開伊都普代村



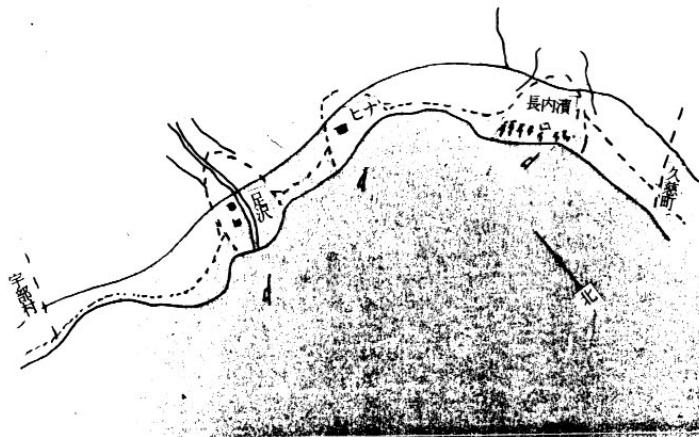
陸中国九戸郡野田村



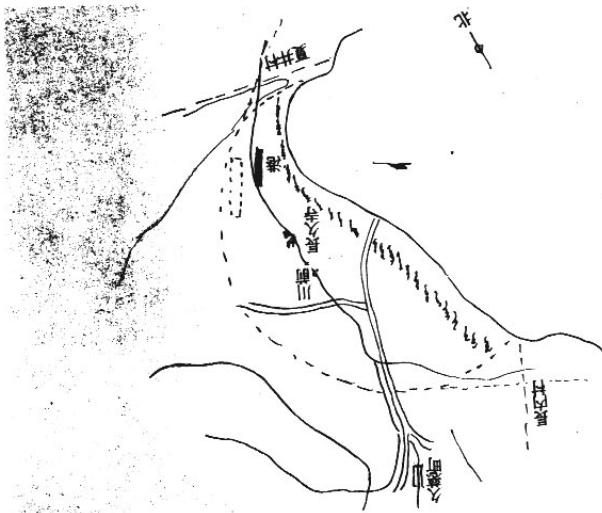
陸中国九戸郡宇部村



陸中国九戸郡長内村



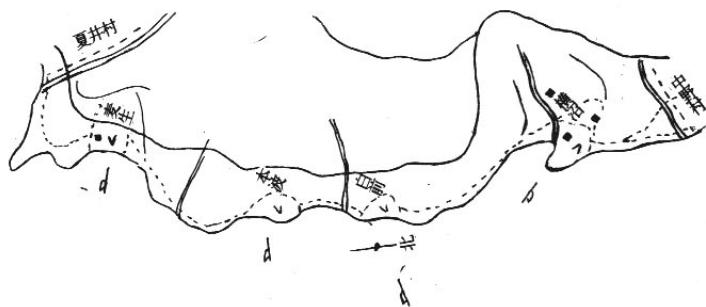
陸中国九戸郡久慈町



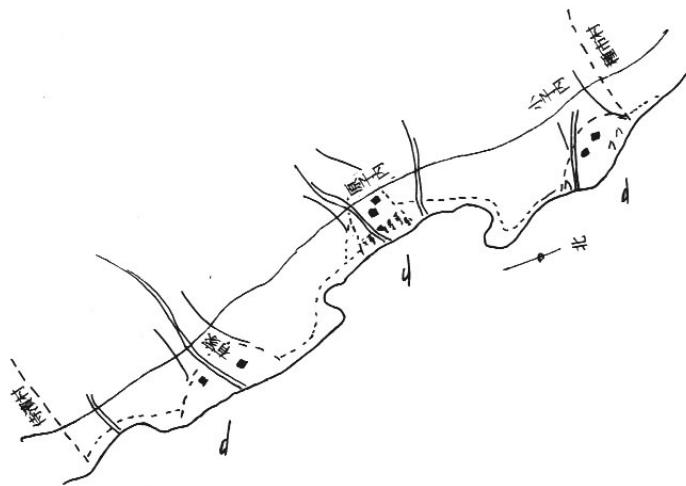
陸中国九戸郡夏井村



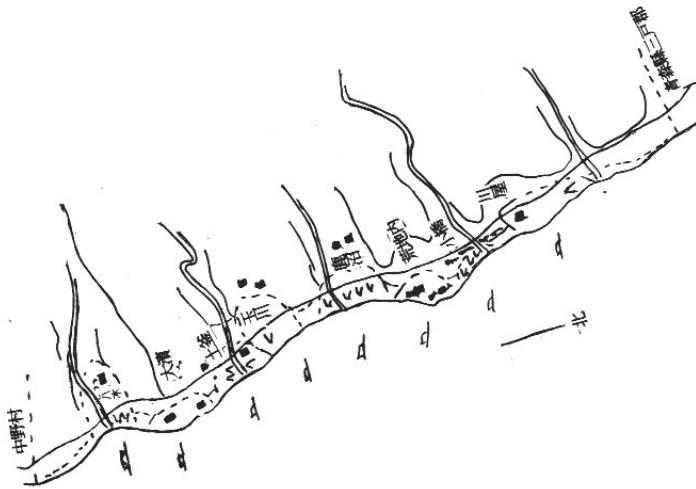
陸中国九戸郡侍瀬村



陸中国九戸郡中野村



陸中国九戸郡種市村



4. 三陸大海嘯岩手懸沿岸見聞誌一班（甲・乙・丙・丁）

三才海角  
古今圖書集成



明治二十九年六月十五日午后八時

二一陸大海震千古未曾有之大害宗震

岩手縣管内沿岸被害地四郡二拾七ヶ町村

字百九拾吉部落數月間巡回観察セシ

条項數十訴ノ内一班ヲ記スモノナリ

明治二十一年八月 山森宗道

## 凡例

二 告被害前戸数・人口・船隻ハ全町村ノ總数ニアラス町村内被害地ノミヲ記ス  
 三 ◆ 比知郡町村別被害員数・頭書項目ヲ以テ知ルヘシ纏下ニ比較線ヲ記ス以テ各町村ノ被害ヲ  
 較線二足ルル害ハ左ノ割合トス 朱線 紫線 五分ヲ以テ百トス  
 四 ■ 口◆ 比知郡星告老シ一五干トス  
 五 地當海潮主被害部落名稱流矢將采防風林必要新植地箇所（絵図ニハ記入ス）海潮  
 時ノ打上浪走り海面ノ高低ハ各部落毎ニ纏ラセケ配入ス  
 図色別打上浪走り海面ノ高低ハ各部落毎ニ纏ラセケ配入ス

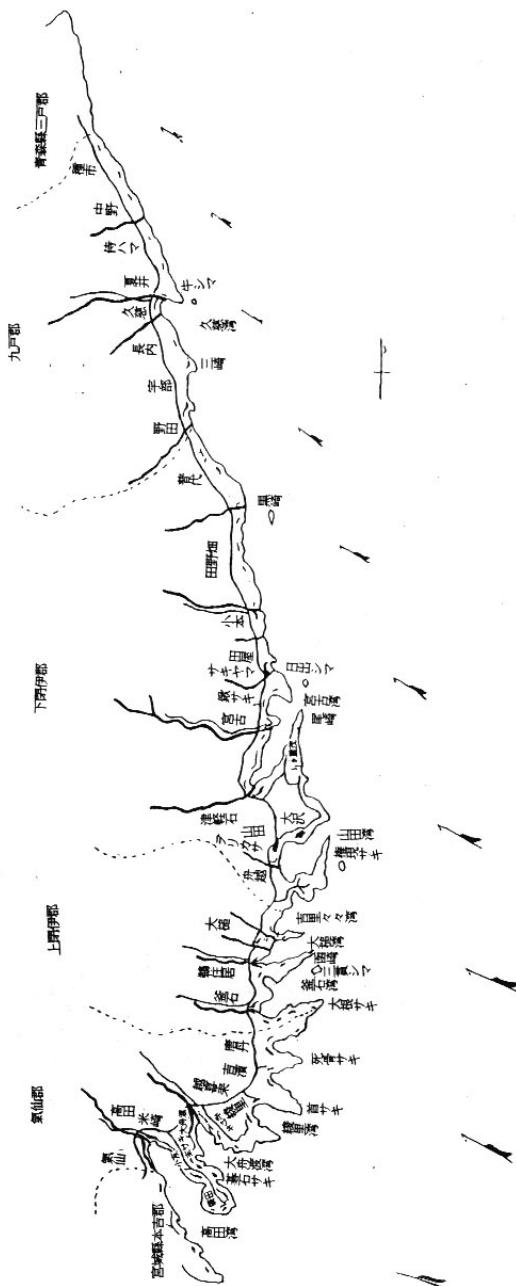
海川	海	里タル陸地	海岸	道路	新植防風林	必要地
耕宅地	海嘯二種	民家所在地	塩窪所在地	存在防風林	津波ノ打込	方位
山野	陸地				町村界	ミ
					新宅地見込	

船流		人負傷 死亡		人口 男女		家屋 倒壊		戸流 浸漬		前害		被災		手		岩縣	
四、九八一四	一一、三九四四	一、〇、〇五七	一、八、一〇一	七、二七五	七、一四	五、八五三	一、八三			五、一八三	五、一〇一	七千〇八百四	七万六千五百四人	七万一千〇〇〇二月			

町村害		堤流亡		配流失代數		漁網失代數		船運送破流		漁獲失代數		漁獲失代數		漁獲失代數		漁獲失代數	
三七	八一	一一、七四、三六一一	四〇二一、八二九六	一四九二	◆	◆	◆	四四八六	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

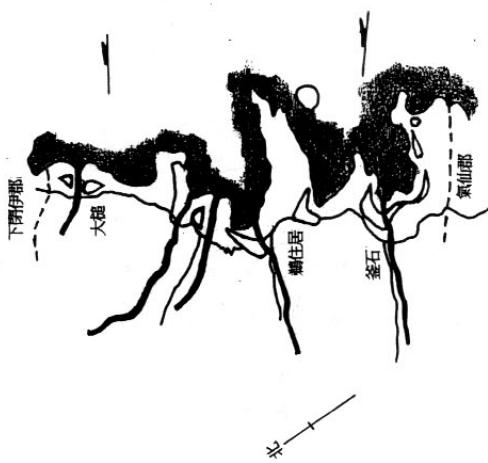


圖書地圖被嘯聲縣海手岩



町村番	塗電亡	配繩代數	漁網代數	船運代數
		一一一	八一	六一
		二一，二九〇七四	一九一〇〇四	
	三	一一		

陸中國上閉伊郡

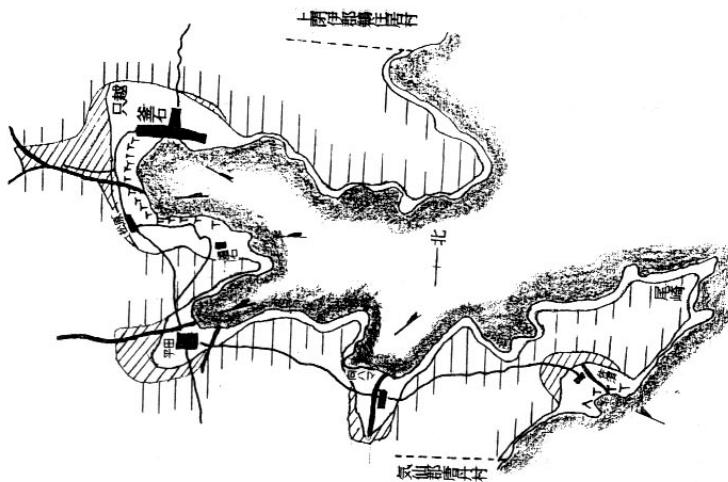


陸中國上閑伊郡釜石町

漁船 破流	人口 男女	死亡	土家屋 藏屋	漬流	漬流	被害		戸 数	人 口	一千百〇五戸
						船	船			
一五〇四六	一一六四	一九八七	一七七八	一六二二	六二二	八二一	二六六	一	六千九百八拾六人	
一五六	一五〇四六	一九八七	一七七八	一六二二	六二二	八二一	二六六	一	七百四拾八艘	

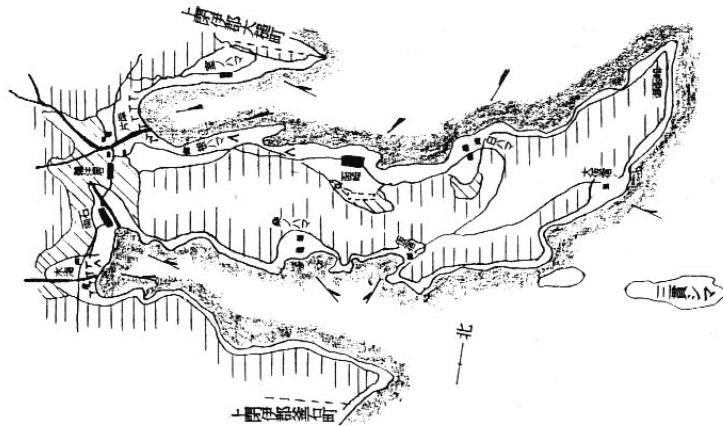
海面高低	浪走	打上浪	新防風地林	被害場所	被害部落	海湾主産	配流失代數	漁流失代數	船運送破流	
四尺	九尺	四尺	一百三十九尺	三十五尺	一ヶ	佐須	一四	〇六〇,三四	六一	
四尺	九尺	四尺	一百二十間	五十五尺	〇	白濱	〇	平田	一一九	
六尺	六尺	六尺	六十間	三十五尺	一ヶ	赤魚	一ヶ	躉石	一ヶ	
三尺	六尺	六尺	六十間	二十尺	一ヶ	目拔鮋	一ヶ	松原	一ヶ	
				二十尺	一ヶ	ふり躉	一ヶ	釜石	一ヶ	
				五十尺		海苔				
				二百三十間		海鼠				
				六尺		鰐				

陸中国釜石町



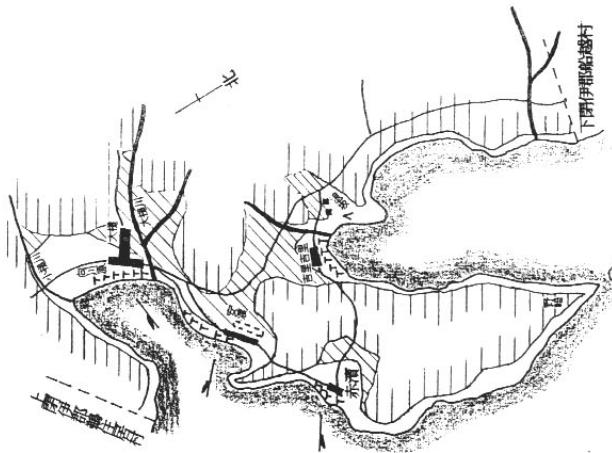
海面高低	浪走	打上浪	新防風林地	新防風林地	被害部落	海潮主産	配編代	流失數	漁網失代數	船遭破流
(尺)	(間)	(尺)	五	六	一〇	鮋赤魚鰐鮋鮋 鮋鮋鮋(海鮋)	一	一九·七〇〇·三	一·〇〇	
					一ヶ	水海	二五〇	七五〇		
			四	四	〇〇	画石				
			四	三	〇〇	桑濱				
			十	三	〇〇	白濱				
			四	廿	〇〇	饭宿				
			六六	七	〇〇	大饭宿				
			十	九	〇〇	箱崎				
			八三	五	一一	根濱				
			二	六	一一	片岸				
					一ヶ	室瀬				

陸中國上門伊郡鶴住居村

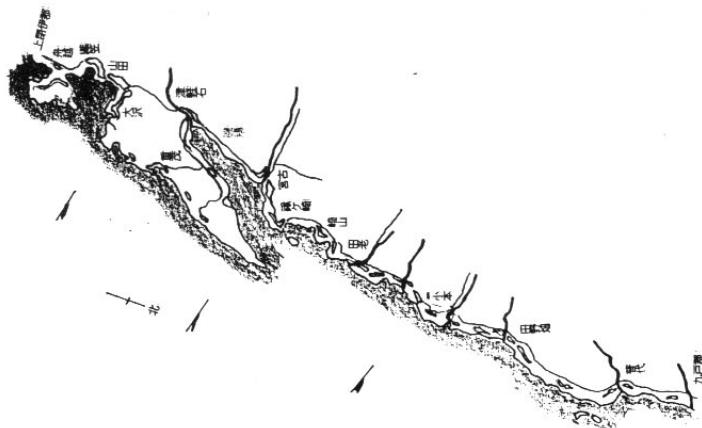




陸中國上賀伊郡大槌町



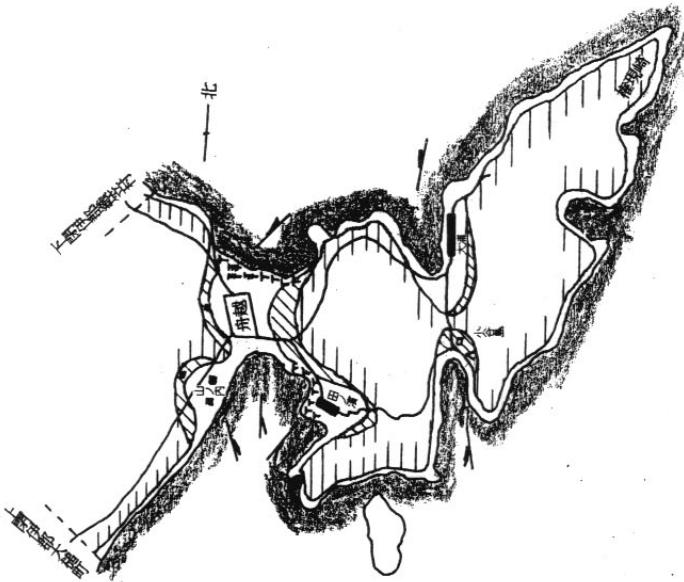
陸中国下關伊郡



陸中国下關伊郡船越村

陸中國下關伊郡越村										
船漁		人重傷 口		死亡 人口		土家屋 藏流		戸前 數		被害 戶數
船	漁	女	男	女	男	三	六	八	七	四百五拾七戶
一	〇	一一	三五八	一	五六					一千三百二十二人
船	漁	女	男	女	男	三	六	八	七	百五拾二艘

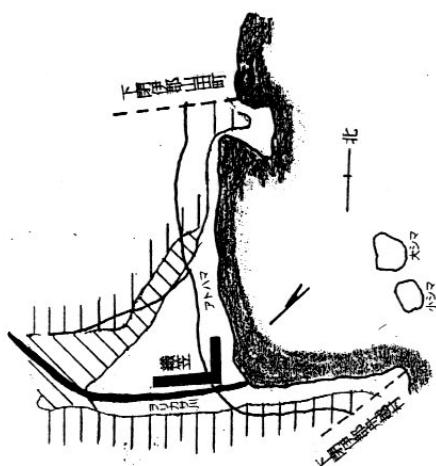
陸中國下關伊郡船越村



陸中国下關伊郡鐵笠村

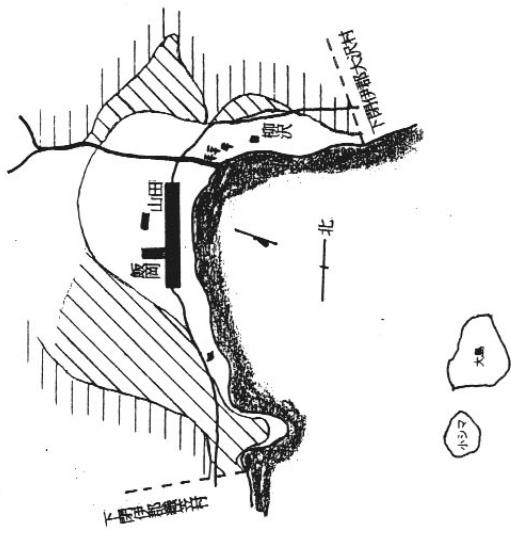
海面高低	浪走	打上浪	新防風地林	製塩所	被害部落	海湾主産	配流失代數	漁流失代數	船運破流

日本中國下關伊郡蠻笠村



# 陸中国下閉伊郡山田町

陸中國下閉伊郡山田町

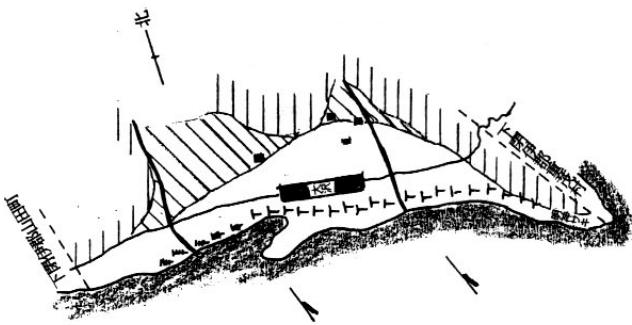


壁中國下閉伊郡大沢村

陸中國下閑伊郡大沢村									
被		告		前		戶數		人口	
船漁	人口傷亡	土家屋	漂流	船	數	戶	數	人	口
破流	女男	死亡	漂流	船	一九二六	一	百一十二戶	一千一百九十七人	
破流	女男	女男	漂流	船	二二二二	二	百零七艘		
船漁	人口傷亡	土家屋	漂流	船	二五六七	三			
船漁	人口傷亡	土家屋	漂流	船	二七	三一七			

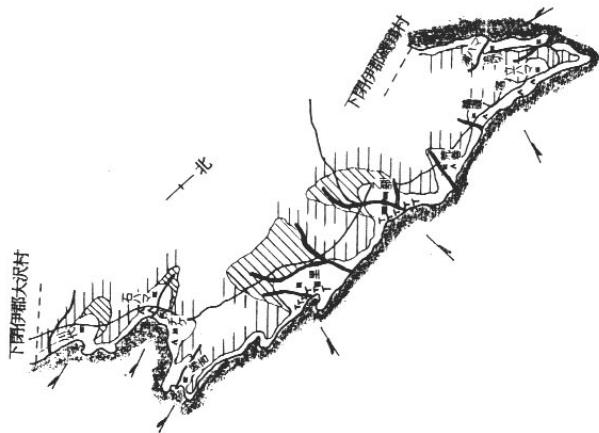
海面高低	打上浪走	新防風林地	製塩所	被營部落	海湾主港	配鹽失代數	漁漏失代數	船運破流

陸中国下開伊郡大沢町





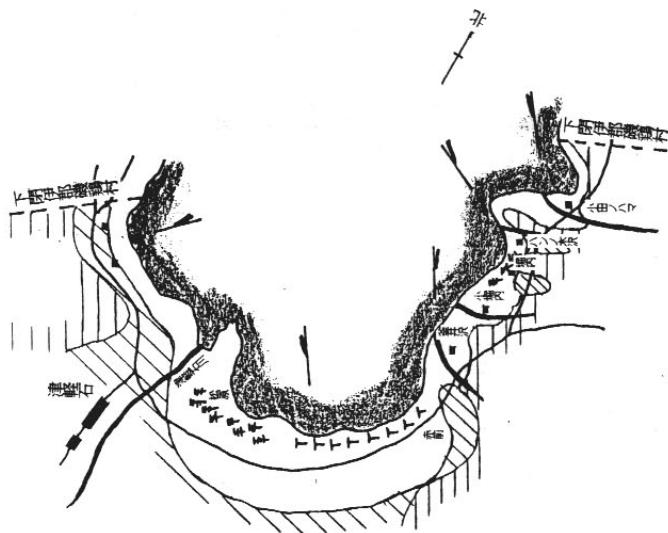
陸中国下關伊郡重茂村



陸中国下關伊郡津輕石村

船漁 破流	人重傷 口死	人亡 女男	土家 藏屋	濱流	前 害	被 害	戶 數	人 口	船 舶	戶 數	人 口
一四〇	〇一	六〇	一一	二〇	四九	一一	四〇四戸	一千八百一拾九人	六拾九艘		

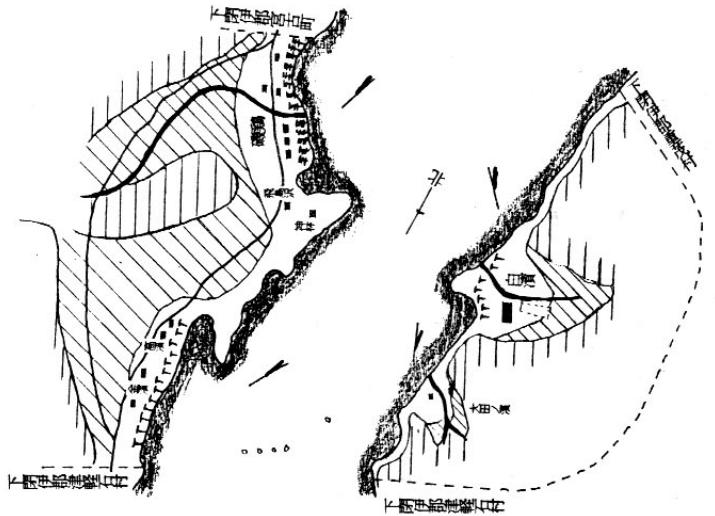
村 石 輕 津 郡 伊 丹 下 關 中国



陸中下閉伊郡磯鶴村

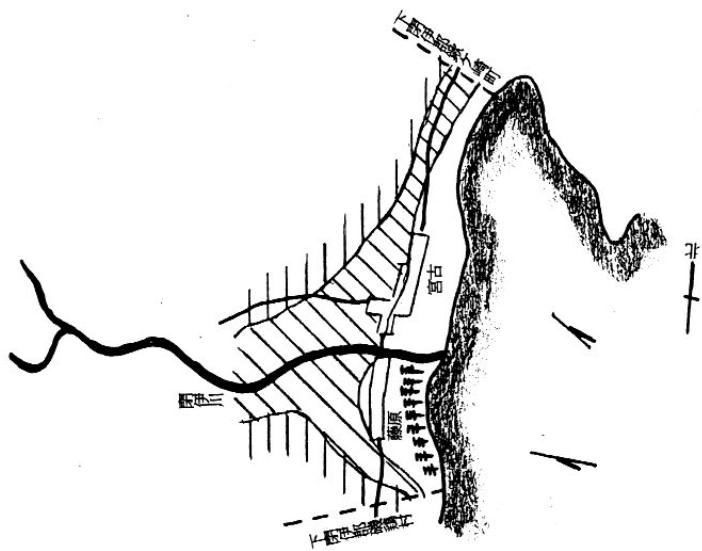
陸中國下關伊郡磯鶴村									
數 戶	數 戶	前 告 被		戶 數	人 口	一 百 六 十 八 戶			
		土 家	屋 藏			一 千 五 百 二 十 六 人			
人 重	口 漁	人 死亡	口 渔	女 男	女 男	六 七 四	八 六 七	七 八 四	百 四 楩 七 樓
人 重	口 漁	人 死亡	口 渔	女 男	女 男	六 七 四	八 六 七	七 八 四	百 四 楩 七 樓
七 一	二 一 四	二 三	二 四	六 六 四	六 六 四	六 五	七 四	七 五	八 六 七
七 二	二 一 四	二 三	二 四	六 六 四	六 六 四	六 五	七 四	七 五	八 六 七

陸中國下陽伊郡璣鵠村



壁中國下閉伊郡宮古町

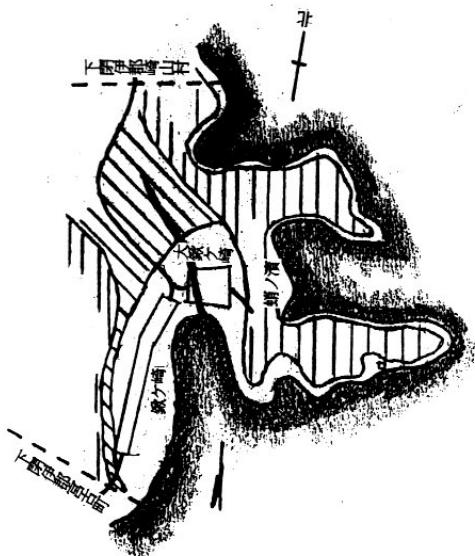
海面高低	浪走	打上	新防風地林	被害部落	海湾主產	配流失代數	漁網失代數	船運破流
海面高低	浪走	打上	新防風地林	被害部落	海湾主產	配流失代數	漁網失代數	船運破流
七三尺ヨリマテ	百六十間	七尺	拾五尺	百八十間	輕鮭	一、三四〇	一二二〇〇	三十
				三尺	鰐			



陸中國下閩伊郡鐵乃崎町

船 漁 破 流	人重傷 人口亡 女男	土家屋 瀆流	數戸 瀆流	被 害		前 船	戶 口	數
				人	口			
二二七一	一四九二	六六九	一九六八	七二三	四三		一千八百拾八人	
							一百七拾四艘	
								六百七拾七戸

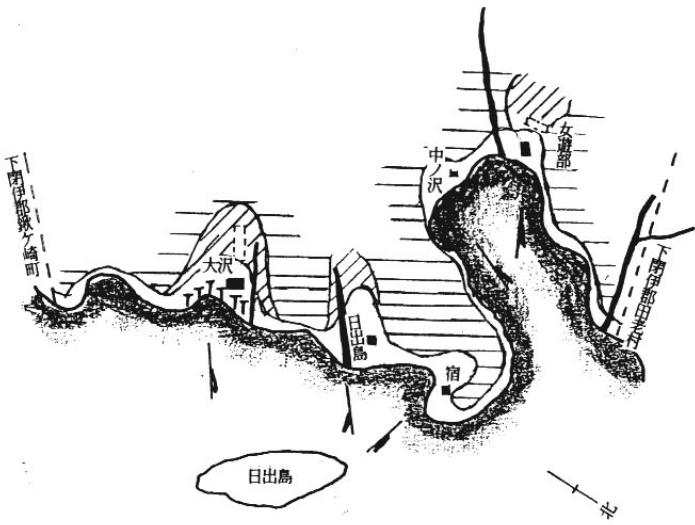
陸中国下閉伊郡鐵乃崎町



陸中國下閉伊郡崎山村									
漁船破流	人重傷	人口女男	死亡女男	土家屋漬流	戸數	前船	被害		
							戸口	人	戸數
二〇八	一	五〇	六九〇	六九	三六三	船	四拾七戸	一百九拾一人	
						船	百二十一拾壹艘		

海面高低	浪走	打上浪	新防植風林地	被害部落	海湾主産	配流失代數	漁網失代數	漂流失代數	船運破流
十六尺マヨリ	百八十間	二十五尺	一ヶ	大沢	五	〇	〇	一四六六	三二九六〇〇
十尺マテ	八十間	八十五尺	八十五尺	日出嶋	宿	〇	〇	〇	中ノ瀬
六尺	六尺	百尺マテ	百尺マテ	〇	〇	三十尺	三十尺	四十尺	女邊部
				百八十間	〇	〇	〇	〇	
				百廿間	〇	〇	〇	〇	
				五百尺	〇	〇	〇	〇	
				百間	〇	〇	〇	〇	
				五尺	〇	〇	〇	〇	

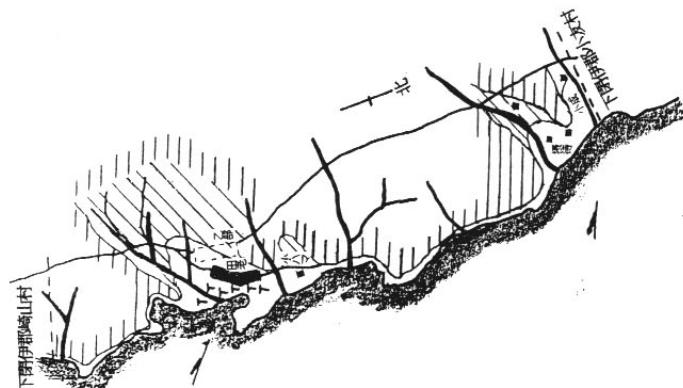
# 陸中国下關伊郡崎山村



陸中国下關伊郡田老村

海面高低	浪走	打上浪	新防風地林	被零部落	漁場所	配繩代數	漁網失代數	船運送被流
			四	五	田老	九	三六五六〇	
			三百廿間	一ヶ	乙部	〇〇	〇〇	
			三百廿間	〇	小濱			
			五百尺	二ヶ	攝特			
			百拾尺	〇				
			二百八十間	〇				
			五百尺	八拾尺				
			一百廿間	〇〇				
			一百廿間	〇〇				
			三百七十間	四十五尺				
			五百尺	一ヶ				
			三百八十間	〇〇				
			七尺	百五十尺				

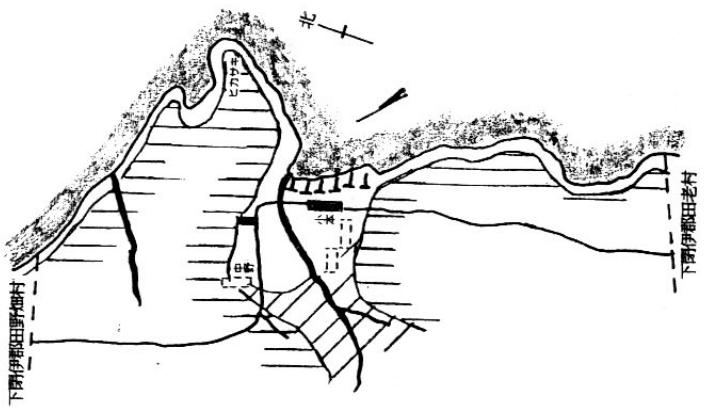
陸中國下閑伊郡田老村



中國下閑伊郡小本村								
			被 島			害 戶		
船 漁	人 重傷	人 死亡	土 家屋	漁 流	漂 流	戶 數	人 口	戶 數
破 流	女 男	女 男	一 一 九 六 九 五	一 一 三 二 二 二	一 一 三 二 二 二	百 七 捌 四 戶	八 百 一 捌 人	
三 五 五	三 四 一	三 一 三				一一 百 六 捌 一 戶	一一 捌 一 艘	

海面高低	浪走	打上浪	新防風樹林	製鹽所	被侵部落	海湾主產	配纜失代數	漁網失代數	船運送
			一〇	一一〇	二	鮭 鰈 鮑 鯛 鮪 鮎 布	九〇〇	八七五〇〇〇	
			六十五尺	一ヶ	小本				
			三百間		中野				
			七尺		六十五尺				
					三百間				
					七尺				

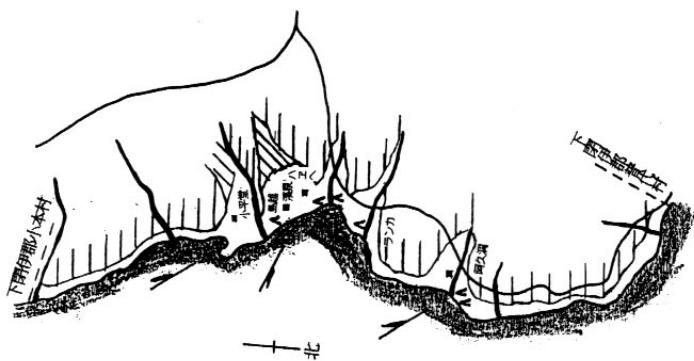
陸中國下閉伊郡小本村



陸中國下閉伊郡田野烟村

海面高低	浪走	打上浪	新防風林地	新植樹所	被害部落	海濱主産	地蟲	蛙	蠅	昆蟲	布	流失代數	編失代數	漁網失代數	船運送	破流
五尺			百三十間	六十尺	二	七	七	小平堂	島越	濱泉		九	七	〇六、七	〇〇	
八尺			百八十間	二尺十				〇	〇	一ヶ						
			八尺	百八十間				〇	〇	二ヶ						
				八拾間						八乙ベ						
				四尺						〇						
				六尺						一ヶ						
										二ヶ						
											平井寶					
											羅寶					
											阿久洞					
											二ヶ					

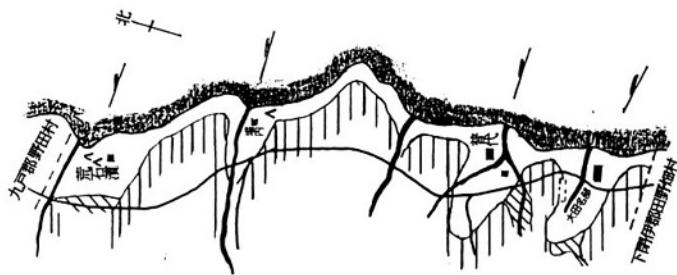
陸中國下閉伊郡田野畑村



陸中国下閑伊郡普代村									
漁船 破流	人口 重傷 女男	死亡 人口 女男	土家 屋藏 漂流	戸數 漂流	前 告 報		人 口	戶 數	百四拾九戶
					船	七一			
一八〇五	七八〇三	二六六	一四三	一			九百廿五人		
							百九拾一十一艘		

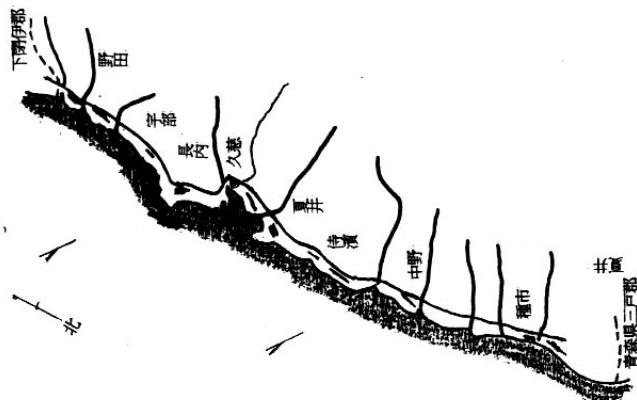
海面高低	浪走	海上浪打	新防風林	被害部落	製塩所	海湾主産	鮑鮆蠣昆布食鹽	運送船	流失漁網代數	破流
高	高	高	高	高	四百三十間	六十五尺	一千ヶ	大田名部	四	四
中	中	中	中	中	一百間	五十尺	一千ヶ	普代	一	四
低	低	低	低	低	拾尺	五百間	一千ヶ	堀内	零	四
					三尺ヨリ	四十尺	五百間	荒石濱	零	四
					四尺マテリ	八十尺ヨリ	四百間	二ヶ	零	四
					廿八尺マテリ	四十間	四百間	零	零	四

陸中国下閉伊郡普代村



被害町村	流亡場所	配屬代數	漁網代數	流失數	船運失流	破流
		一、三二	九、五〇	九、七六五、	三、一四四	一六二
				◆		

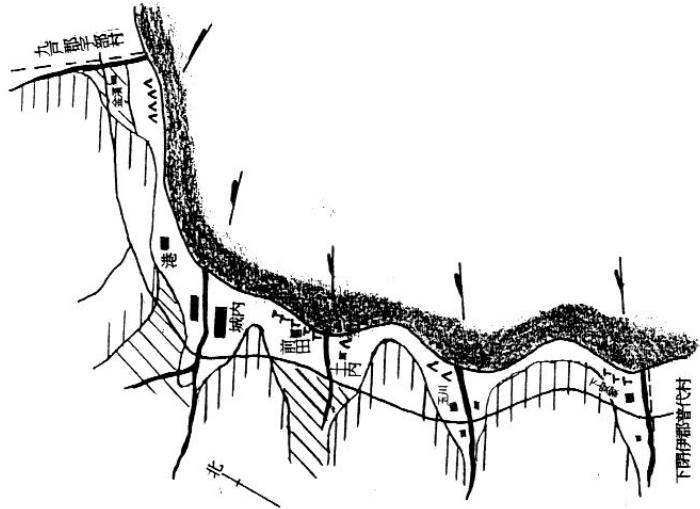
陸中國九戸郡



陸中国九戸郡野田村									
船	人	戸	数	戸	数	土家	蔵屋	漁	人
漁	人	口	口	口	口	死亡	亡	口	口
漁	漁	漁	漁	漁	漁	男	女	男	女
漁	漁	漁	漁	漁	漁	漁	漁	漁	漁
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
千	千	千	千	千	千	千	千	千	千
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾	拾
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
下	上	中	高	主	次	中	低	海	面
安	波	主	主	主	次	主	波	波	走
家	浪	屋	屋	屋	屋	屋	浪	浪	浪

海面高低	浪走	打上浪	新防風林地	製塩所	被害部落	海湾主産	配流失代數	漁網失代數	船運送破流
五尺	五百間	四百廿間	四百間	四	八	七	二二	二二	二二
五尺	百三十間	五拾尺	五拾尺	五	一ヶ	一ヶ	一七九	一七〇	一七〇
五尺	百間	百間	百間	五	六	五	二六九	二四八	二四八
五尺	百間	百間	百間	六	六	五	二六〇	二三七	二三七
六尺	六尺	六尺	六尺	七	一ヶ	玉川	一七〇	一二二	一二二
八尺	八尺	八尺	八尺	八	一ヶ	土内	一七〇	一七〇	一七〇
八尺	八尺	八尺	八尺	八	一ヶ	前田	一七〇	一七〇	一七〇
八尺	八尺	八尺	八尺	八	一ヶ	城内	一七〇	一七〇	一七〇
八尺	八尺	八尺	八尺	八	一ヶ	港	一七〇	一七〇	一七〇
五尺	十五間	十五間	十五間	十五	八十尺	四十尺	三十五尺	三十五尺	三十五尺
五尺	五十五間	五十五間	五十五間	五十五	一百五十尺	一百六十尺	一百三十尺	一百三十尺	一百三十尺
五尺	五十五間	五十五間	五十五間	五十五	一百五十五尺	一百五十五尺	一百五十五尺	一百五十五尺	一百五十五尺

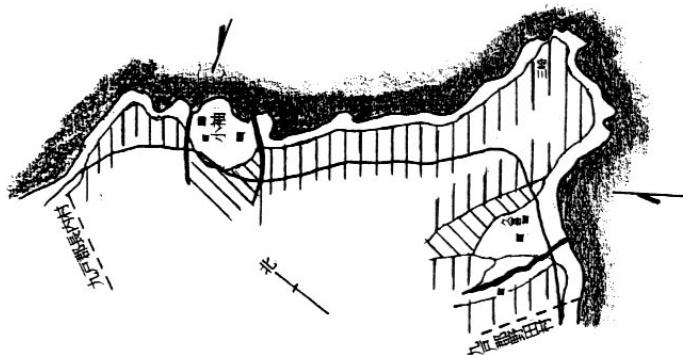
# 陸中国九戸郡野田村



# 陸中国九戸郡宇都村

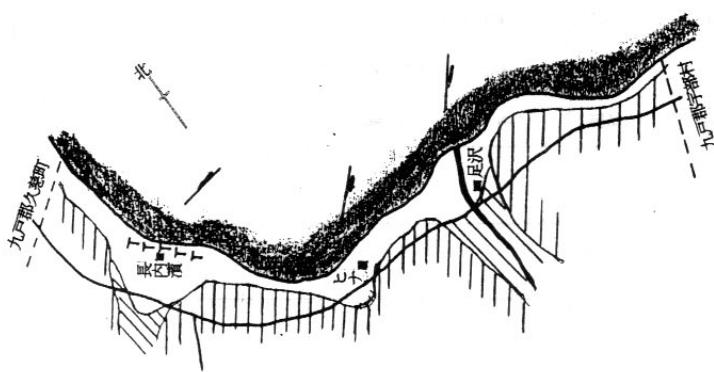
陸中國九戸郡宇都村							
船漁	人口	死亡	土家屋	数戸	前	害	被
破流	男女	男女	蔵屋	漬流	船	人	戸
一〇九	一一二	八〇二	一五六	三四九	一五三	百二二	百一戸
						七八六	八十八人

陸中国九戸郡宇都村



陸中國九戸郡長内村									
漁船 破流	人口 男女	死亡 男女	土家屋 蔵流	漁流	前告被		人 口	戸 数	百〇一二戸 六百八拾六人 七拾一艘
					戸数	戸数			
六〇九	〇三	一九	〇五	〇四					

陸中國九戸郡長内村

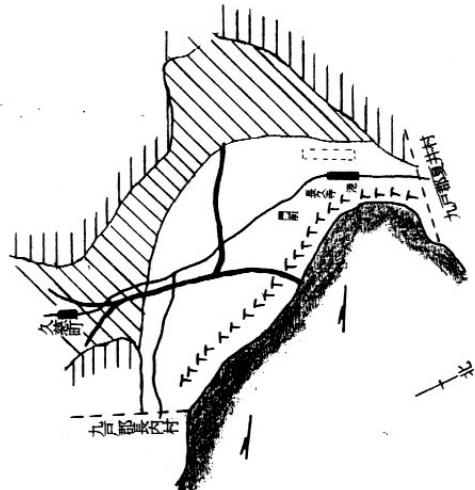


陸中国九戸郡久慈町

陸中國九戸郡久慈町							
船漁破流	人口	死亡	土家屋	漬流	漬	人	被
							戸數 戸
七〇二	二三二	一三六	一三六	九二	七	一千百六拾四人	百五拾六戸
					七拾五艘		

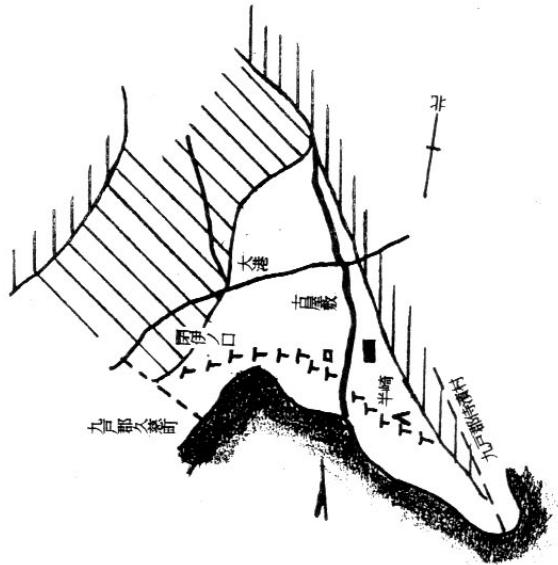
海面高低	浪走	打上浪	新植地	防風林	被害部落	製塩所	海湾主産	鱈鮑蛙蟹赤魚昆布布海苔	漁網失代數	潮流破流	輸送船
				三	〇	三	港	長久寺	門	前	
						一ヶ	.〇	〇	〇	一ヶ	
						五百八十間	六十尺	五百八十間	六十尺	六尺	
						十六尺ヨリ 十尺マテ		五百八十間			
						十六尺ヨリ 十尺マテ					
						十六尺ヨリ 十尺マテ					

陸中国九戸郡久慈町



海面高低	浪走	打上浪	新防風林地	被害部落	製塩所	海湾主産	昆布	配流失代數	漁網失代數	漂流失代數	船破流	運送船
			三	一	四	大港			一			
					一ヶ	0	閉伊ノ口					
			五百八十間	六十尺	六十尺	六十尺	古屋敷					
			十六尺八咫アマテリ	七尺	五百八十間	一ヶ	半崎					
					七尺	七尺	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	
						五百八十間	三十間	六十尺	六十尺	三十間	三十間	

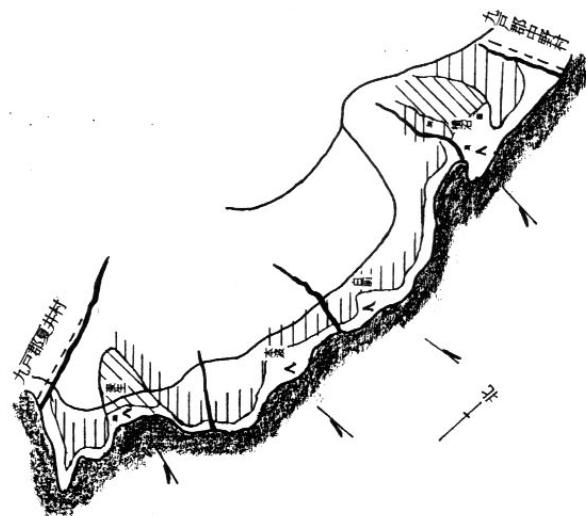
陸中國九戸郡夏井村



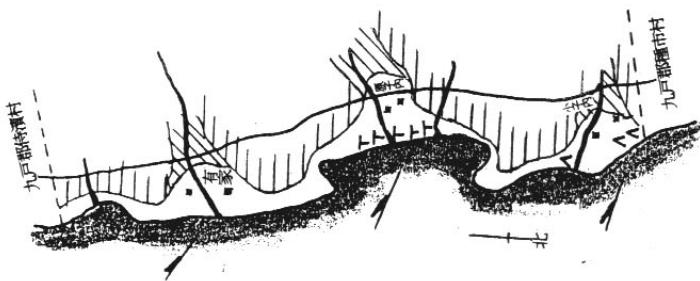
壁中國九戸郡特濱村

海面高低	浪走	打上浪	新防風林地	新防風林地	製塩所	被苦部落	海渭主產	配繩代數	漁網代數	漁網失代數	船運破流
			六尺	四十尺	八十尺	六十尺	五十尺	四	四	一ヶ	麦生
			二十間	九尺	八十五尺	六十五尺	五十五尺	零	零	一ヶ	本波
										一ヶ	白前
										一ヶ	機沼
										一ヶ	

陸中國九戸郡吉瀬村





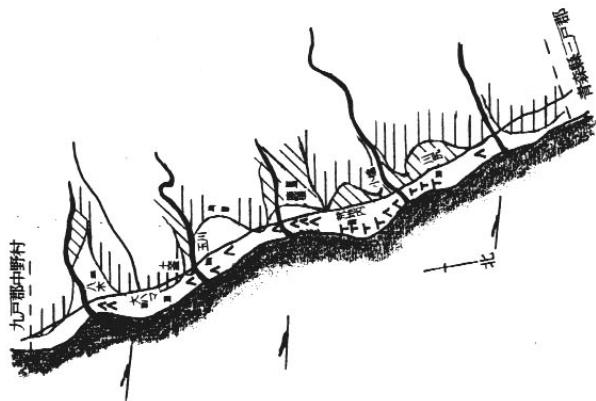


## 陸中国九戸郡種市村

陸中國九戸郡種市村									
漁業 破流	人負傷 女男	人口死亡 女男	土家屋 漬流	漬流 濱流	前告板		戸數	戸口	人數
					一三 九一	一二 八五七			
一五 六四	一二 八二	一三 八五七	一二 九一	一四 一四	一一百一十一	一七一	一	百五拾七戸	七人
					一千二	一百七	一	百七拾七戸	人

海面高低	浪走	打上浪	新防護塁所	被害部落	海湾主灘	配流失編代數	流失編代數	船運破流
			四	一七	八	一八	一六	
			二十尺	〇	二ヶ	九一〇, 二	〇	
		百廿間	九尺	九〇間	木	一九〇, 二	〇	
	三尺	九四尺	四尺	九〇間	濱	二九〇〇	一六	
		四尺	四十間	三十	土			
		七尺	廿五	四ヶ	釜			
		十尺	廿	一ヶ	玉			
		九尺	廿尺	一ヶ	川			
		十八尺	廿尺	四ヶ	鹿			
		六尺	廿尺	一ヶ	沼			
		十二尺	廿尺	一ヶ	內			
		十八尺	廿尺	一ヶ	小			
		六尺	廿尺	一ヶ	瀬			
		十二尺	廿尺	一ヶ	屋			

陸中國九戸郡種市村



運送船 流失數	漁網代 數	配流繩失 代數	死亡場 被害部落	死亡場 被害部落
一〇、 一三七	八〇、 九一	一一、 三六七	一四	一二
一一、 二五	一一、 二六	一一、 二六	一一、 二四	一一、 二二
一一、 二八五	一一、 二八五	一一、 二八五	一一、 二八五	一一、 二八五

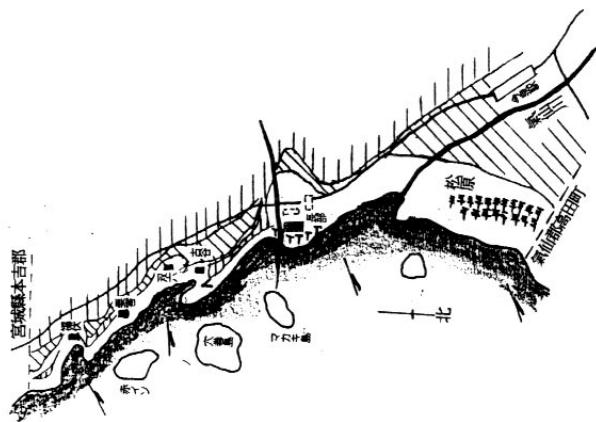
陸前国氣仙郡



陸前国氣仙郡氣仙村

船流		人重傷亡		人死亡		土家屋敷流		戸數		前告板	
破流	女男	女男	女男	一五二	一二七	一二九	二一〇	二二〇	六二八	一七	船
										千	人
										零	口
										七	戸
										人	數
										七	船
										一	船

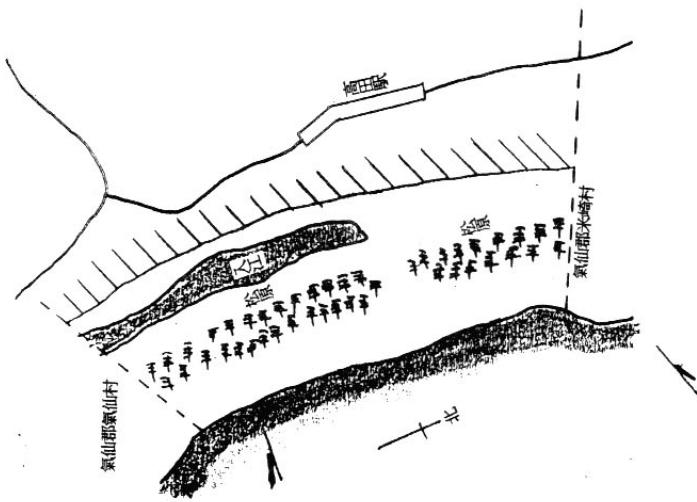
陸前国氣仙郡氣仙村



陸前国氣仙郡高田町									
船漁 破流	人重 女男	人死 亡口	土家 屋数	漂流 漂流	戸數 戸数	前告 告前	被 害	船 船	人口 人
									百拾四戸 百拾老人

海面高低	浪走	打上浪	新防風林	鹽地	受害部落	海灣主產	配流代數	漁網失代數	船運破流
			〇	〇	一	蠣			
			二十五尺	〇	〇	松原	二四〇一	〇〇	
			八十間						
			八尺						

陸前田氣仙郡高田町

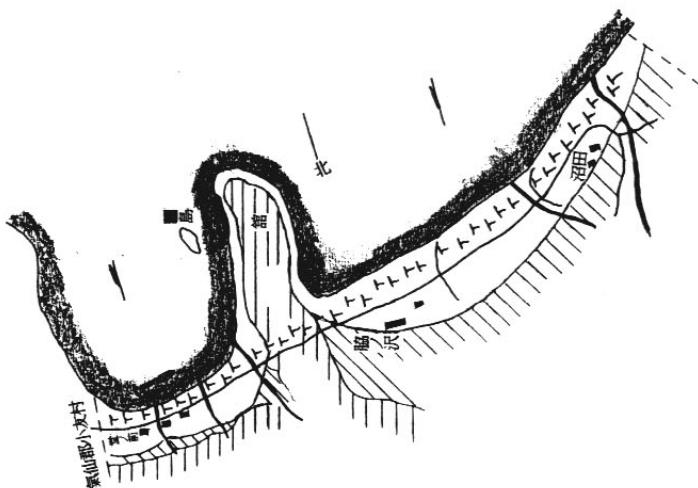


陸前田氣仙郡米崎村

松漁 破流	人重 口数 男女	死亡 人口 男女	土家 藏屋	漂流	前 害	被 災		數 戶 人 口	船 舶	前 船	數 戶 人 口
						數 戶	人 口				
五二一	四一	一一	五〇	二七二	一一	二五二	一一〇	四六六戶	七十六艘	一百五十九人	

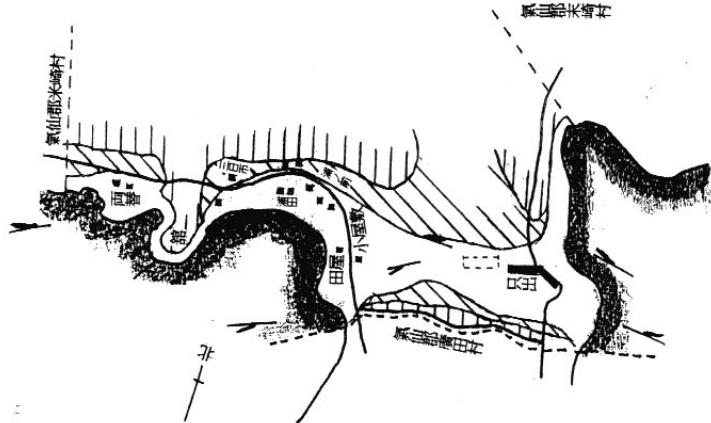
海面高低		浪走	打上漁	新防風林地	製塙所	被害部落	主産	昆布ホツキ	蠣	鮭	被流失代數	配流失代數	漁網失代數	船運破流
				三〇	三	三〇	三	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
				七十尺	二十尺	一ヶ	一ヶ	全全全	全全全	沼田	岩ノ脇	塩ノ前	塩ノ前	塩ノ前
				七尺				全全全	全全全					

陸前国氣仙郡米崎村





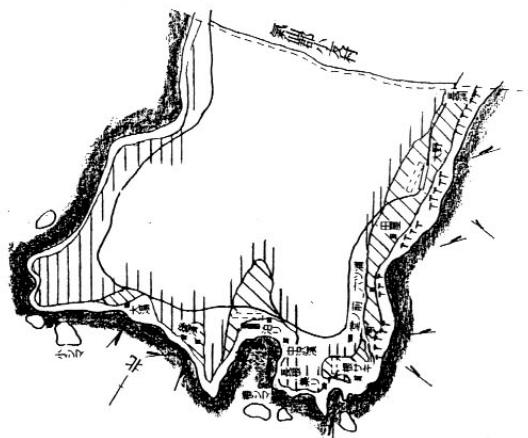
陸前国氣仙郡小山村



陸前国氣仙郡廣田村

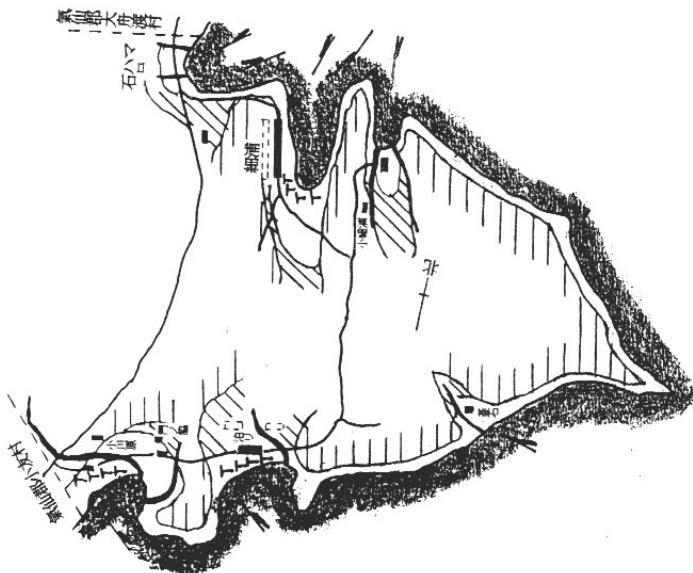
海面高低	浪走	打上	新防風地林	被災場所	被害部落	配流失代數	漁網失代數	船流破失代數	運送破流
（尺）	（尺）	（尺）	（尺）	四〇	一二	一三、 三四、 五六、 六七、 八九、 九〇	一〇〇	一一〇	一一〇
六	三十	八二十	四十	〇〇	大後	青魚鱈	布ふのり	又角	貝赤鰯
六	六十	八二十	四十	〇〇	湯濱	油泊	細布	苔藻	地松
七	五百	五十五	五十	〇〇	中澤	中澤	海苔	赤貝	鰯
廿	四十	五十五	五十	〇〇	長根	長根	長根	長根	長根
十	六十	四十五	四十	〇〇	集	集	集	集	集
五	百廿	一百尺	一	〇〇	ヶ一	ヶ一	ヶ一	ヶ一	ヶ一
五	百	八十	〇〇	〇〇	前堂	前堂	前堂	前堂	前堂
十	三百	六十五	一	〇〇	蒲シ六	蒲シ六	蒲シ六	蒲シ六	蒲シ六
十二	五十	五十	〇〇	〇〇	田	田	田	田	田
四	百廿	五十五	〇〇	〇〇	野	野	野	野	野
五	五十	百廿	〇〇	〇〇	大	大	大	大	大
八	二百	八十	一	〇〇	洞	洞	洞	洞	洞

陸前国氣仙郡廣田村





陸前国氣仙郡木崎村

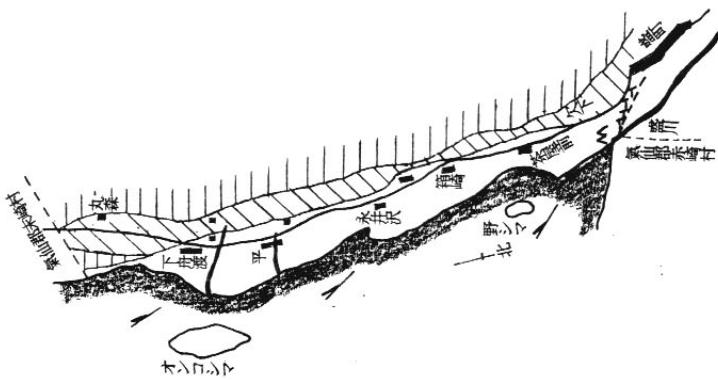


陸前国氣仙郡大船渡村

陸前国氣仙郡大船渡村									
船漁 破流	人負傷 女男	人口 死亡	土家屋 蔵	戸數	告 板		人 口 數	戸 數	二百二十二 五戸
					前	船			
三六七	一八四	六四四	二一八九	二一六八五			一千三百七十七人		
						一百五拾七艘			

海面高低	海岸主産	被害部落	新防植風林	製塩所	打上漁	浪走	漁網失代數		船運破流	
							配繩代數	漁網失代數	四七二〇,三〇〇	四七二〇,三〇〇
十四尺マヨリ	鰯鮋柴海苔	鶴鑑	六	三	三十尺 百間	下舟渡	一四〇〇	五六〇〇		
五尺マヨリ			六	三	三十尺 百間	平	一一〇〇	一一〇〇		
四尺マヨリ			六	三	十二尺 二十間	水井沢	一一〇〇	一一〇〇		
三尺マヨリ			六	三	十二尺 二十間	茶屋前	一一〇〇	一一〇〇		
五尺			六	三	二十五尺 五百間	久ノ下	一一〇〇	一一〇〇		
			六	三	二十五尺 三百間	三ヶ	一一〇〇	一一〇〇		
			六	三	二十五尺 五百間		一一〇〇	一一〇〇		
			六	三	三尺		一一〇〇	一一〇〇		

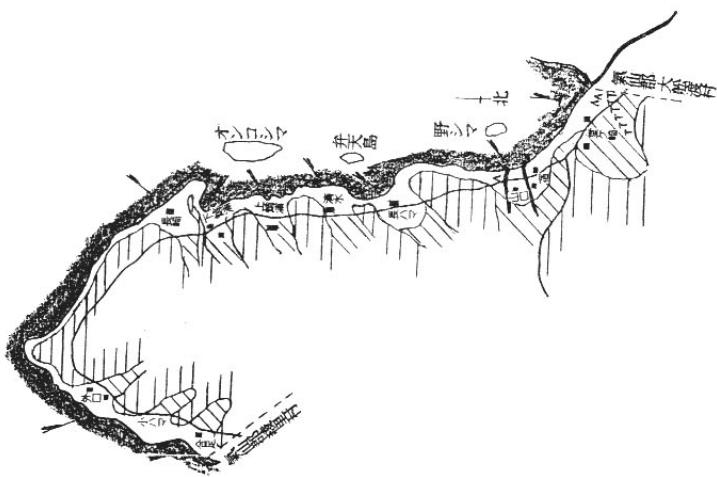
陸前国氣仙郡大鹽渡村



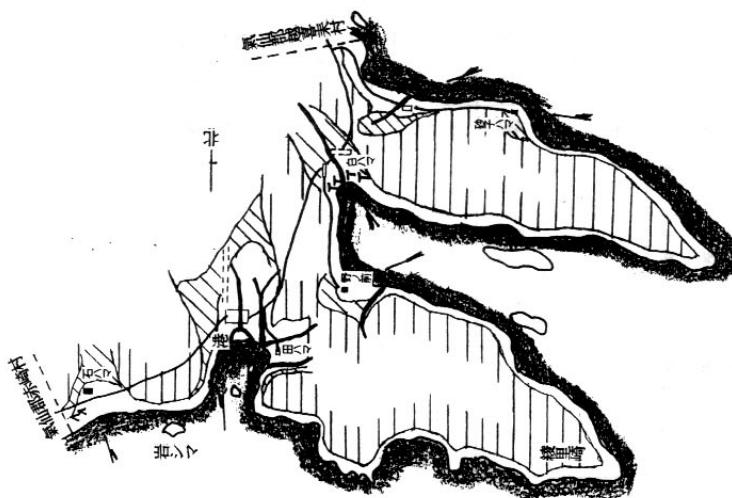
陸前国氣仙郡赤崎村										
人重傷	人口亡	人死亡	土家屋	數戸	漬流	船	人	戸	數	被害
火災	破流	女男	女男	三三〇	三七〇	二五八	一	百九拾二戸	一一百九拾二戸	前坡
一五三九	一五三九	五六九	五六九	二二五〇	二二五〇	二七八	一	百九拾七艘	一一百九拾七艘	船
一七六四	一七六四	一三五五	一三五五	一三五五	一三五五	一三五五	一	千百三十六人	一一千百三十六人	人
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	戸
										數

海面高低	漁走	打上漁	新防地林	製塩所	被害部落	配流失代數	漁網失代數	船運送破流	海藻主產	蠶鮐海鰐鮑柴海苔螺貝
六尺	六尺	六尺	二	四	一	一	一	一	一	一
二	六百	六百	二十	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ
三	六百十	六百十	二十	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ	一ヶ
三	三百	三百	二十	口宿	口宿	口宿	口宿	口宿	口宿	口宿
三	二百	二百	二十	永	永	永	永	永	永	永
四	四百	四百	十五	水清	水清	水清	水清	水清	水清	水清
六	六百	六百	三十	浦螺上	浦螺上	浦螺上	浦螺上	浦螺上	浦螺上	浦螺上
六	八百	八百	十八	浦螺下	浦螺下	浦螺下	浦螺下	浦螺下	浦螺下	浦螺下
七	八百	八百	七十	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎	長崎
八廿迄	八廿迄	四十	六十五	外口	外口	外口	外口	外口	外口	外口
六	七百	七百	三十	小濱	小濱	小濱	小濱	小濱	小濱	小濱
十	五百	五百	百	合足	合足	合足	合足	合足	合足	合足

陸前国氣仙郡赤崎村

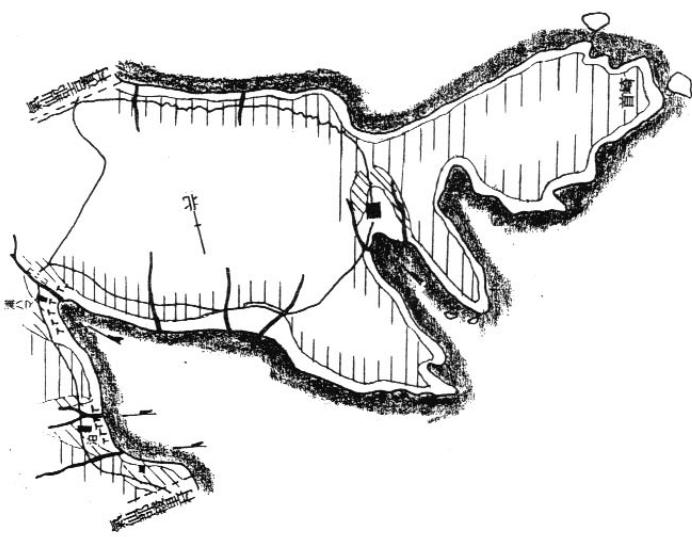


陸前国氣仙郡綴里村





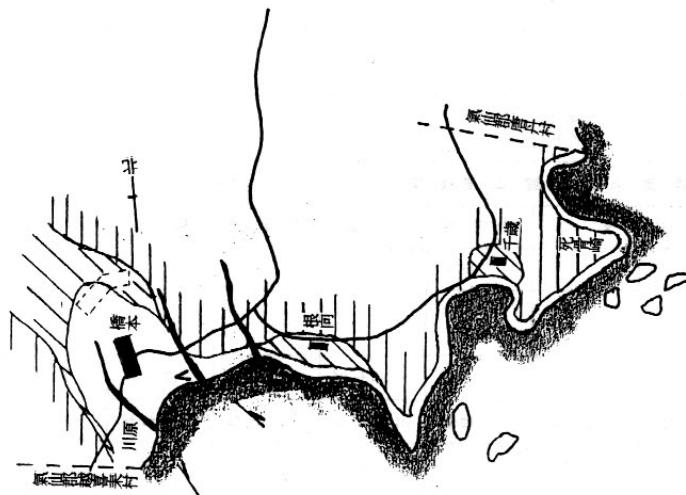
陸前国氣仙郡越喜木村



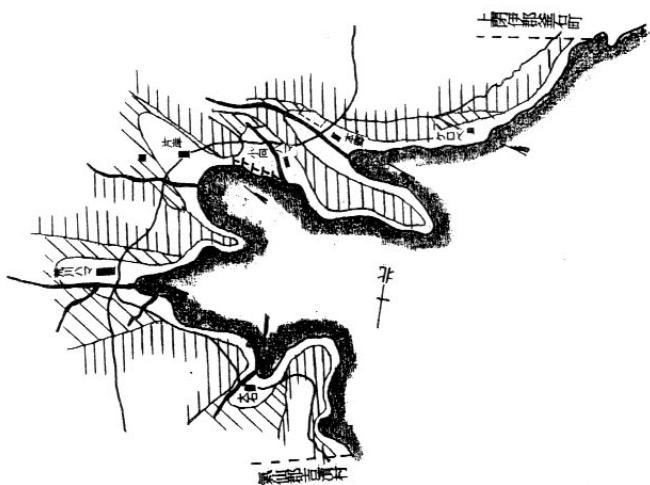
陸前国氣仙郡古濱村

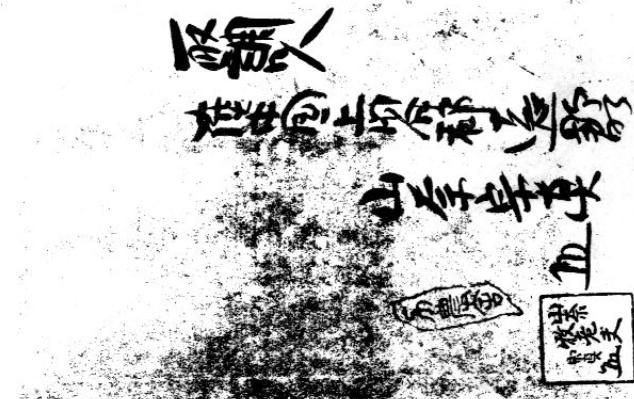
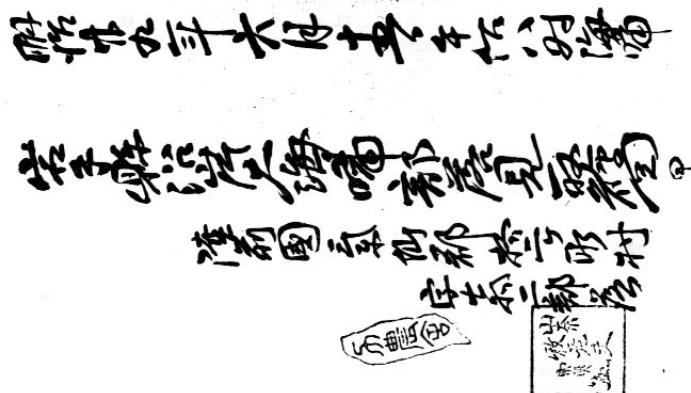
海面高低	浪走	打上浪	新防風地林	製塗所	被害部落	炮歸赤魚蟹鮋鱈	配流失代數	漁網失代數	船流失代數	破流	運送
二百八十間	六十五尺	0	一	二	橋本	川原	0 0	七四五,五	0 0		
三百八十間	六十五尺	0	一	二	赤魚蟹鮋鱈						
三尺	六十五尺	0	一	二	橋本	川原	0 0	七四五,五	0 0		
三尺	三百八十間	0	一	二	赤魚蟹鮋鱈						

陸前国氣仙郡吉濱村



新防風林	打上漁	海水面高低	被害部落	海潮主産	蠣 蝶 赤魚 蟹 鱗 海鼠 費 サカニ	配流失代數	五、八一八、三二五六三	船運送搬流	四五五
新防風林	打上漁	高	二	六	大 石	荒川 清	片 岸	小 向 清	本 部
新防風林	走	低	〇	〇	二ヶ	〇	〇	〇	花 霽 部
新防風林	漁	高	四十一間	三十尺	三百間	五百五十	五十五尺	四十尺	四十尺
新防風林	漁	低	五尺	三尺	七尺	八尺	九尺	八尺	八十間





5. 岩手懸沿岸大海嘯部落見取絵図（甲・乙・丙・丁）

## 一 樓內壠根水車

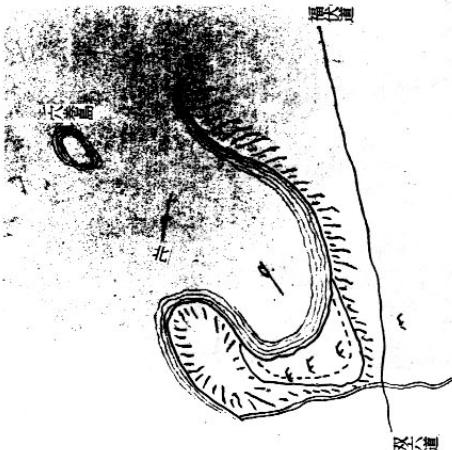
○字福伏  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○清干瀬ノ差  
○打上波  
○浪走り

三拾兩  
四十尺  
四尺  
岸四尺

五戸  
氣仙那氣仙村

宇 西 史 告  
○ 負 傷 人 口  
○ 海 面 ヨリ 高  
○ 満 干 潮 ノ 差  
○ 打 上 渡  
○ 浪 走 リ

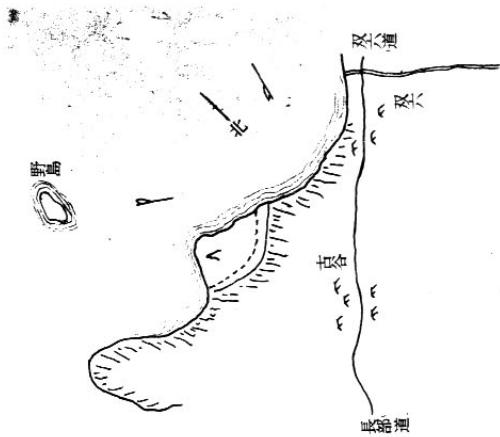
五尺四寸四分



氣仙郡  
仙村  
戶二二  
六樓三  
人

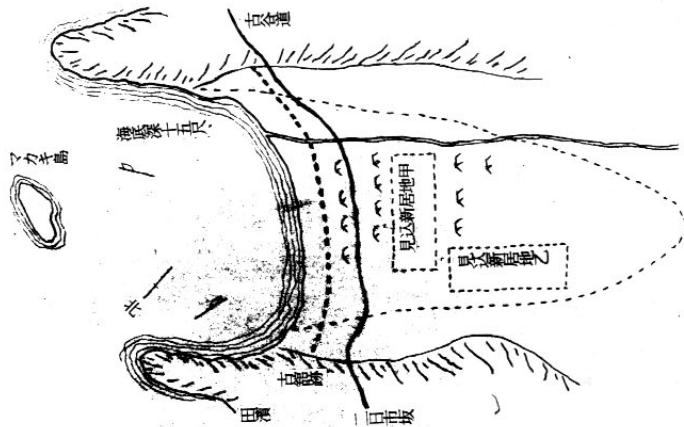
字 双 十 八  
負 傷 人 口  
海 面 ヨリ 高 低  
溝 干 ノ差  
打 上 潮  
浪 走 リ  
塩 鹽 流 亡

古谷  
五  
四拾三  
三拾四  
毫



氣仙那氣仙村  
三拾三戶  
拾管戶

四尺



○字松原  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干瀬ノ差  
○打上浪  
○浪走り

二八尺

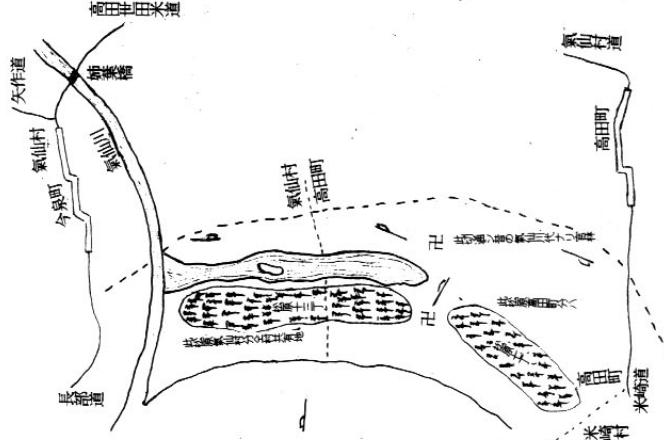
○ 岩の脇  
○ 負傷人口  
○ 海面ヨリ高低  
○ 満干潮ノ差  
○ 打上浪  
○ 走り浪

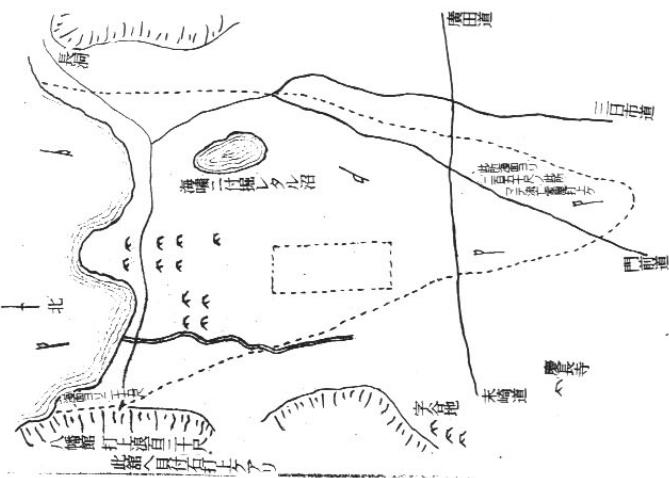
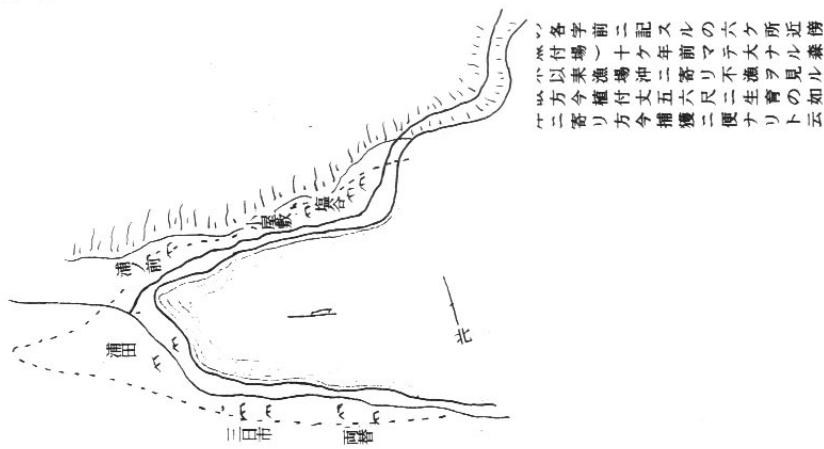
七尺五尺二丈八尺間

○ 堂ノ前 腹ハ逸見キト  
キハ通ノ着御留出山

○ 手手音リ通スナリ  
建退居ニ尋ル者  
皆便セシ為モ書宣シ  
ニ不生ニテ大ニ困難セ

○ リ  
堂ノ前古木傳ニ節モ  
地元今之遺の下ニアリ  
ハ久松前マテ同  
ノノ建退ニ亦セリト  
云其后千百年間モ常  
七十年後名タトニ家  
作セシナリト云

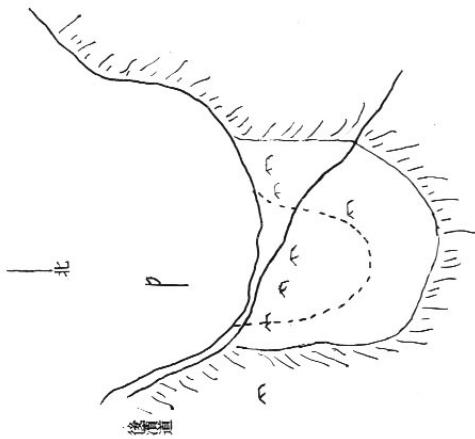




○陸前国氣仙郡廣田村  
 ○漬流亡戸數  
 ○漬納戸数  
 ○死亡人口  
 ○死亡人口  
 ○二戸六人

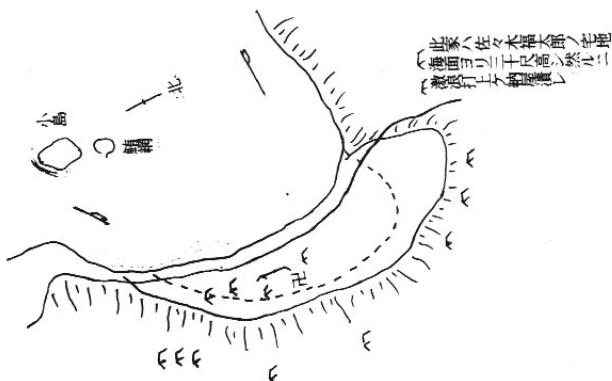
○字太陽  
 ○負傷人口  
 ○渕面ヨリ高差  
 ○打上干瀬ノ差  
 ○漁走り

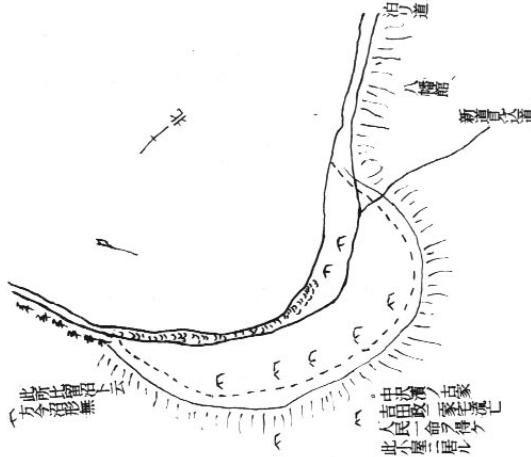
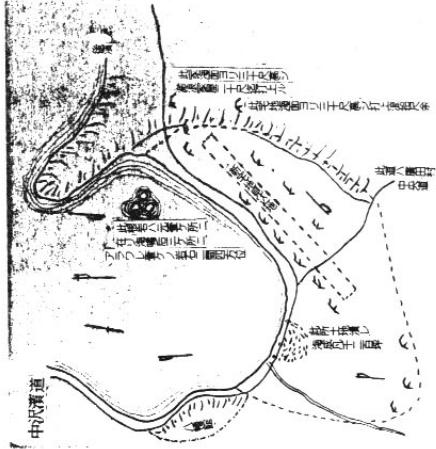
二三十八六尺  
 三拾四尺



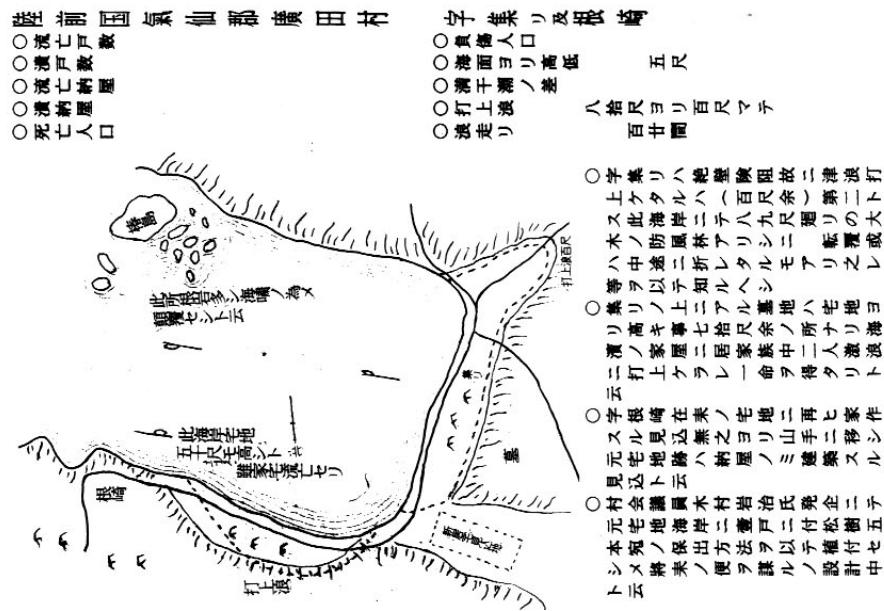
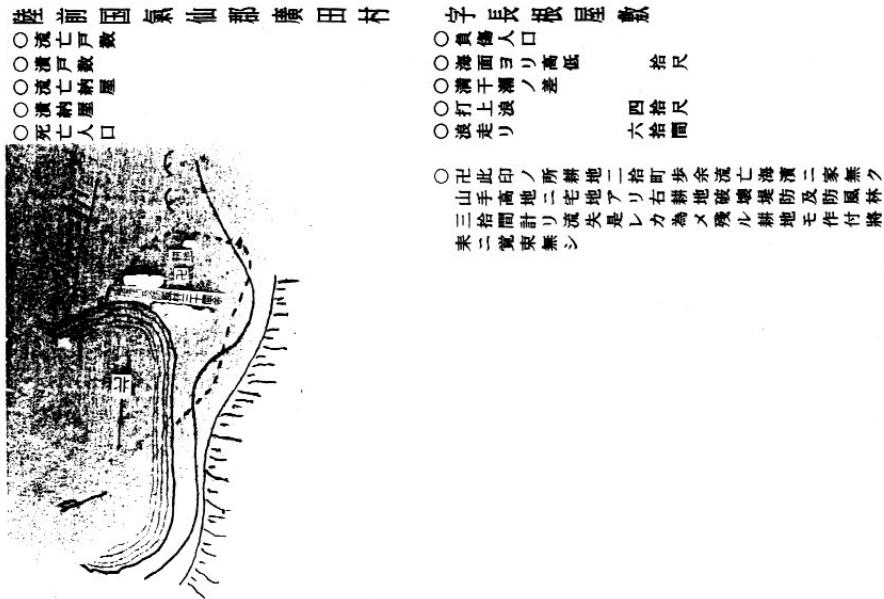
○陸前国氣仙郡廣田村  
 ○漬流亡戸數  
 ○漬納戸数  
 ○死亡人口  
 ○死亡人口  
 ○印海岸  
 ○住宅地ハ海面ヨリ六尺ノ所ニ在リ今ノ家ハ半漬レ其他流亡家作ハ  
 及征屋根木流易ク杉皮葺キ石ヲ搗ケタルハ存セリト云

○字後瀬  
 ○負傷人口  
 ○渕面ヨリ高差  
 ○打上干瀬ノ差  
 ○漁走り  
 一二拾六尺  
 六尺



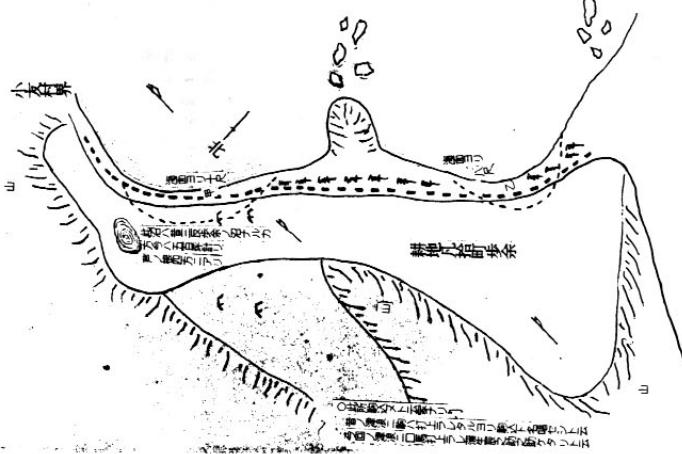
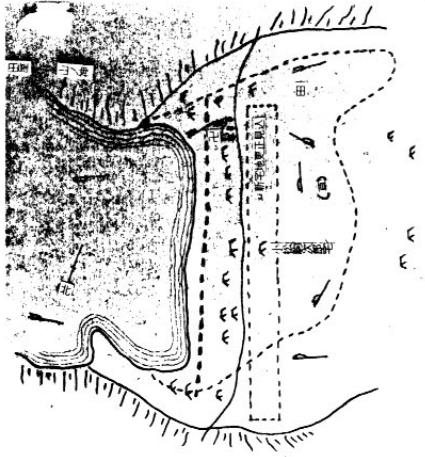


- 297 -



陸前国氣  
○流亡戸數  
○漬戸數  
○流亡納屋  
○漬納屋  
○死亡人口

ハツ浦・田屋  
一 六ツ浦 十二尺 田屋 四尺  
六ツ浦 五十尺 田屋 三十五尺  
六ツ浦 五十尺 田屋 百廿尺  
甲 申 此家ハ海面ヨリ四十尺モ高キ所ニ  
アハリ拾拾聞計ハメ少壊スモセリ  
丁酉 溝長レテ海ト成ル中三拾間計リ土地  
此溝長レテ海ト成ル中三拾間計リ土地  
戊 戊 漢波此溝長レテ海ト成ルノ風潮林アリ皆津  
ノノハシ松樹ノ風潮林アリ皆津  
己 巳 林此溝長レテ海ト成ルノ風潮林アリ皆津  
ノノハシ松樹ノ風潮林アリ皆津  
庚 戌 一ノ松樹ナシ松樹ナシ  
辛 戌 一ノ松樹ナシ松樹ナシ



○字大野人ノ高瀬打干溝ノ差打走り  
○廣田村字大野ノ海嘴ハ東北ヨリ打込ミ  
○在記此印ノ家無事サナク打込ミノシカサ  
○ナニ運ノアル為メ半溝シ是等ハ今回海嘴中ニ  
○字大野ハ元宅地ヲ設見込ト云計リ山手ニ引揚

○字長洞  
○自傷人入口高底  
○溝渠面ヨリ潮ノ差  
○打上干潮ノ差  
○走り波間尺マテ

甲 丙此防堤松林本所風本國松林堤計通路過之松林及  
乙 丙此防堤松林本所風本國松林堤計通路過之松林及

仙郡末崎村  
川原三七戸門ノ脇  
川原三戸門ノ脇  
川原三戸門ノ脇

○字小川原・門の協  
○貞德人口自十尺至二十尺  
○海面ヨリ高低差六十尺  
○打干潮波ノ差

六十尺  
百間ヨリ百六拾間マテ

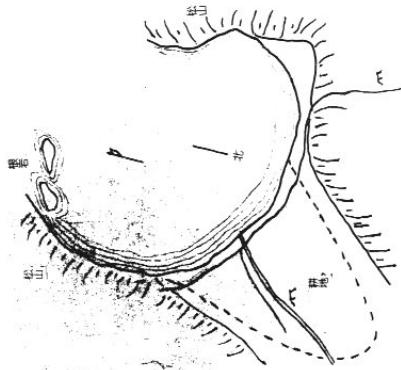
仙郡末崎村  
五拾六戸  
四戸

○字泊リ  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

自百至三百間

- 泊リハ元宿地ハ棟ヲ並ヘ町ノ如シ今モ回海濱ニ皆見流亡セ
- ラレニモ再び居候所ニ二ノ見送無
- 元地ヲ移設ノ二ノ設計中
- ノ移設ノ二ノ防風林
- ノ急務ナリニハ風暴參政ノ付付地
- ハ安政十二年七月廿三日ノ津浪

二 檢



字書石

- 海面ヨリ高低
- 溝干潮ノ差
- 打上浪
- 波走り

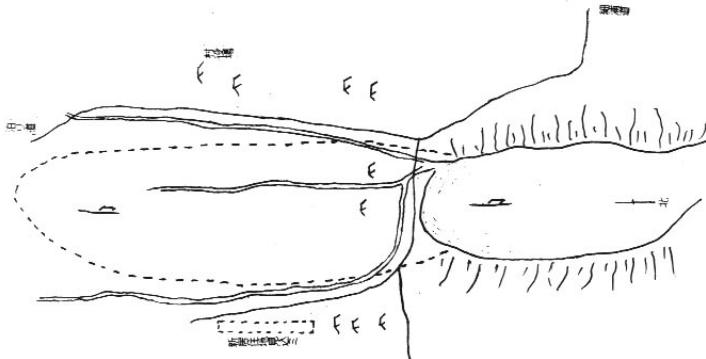
六拾尺

卷八

○字碁石清ハ名如ク黒色光沢アル小石平素業  
○ス基石黒色ハケ面ニ色アリ所ヨリ産  
○岸基石高價ニ賣ニ所アリ今回ハ海  
岬の為廿間計り生垣松樹破壊セリ

○本港ハ三千石積ノ舟出入自在湾口ニテ三百五拾間計り  
○朱点点ノ所へ海岸近キ所流亡セシ著共居宅ヲ移シ設計り

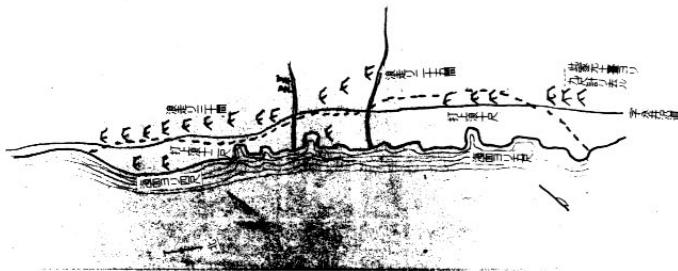
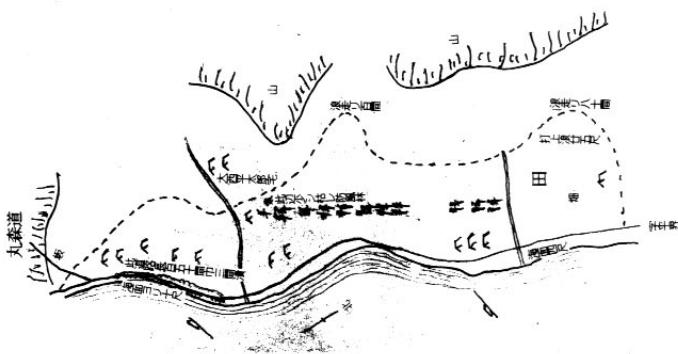
四尺  
四尺  
五尺  
廿間



五尺  
四尺  
五尺  
百八十間

○細浦ハ今ヲ去ル百年前ニ工事ヲ越シ今ノ居宅地ハ築港セシ所ナリ今回津浪ニ付流亡セシ  
為メ朱点ノ所ニ移シ一直線トナシ小路中五間町並トナシ海岸の石垣ヲ修繕ス其長サ四百

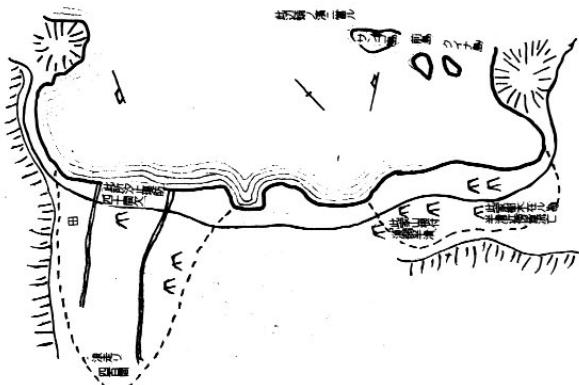
○本港ハ海底千尺石垣二着キ渡要セス今回少ナリシリシヤノクニテナリシタツノ浪津浅シ



字 永 濟  
負傷人入口  
海溝ヨリ高  
潮ノ差低  
打上干涸四尺  
浪打上間自四尺  
走り埋竪至二十尺  
流走間三十尺  
埋竪至二百尺

宇清水平  
○○負傷人口  
○○海面ヨリ高  
○○溝干潮ノ差  
○○打上浪  
○浪走リ

六尺  
四百間



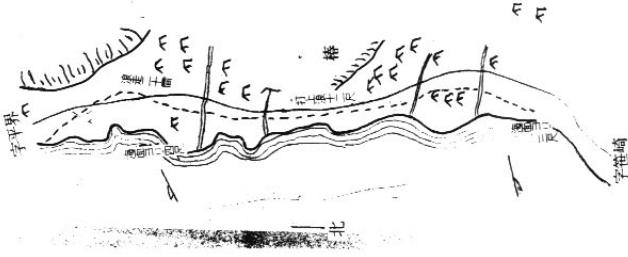
陸前国氣仙郡大船渡村　字永井沢

○ 流亡戶數  
○ 潢戶數  
○ 流亡納屋  
○ 潢納屋  
○ 死亡人日

八戸村波船郡仙人町

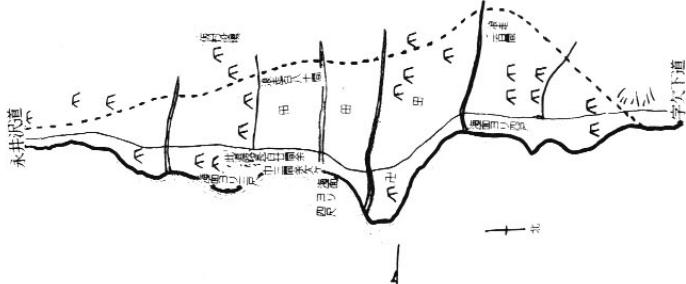
卷八

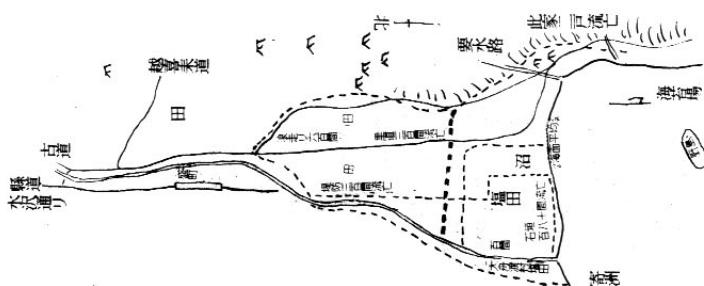
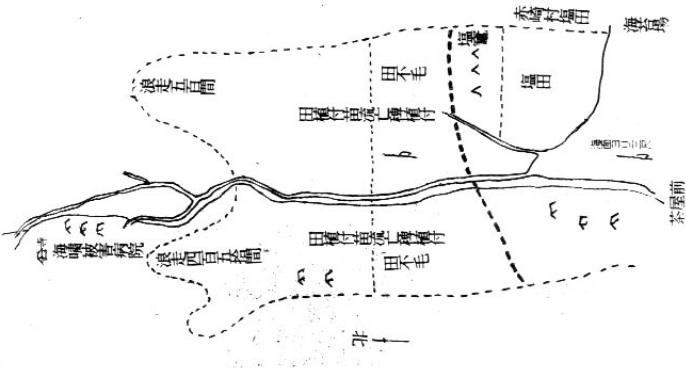
○宇永井沢津浪弱ク



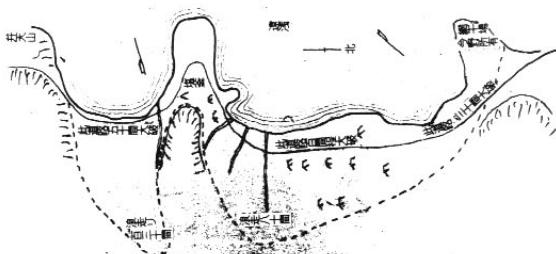
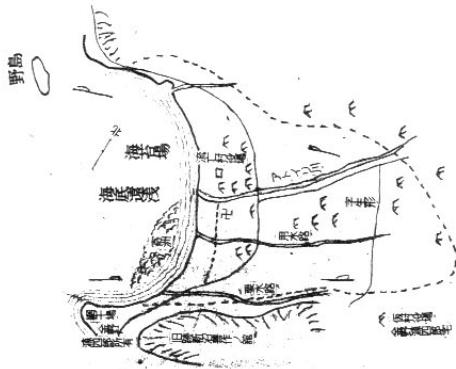
○死亡人口茶館前二十六人へ男十二人女十四人  
○逃走者一百五十日三二百間  
○正印ノ所二明治廿八年埋立工事ヲ起ス氣船停泊止場及倉庫設立將來荷物出入ノ便ヲ謀ラ  
ント設計演落成否既哉今回之海嘯ニ罹リタリ死企人梅野久徳木ノ下溝作兩人ナリ

字 笹ヶ崎 茶屋前  
○負傷人口 自三尺至五尺  
○海面ヨリ高低 溝干潮ノ差  
○打上浪二十五尺  
○有百十間正二千間





○	陸前国氣仙郡赤崎村	字中赤崎ノ内宿
○	流亡戸數宿二十七戸元戸數四十三戸	○負徳人口
○	漬戸戸數宿二戸生形八戸	○満面ヨリ高低
○	漬亡船屋	三尺
○	漬納戸數	二十尺
○	死亡人口	百六拾間
	生形五十二人(男三十人女二十一人)	三百五十一人
	生形三十一人(男十八人女二十一人)	四百四十三人



四尺  
自三十間  
自上浪打干潮ノ差高  
自海面ヨリ高  
自人口  
自傷人  
自永瀬

至二十尺

陸前国氣仙郡赤崎村  
 ○○流亡戸數十戸元戸數拾八戸  
 ○○瀬戸戸數四十戸元戸數拾八戸  
 ○○流亡納屋四戸元戸數拾八戸  
 ○○死亡人口三十五人男十五人女廿人  
 ○○死亡人口三十五人男十五人女廿人

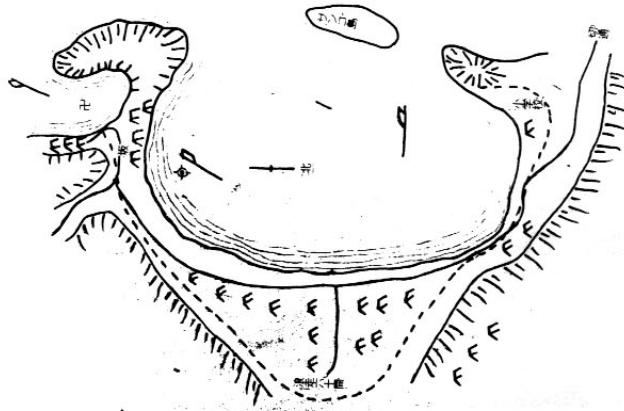
宇清水  
○○負傷人口  
○○海面ヨリ高  
○○溝干潮ノ差  
○○打上浪  
○浪走リ

六尺

人  
○浪打上浪走り  
○○浪打上浪走り  
○○清干瀬ノ差  
○○海面ヨリ高  
○負傷人口  
の浦

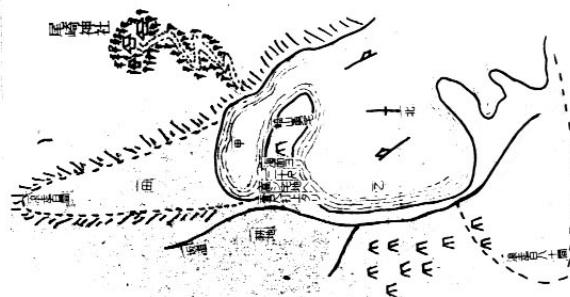
六尺

- 巳印小港ナリ此所家屋
- 越津波打流サレハ坂ヲ打
- 越津波打流レ越ヘタ山直立シテ崎ナリ故津波弱ノ方ナレトモ打上浪高シ



浦の蛸の人口を傷負ふ○○○海面ヨリ高低差ノ潮干溝○○○打浪走リ○○○浪走リ自百間十

高差 七尺  
自百間至百八十八尺五尺



陸 前 王

一氣仙郡赤崎村  
四十四戸 元戸數 四十四戸  
十九戸

字長憲

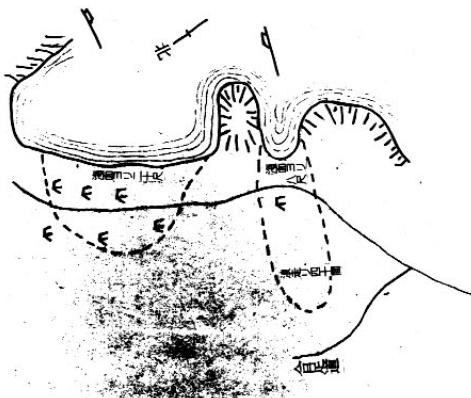
陸 前 田

目 水 仙 那 赤 崎 村

字外口

○此濱ハ櫻荒瀬海岸陥阻直立宅地ノ在ル所ハ六十尺モアリ之レベ五六尺余打上タ生浪アリ故六十五尺ナリ

三



八七拾尺

○此海濱石垣二箇所人破壊  
ニテ長サ凡百六拾間高サル  
ニニニ尺余馬踏ハ道路兼村内格  
ニテノ場所ナリ村内如内ヨリ  
要ヒテノ事也ノアアルト云  
○長崎島印土藏高八海面ヨリ  
二十尺余上尺計高キ打上所十三  
五尺印土藏高八海面ヨリ  
三十根舟定寄付ト云

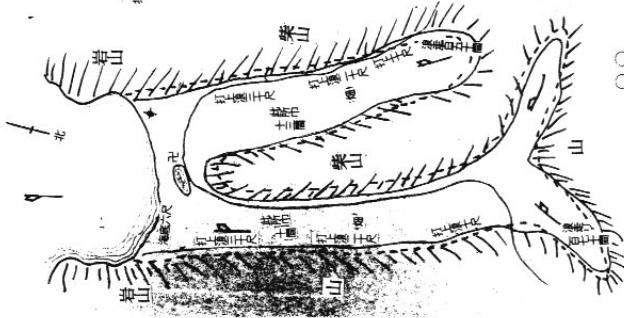
自八尺至二十尺

○字小濱八  
牛耕地八

六尺

自百五十間至百七十間

モ高ヘ海傍ニ多リノノノ死焼ニ



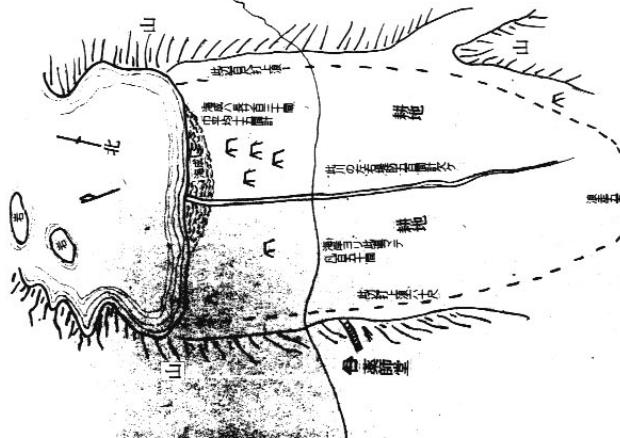
氣仙郡赤崎村  
拾三戸 元戸數 拾三戸  
三戸

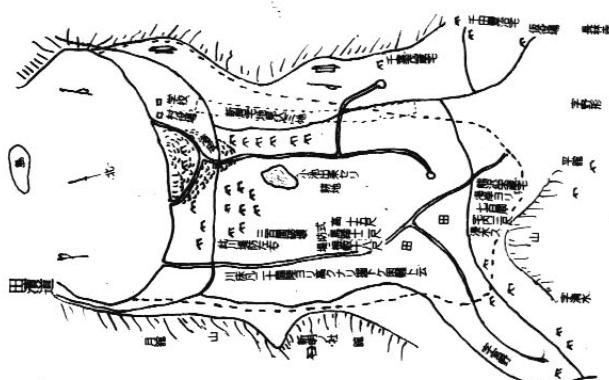
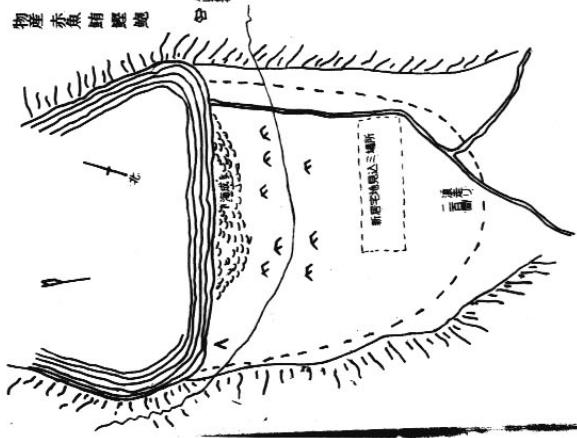
字合口足

○○○負傷人口  
○○○海面ヨリ高  
○○○溝干潮ノ差  
○○○打上浪  
○○浪走リ  
○塩竈流亡

拾尺  
七尺  
五百尺  
五百間  
壹棟

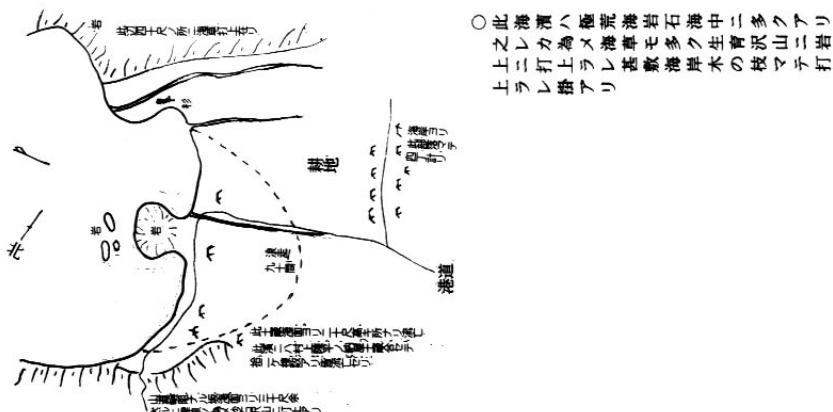
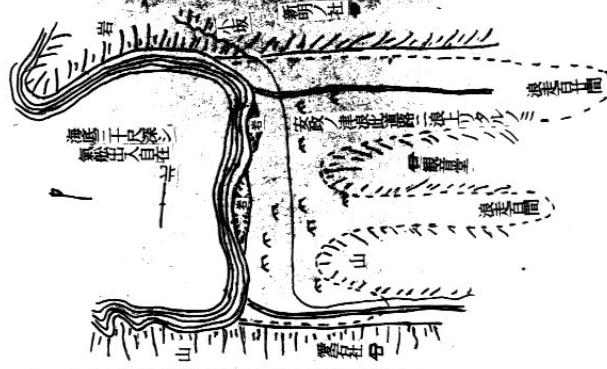
○此渢五十宅五六戸六尺堤裏津渢ナリアリ時素  
○昔宅内ニ二尺浸水スアリ  
○分安政二十尺波走リト云打上  
○復寶塚櫻花流亡更ニ三百年家屋造  
○ニスルニ三百年家屋造  
○千円二百四十円百六十云其他雜費百圓トス



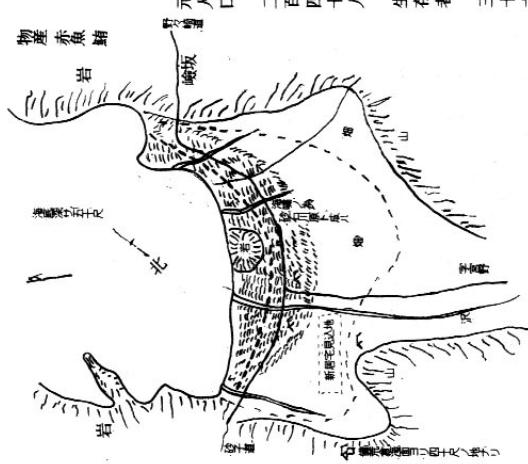


○港ハ平素荒浪打ニモテ云々

○港ノ如ク改正セん並ヘテ  
元形勢ノ如ク思へハナリテ  
アリ勢ノ如ク思へハナリテ

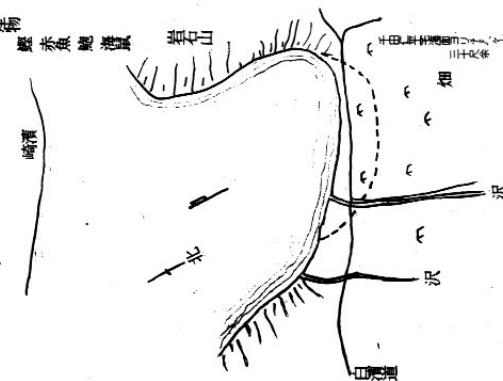


字白瀬  
○○負傷人口  
○○海面ヨリ高低  
○○溝打上干潮ノ差  
○○走り浪自百三十尺六八尺  
十四人至百八十尺  
者三十六人六拾間



○○○○○陸 滅流亡前戸數 氣仙郡板里村  
○○○○○瀆流亡戸數 戸元戸數 八戸十八戸  
○○○○○死亡人屋納屋 人口 柏八人六人  
○○○○○死亡人屋納屋 人口 元人六百四十四人十二

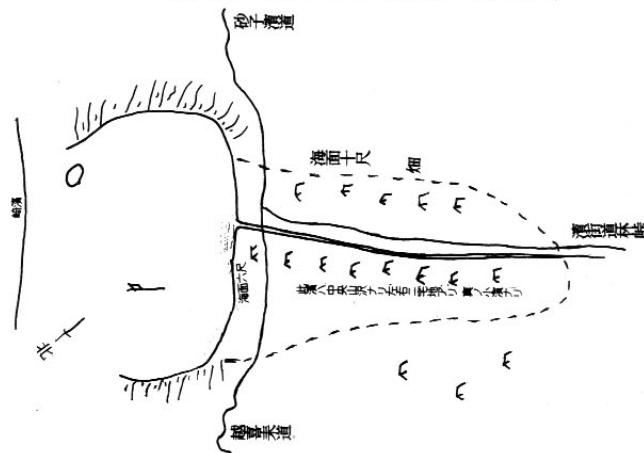
字 砂 子 濱  
負傷人口  
海面ヨリ高低  
満干潮ノ差  
打上浪  
走リ浪  
百十人



七尺  
五尺  
十尺  
丈

○此演ハ納屋多流亡セリ宅  
地多ク三十尺以上ノ地ニ  
アリ

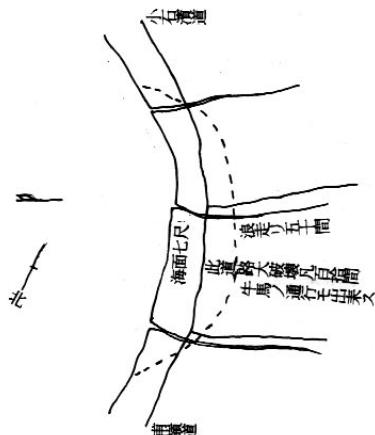
六尺  
五尺  
三十尺  
百五十丈



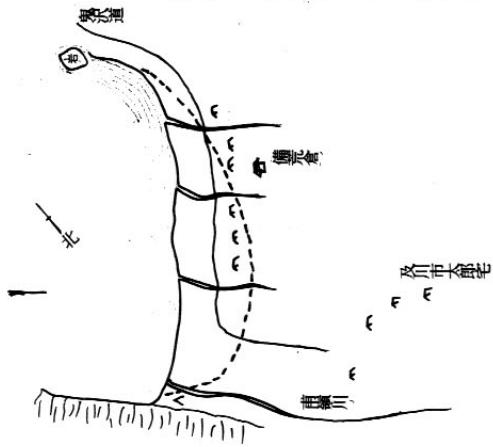
○字鬼沢  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

七尺  
六尺  
五尺

○此海岸八家モナ屋モ無濱街道要路  
故ニ記入



拾五尺  
五六尺  
五十尺  
八十間  
壹棟

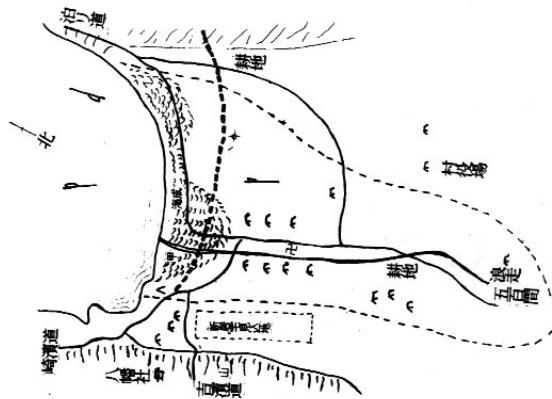


○此図緑色点二堤防及防風林設備急務ナリ

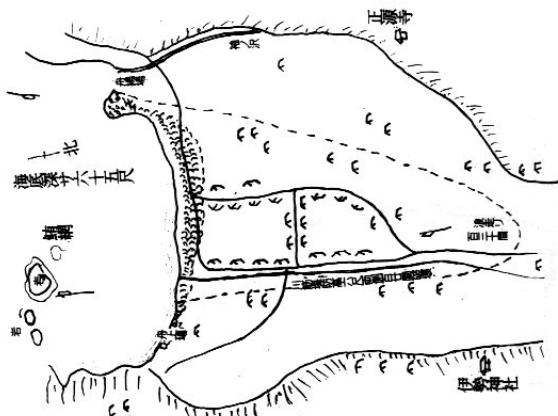
○○此図縦点二堤防及防風林設備急務ナリ  
○界屋宅へ此樹木の為メ少々損害セシノミ  
近傍潰レ或半潰セシモ界屋損害少シ

字浦瀆

○ 負傷人口  
○ 海面ヨリ高低  
○ 満潮ノ差  
○ 打上浪  
○ 浪走リ  
○ 流亡傷害  
○ 壱棟間五五六十尺七尺八寸



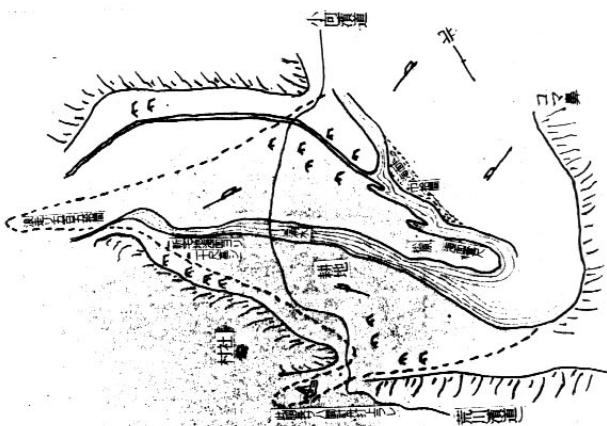
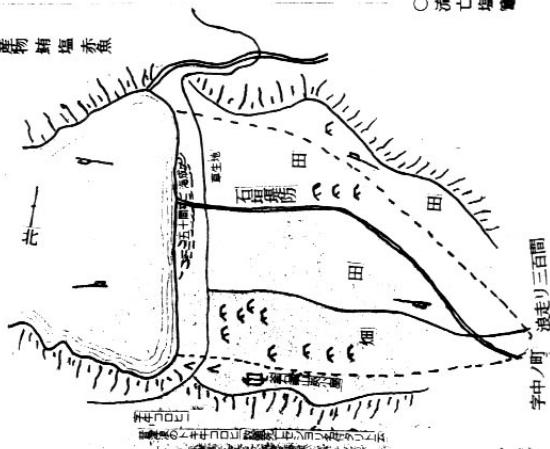
字崎窓



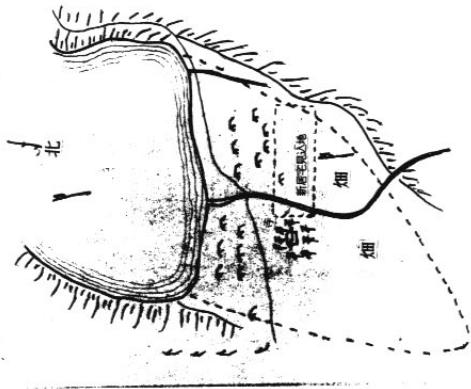
- 嵐 潤 稲 喜 十二月廿二日火失全十九年火災六六年
- 戸 壱 榎 失 全十九年火災八十二年火災六六年
- 三 二 戸 壱 地 及 一 九 七 人 死 亡 丙 未 一 九 七 人 死 亡 丙 未
- 宅 豊 田 一 九 七 人 死 亡 丙 未 一 九 七 人 死 亡 丙 未



產物銷鹽赤魚

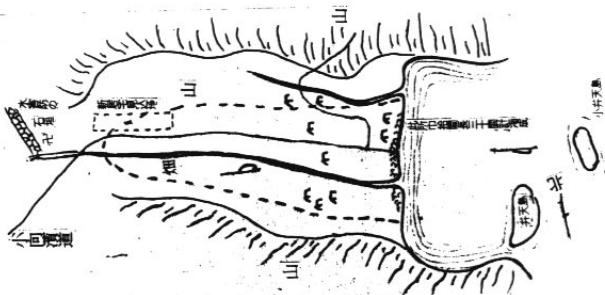


三百廿五六八尺  
三十五尺



四百四十尺間尺九尺八寸七尺六寸五尺四寸三尺二寸一尺

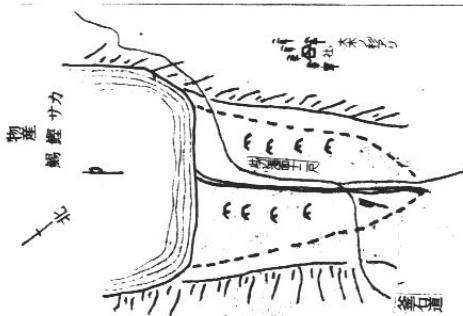
○〇廿年秋火災ニテ五宅地海岸ニ寄タルナリ今回海嘯ニ浪七セシ故ニ未点の所ニ移ス  
○記此印ノ石垣ハ五乗山時々霧雨ノ際山津浪アリ是ヲ防ノ為ナリ

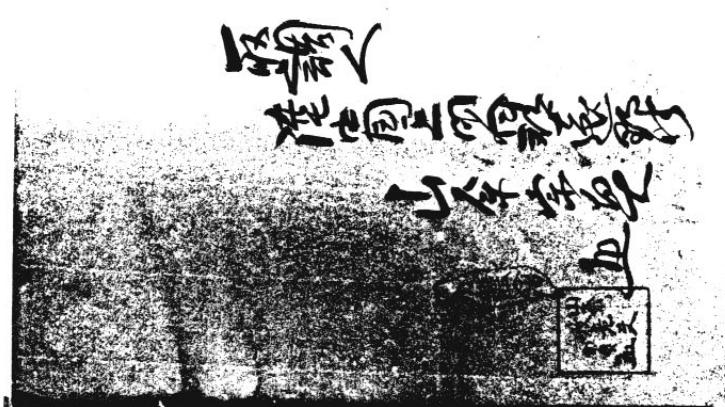
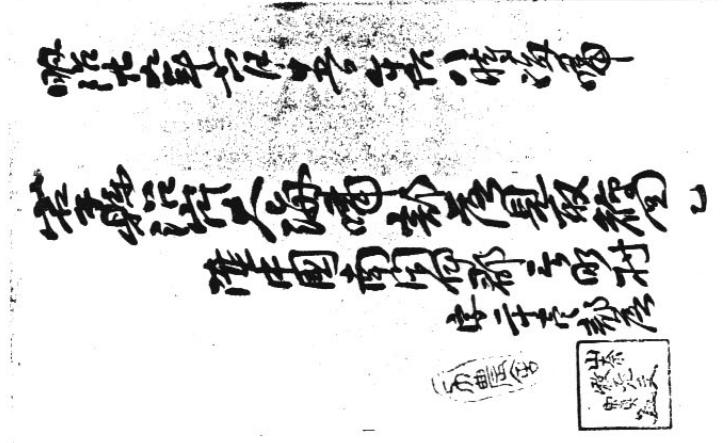


○○○○○陸前国氣仙郡唐丹村  
死滅亡戸數人口  
人屋納戸口

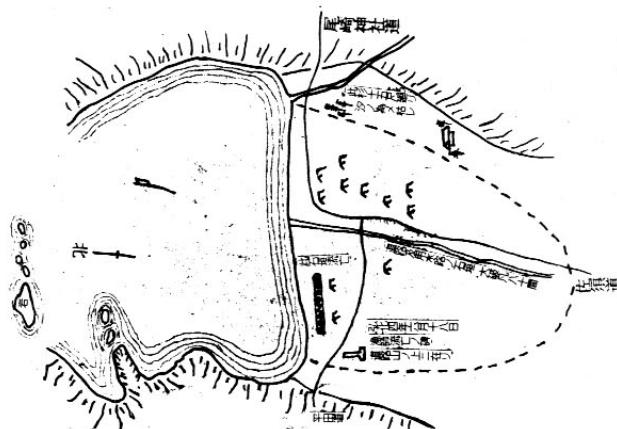
○○○○○字九郎露部  
海面ヨリ口露部  
打干ノリ口露部  
溝走り差高  
浪上尺尺

八四  
十五八  
間尺尺





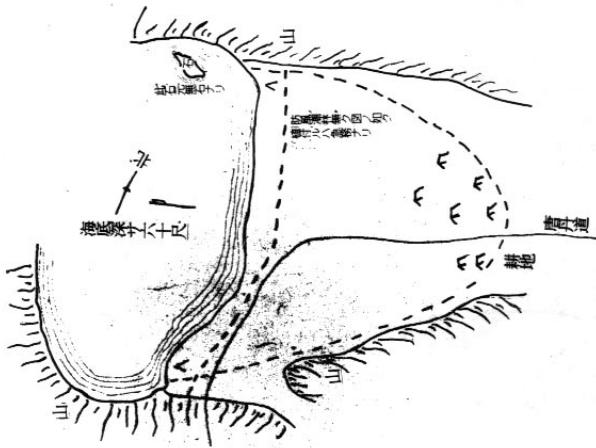
人ノ須仕字



南開伊那釜石町字平田

○負傷人口  
○海面ヨリ高潮ノ差  
○打上浪走り  
○流亡塙竈

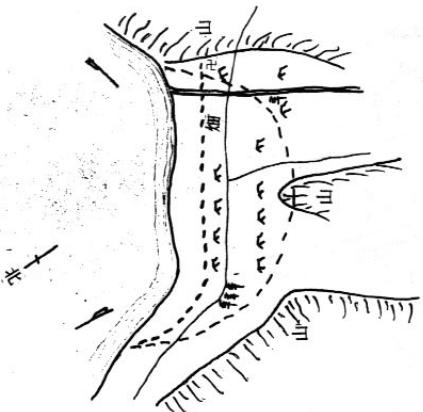
四尺  
五尺  
三十五尺  
百廿間  
壹棟



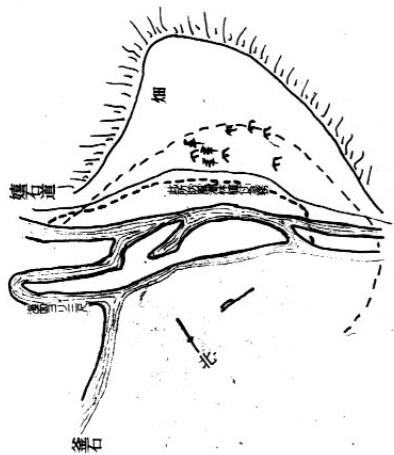
### 南伊那郡釜石町

○字壠石  
○負傷人口  
○溝面ヨリ高低  
○打上浪ノ差  
○浪走り

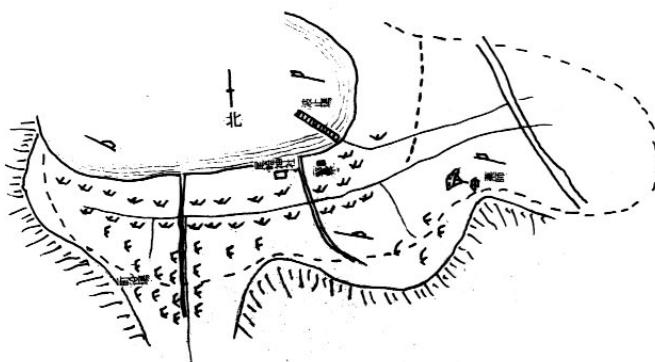
六尺  
廿尺

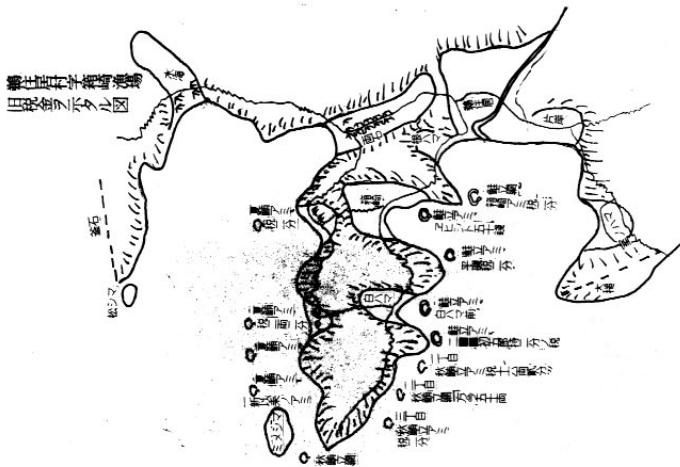


○字松原  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走り

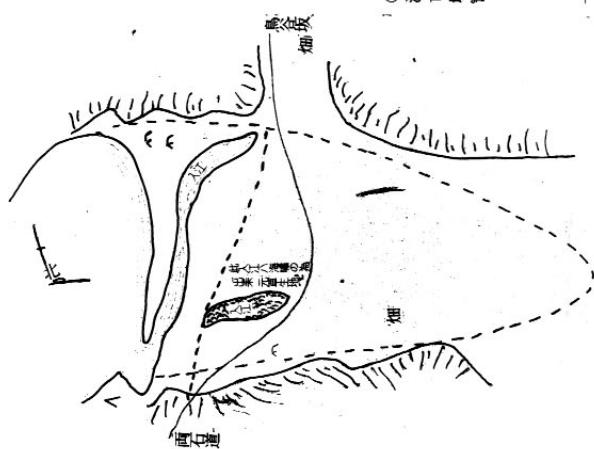


○○○負傷人口  
○○○海面ヨリ高低  
○○○満干潮ノ差  
○○○打上浪六尺  
○○○浪走リ五六尺  
二百三十五尺間





海 水 字 一 村 居 住 嘉 伊 郡 伊 申 南 中国 陸





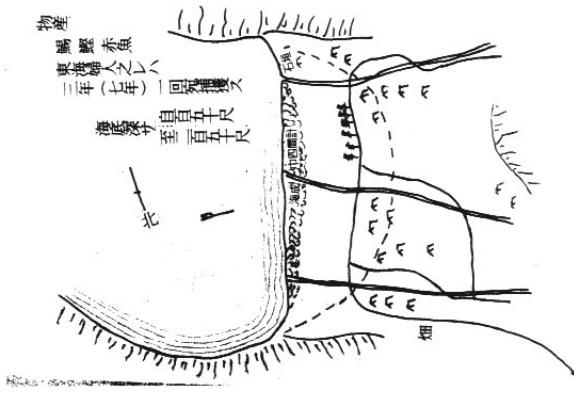
物產  
觸鱗赤魚  
東海鮮人之  
三年二七年

二十五人（自村者十九人他村者六人

字白瀆  
○○○○○負傷人口  
○○○○○海面ヨリ高低  
○○○打上浪ノ差  
○浪走リ

明治十九年コレラ患者  
四拾三人内十八人死亡

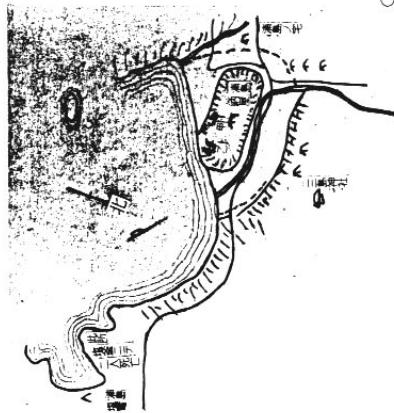
四尺  
五寸  
五拾間



九人

自六尺至六十尺

- 浦島ノナ屋海面ヨリ六十尺余高キ所ニアリ立壁ニシテ海ヲ見落高所ナ樹阻此所ニアリ具懸ク申乙ノ樹木此所ニアリ
- 安政二年五月廿日津浪阿摩郡被無居候



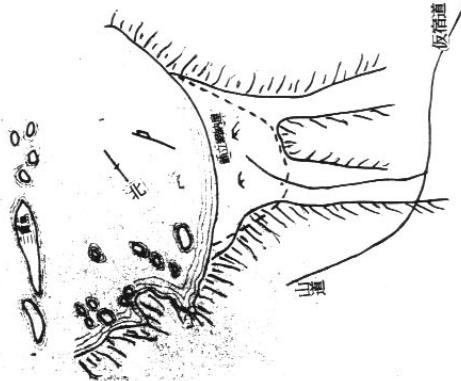
陸中国南閉伊郡鷺住居村 大坂宿

六  
塊

八十三人

- 負傷人口
- 海面ヨリ高
- 溝干潮ノ差
- 打上浪
- 浪走り

自百六十間至三百廿間



陸中国南閉伊那鶴住居村　字箱崎

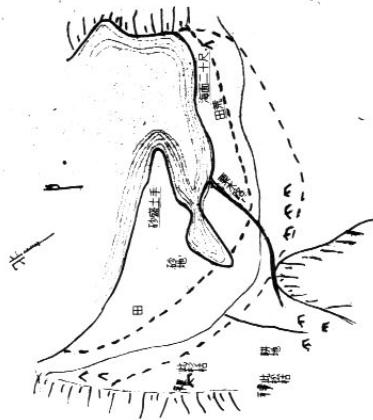
村字箱崎  
負傷人口  
海面ヨリ高  
溝干ノ差低  
浪打上り走  
浪走り百七  
五

二十一

- 天明二年寅七月ノ海  
嘴ニ民家不残流亡其
- 后住民無大坂宿ニ夏  
建物は故ニ屋六間場
- 在り在りは是役業の為メ八十三人出  
張居タル者八十三人出

- 海前海岸へ楓木一面安政九年ハ農地ニ一ヶ所漁業ハ
- 売採木ス枯れサ方令存候皆失木タ木津川ノ魚獲利今令
- ナレ五十日日津浪モ安政三四年七月廿五日再打撃上三尺
- 元ヨリ二十回共流れ激戦打撃上三尺
- 潟脱立見聞宅見通ケ家宅無
- 潟岸防風林ノ植付及

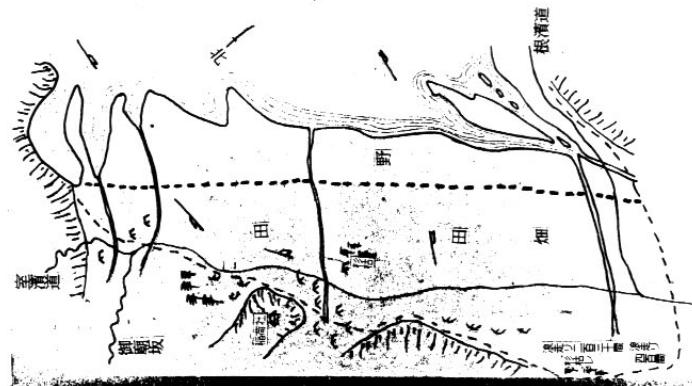
閉伊那鷲住居村  
七戸元戸數十六戸

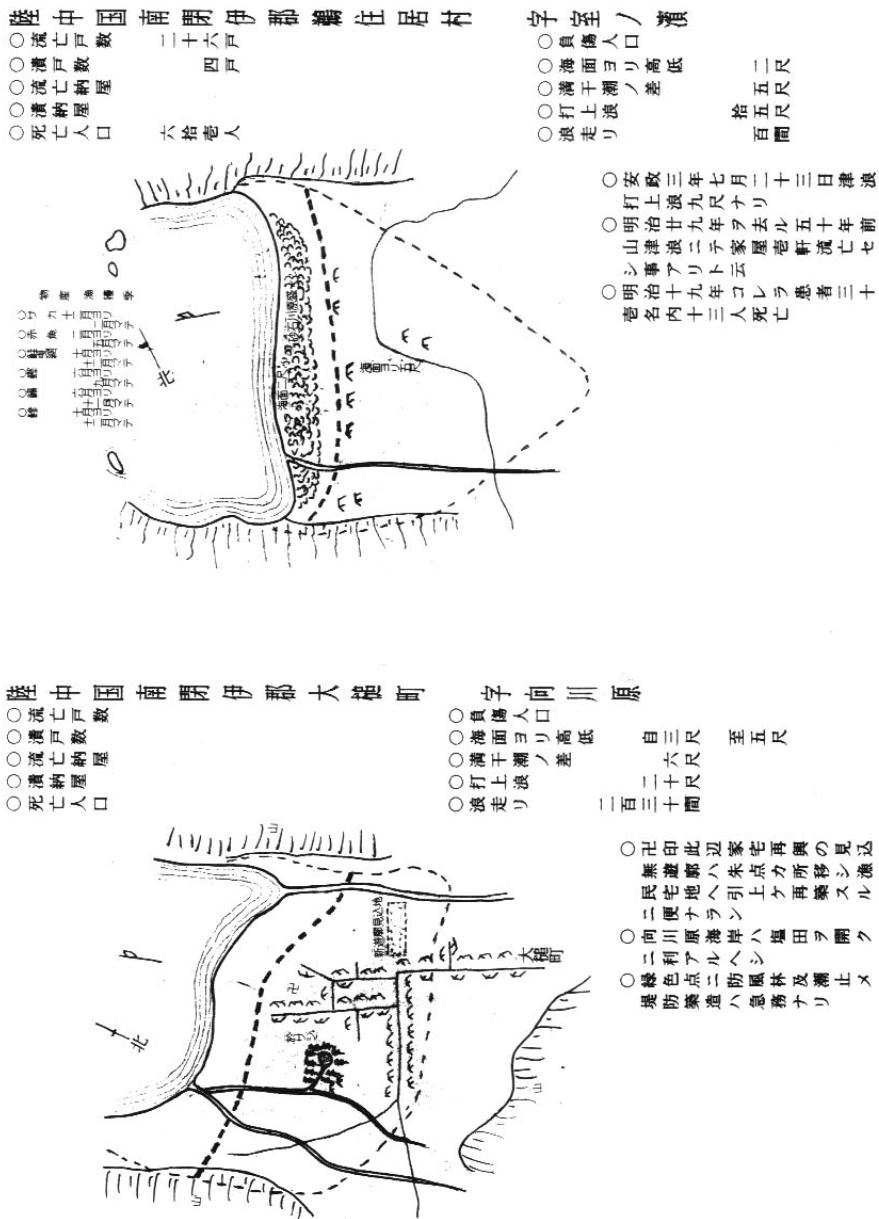


○○○海面ヨリ高低差  
○○打上浪  
○浪走リ

自三百八十尺間至四百尺

- 片岸海岸ハ將來堤田ニ見込アリ寛政年間ヨリ宝暦年間マテ堤田ヲ行ヘタル事アリト云
- 緑飛点へ防風林植付目下急務ナリ



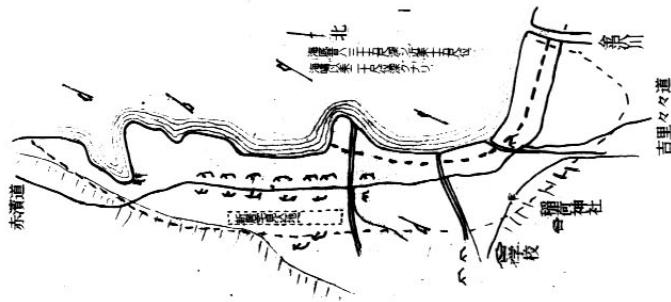


陸中四  
○○○○流亡戸數  
○○○○潰戸數  
○○○○流亡納屋  
○○○○潰納屋  
○○○○死亡人口

○安波海岸二四五拾間潮止メ堤防ヲ設ケ其他綠点ノ如ク防風林植付急務ナリ

○ 海面ヨリ高低差  
○ 溝干潮ノ差  
○ 打上浪  
○ 浪走リ

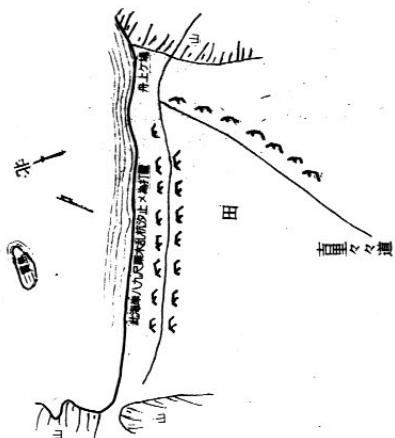
四尺  
二十二尺  
百三十間



赤瀬字人ヨリヨリノ差高底  
○○○○溝渠面燒人口  
○○○○打上干瀨走り  
○○○○浪走り

- 負傷人口
- 海面ヨリ高低
- 溝干潮ノ差
- 打上浪
- 浪走り

五尺  
二十二尺  
二十二尺  
七拾圓



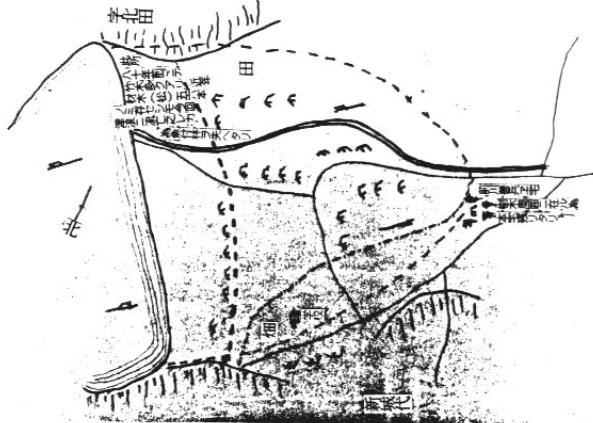
- 安政三年七月廿三日津浪道脇宿地ニ逃浪上ラス水走込
- タ路ニ神戸入四五五拾間聞走込
- 道路ハ木耕城の腹ア謀ランニハ大構ヨリ根清ヲテアリ赤清ヨリ古里々里マヘ通ス
- 赤清海辺潮止メ堤垣ナリ急務ナリ

字 古 里 𠂇 𠂇

- 負傷人口
- 海面ヨリ高低
- 溝干潮ノ差
- 打上浪
- 浪走り

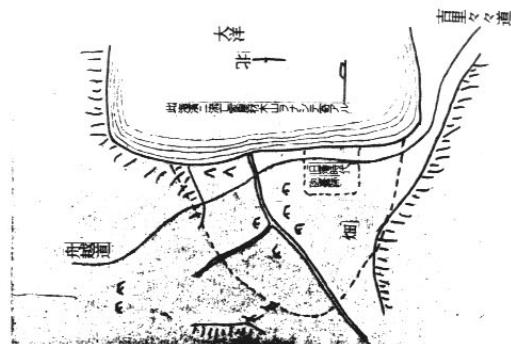
低七尺  
自十五尺至二十尺  
三百廿間

- 安政三年七月二十三日津浪ヨリ今回津浪
- 宇安打行波二尺高シトノ家北田芳賀少シテ所ノ
- 住多スカツ皆高キ所ニ所ニ宅地
- 芳賀少シテ所ニ所ニ宅地
- 長ヨリ新ノ代えハ津壁代えハ移り慶石ノレ比津浪ニ新ノ代えハ移り慶石ノ
- 多シト云



六尺  
六尺  
五尺  
間

○浪板漁民多ク  
死亡殘ル者拾  
人位山手巖家  
此數入ラス



御前山の北側に於ける  
海岸の風景  
陸奥國の海岸の風景  
宇都宮市内



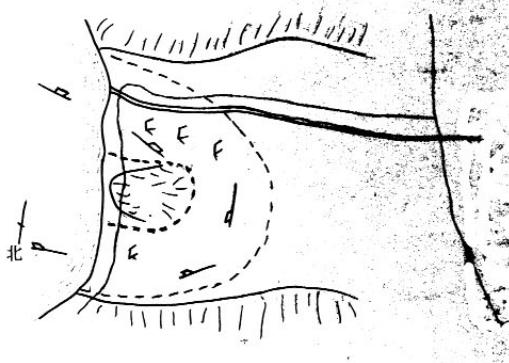
江浦  
陸奥國の海岸の風景  
山本宣治



○安政三年七月廿三日津浪宅内板敷二浸水セシノミ

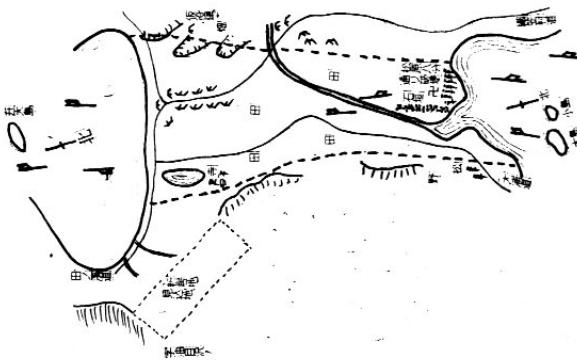
宇山の内  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

五尺  
四尺  
三尺  
三寸

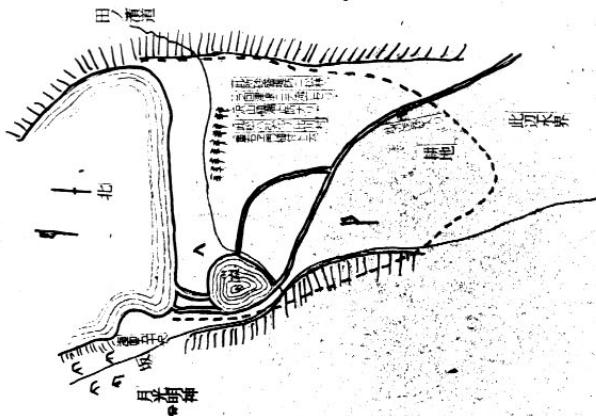
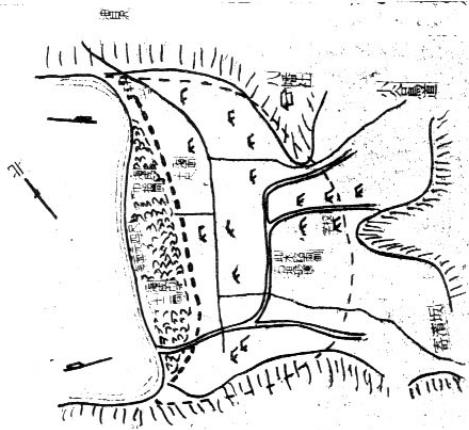


○字舟撃  
○負傷人口  
○海面ヨリ高  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

自三尺至六尺  
四尺四十尺南北ヨリ打込



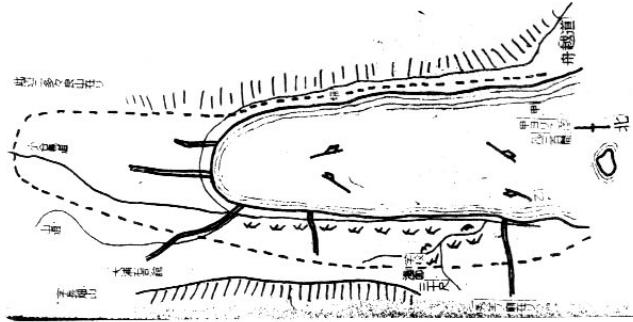
- 本村ノ間見凡ヨリ字田ノ瀬漬マテ  
ケ舟点ノニ二十町会合併
- 通セシモ漁業會新五町ノ運河設立ヲ  
ラント津浦欲ハスノ便少運河謀議
- 本村ノ砂利石原ナリ見渡セハ無打  
流込サレ露地耕北ヨリ見渡セハ無打
- 在村ノ砂利石原ナリ見渡セモノノ  
安瀬在所七百圓ス表裏海家ノモニ
- 印三月見渡セルモノノ元舟船セハ無打  
政三四年間見度セラムナリ見渡セハ無打
- 流キ難美城印所松林廿三日付印  
浪安瀬セシヲ失却ヘ再植樹行



四尺  
五尺  
間

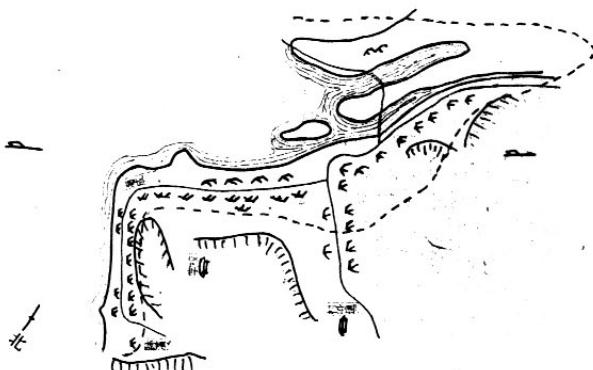
○ 海面ヨリ高低差  
○ 溝干潮ノ差  
○ 打上漁  
○ 渡走り

○余悉回の際此辺人算荀引出シニテ洗物ナシ居  
○大浦ハ百年前マテ道路岸マテ海面追々陸トナリ阿部十郎祖父の話  
○安政三年七月廿三日ノ津浪ニ須賀前ノ宅ニ浪打上ラス凡此所ニアル松樹滅亡セリ

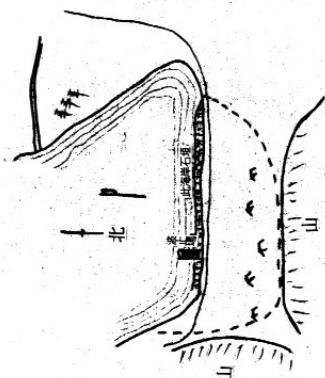
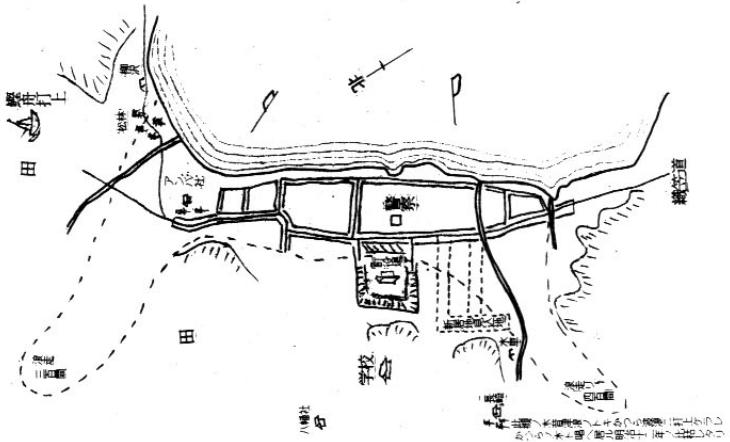


○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○満干瀬ノ差  
○打上漁  
○漁走り

○平素八三尺位汐引キ居ルニ近比毫丈五尺位引ク



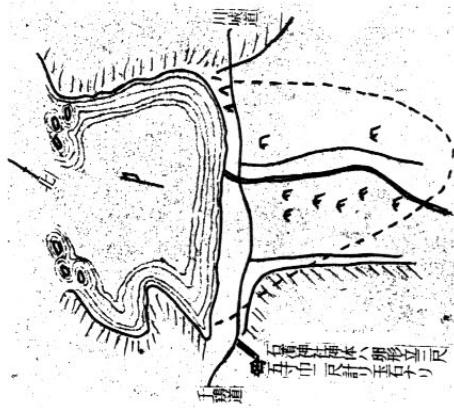
○ 負字山田飯岡  
○ 满面ヨリ高低自四尺至八尺  
○ 满面ノ差打走り浪ノ至二尺  
○ 浪打走り浪ノ至三尺  
○ 浪打走り浪ノ至四百間





字 石 清  
○ 負傷人口  
○ 海面ヨリ高低  
○ 滝干ノ差  
○ 打上浪  
○ 流走リ  
○ 流亡塩蜜

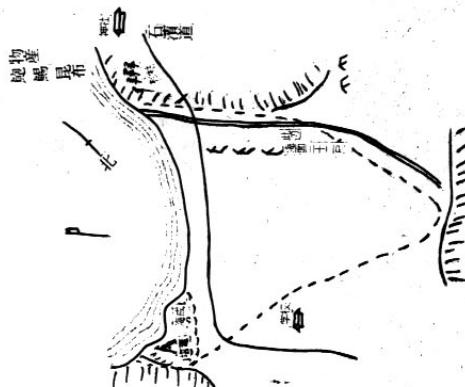
○ 石膏ヨリリハ名二標打ノ上如磨底  
○ 以クケ皆丸玉川打ノノ如磨底  
○ 非常荒浪ノ川打ノノ如磨底  
○ 部落人ハシマノ業製塙



木貞椿人口千鶴  
海面ヨリ高  
溝干潮ノ差  
打上浪  
走り  
波塙警流亡

自四尺至宅地二十尺  
百八十五尺  
四拾丈  
二樓

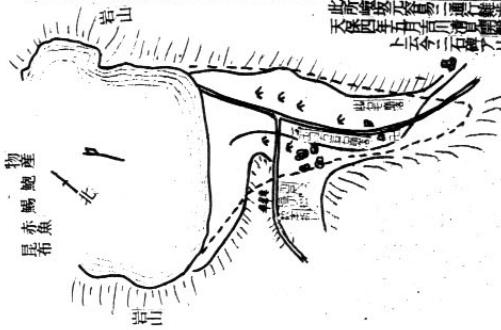
- 全戸数三十二戸一尺海面ヨリ高キ地在ルモ宅モ流亡ヘ廿九年七月廿八日營鐵五五五
- 千戸数ハ安政三年七月廿三日津浪打上浪4尺平素の日津浪打上ル事アリケニモハ尺位打上ル事アリ
- 尺寸角川邊ノ辺ニ椿木五六寸角得フル立木アリ煙火五五五
- 全所百姓位立木在リ煙火五五五
- 全所百姓位立木在リ煙火五五五
- 全所百姓位立木在リ煙火五五五
- 全所百姓位立木在リ煙火五五五



字 姉 古  
○ 海 面 ヨリ 高 低  
○ 満 干 潮 ノ 差  
○ 打 上 波  
○ 狼 走 上 浪  
百 八 十 尺  
百 四 十 尺  
百 八 十 尺

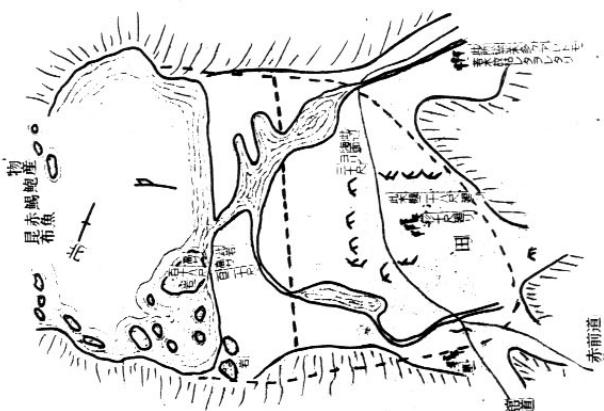
○ 姉吉ハ家屋納屋東モ無ク滅亡山崩レ木倒レ海底ヨリ荒石打上ラレ元人形ノ居住セシ形  
勢更ニ無山間ヨリ崩ル、岩石拾只以上ノモノ多シ海嘯ニ付死亡スル者八十余人死体僅ニ  
五人ノミ見付残ル七十五人更ニ見付ス舟九艘アレトモ壹艘モ無死体搜索スル能ハヌ体實ニ  
惨酷ト云ヘシ

○姉吉人民所有畠山手アリ皆荒蕪トナリ



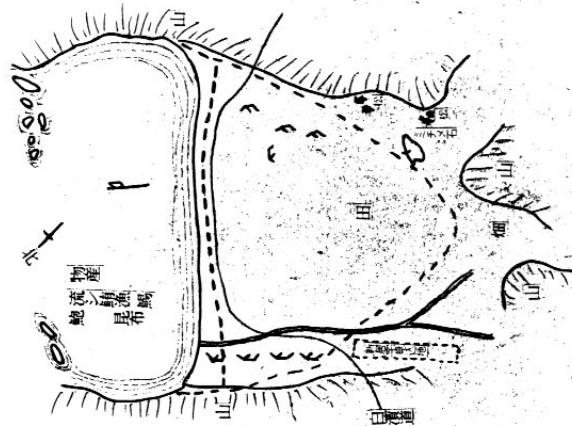
○負傷人口  
○海面ヨリ高低差  
○溝干瀬ノ差  
○打上浪  
○強走り

八尺  
七尺  
捨尺  
五百丈



○○○負傷人口  
○○○海面ヨリ高低  
○○○溝干潮ノ差  
○○打上浪走り

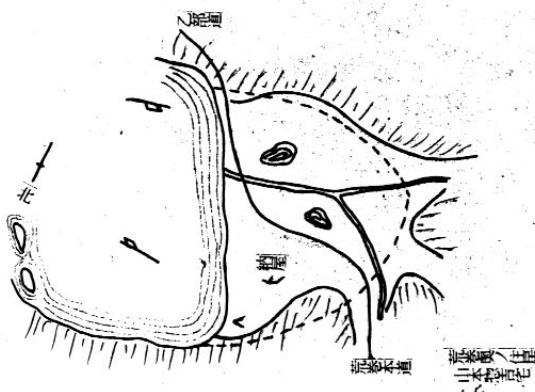
六尺六尺



○荒巻字<sup>サルマツ</sup>  
○傷口人<sup>ヒトノケガ</sup>  
○面ヨリ高<sup>タカニヨリ</sup>  
○溝干ノ差<sup>カニシキノシテ</sup>  
○打上浪<sup>ウヂマツタモリ</sup>  
○走り<sup>ハヤヒキ</sup>  
○流亡<sup>リュウモウ</sup>

拾尺七八

- 乙部舟ニテ百年前民船冲激近年漁業業者漁獲量減少に因る事無く漁獲量は漁業者による漁獲量の増加により漁獲量が増加する傾向にある。
- スルシテ漁獲量は漁業者による漁獲量の増加により漁獲量が増加する傾向にある。



- 荒巻近傍（海濱・立木）立木松杉皮ハケ枯レタラレ冬
- シ浪荒キ喬メナラン
- 舟五嶺内三櫛流亡

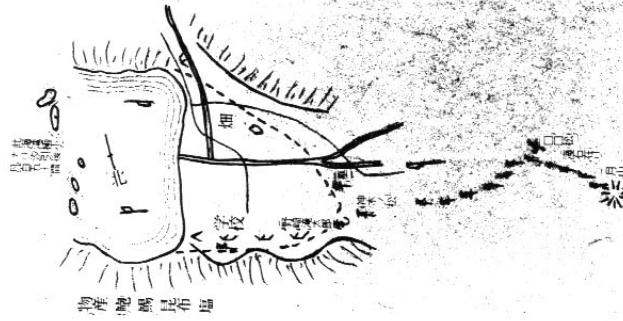
中國大陸  
人口死亡數  
戶數納屋  
死亡人口

○此印所昔津浪ノ時海底ヨリ拾尺四方石打上リ礫草付着セシ石ト云

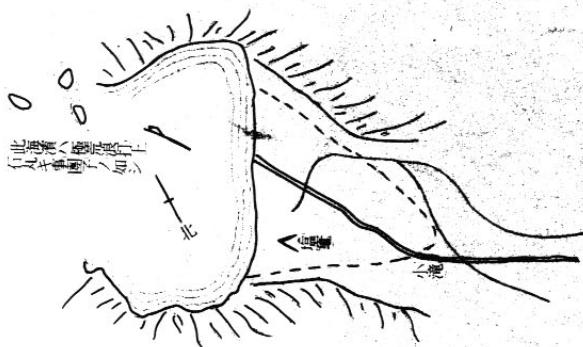
○字號碼  
○負傷人口  
○海面ヨリ高  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走り  
○流亡煽

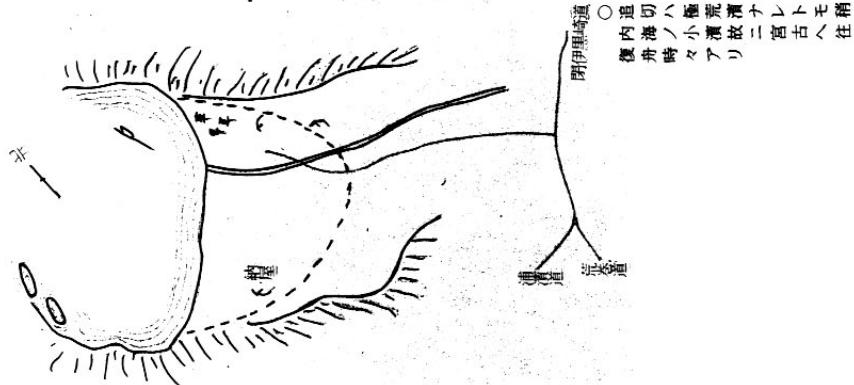
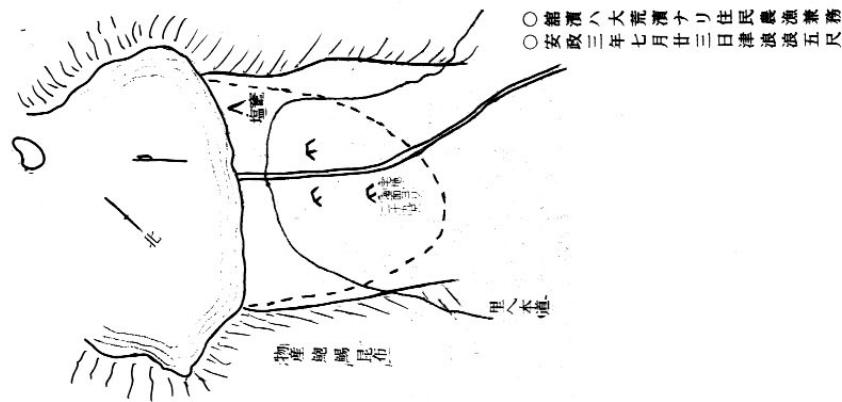
七七尺  
三百間  
壹棟

- 墓所ノ所ニ在レシ給ニ今  
回津浪ニ野崎村トテ助命セリト云
- 野崎浪太郎の墓浪波の  
山川のがて助命セリト云  
学習院予立墓所ヨリ附  
神社境内月山へ三月年二  
竟後行方不明尋覓久々更  
ハシ浪端の跡ハイ立ヌヘ  
シト云其事跡ナリ右有  
通路ノ中ニ事記云アリ  
利根岸ヨリ十五町余の所  
山羊ニ港ニ墓ヲロキ知  
石臼沢山ニ在レシ蓋古石  
ナリ全昔書建物の跡  
タルサララン



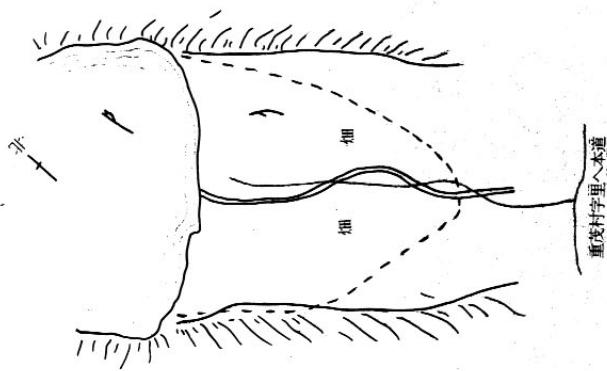
拾七尺  
四十間  
壹棟





○字 湖 / 沢  
○負傷人口  
○海面ヨリ高  
○溝干潮ノ差  
○打上浪波  
○浪走リ  
○流亡塩壠

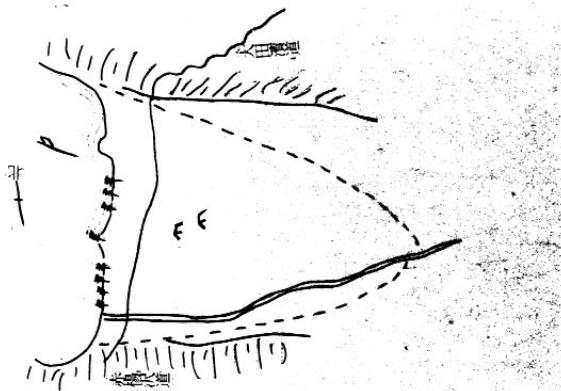
九尺  
六尺  
五尺  
百間  
壹棟



四 尺 尽 様 百 三 様 尽

四尺  
六尺  
七尺  
八尺

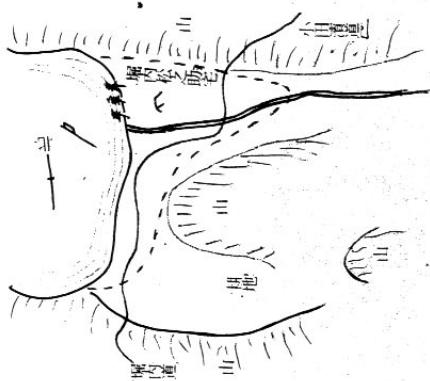
○此海濱極小ナレトモ根ノ木アリナルモノハ拾尺廻リ則防風潮林之力為害少シ



國東閉伊郡津輕石村　字赤楊沢

字赤楊汎

三  
自九尺至七尺（宅地）



國東閉伊郡津輕石村 宇端内

- 負傷人口
- 海面ヨリ高低
- 溝干潮ノ差
- 打上浪
- 浪走り

四尺  
四尺  
五尺  
間

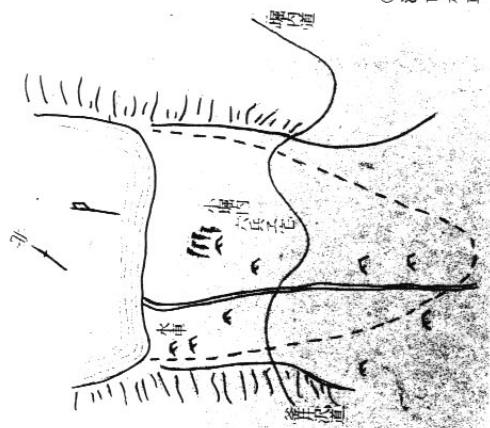
○此海岸防風浪林ノ必要緑点の所ニ植へシ

- 堀内松之助之家ハ海岸ヨリ九間計三所ニ在ル木ノ根地ナリアリ防風林二ヶメ漬ケ瀬ノ木ノ根地ナリ
- レタルノミ流亡セスス安政三年七月廿三日津浪浪矢モ四拾間余ト云家屋ニ書無

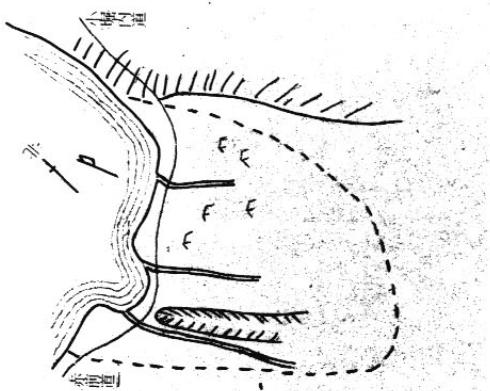
石村 負傷人口 满潮面ヨリ高  
内堀ノ差低 清干潮ノ差低  
内堀ノ差低 流亡水里 清打渡  
内堀ノ差低 流亡水里 清打渡

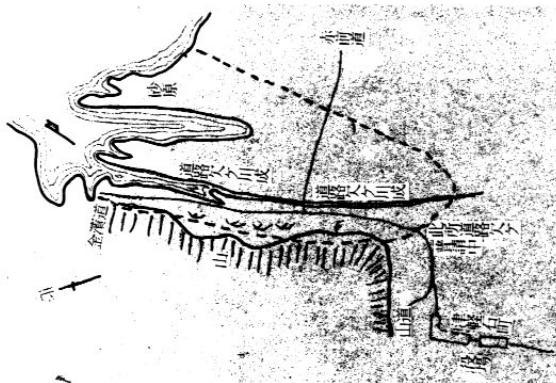
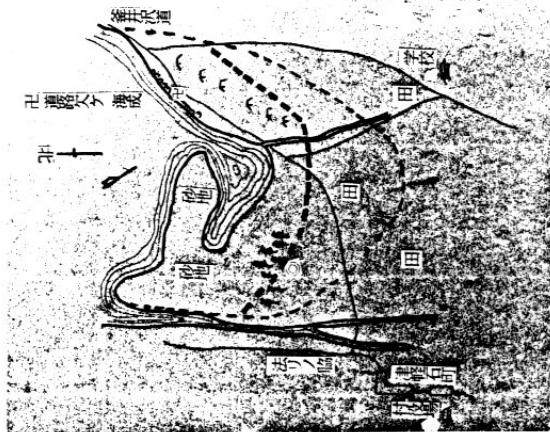
拾四尺  
拾五尺  
八拾間  
二棟

○安政三年七月  
二十三日海嘯  
戸流亡セモ宅地移地  
高岳ノ地ニシテタルル  
戸モ流亡無シシメ今回ハ吉ル

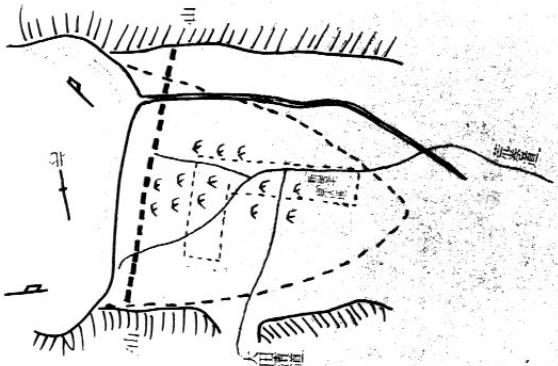


五尺  
四尺  
三尺  
二尺

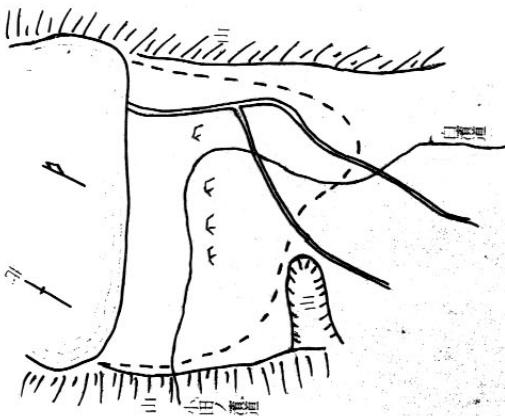




○安政三年七月廿三日津浪ハ宅地七尺打上ケ



○負傷人口  
○海面ヨリ高低差  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ



# 陸中國東閉伊郡機鶴村

卷之三

○死亡人口 捌六人

自七十間至百五十間

○金濱八全戸數四拾八戸

○金濱八海岸二防風林植

卷之三

卷之三

大陸中國東閉伊郡磯鶴村字高瀆

○ 流亡戸數  
○ 貧困戸數  
○ 負傷人口  
○ 每面ヨリ高氏

○○満干潮ノ差 五尺

○ 潢納屋  
○ 打上浪 三拾四尺

○死亡人口 ○浪走り 百八拾聞

○金清八全戸數四拾八戸

○安政三年七月廿三日津浪ハ打上浪拾五尺ト云今回ヨリ四尺向シ石漬書無シ

卷之二

卷之三

2000-01-01 10:00:00

A horizontal scroll painting depicting a landscape scene. The scene features a winding path or riverbed in the foreground, lined with trees and rocks. In the middle ground, there is a small, simple building with a tiled roof, possibly a pavilion or a small temple. The background shows more distant hills or mountains under a clear sky. The style is characteristic of traditional Chinese landscape painting.

卷之三

A detailed black and white line drawing of a geological cross-section. The diagram shows various layers of rock, some labeled with letters like 'A' and 'B'. It includes several vertical lines representing faults and a dashed horizontal line representing a specific geological horizon. The drawing uses fine lines and cross-hatching to indicate different rock types and structures.

高齢の方

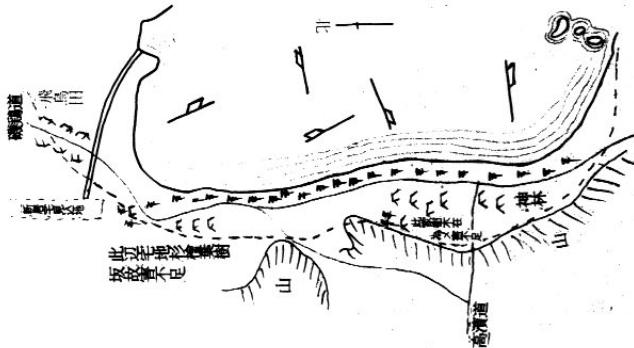
津良種  
多  
少

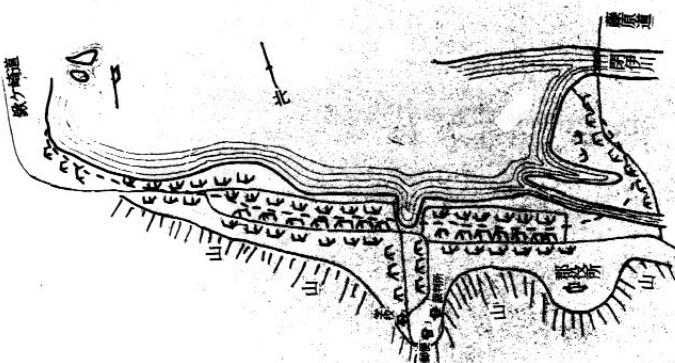
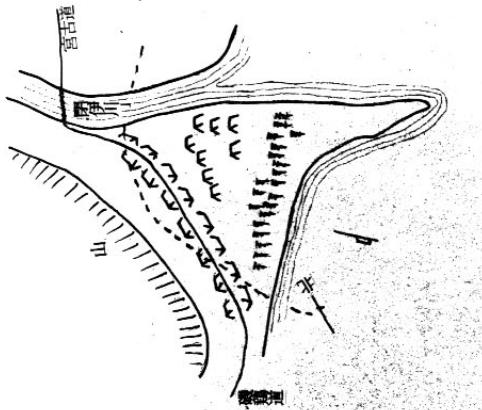
A detailed diagram of a plant root system, likely a corn root, shown in a longitudinal section. The diagram illustrates various anatomical features: 1. The primary root at the top; 2. A lateral root branching off; 3. A cluster of small roots; 4. A large, thick root; 5. A thin, elongated root; 6. A cross-section of a root showing internal tissue; 7. A small, irregularly shaped root; 8. A large, prominent root; 9. A small, thin root; 10. A very small, delicate root.

*[Signature]* *AC*

— 8 —

○此海岸荒濱ニハ被害不足是レ防風浪林ノアル為メナラン風潮林無キ所土地濱レアリ



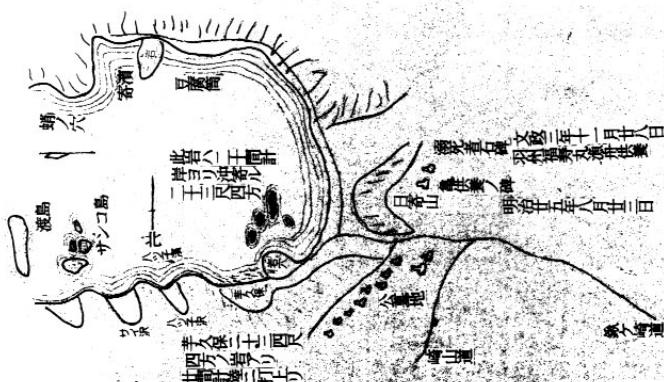
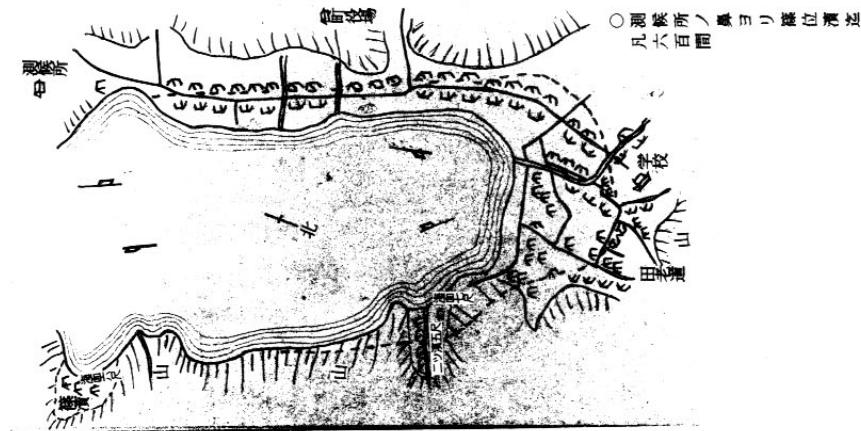


陸中四戸数  
戸数  
納屋  
人口

○○負傷人口  
○○海面ヨリ高低  
○○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

自六尺至九尺

○測候所ノ鼻ヨリ棲位清迄  
凡六百間



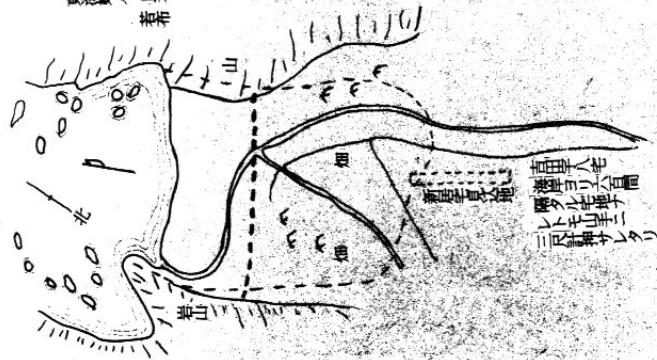
八戸伊那崎山本

○負傷人口  
○海面ヨリ高  
○溝干潮ノ善

六尺六尺

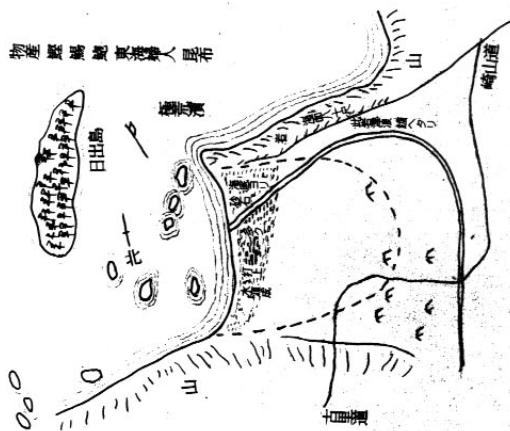
宅地十尺  
宅地十尺  
二十五尺  
百八十間

○ 緑色飛点防風  
林潮止メ林植付急務朱点の所ニ居宅移シ  
見込ミ



物產 蝦 蝦 人 昆 布

○全戸 拾戸



- 海岸ニ破壊村木  
及山出シ材木流
- 辻尾ノミ無害

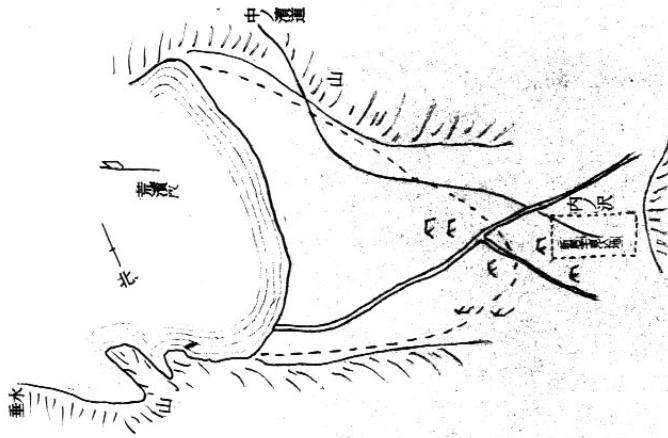
A geological cross-section diagram illustrating a large igneous intrusion. The diagram shows a thick, irregularly shaped body of rock labeled '岩浆' (Magma) at the bottom left, which has intruded upwards through various layers of sedimentary rock. The magma body is bounded by dashed lines. Above it, several layers of rock are labeled '砂岩' (Sandstone) and '页岩' (Shale). The top layer is labeled '山' (Mountain). A vertical scale bar on the left indicates a height of 00 meters. A horizontal scale bar at the bottom indicates a distance of 00 meters. The entire diagram is oriented vertically.

陸中國東閉伊郡崎山村　字女遊部

○死亡人口 六十九人

○○負傷人口  
○○海面ヨリ高低  
○○溝干潮ノ差  
○○打上浪  
○○走り  
○○浪走り

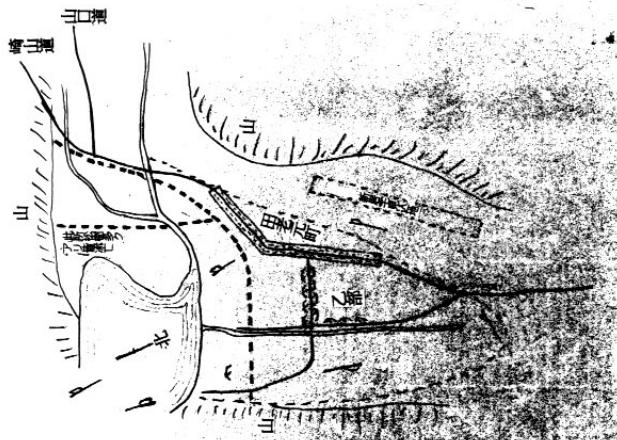
五尺  
四五尺  
四十尺  
百間

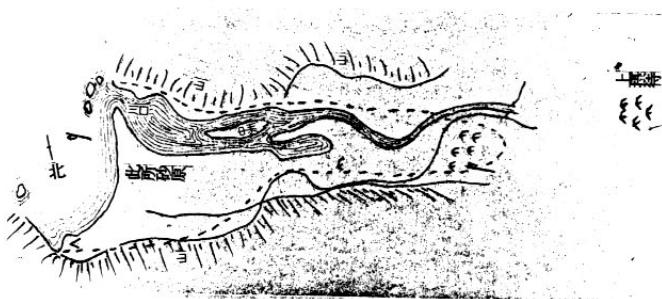
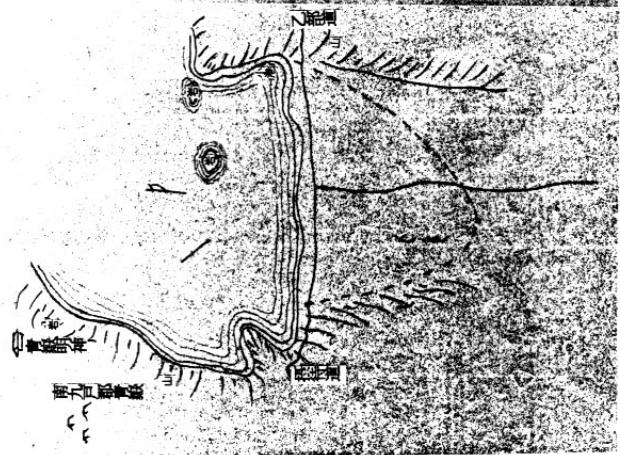


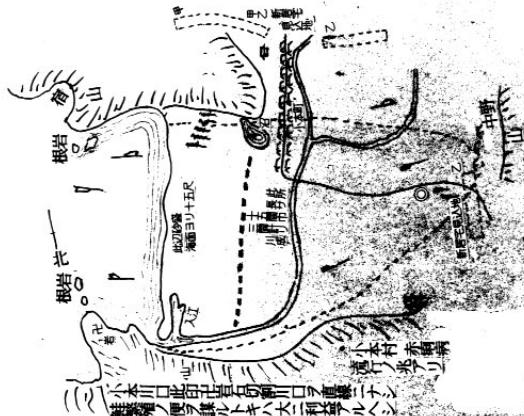
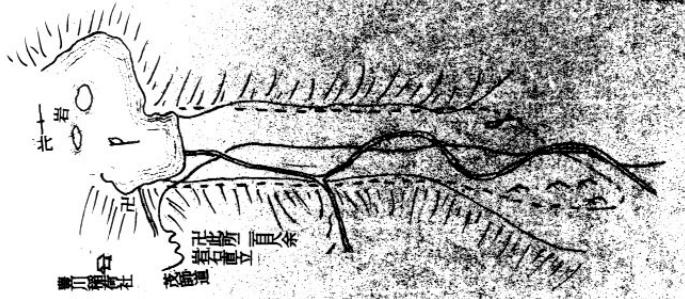
- 全戸数廿廿新地見込点廿ノ  
○ ナリナ居内宅の沢尻新地見込点廿ノ
- 海波平近傍ノ日暮ノ音打上津ニノ  
○ 沢尻アリノモノ音打上津ニノ
- トヨタ町岸面ノ木カヨリ今回格付ノ丁番  
○ ナルノルタヨリシタヨリ始凡トモ
- ヤラヲ未詳ト云阿年浪波打凡トモ  
○ トヨタ町岸面ノ木カヨリシタヨリ始凡トモ

陸中国東閉伊那田老村　字田老

○○浪打上浪  
○○走りリ  
自二百八十間至三百貳間

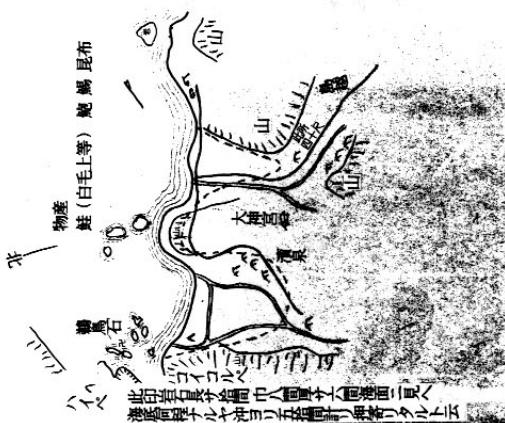
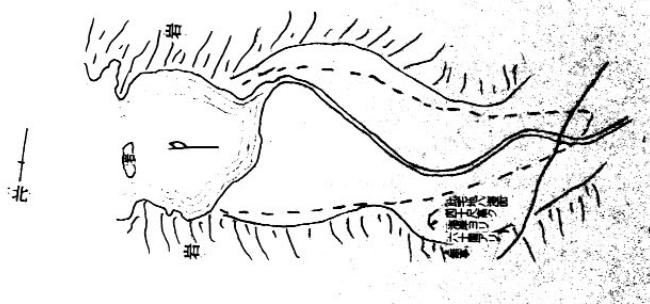






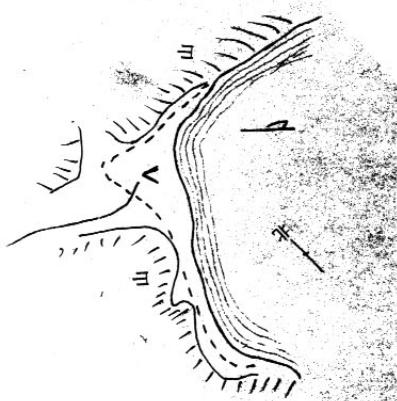
七尺  
六尺五寸

○ ◎「杉に腰り」千尺糸高木教十九合  
目は平傳子舟賣是レハ首連根ノ  
當賣舟腰チテ腰リタルヨリ紀年ノ  
メキを傳シル所賣連根是ハ肯大  
港賣舟元市口タル記ストニ  
凡瀬道ヨリ九尺云  
○ 明治廿一年八月三十日日本一通應  
兵工方傳子舟日前引良云至ラモア  
散敷ノ地裏本守連の食水使テハ  
茶葉茶子ニ腰ニ前ニ三酒屋小本  
中央交渉の為又案寄斜ナリ一千  
尺重り万非常事アラク腰ヨリ  
抜くシ外へハセコ持便アラズ然  
ルトキハ腰屋三馬之助販化院ノ目二  
秉主シムト云月一日朝マテ大少販  
賣四回アリ然レモ販多回方賣氣  
是五石セモ腰ニ付モテテノ株屋ノ他  
賣モ茶葉茶心明西五十石は連根ニ行  
キ本守連の為又案寄斜ナリ



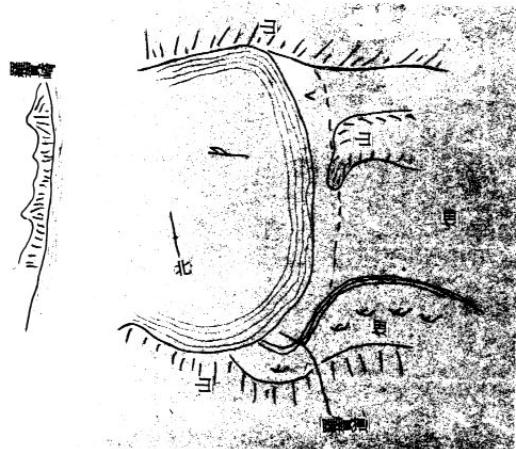
記此印岩石長サ拾武圓巾八圓ノ厚サ六圓海面ニ見ヘ  
海底河程ナルヤ沖ヨリ五拾圓計リ押資リタルト云  
蛙へ白毛上等一蛇蝎昆布

四名 内三名 北山塙  
壹名 納戸汐翁

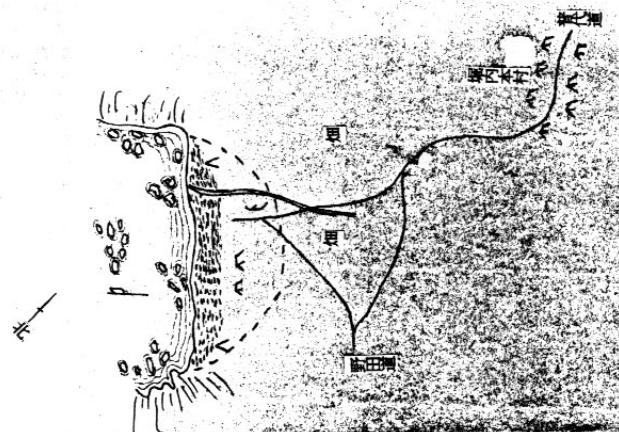
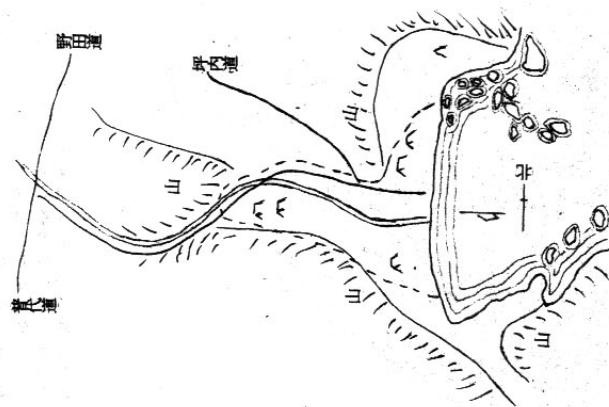


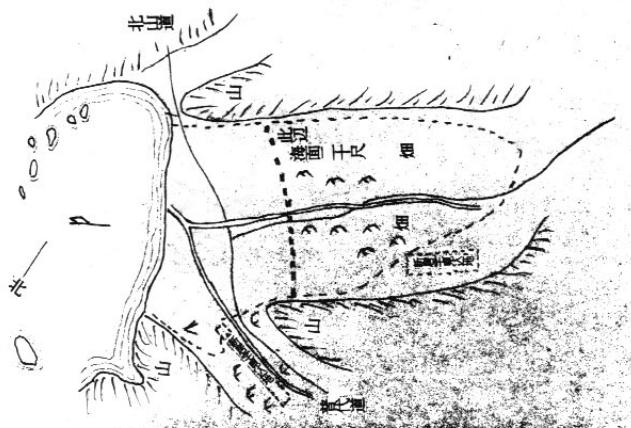
十二人

六尺  
四十四尺  
百四十間  
二樓



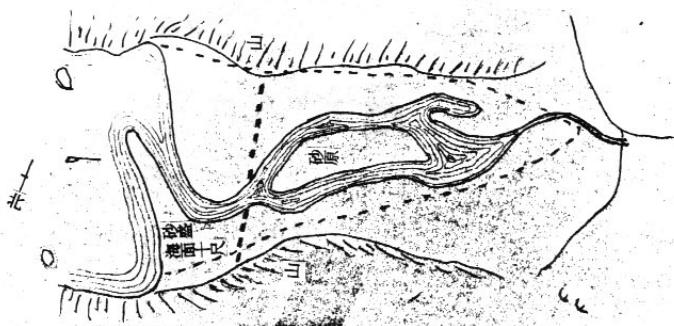




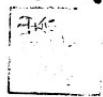


- 本部落ハ元川田町又里正止里元宅
- アリ朱点ヲ二移轉又タ所ニ設置協議
- 緑色線ニ防風樹林地跡ハ元地主シヘシ

○大 海嘯ト八月廿八日供水ト被害海岸ヨリ河川地ノ如ク交換ス容易ナラサル工事テハ挽回スル能ハス



173  
日本海側の海岸線  
岩手縣沿岸見取綱圖  
日本海側の海岸線  
岩手縣沿岸見取綱圖



日本海側の海岸線

岩手縣沿岸見取綱圖

日本海側の海岸線  
岩手縣沿岸見取綱圖



○流亡戸數 拾戸

字下安家

○死亡人口 四十七人

卷四

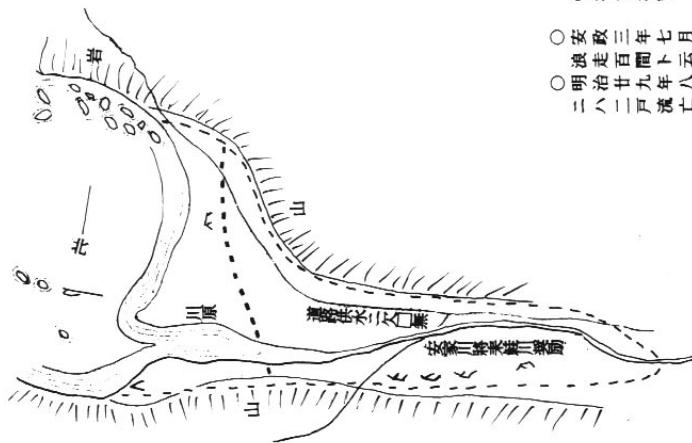
内壱人 仙台市村杉手代 美沼善八郎

傷人口

四

五尺

七  
歷

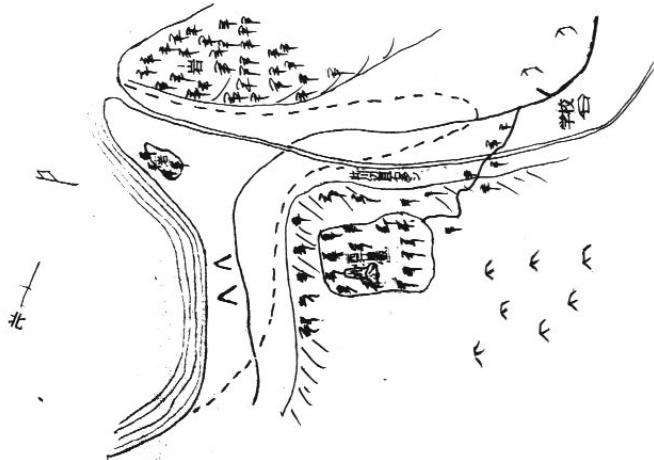


子玉三

十三人

○字玉川  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○満干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走り  
○流亡塙蟹

五尺四寸六分



九戸郡野田村

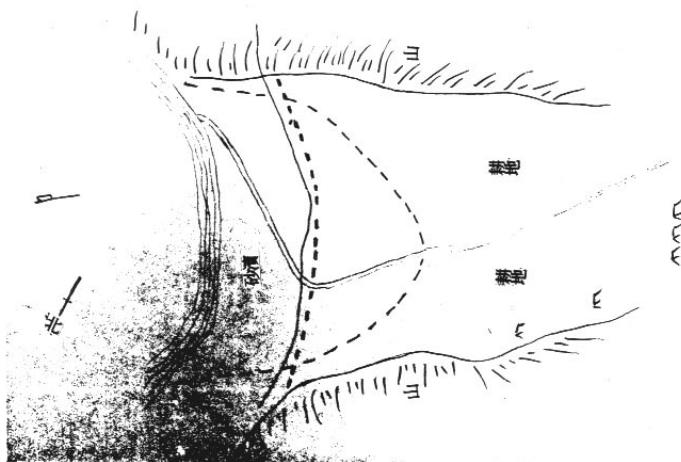
五尺  
六尺  
四十尺  
三百間



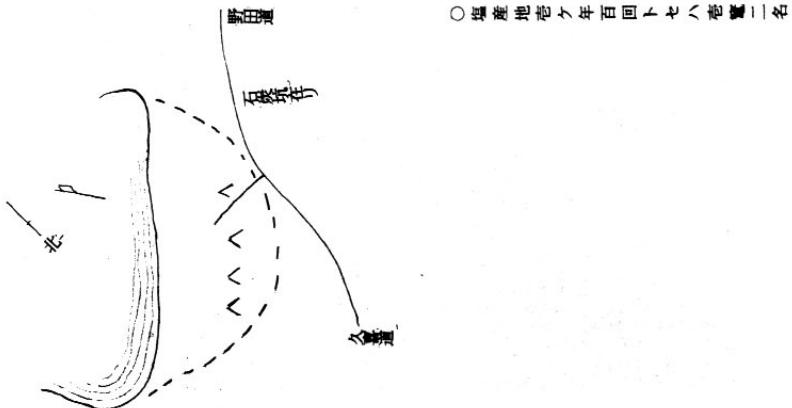
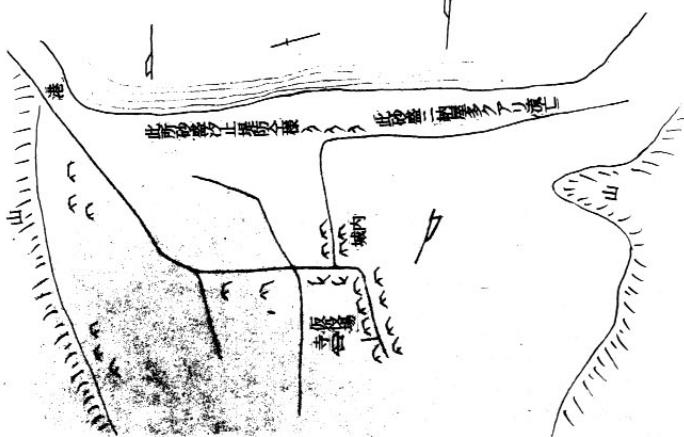
陸中日  
流亡戸數  
潰戸數  
死亡納屋  
死人口

南九戸郡野田村　字前田

三十五尺  
六十五尺  
六十間



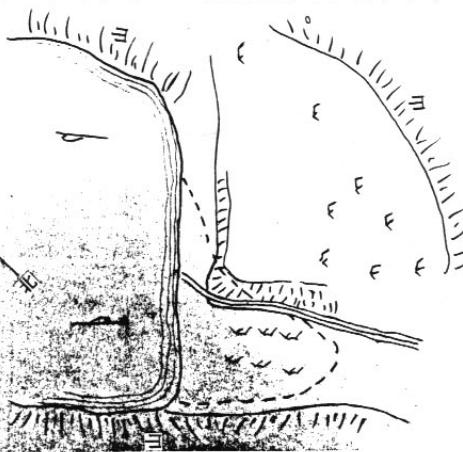
○字城内港  
○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干潮ノ差  
○打上浪  
○浪走リ  
二三十五尺  
二百五十五尺  
八尺



○○○○○○陸中国南九戸郡宇都村  
死亡人口百八拾人内屋形夏鋪綱ニテ三十八人  
○死漬流戸亡戸數數屋納人

### 字久音

○○○○○○負傷人  
打干面ヨリ高差低  
浪走上干面ヨリ高差低  
○○○○○○浪ノリ差低

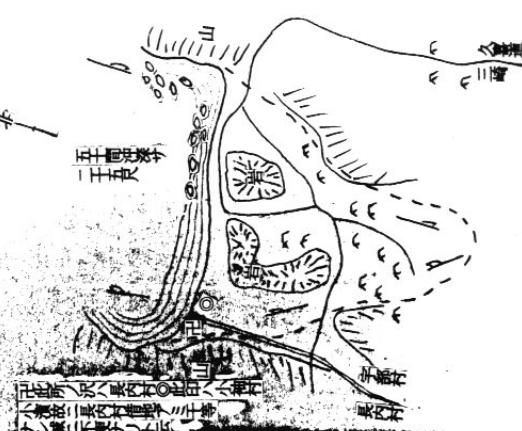


○○○○○○陸中国南九戸郡宇都村  
死亡人口三十五人  
○死漬流戸亡戸數數屋納人

### 四桿

○○○○○○負傷人  
打干面ヨリ高差低  
浪走上干面ヨリ高差低  
○○○○○○浪ノリ差低

百廿十七尺  
間尺尺

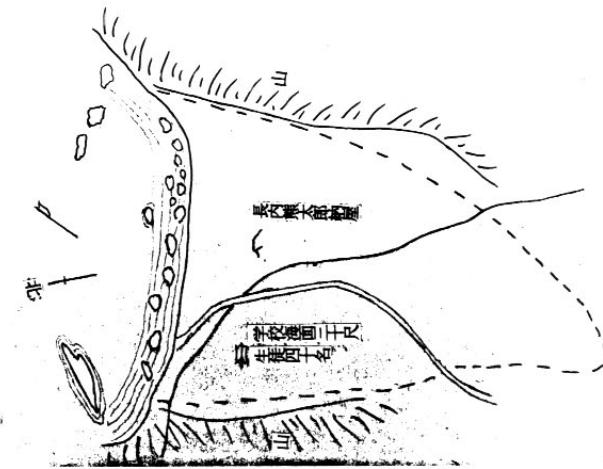


○○○○○○舟小袖海漕大石川原故ニ  
足見未出難舟造ルモ舟着  
北二困難付二困難ハ  
足見未出難舟造ルモ舟着  
足見未出難舟造ルモ舟着  
足見未出難舟造ルモ舟着

○明治廿九年戸焼失火災三十六年去ル  
サケ日ヨリ死亡ニテ前四十年去ル  
山中九月村民コ入人ニ四四年燒失病一  
サケ日此年ラ二人亡山行八月テ病ノ病  
居ルノ病

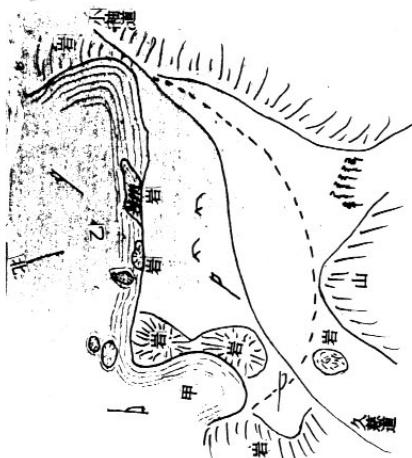
足 汗 字 人 口 傷 負 ○  
低 高 ヨリ ョリ 面 海 ○○  
差 ノ 潮 干 溝 ○○  
波 上 滂 打 ○○  
走 リ 走 リ 浪 ○

八尺  
六尺  
四十尺  
一百廿尺



低二十尺  
自四十間至八十間六尺

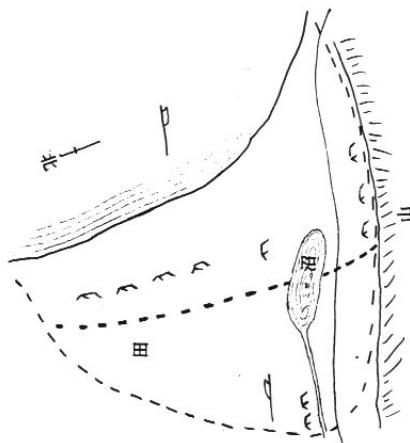
○津浪ハ甲ヨリ  
リ乙ヘ越ミヘ乙ヨリ  
打込ミ此納  
家屋ノミ流亡人  
害無納屋ノ  
ミナレトモ樹  
木タヲレ多シシ



○○○○○陸  
○死漢流亡中  
○漢流亡戸數  
○漢納納屋  
○死亡人口

○○○○○字長内  
○満海員標  
○打上干面ヨリ  
○走りノリ高  
○差低

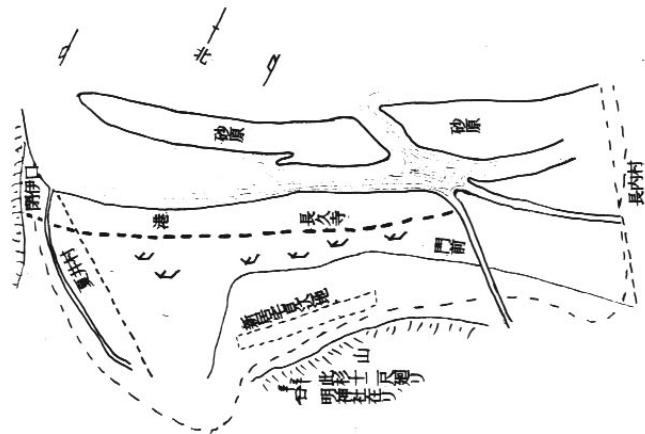
三百廿尺  
三十七尺  
十二尺



○○○○○陸  
○死漢流亡中  
○漢流亡戸數  
○漢納納屋  
○死亡人口

○○○○○字港  
○○○○○長久寺  
○○○○○自六尺  
○○○○○浪ノリ高  
○○○○○走りノリ高  
○○○○○至十尺  
五百八十尺  
四十尺

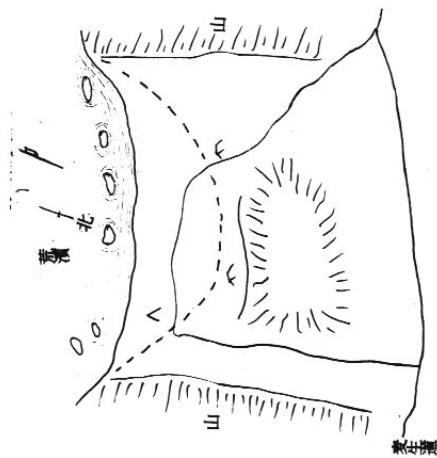
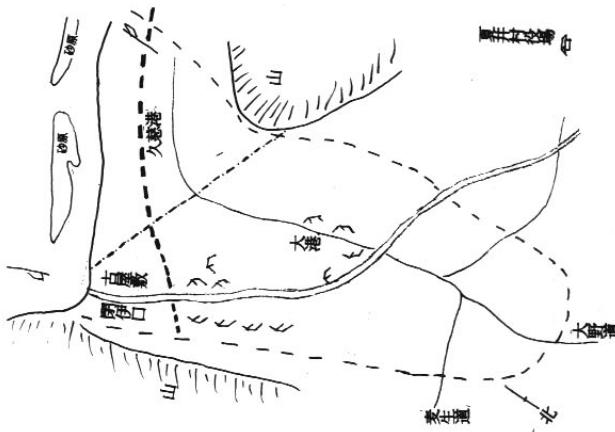
○字三ヶ所ニ様点の如ク防風林植付急務ナリ



陸中国南九戸郡夏井村 大港字伊口 番号古屋敷

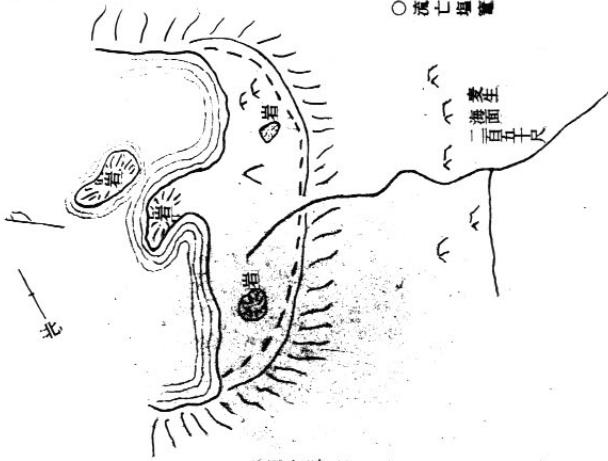
人港港伊口  
○○○○○負傷人  
○○○○○海面高  
○○○打上ノ差  
○○○浪走ノ利  
○○○浪打ノ高  
○○○浪走ノ低

七尺五寸六分



北九戸郡侍瀬村　字麦生

六尺  
五尺  
二十寸  
壹尺

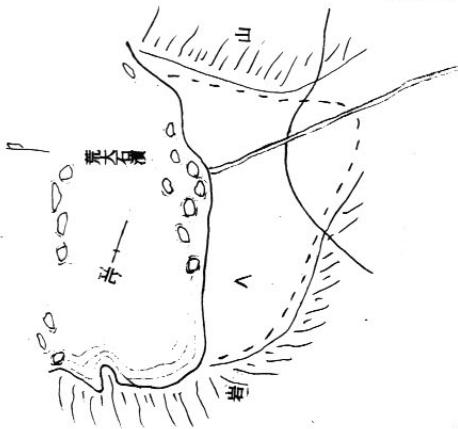


陸中五  
○○○○○流亡戸數  
○○○○○流亡納屋  
○○○○○死亡人口

北九戸郡侍瀬村　字本波

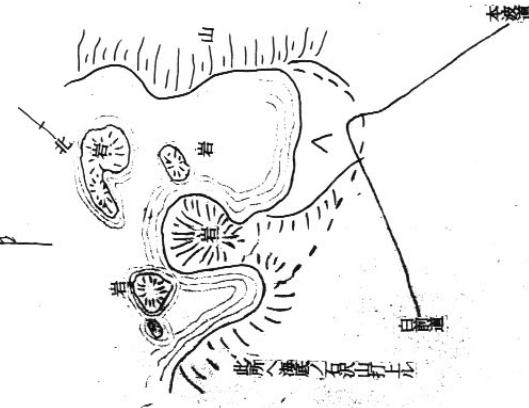
波本字傷人口ヨリ高差ノ差  
溝干潮ノ差  
打上浪走り  
流亡塙竈

四十尺  
六十七尺  
六十五尺  
八十間  
壹棟



○○○○○○○○○○○○  
○死人 戸亡 漢流 戸亡 中國 北九戸郡侍濱村  
人口 戸納數 戸納數 戸屋

八人

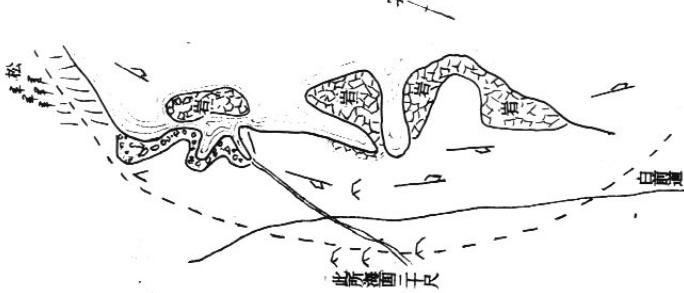


○○○○○○○○○○○○  
○死人 戸亡 漢流 戸亡 中國 北九戸郡侍濱村  
人口 戸納數 戸納數 戸屋

六人

○○○○○○○○○○○○  
○海溝 打上干面ヨリ潮ノリ高  
○流走り 壇壠 人口 橫沼

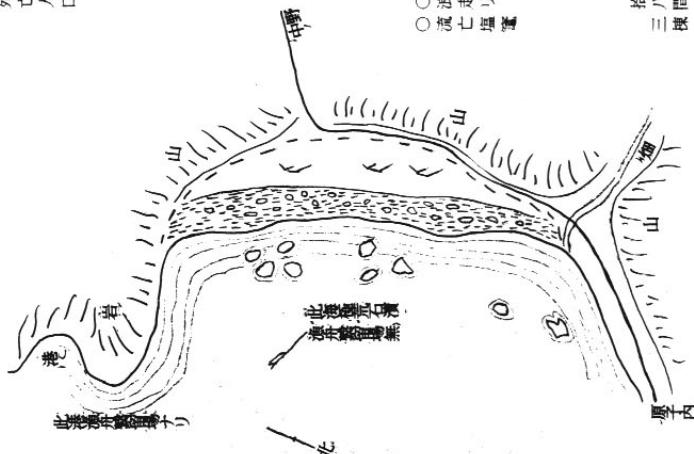
四八 十  
吉 横間 尺尺 尺



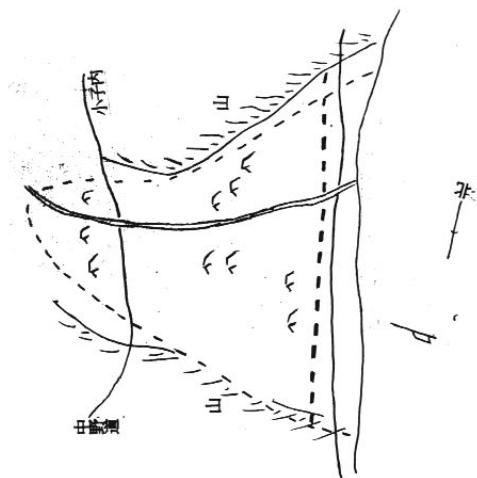
陸中四  
○○○流亡戸數  
○○○流亡納屋  
○○○漬納屋  
○○○死亡人口

七四

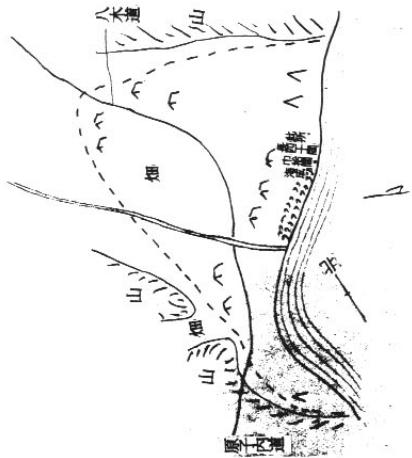
九尺  
六尺  
八尺  
間  
三橫



百八十間  
四十尺  
七尺  
自二尺  
至三尺  
宅地五尺



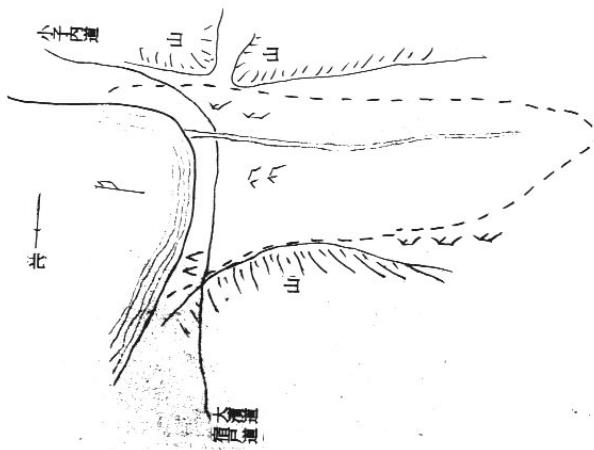
内子小字村野中郡戸九北中國陸



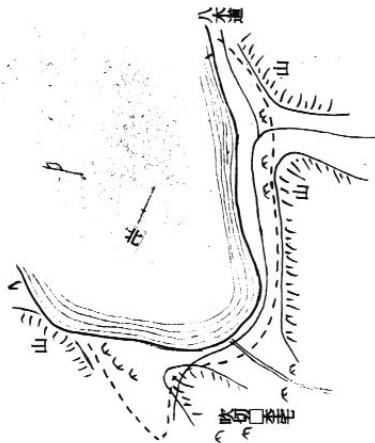
陸中国北九戸郡種市村字八木

木八人ヨリ高差ノ差打上浪走リ

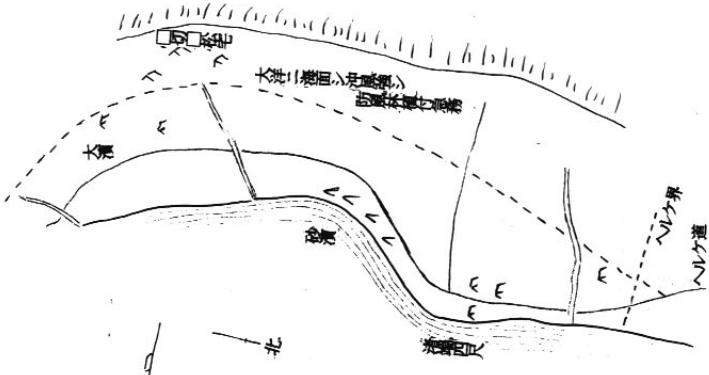
三尺  
六尺  
百廿間  
二棟



○○○○○陸  
 ○○○○○溝流亡戸數  
 ○○○○○死人屋人口  
 国北戸郡種市材  
 ○○○○○負傷人口大清  
 ○○○○○溝面ヨリ高  
 ○○○○○打上浪ノリ低  
 九二十六尺間  
 物屋地十尺



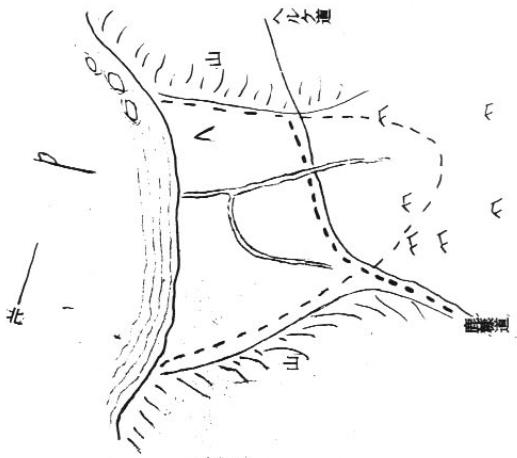
○○○○○陸  
 ○○○○○溝流亡戸數  
 ○○○○○死人屋人口  
 国北戸郡種市材  
 ○○○○○負傷人口土金  
 ○○○○○漁面ヨリ高  
 ○○○○○打上浪ノリ低  
 三十五尺間  
 九十五尺尺  
 物屋地二十尺



北九戸那種市村 宇玉川

○負傷人口  
○海面ヨリ高低  
○溝干瀬ノ差  
○打上浪  
○浪走リ

七尺  
六尺  
廿尺

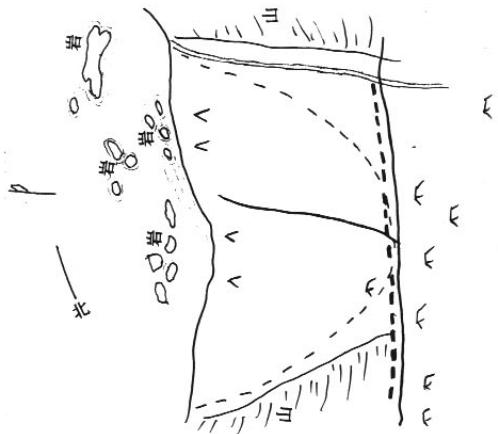


陸中四  
○○○○流亡戸數  
○○○○流亡納屋  
○○○○死亡人口

北九戸那種市村 宇鹿沼

○○○○○負傷人口  
○○○○○溝面ヨリ高低  
○○○○○打上漁ノ差  
○○○○○浪走リ  
○○○○○流亡塩竈

二十六尺  
八十二尺  
四棟間

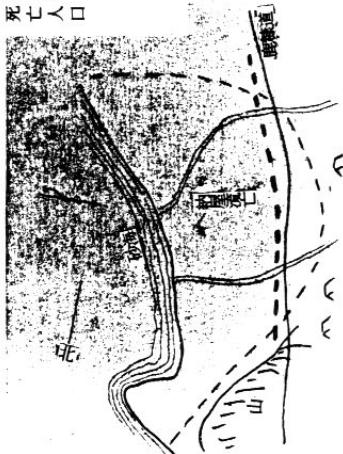


○○○○○○○  
死済流亡中  
亡納戸數戸  
人口

北九戸郡種市村

○○○○○○○  
浪打溝負傳字  
走上千ヨリ人口  
ノリ波潮差高低

八拾七尺  
間尺尺尺

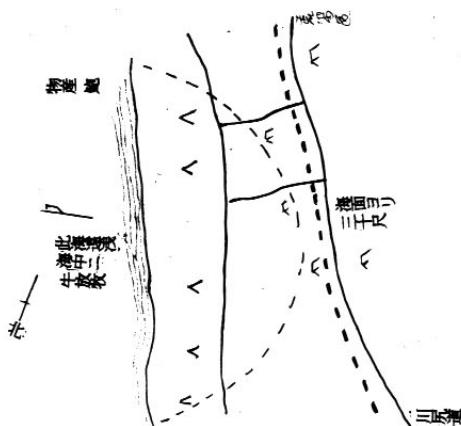


○○○○○○○  
死済流亡中  
亡納戸數戸  
人口

北九戸郡種市村

○○○○○○○  
浪打溝負傳字  
走上千ヨリ人口  
ノリ波潮差高低

六二十六十  
間尺尺尺



一  
二  
三

